

＜第4章 調査結果〔解説・グラフ〕＞

第4章 調査結果【解説・グラフ】

1. 県の基本政策について

(1)「経済の活性化」について

問1 「経済の活性化」について、第5期高知県産業振興計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

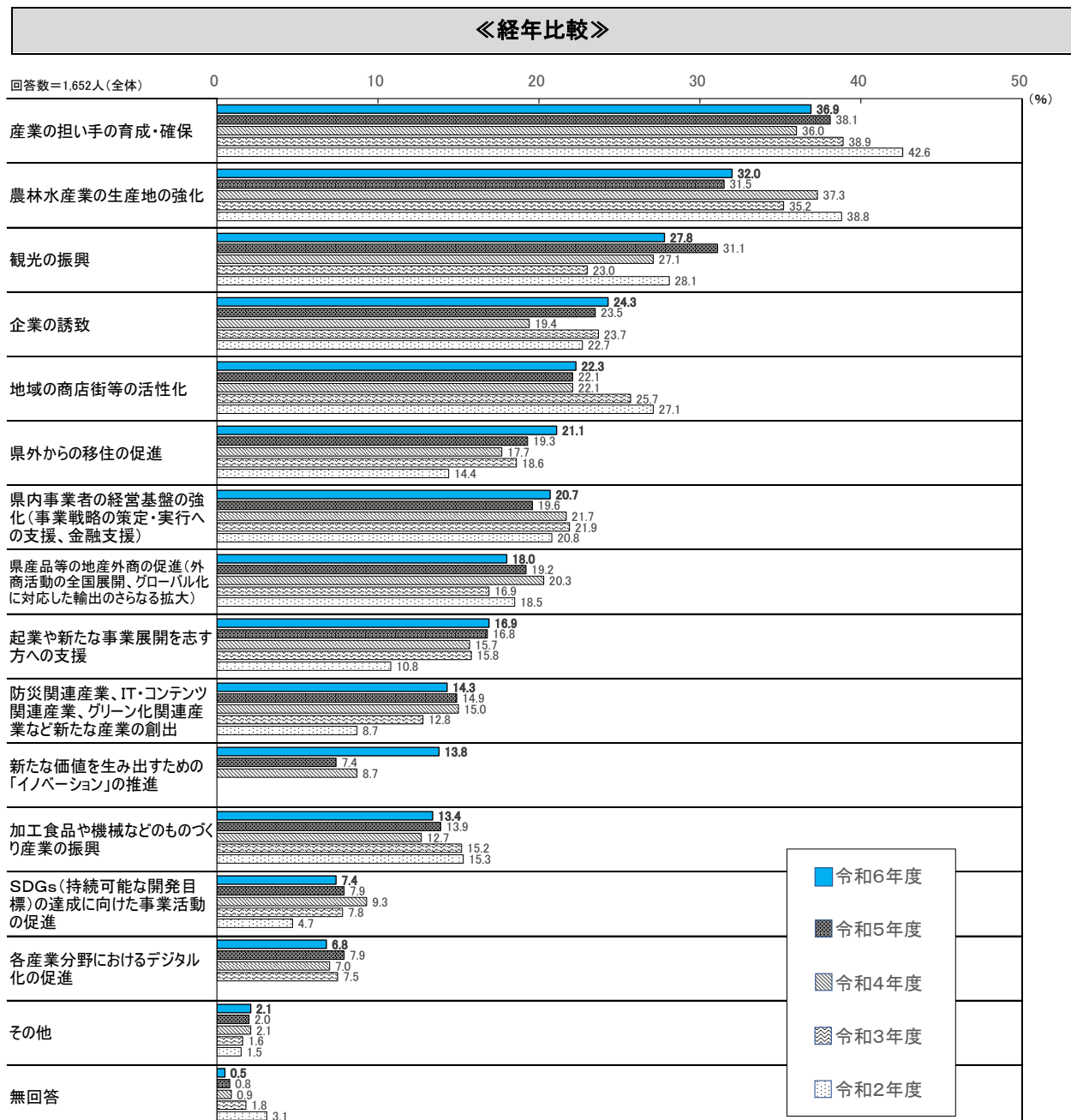
【総合】

「産業の担い手の育成・確保」が36.9%と1位になっている。

次いで、「農林水産業の生産地の強化」が32.0%、「観光の振興」が27.8%と続いている。

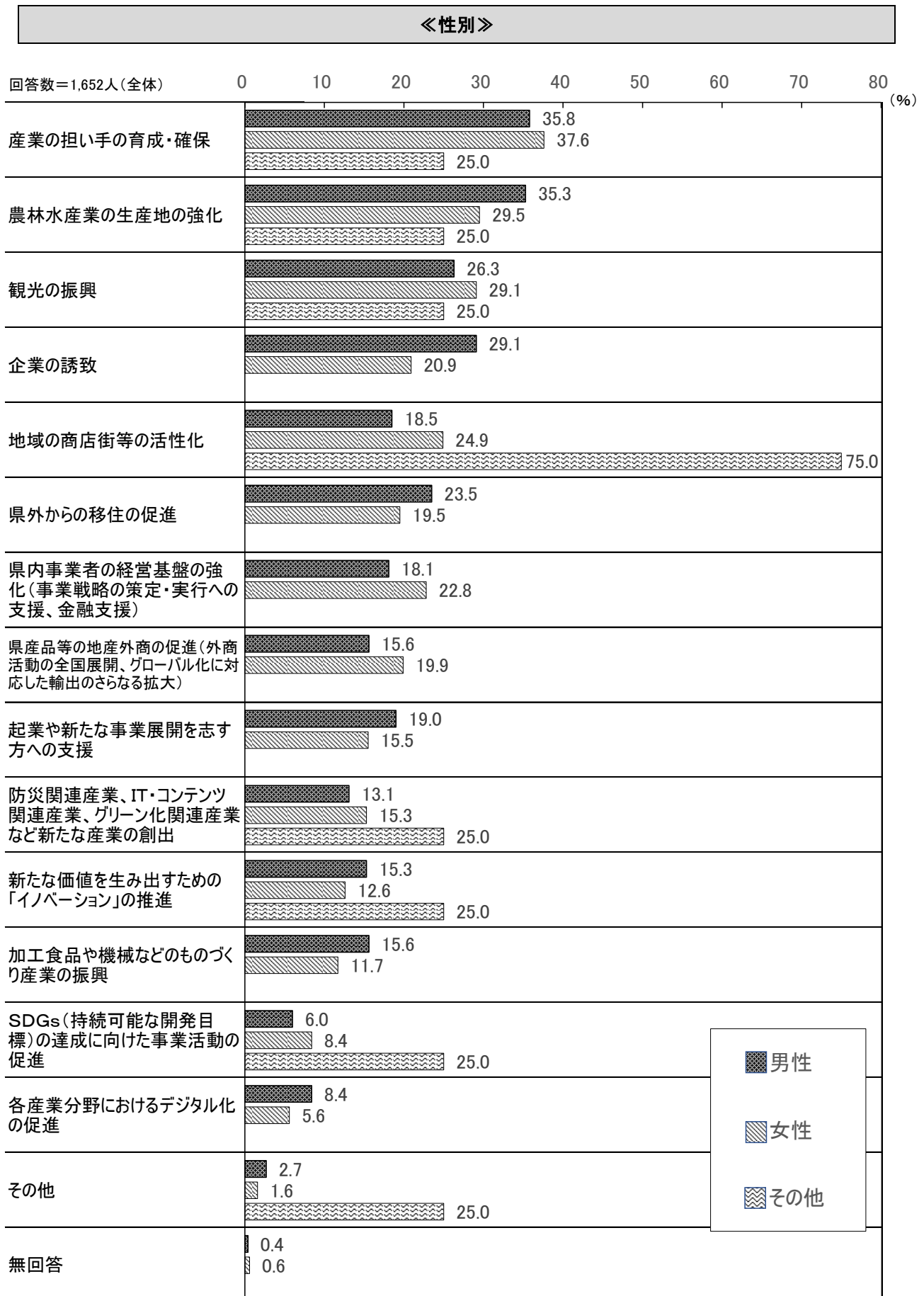
【過去の調査との比較】

順位自体は昨年度と大きな変化はないが、「農林水産業の生産地の強化」、「企業の誘致」、「県外からの移住の促進」、「県内事業者の経営基盤の強化」、「産学官民連携によるイノベーションの創出」が昨年度よりも増加している。



【性別】

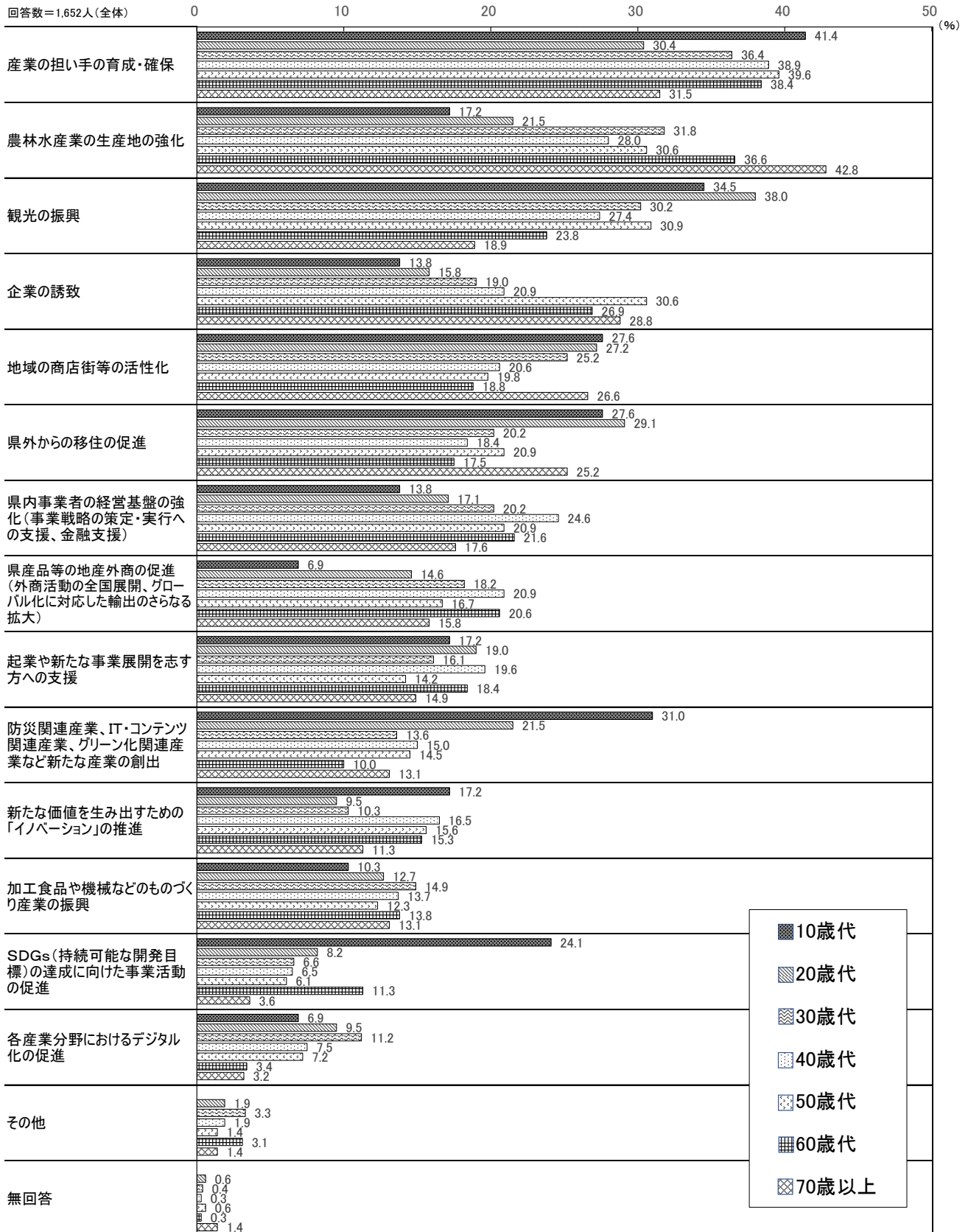
男女ともに「産業の担い手の育成・確保」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、30 歳代、40 歳代、50 歳代、60 歳代では「産業の担い手の育成・確保」が最も高く、20 歳代では「観光の振興」が、70 歳以上では「農林水産業の生産地の強化」が最も高くなっている。

《年代別》



(2)「日本一の健康長寿県づくり」について

問2 「日本一の健康長寿県づくり」について、第5期日本一の健康長寿県構想に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

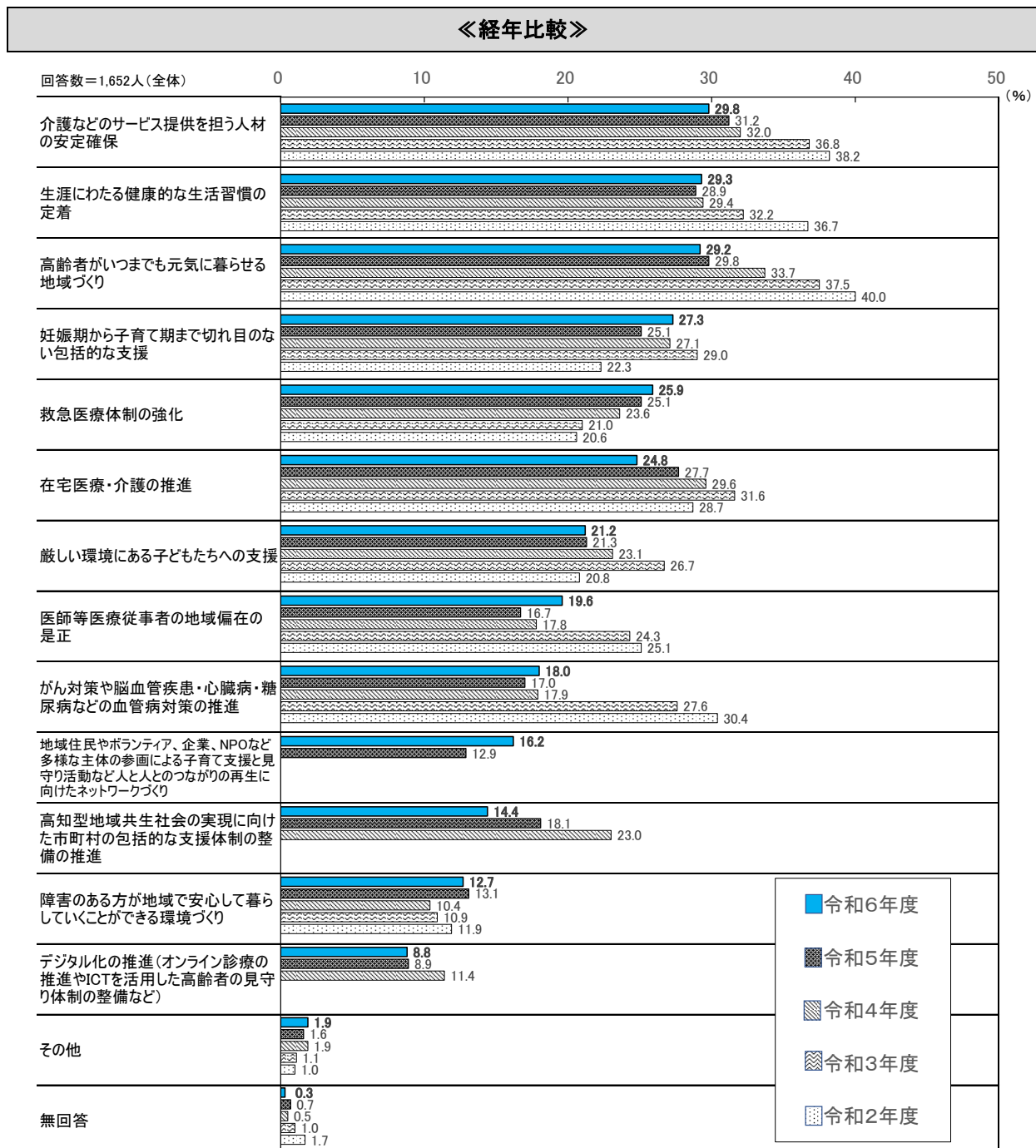
【総合】

「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が29.8%と1位になっている。

次いで、「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が29.3%、「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が29.2%と続いている。

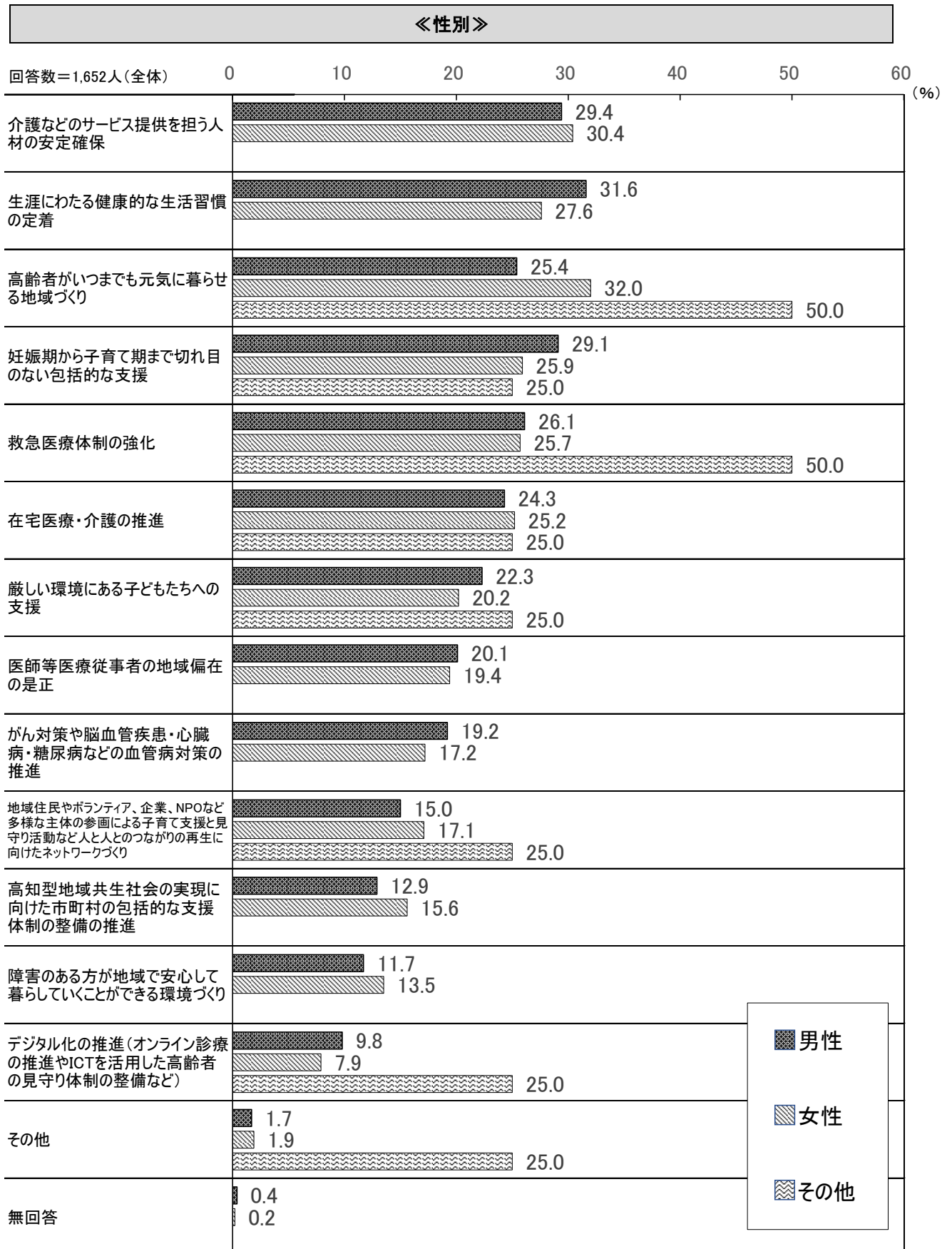
【過去の調査との比較】

昨年度2位だった「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が3位に、昨年度3位の「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が2位となっている。また、「妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援」と「地域住民やボランティア、企業、NPOなど多様な主体の参画による子育て支援と見守り活動など人と人とのつながりの再生に向けたネットワークづくり」が昨年度よりも2ポイント以上増加している。



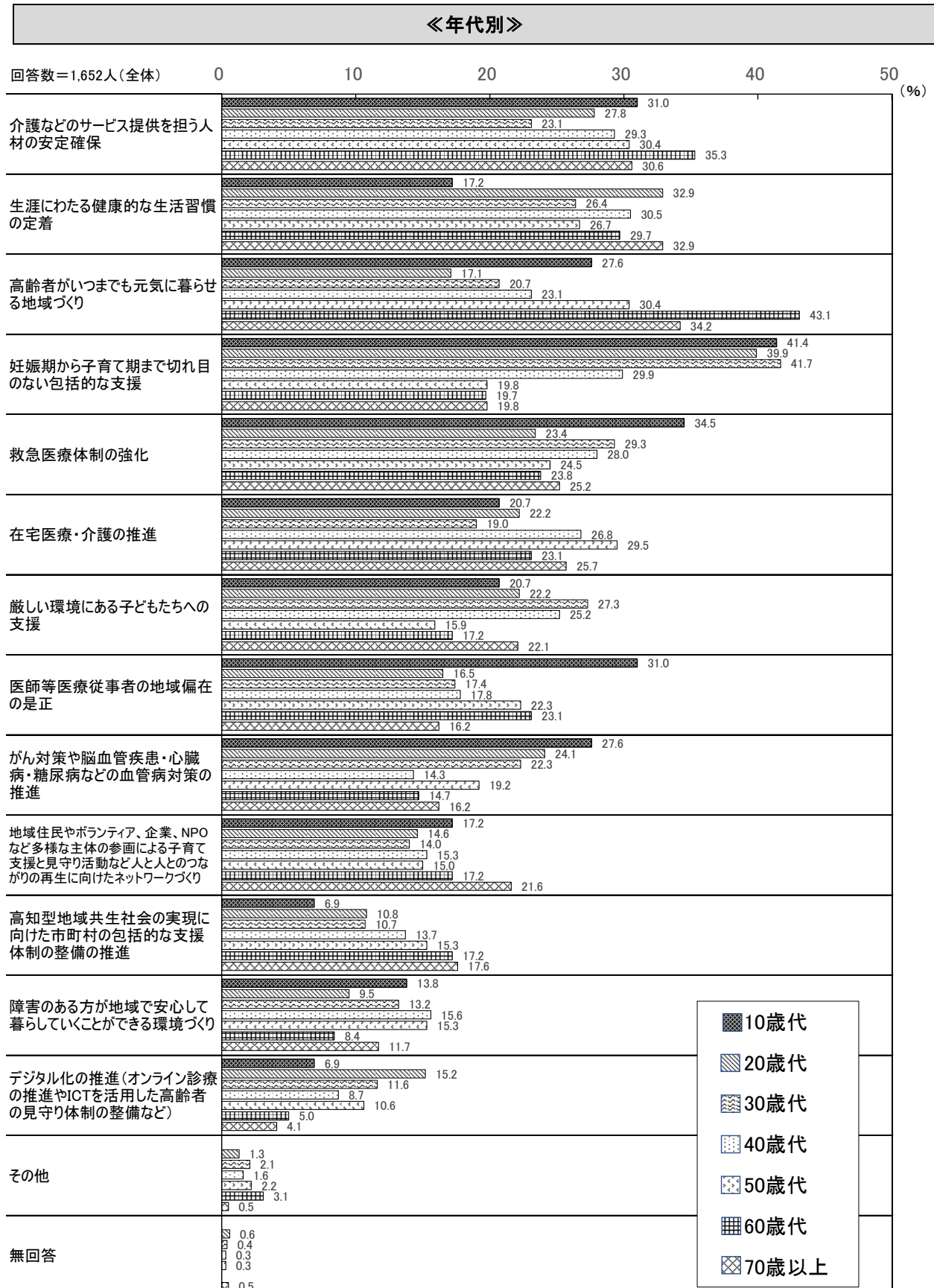
【性別】

男性では「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が、女性では「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、20 歳代、30 歳代では「妊娠期から子育て期まで切れ目のない包括的な支援」が最も高く、40 歳代では「生涯にわたる健康的な生活習慣の定着」が、50 歳代、60 歳代、70 歳以上では「高齢者がいつまでも元気に暮らせる地域づくり」が、また、50 歳代は同率で「介護などのサービス提供を担う人材の安定確保」が最も高くなっている。



(3)「教育の充実」について

問3 「教育の充実」について、第3期教育等の振興に関する施策の大綱に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

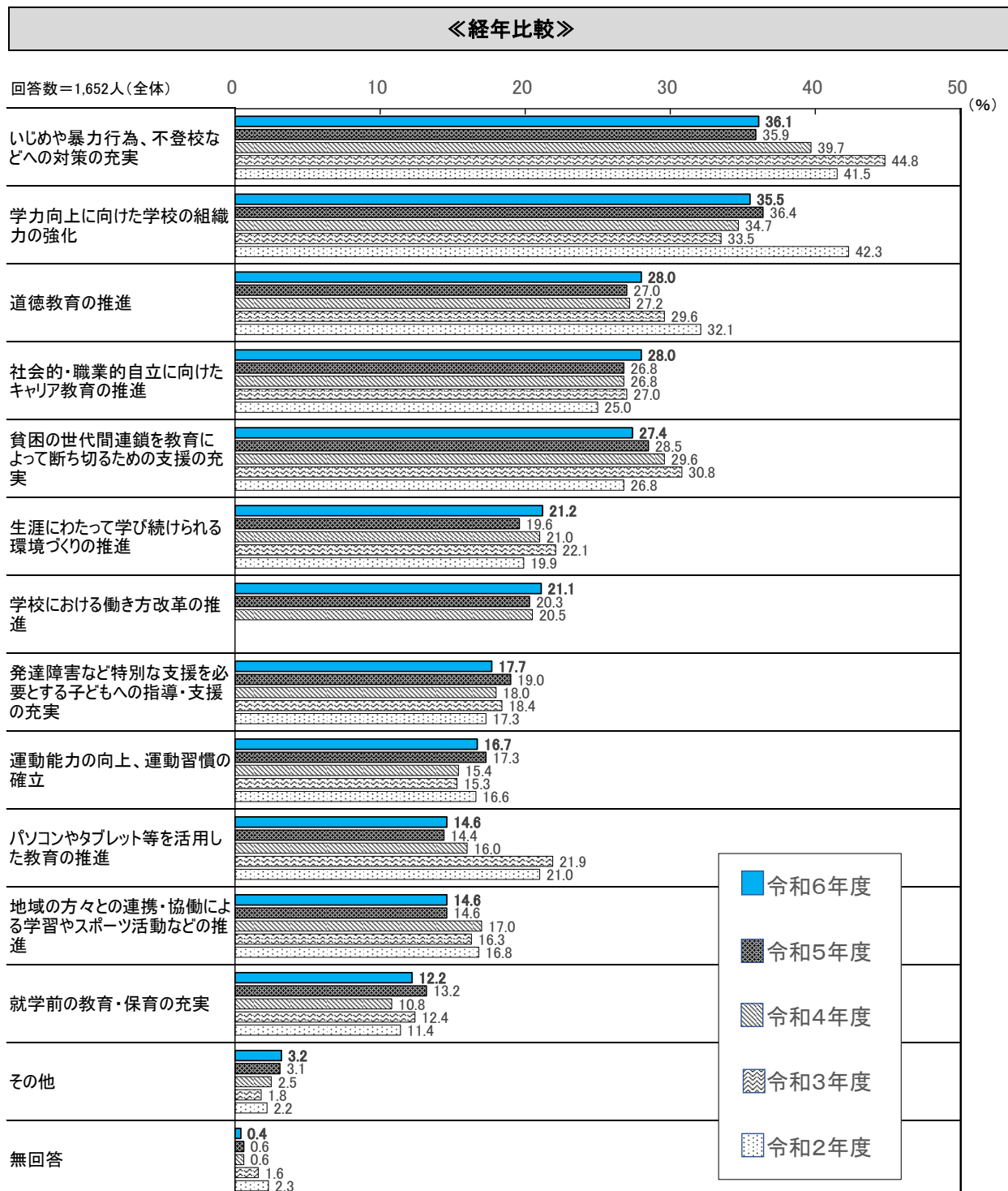
【総合】

「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が36.1%と1位になっている。

次いで、「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が35.5%、同率で「道徳教育の推進」と「社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進」が28.0%と続いている。

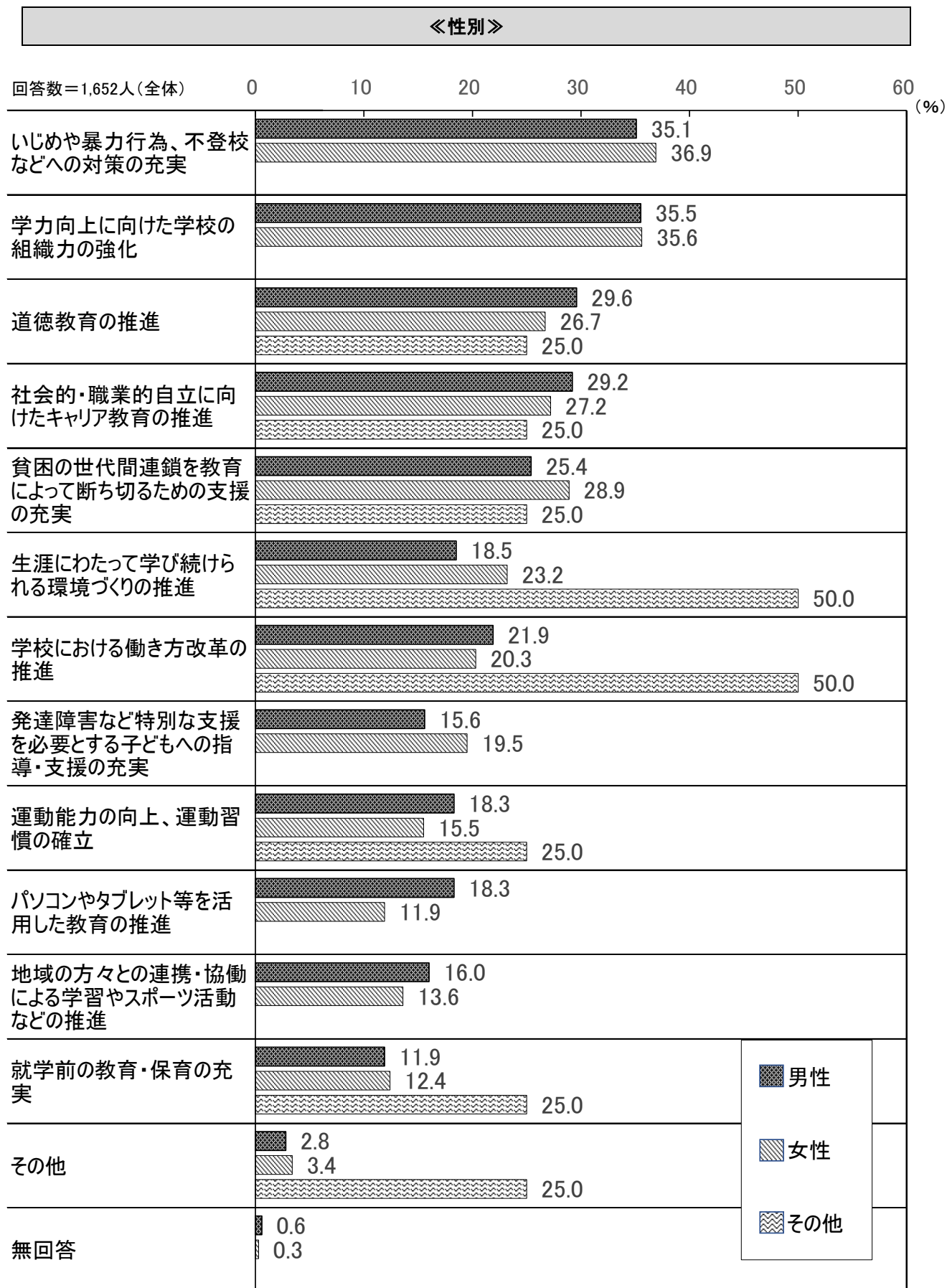
【過去の調査との比較】

今年度は、昨年度2位だった「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が1位になっている。



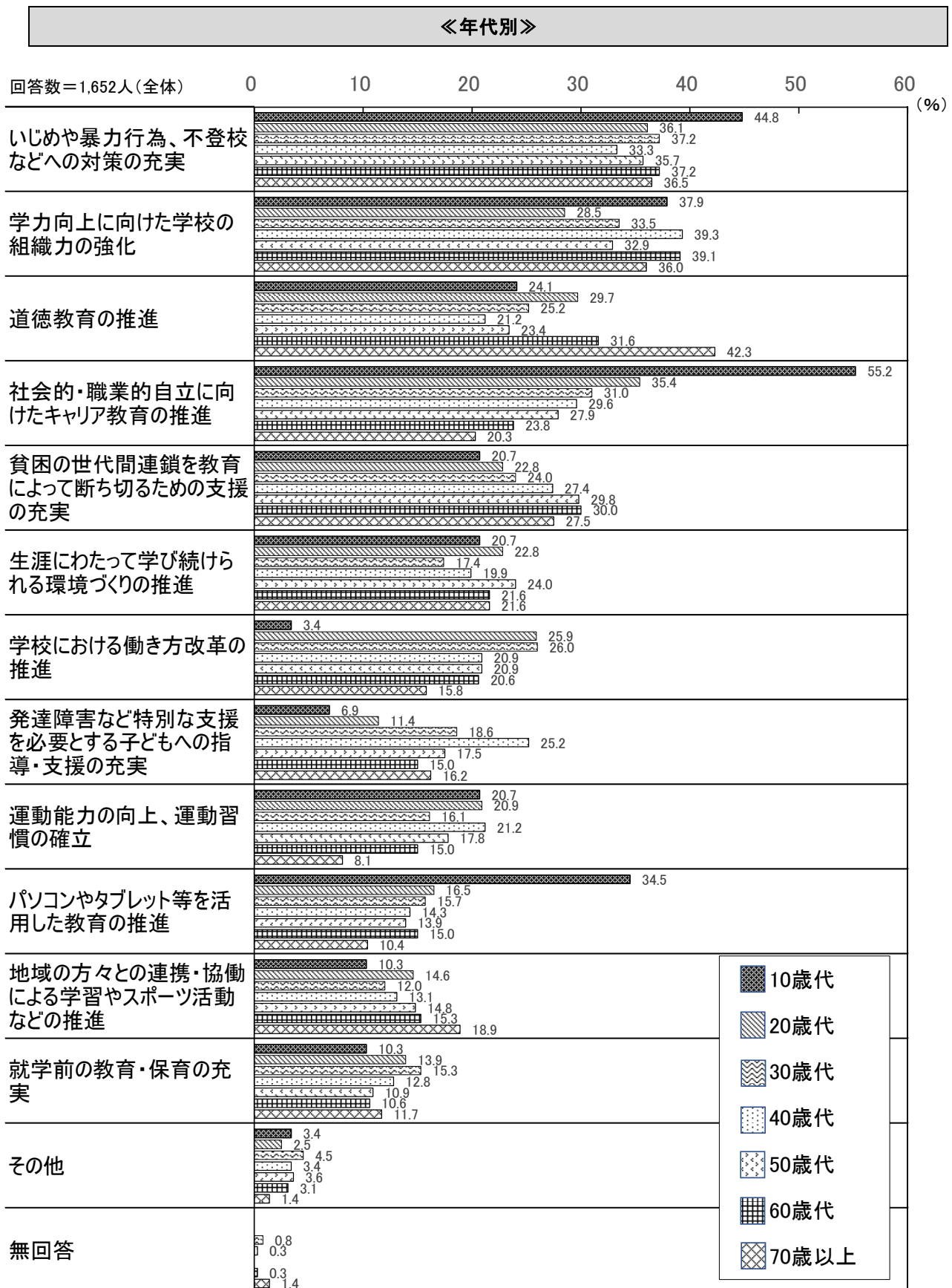
【性別】

男性は「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が最も高く、女性は「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が最も高くなっている。



【年代別】

10歳代では「社会的・職業的自立に向けたキャリア教育の推進」が、20歳代、30歳代、50歳代では「いじめや暴力行為、不登校などへの対策の充実」が最も高く、40歳代、60歳代では「学力向上に向けた学校の組織力の強化」が、70歳以上では「道徳教育の推進」が最も高くなっている。



(4)「中山間対策の充実・強化」について

問4 「中山間対策の充実・強化」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。
(2つまで○印)

【総合】

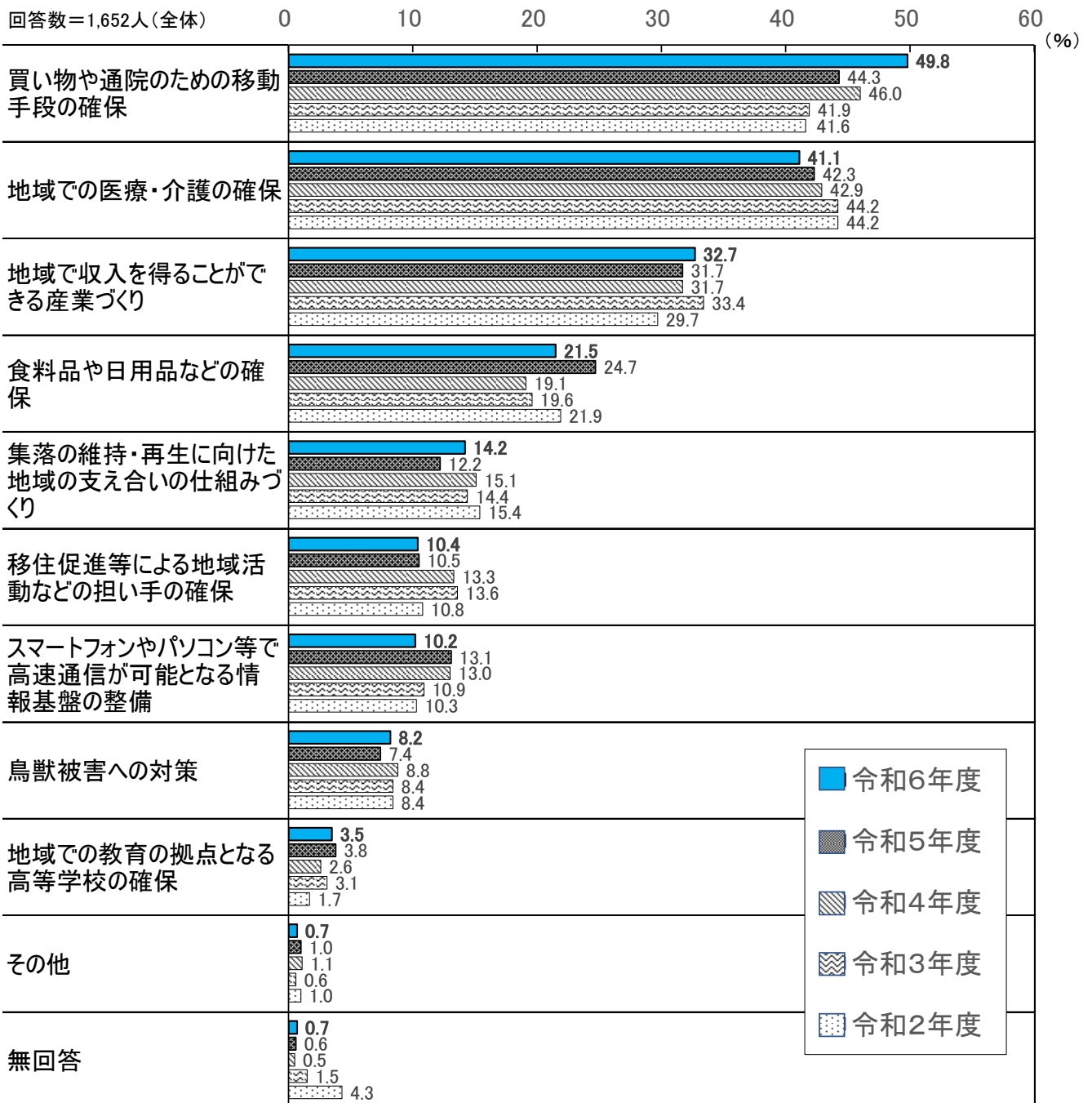
「買い物や通院のための移動手段の確保」が49.8%と1位になっている。

次いで、「地域での医療・介護の確保」が41.1%、「地域で収入を得ることができる産業づくり」が32.7%と続いている。

【過去の調査との比較】

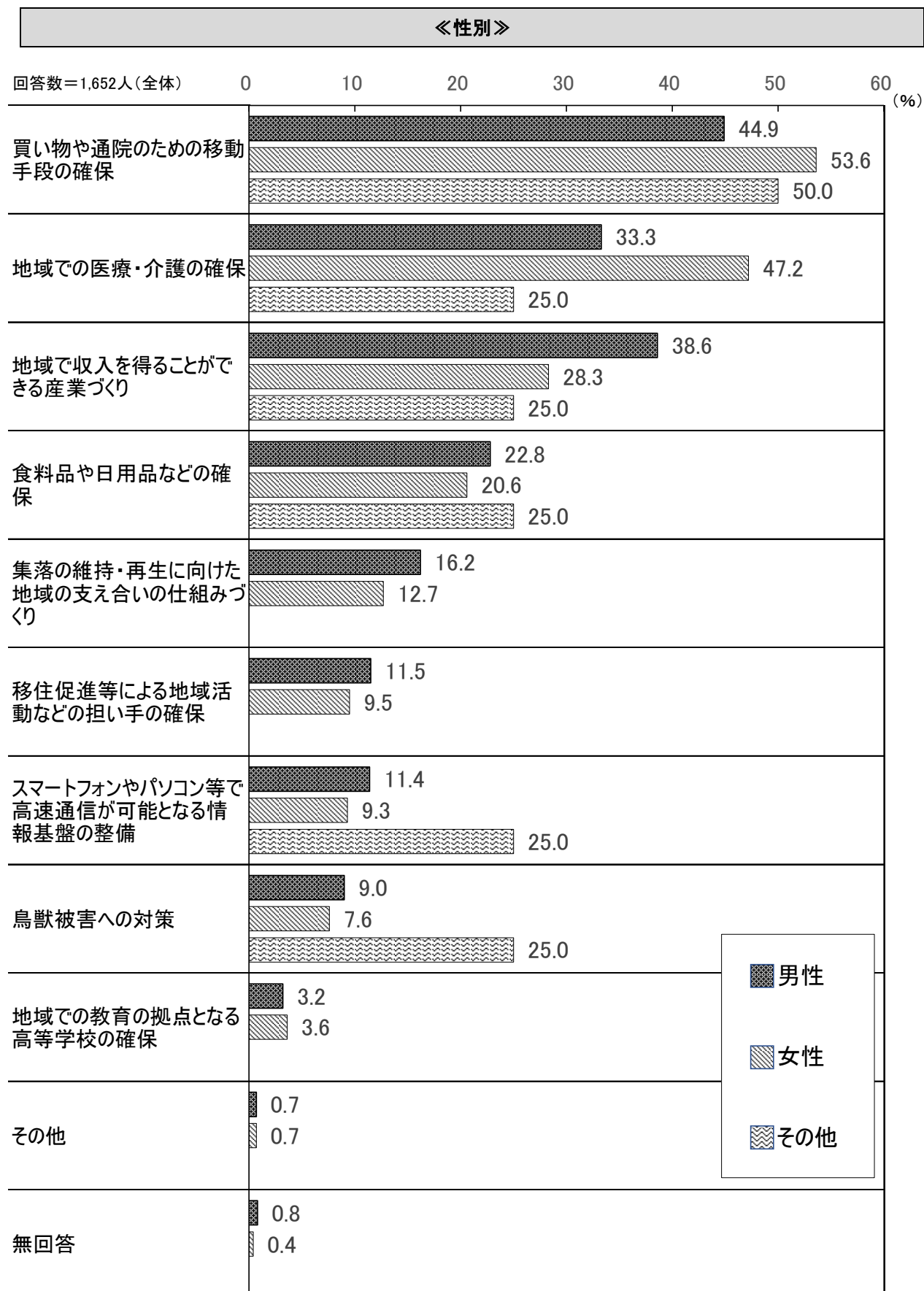
昨年度と同じく今年度も「買い物や通院のための移動手段の確保」が1位になっており、以降の順位も同じ傾向になっている。

《経年比較》



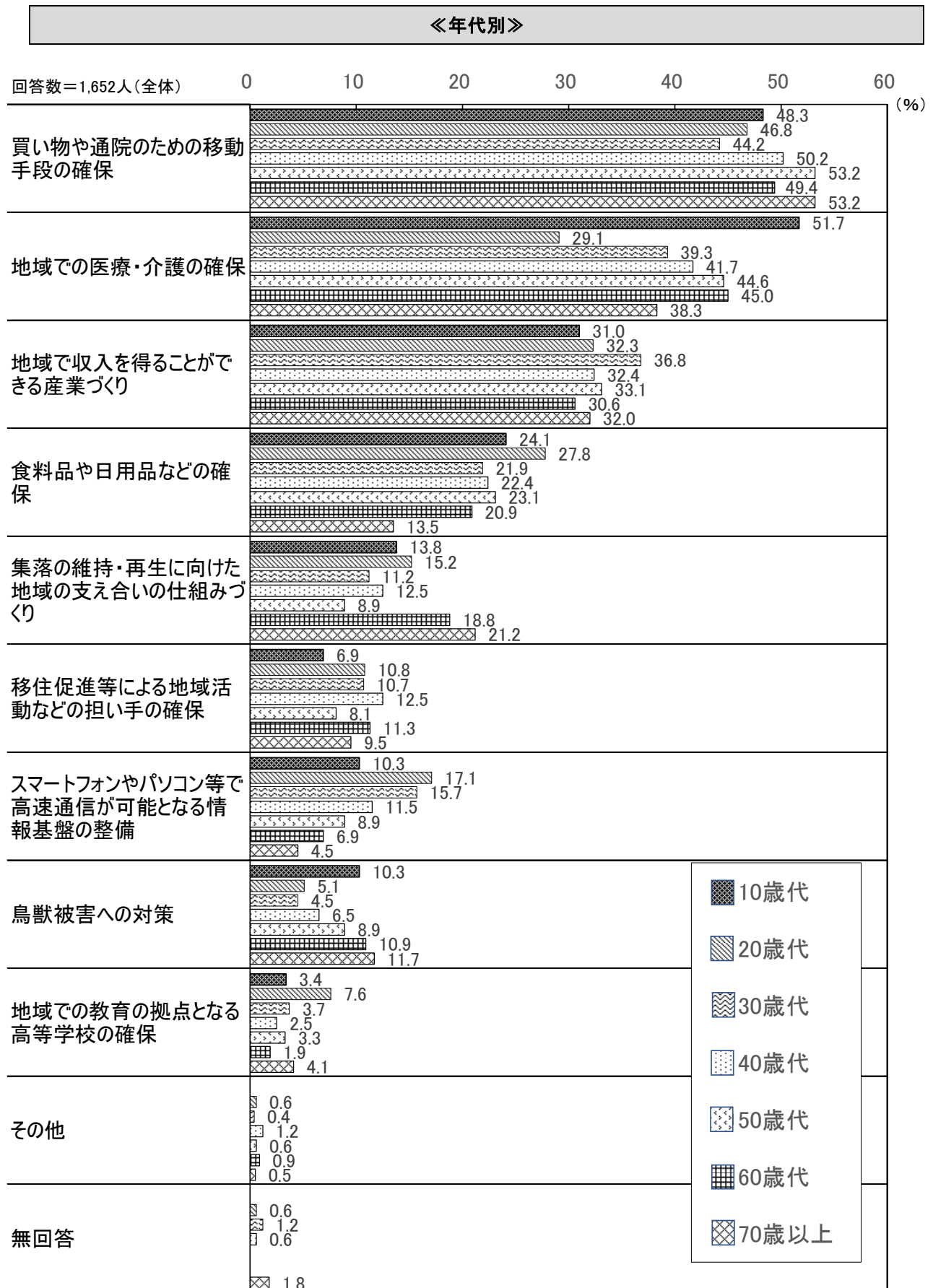
【性別】

男女ともに「買い物や通院のための移動手段の確保」が最も高くなっており、次いで、男性では「地域で収入を得ることができる産業づくり」、女性では「地域での医療・介護の確保」が続いている。



【年代別】

10歳代では「地域での医療・介護の確保」がもっとも高く、20歳代から70歳以上では「買い物や通院のための移動手段の確保」が最も高くなっている。



(5)「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について

問5 「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

【総合】

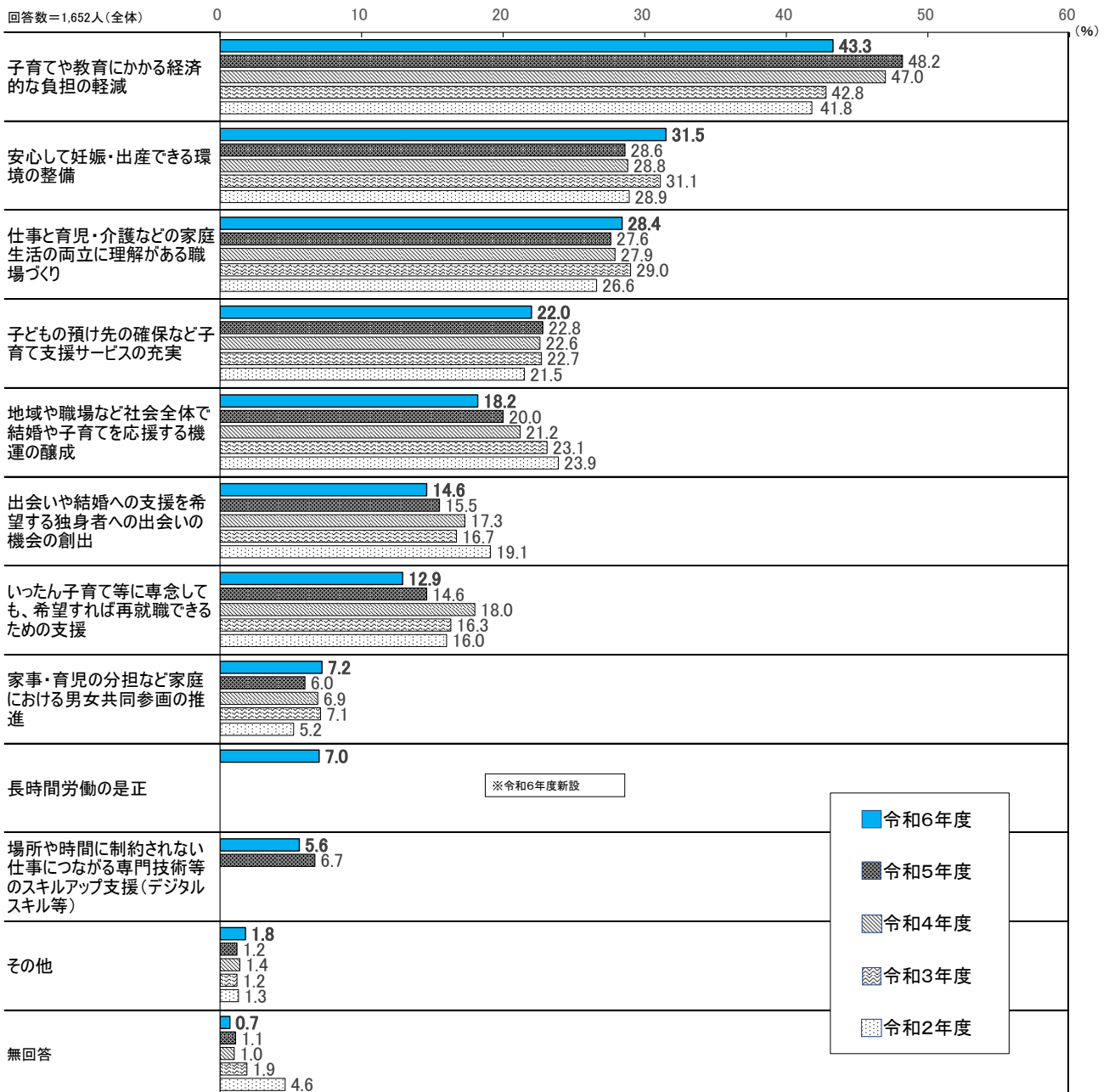
「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が43.3%と1位になっている。

次いで、「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が31.5%、「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」が28.4%と続いている。

【過去の調査との比較】

選択肢の一部が変更されたため単純な比較はできないが、昨年度と同じく今年度も「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が1位になっているが、昨年度より4.9ポイント減少し、2位の「安心して妊娠・出産できる環境の整備」は2.9ポイント増加している。

《経年比較》

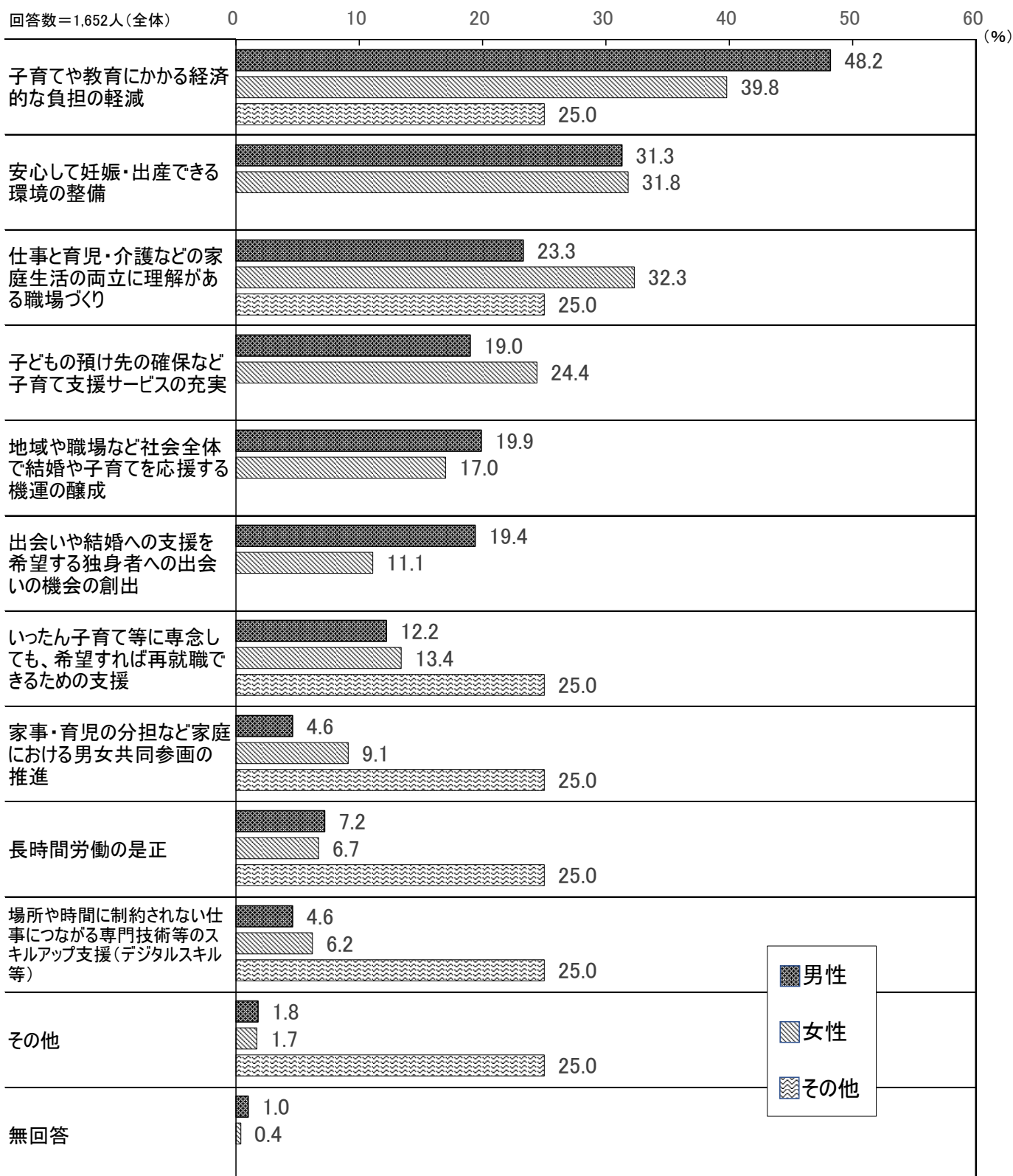


【性別】

男女ともに「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が最も高くなっており、次いで、男性では「安心して妊娠・出産できる環境の整備」が、女性では「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」が続いている。

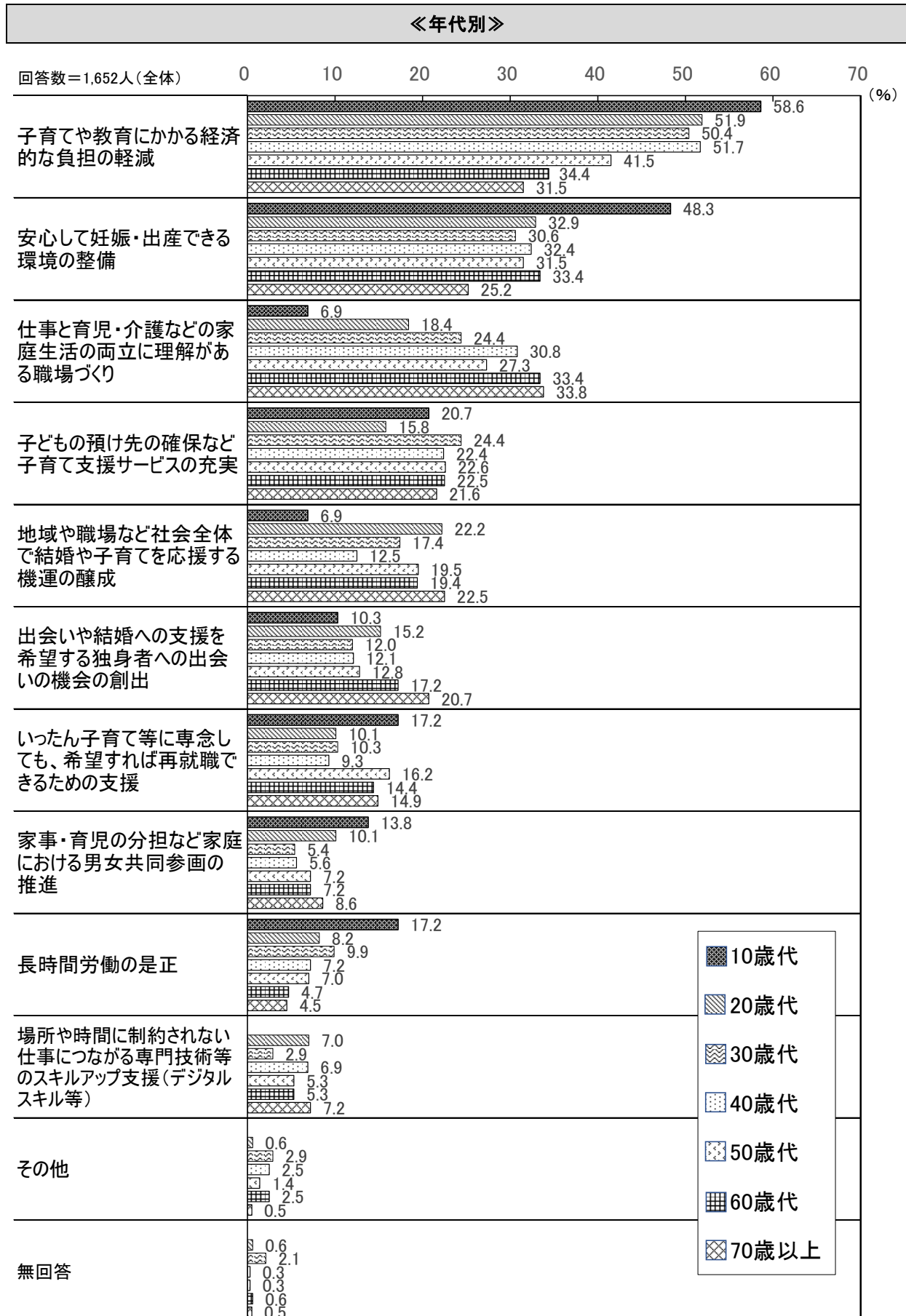
《性別》

回答数=1,652人(全体)



【年代別】

70歳以上を除くすべての年代で「子育てや教育にかかる経済的な負担の軽減」が、70歳以上では「仕事と育児・介護などの家庭生活の両立に理解がある職場づくり」が最も高くなっている。



(6)「文化芸術の振興」について

問6 文化芸術の振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

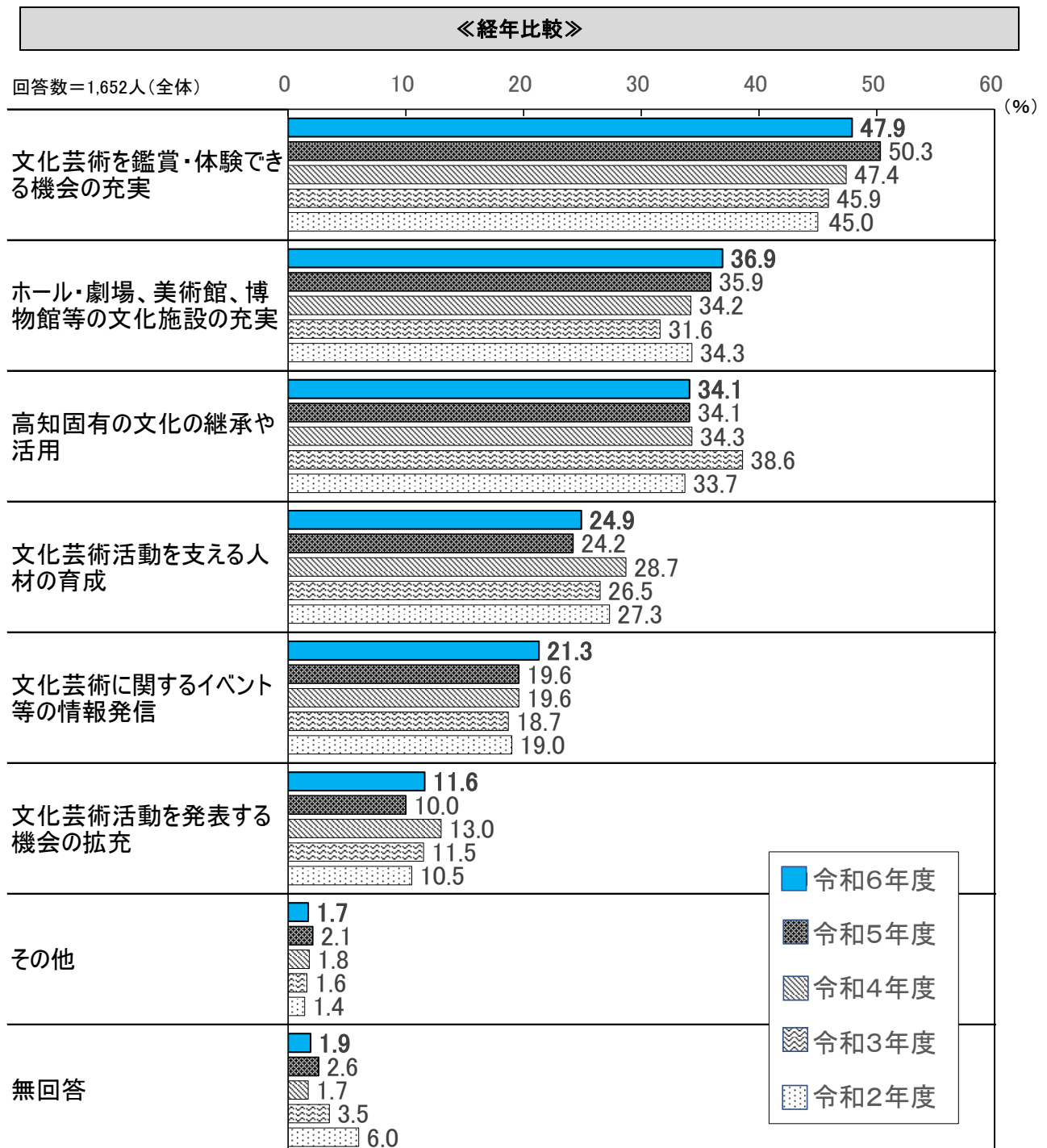
【総合】

「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が47.9%と1位になっている。

次いで、「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が36.9%、「高知固有の文化の継承や活用」が34.1%と続いている。

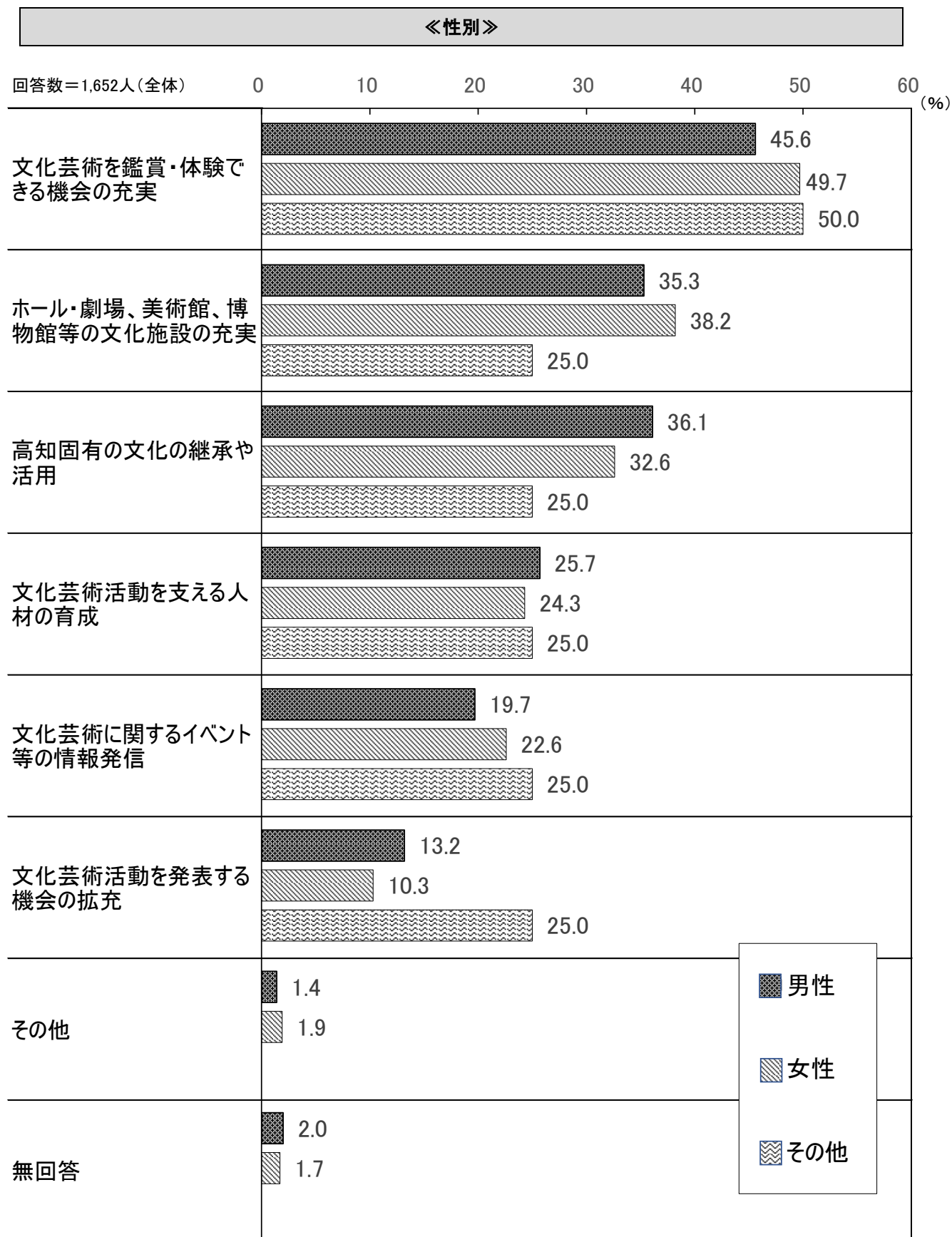
【過去の調査との比較】

昨年度と同じく今年度も「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が1位となっており、以降の順位も同じ傾向になっている。



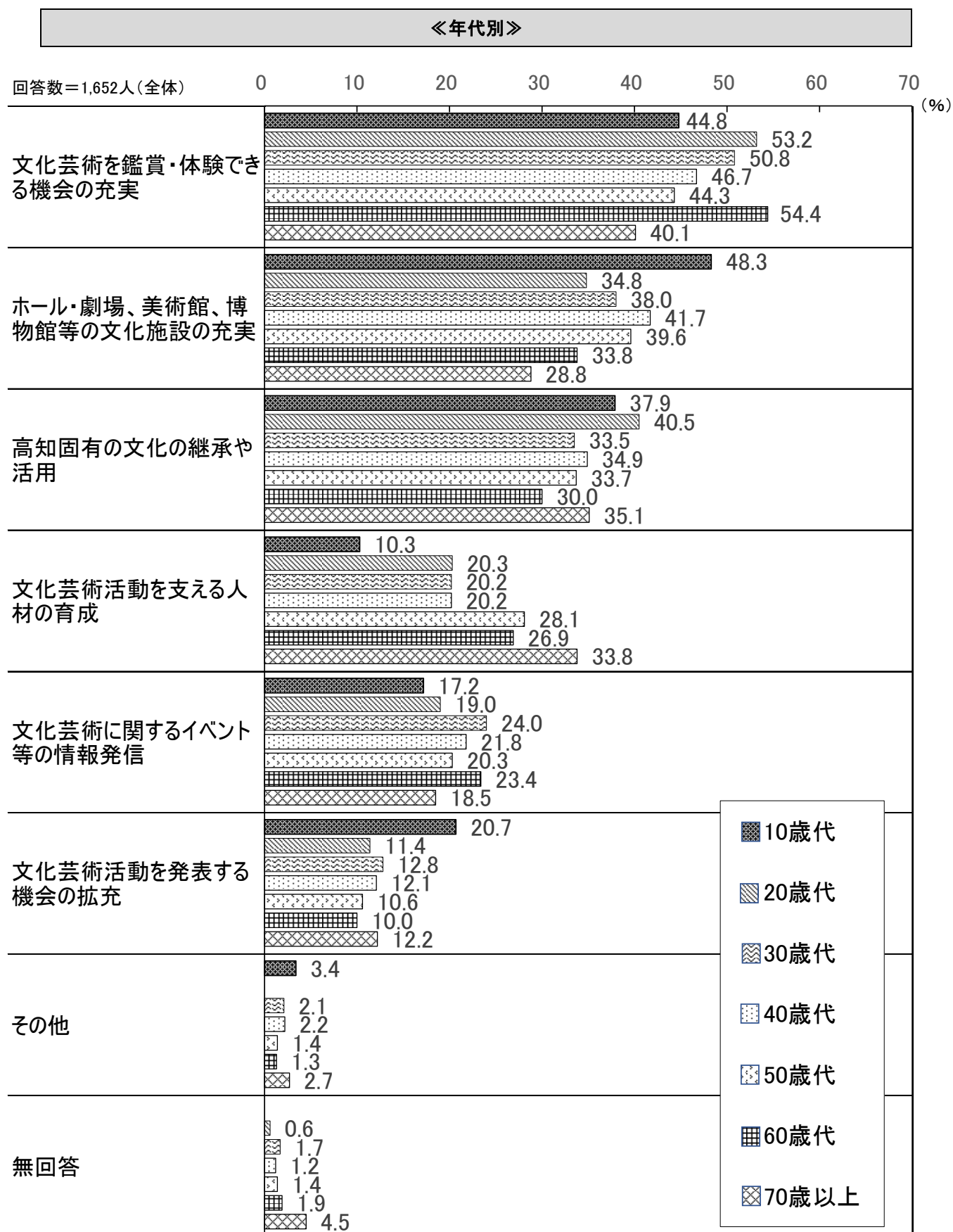
【性別】

男女ともに「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が最も高くなっており、次いで、男性では「高知固有の文化の継承や活用」が、女性では「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が続いている。



【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「文化芸術を鑑賞・体験できる機会の充実」が最も高く、10歳代では「ホール・劇場、美術館、博物館等の文化施設の充実」が最も高くなっている。



(7)「スポーツの振興」について

問7 スポーツの振興について、特に力を入れるべきものは何ですか。(2つまで○印)

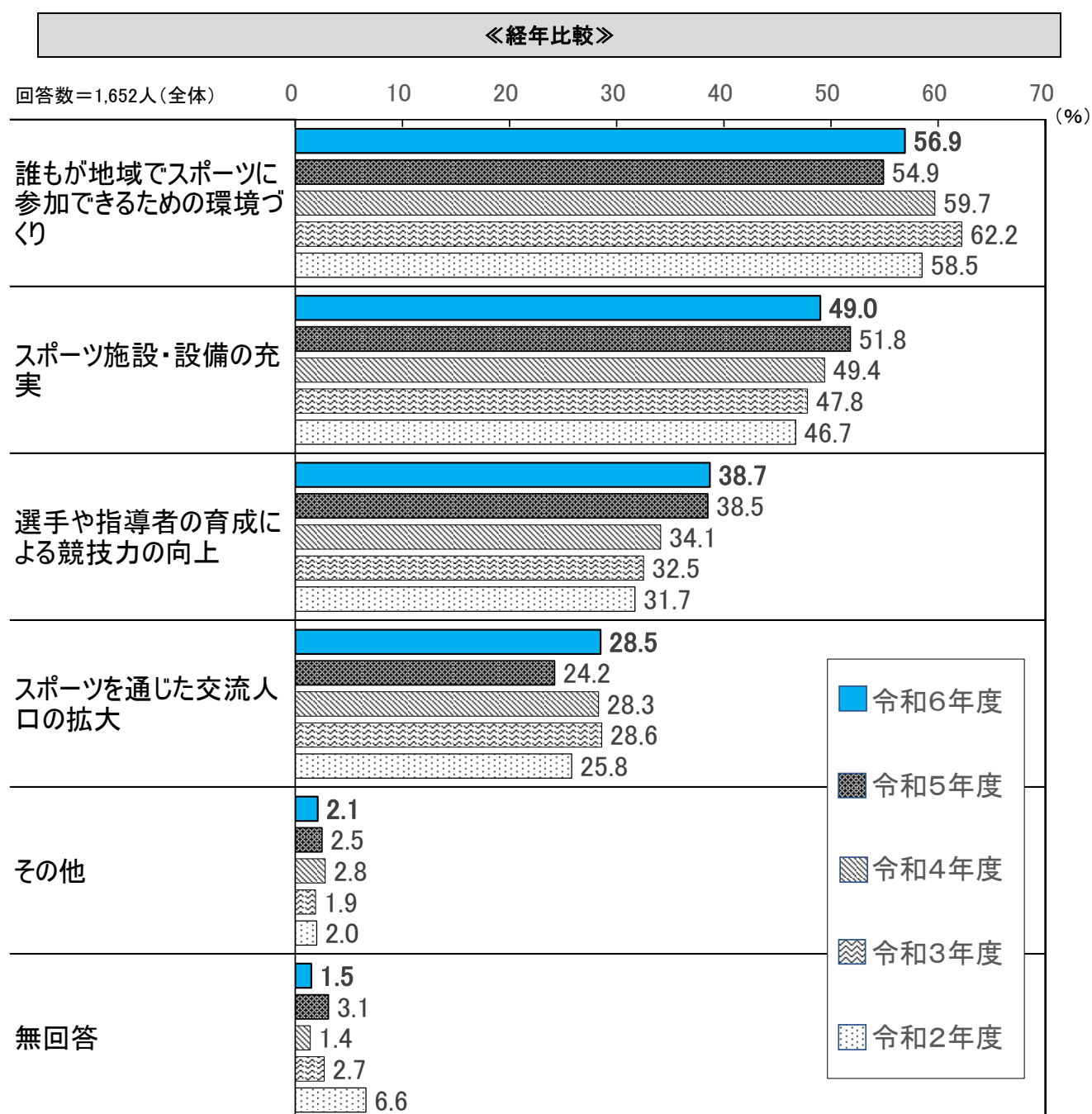
【総合】

「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が56.9%と1位になっている。

次いで、「スポーツ施設・設備の充実」が49.0%、「選手や指導者の育成による競技力の向上」が38.7%と続いている。

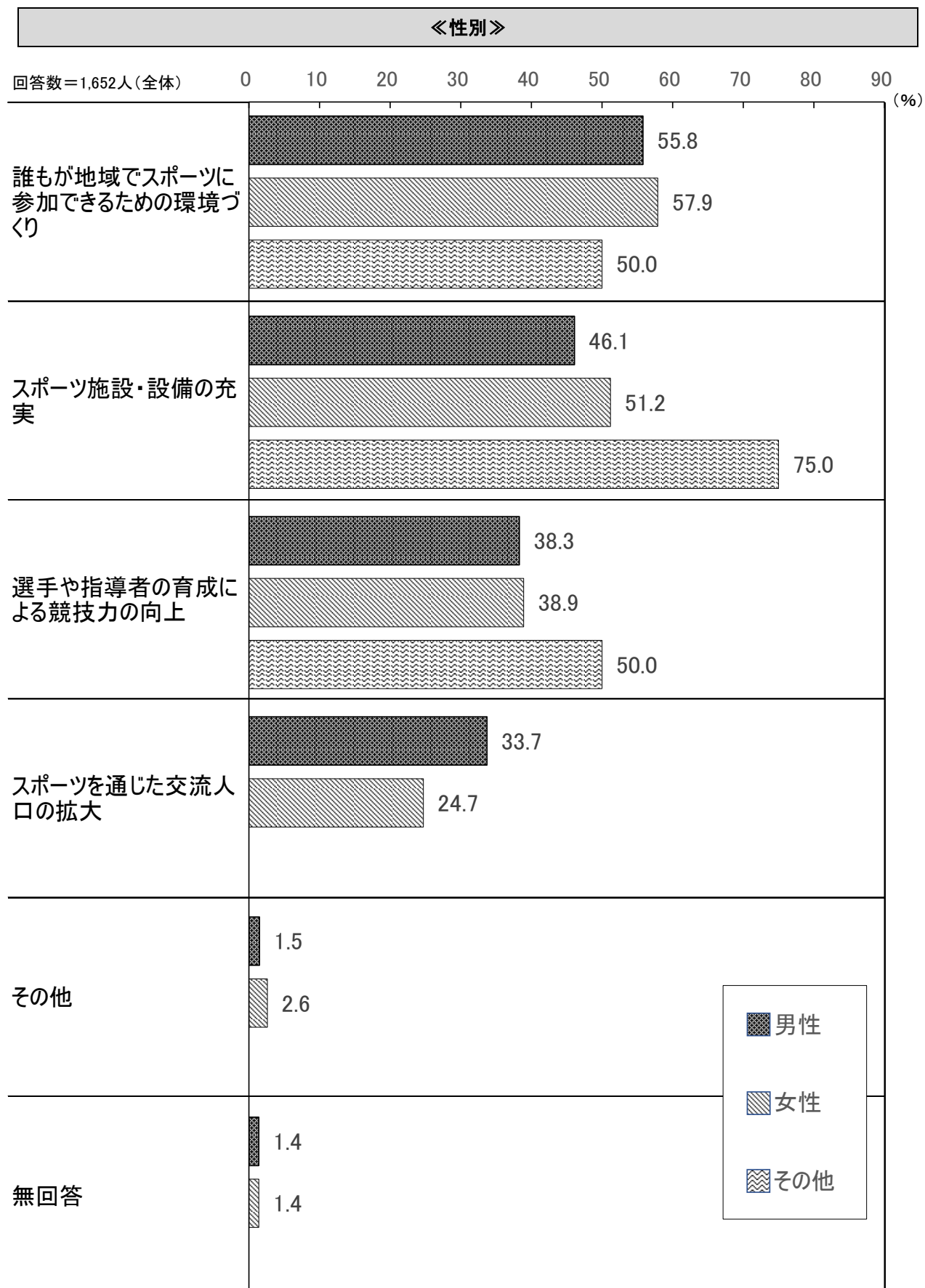
【過去の調査との比較】

昨年度と同じく今年度も「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が1位となっており、以降の順位も同じ傾向になっている。



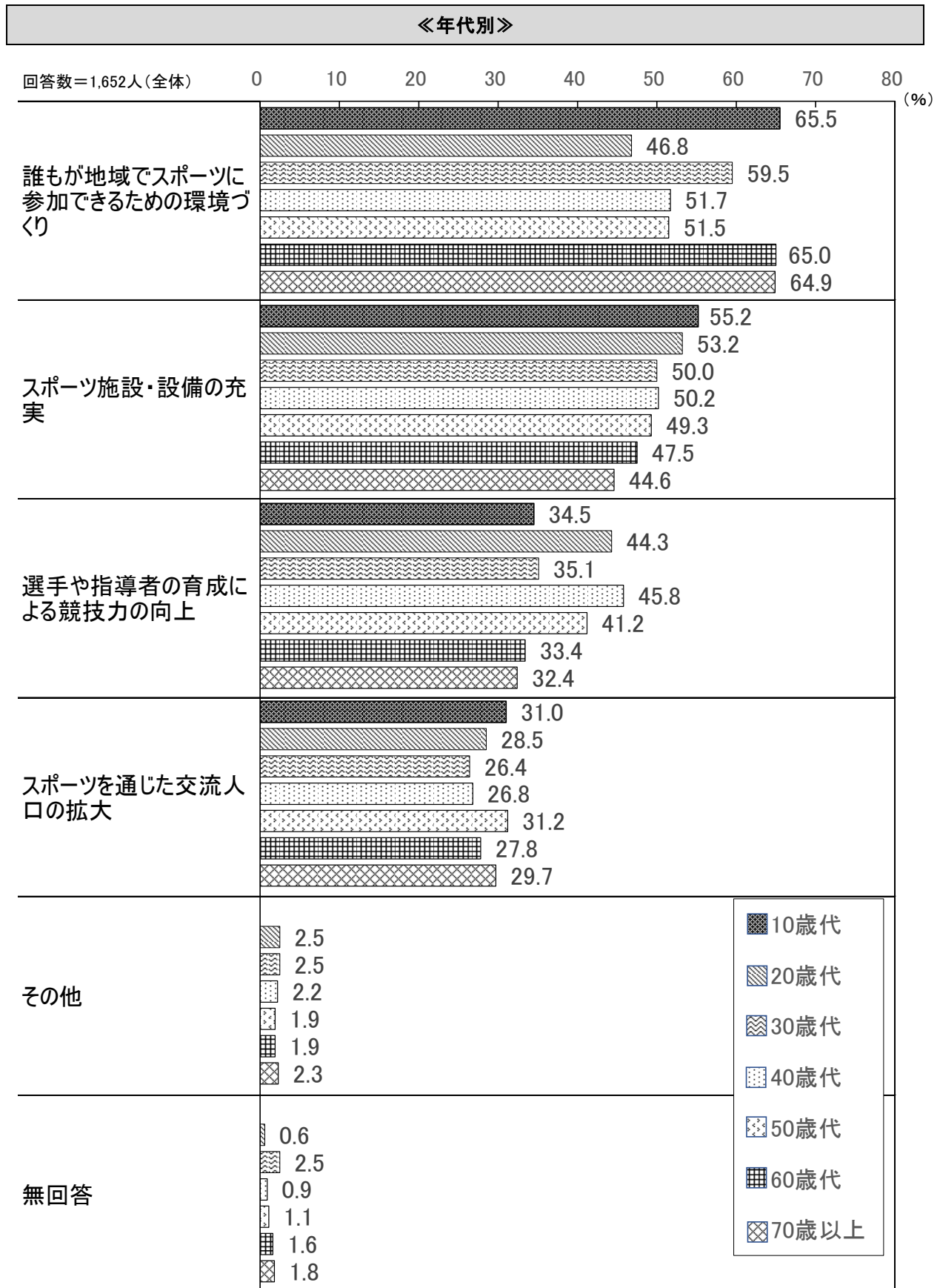
【性別】

男女とも「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が最も高くなっており、以降の順位も同じ傾向になっている



【年代別】

20 歳代を除くすべての年代で「誰もが地域でスポーツに参加できるための環境づくり」が最も高く、20 歳代では「スポーツ施設・設備の充実」が最も高くなっている。



(8)「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について

問8 「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」について、第5期南海トラフ地震対策行動計画に基づき、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。(3つまで○印)

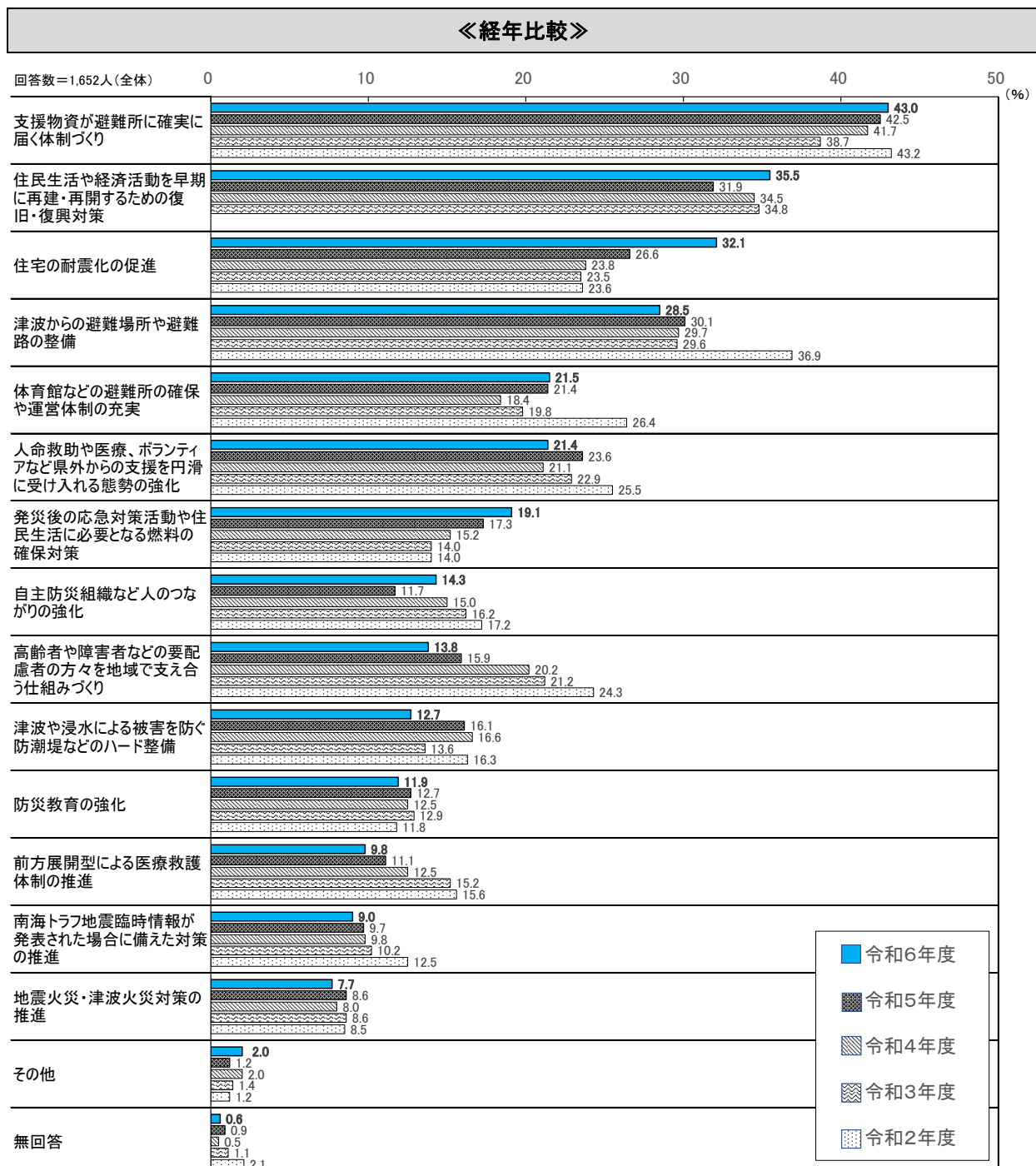
【総合】

「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が43.0%と1位になっている。

次いで、「住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策」が35.5%、「住宅の耐震化の促進」が32.1%と続いている。

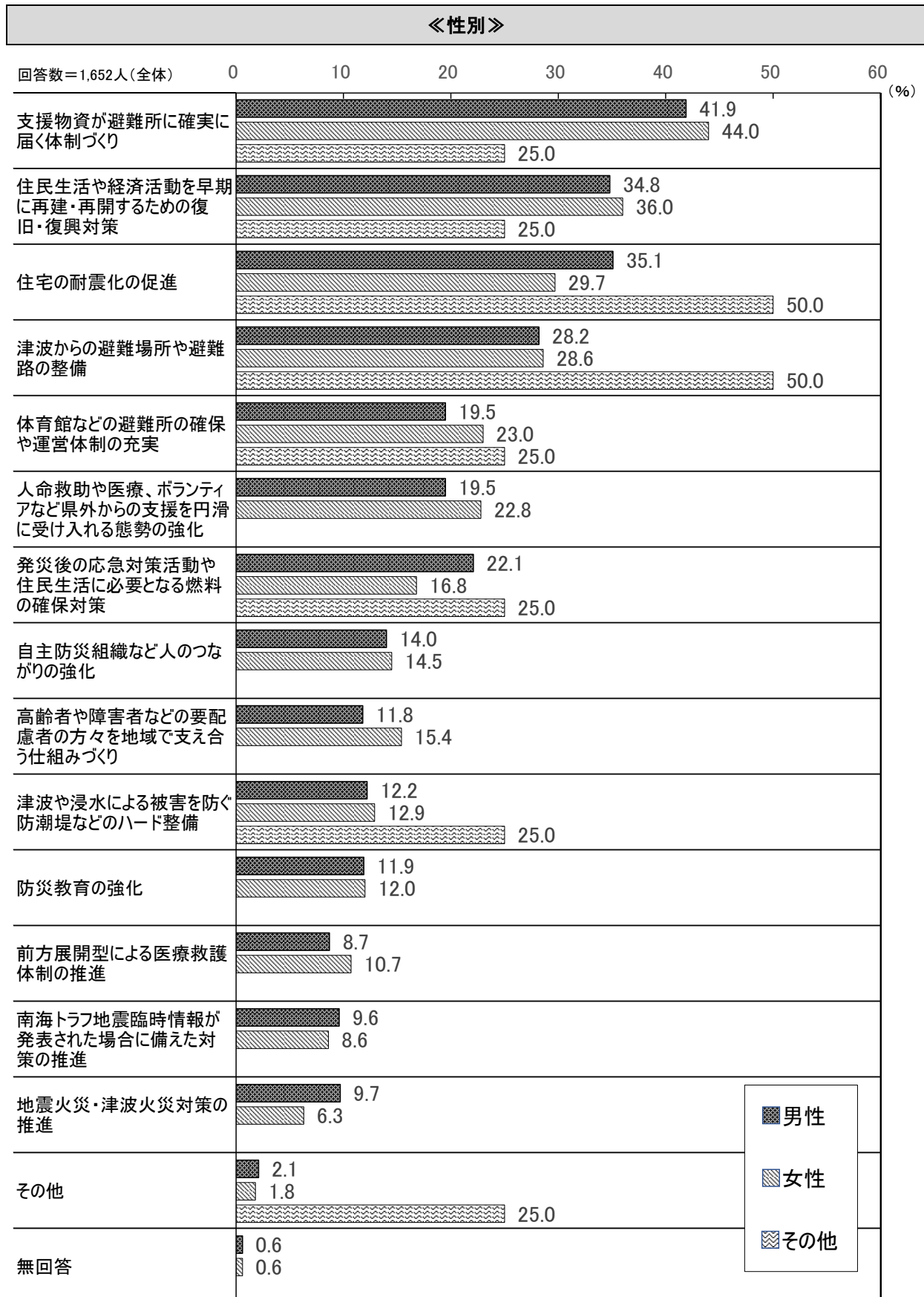
【過去の調査との比較】

昨年度と同じく、今年度も「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が1位に、「住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策」が2位になっている。



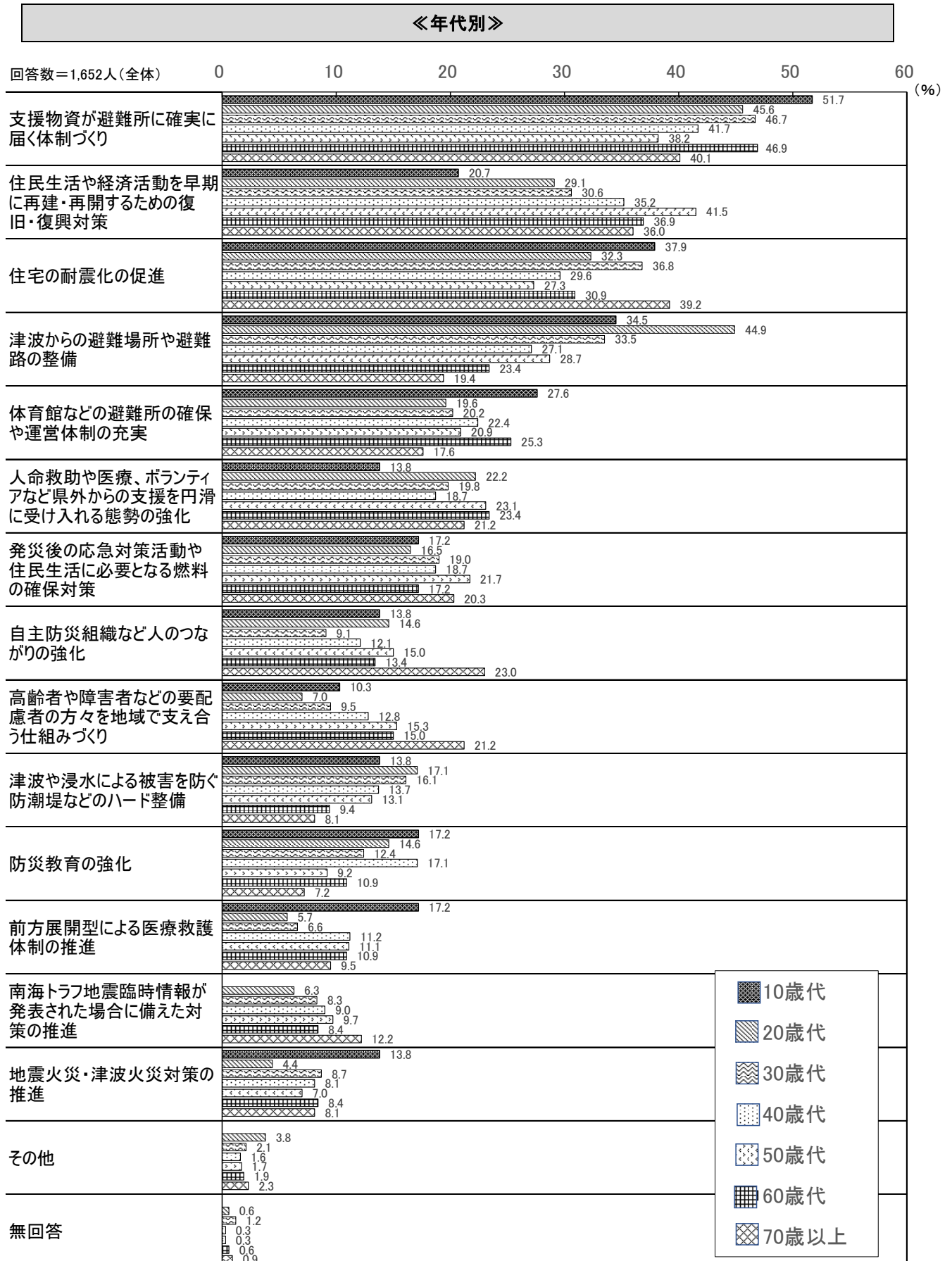
【性別】

男女ともに「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が最も高くなっており、次いで、男性では「住宅の耐震化の促進」が、女性では「住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策」が続いている。



【年代別】

50歳代を除くすべての年代で「支援物資が避難所に確実に届く体制づくり」が最も高く、50歳代では「住民生活や経済活動を早期に再建・再開するための復旧・復興対策」が最も高くなっている。



(9)「インフラの充実と有効活用」について

問9 「インフラの充実と有効活用」について、県が行っている施策のうち特に力を入れるべきものは何ですか。
(2つまで○印)

【総合】

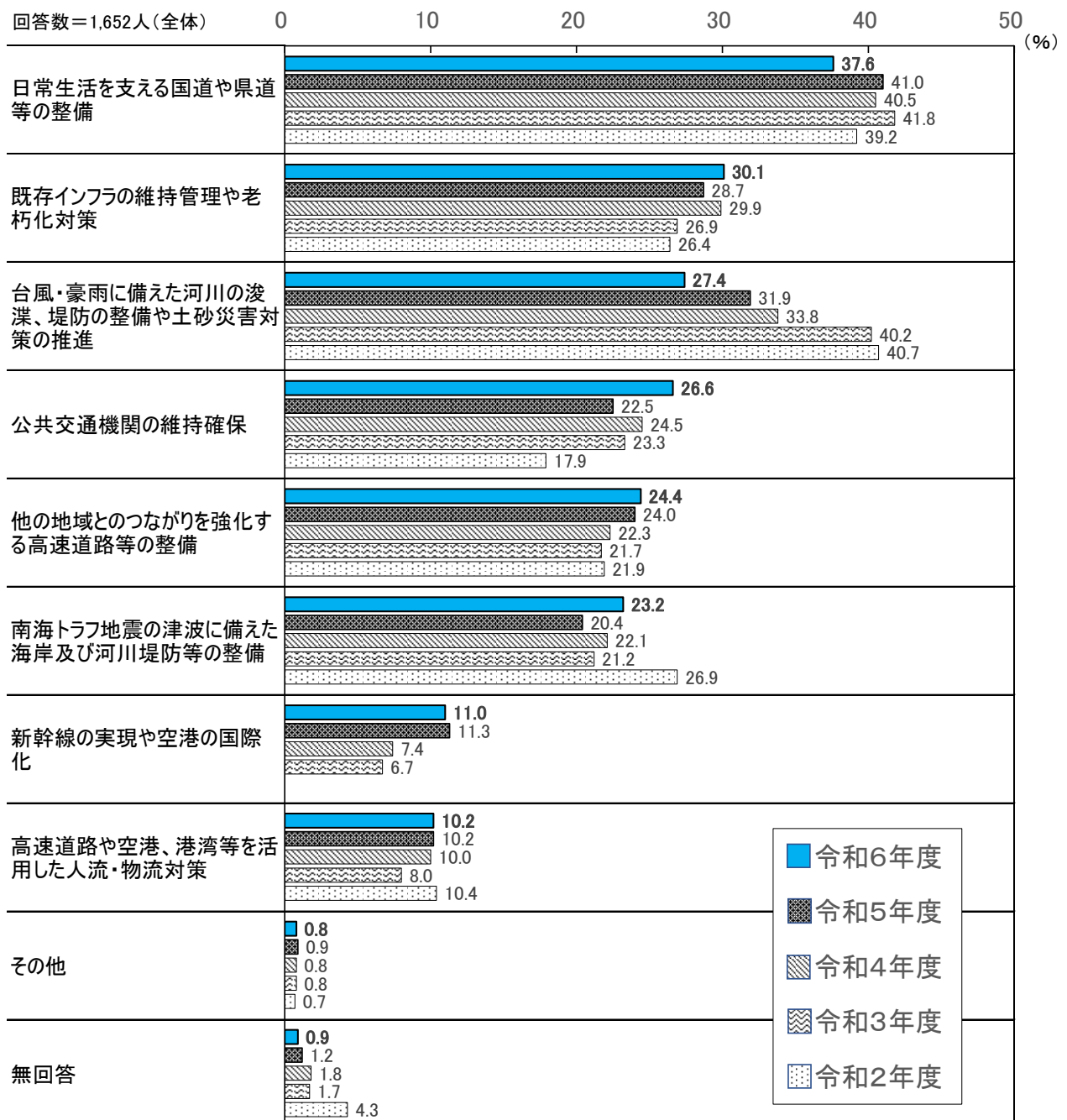
「日常生活を支える国道や県道等の整備」が37.6%と1位になっている。

次いで、「既存インフラの維持管理や老朽化対策」が30.1%、「台風・豪雨に備えた河川の浚渫、堤防の整備や土砂災害対策の推進」が27.4%と続いている。

【過去の調査との比較】

昨年度と同じく今年度も「日常生活を支える国道や県道等の整備」が1位になっている。昨年3位だった「既存インフラの維持管理や老朽化対策」が2位となっている。

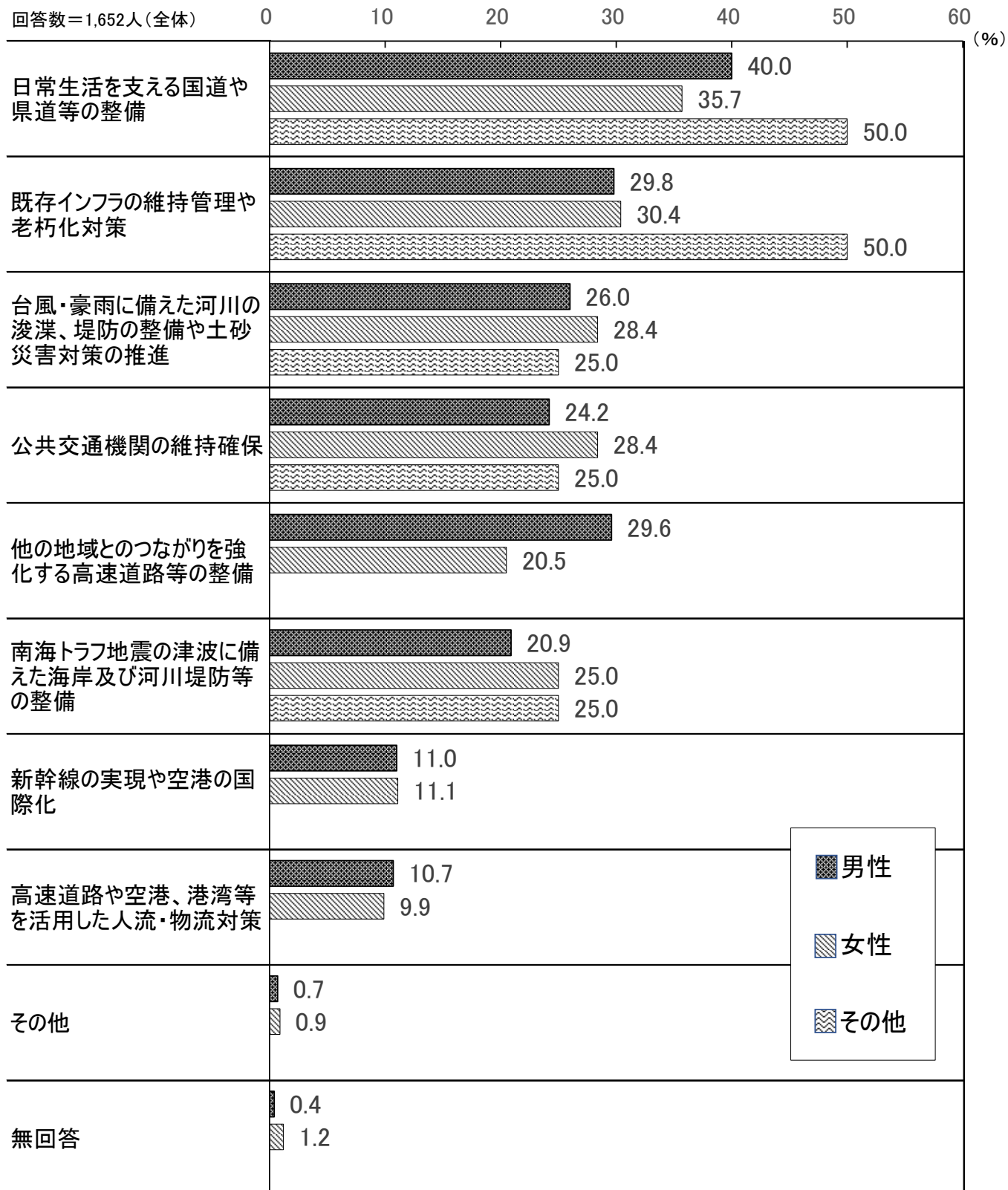
《経年比較》



【性別】

男女ともに「日常生活を支える国道や県道等の整備」が最も高くなっている。また、「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」では、男性が29.6%と女性の20.5%より9.1ポイント高くなっている。

《性別》

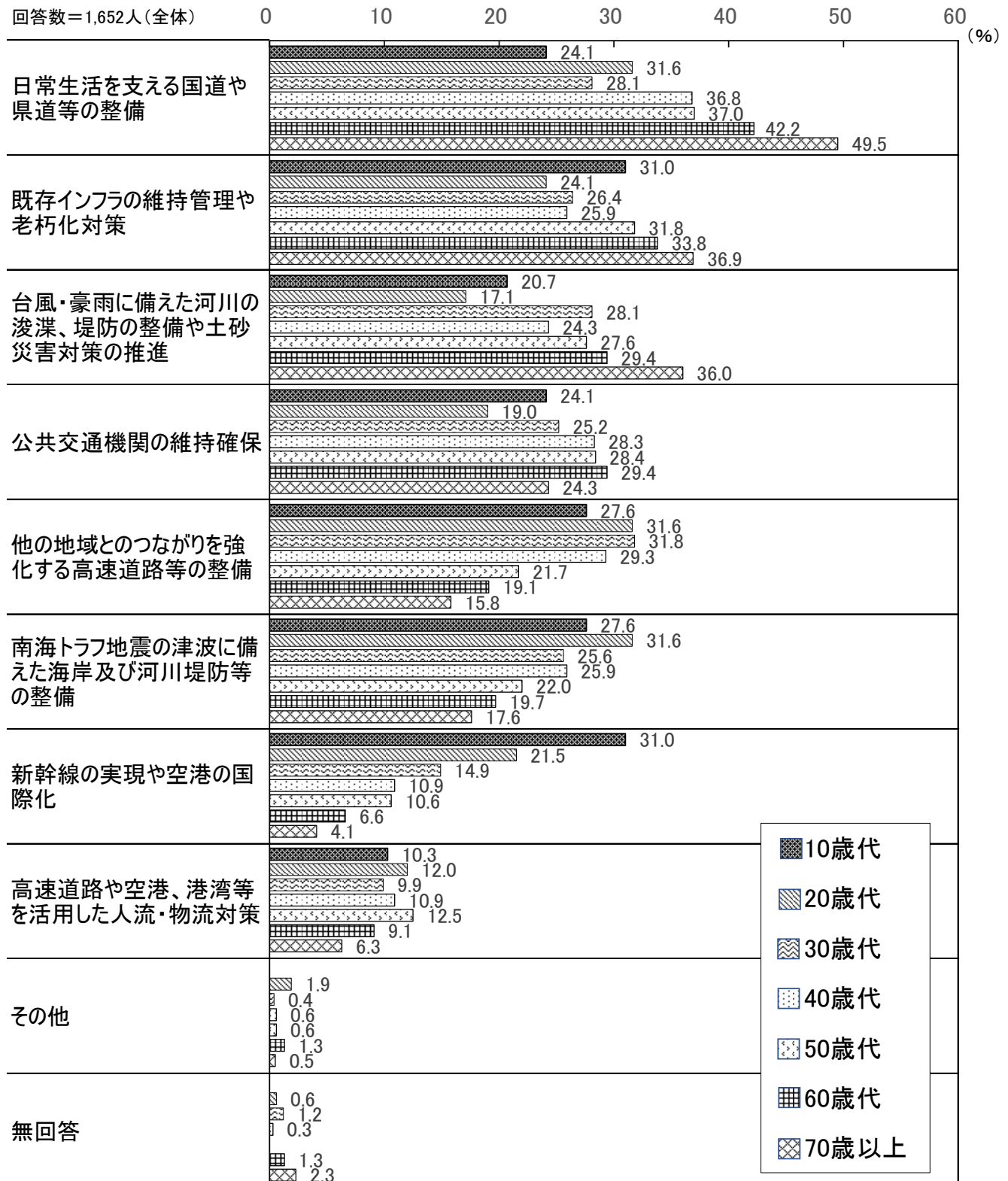


【年代別】

10歳代では同率で「既存インフラの維持管理や老朽化対策」と「新幹線の実現や空港の国際化」が最も高く、30歳代では、「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」が、20歳代、40歳代、50歳代、60歳代、70歳以上では「日常生活を支える国道や県道等の整備」が最も高く、また、20歳代では同率で「他の地域とのつながりを強化する高速道路等の整備」、「南海トラフ地震の津波に備えた海岸及び河川堤防等の整備」が最も高くなっている。

《年代別》

回答数＝1,652人(全体)



(10)「5つの基本政策と3つの横断的にかかわる政策」について

問 10 県が行っている次の1～8の政策のうち、より一層力を入れて取り組むべきだと考えるものは何ですか。
(2つまで○印)

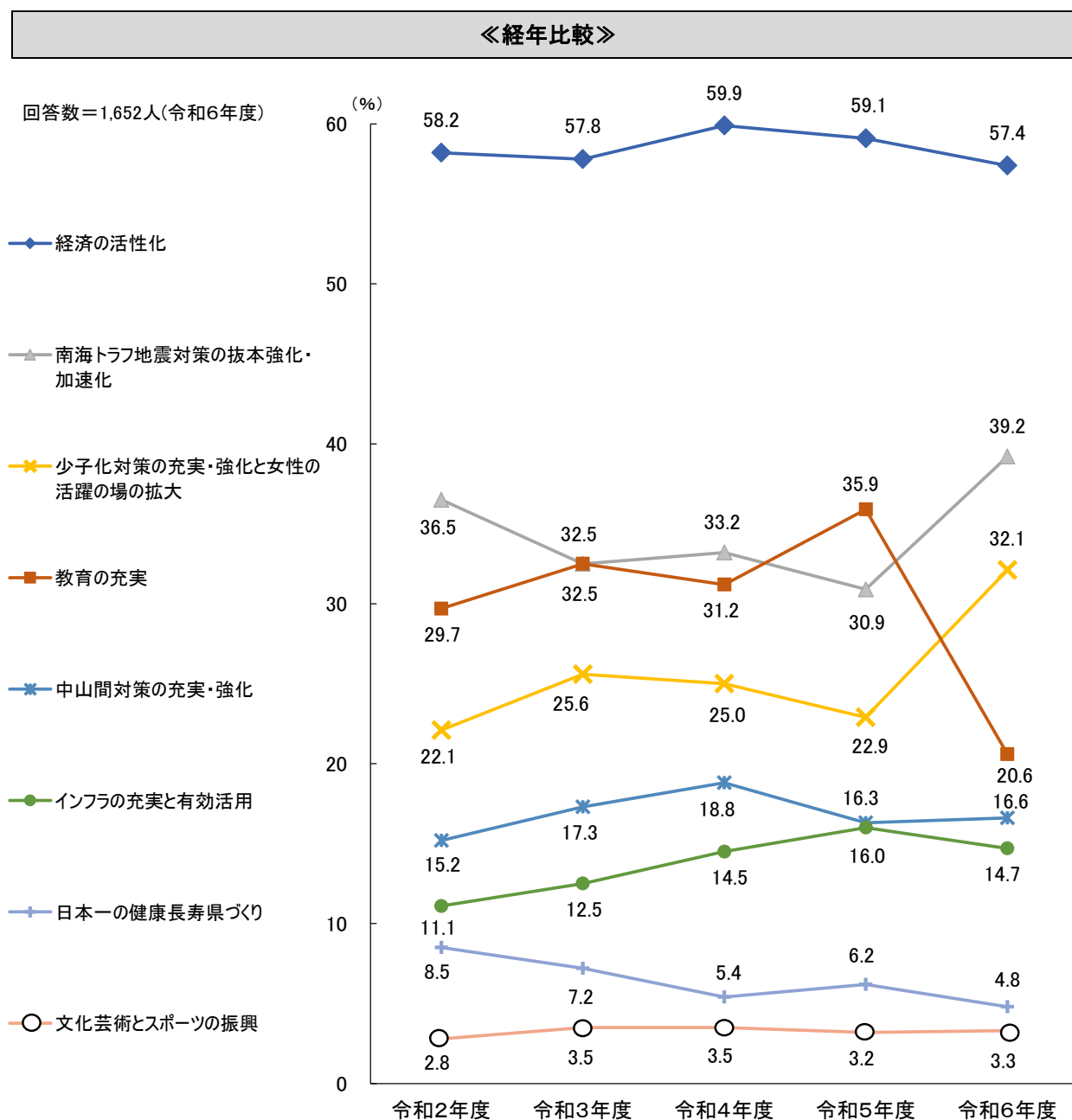
【総合】

「経済の活性化」が57.4%と1位になっている。

次いで、「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が39.2%、「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」が32.1%と続いている。

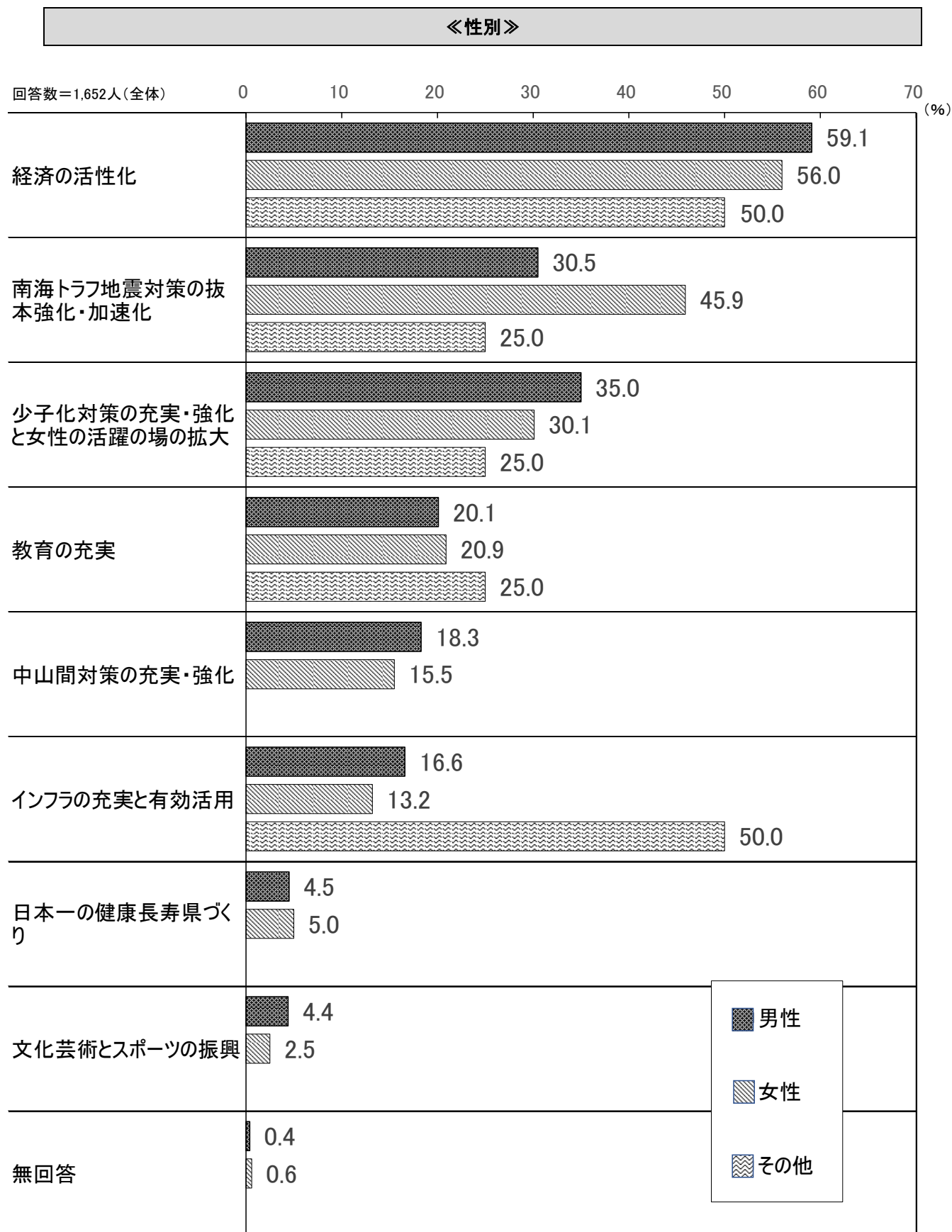
【過去の調査との比較】

今年度も「経済の活性化」が1位となっている。昨年度3位の「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が昨年度より8.3ポイント増加して2位に、昨年4位の「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」が昨年度より9.2ポイント増加して3位になっている。また、昨年2位の「教育の充実」は昨年度より15.3ポイント減少し4位になっている。



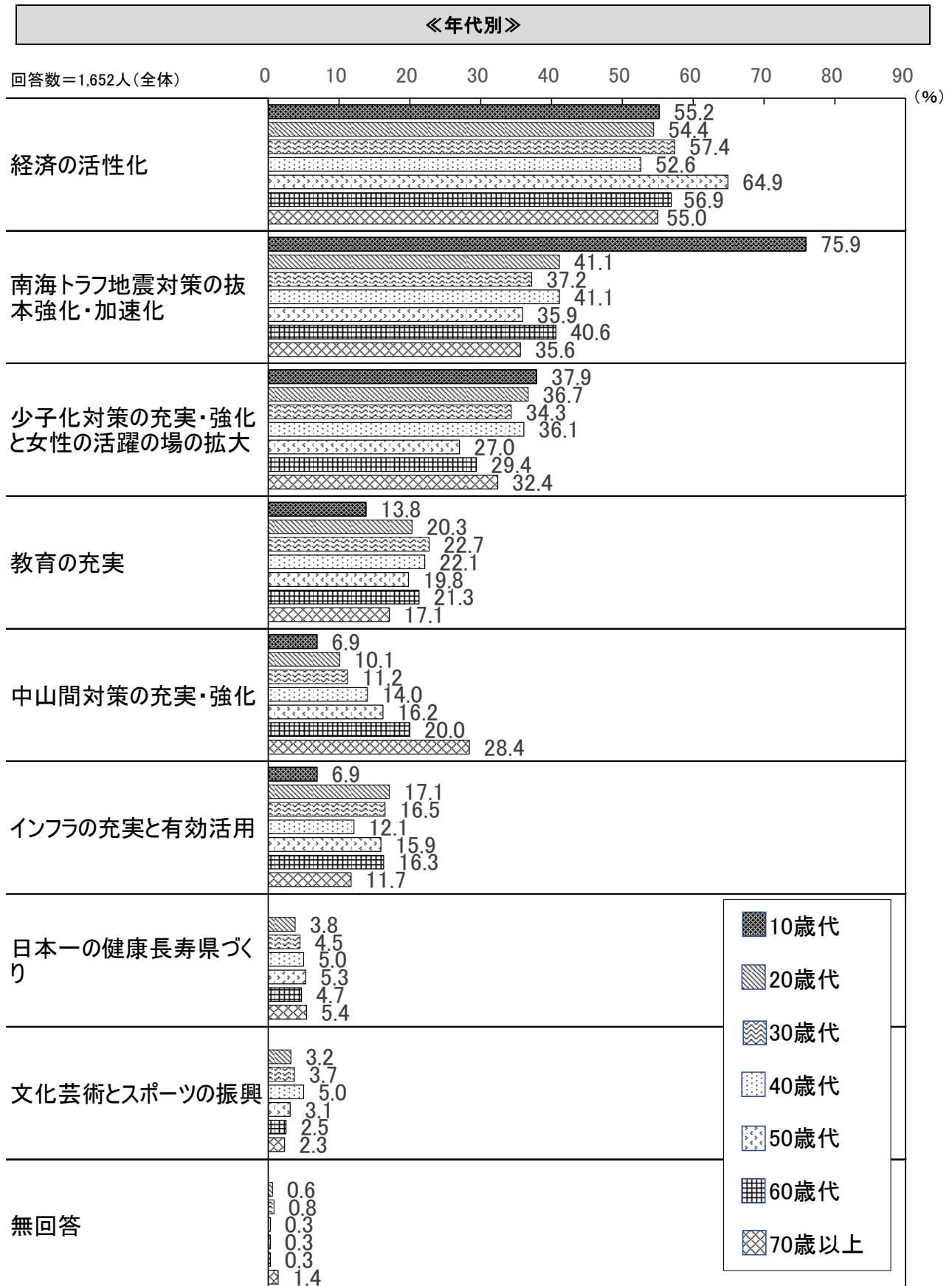
【性別】

男女ともに「経済の活性化」が最も高くなっており、次いで男性では「少子化対策の充実・強化と女性の活躍の場の拡大」が、女性では「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が続いている。



【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「経済の活性化」が最も高く、10歳代では「南海トラフ地震対策の抜本強化・加速化」が最も高くなっている。



2. 県の人口減少対策について

問12 あなたは、高知県出身ですか。(1つだけ○印)

※小学校から高校までの12年間のうち6年以上高知県で過ごしている場合に高知県出身としてください。

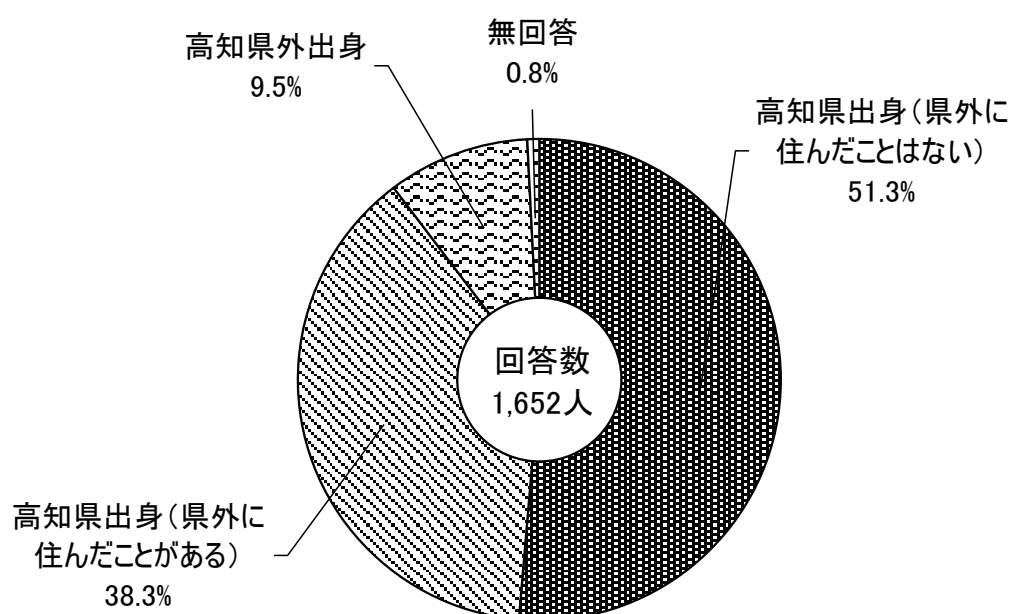
※高知県外に1年以上住んだことがある場合に、「県外に住んだことがある」としてください。

【総合】

「高知県出身（県外に住んだことはない）」が51.3%と1位になっている。

次いで、「高知県出身（県外に住んだことがある）」が38.3%、「高知県外出身」が9.5%と続いている。

《総合》



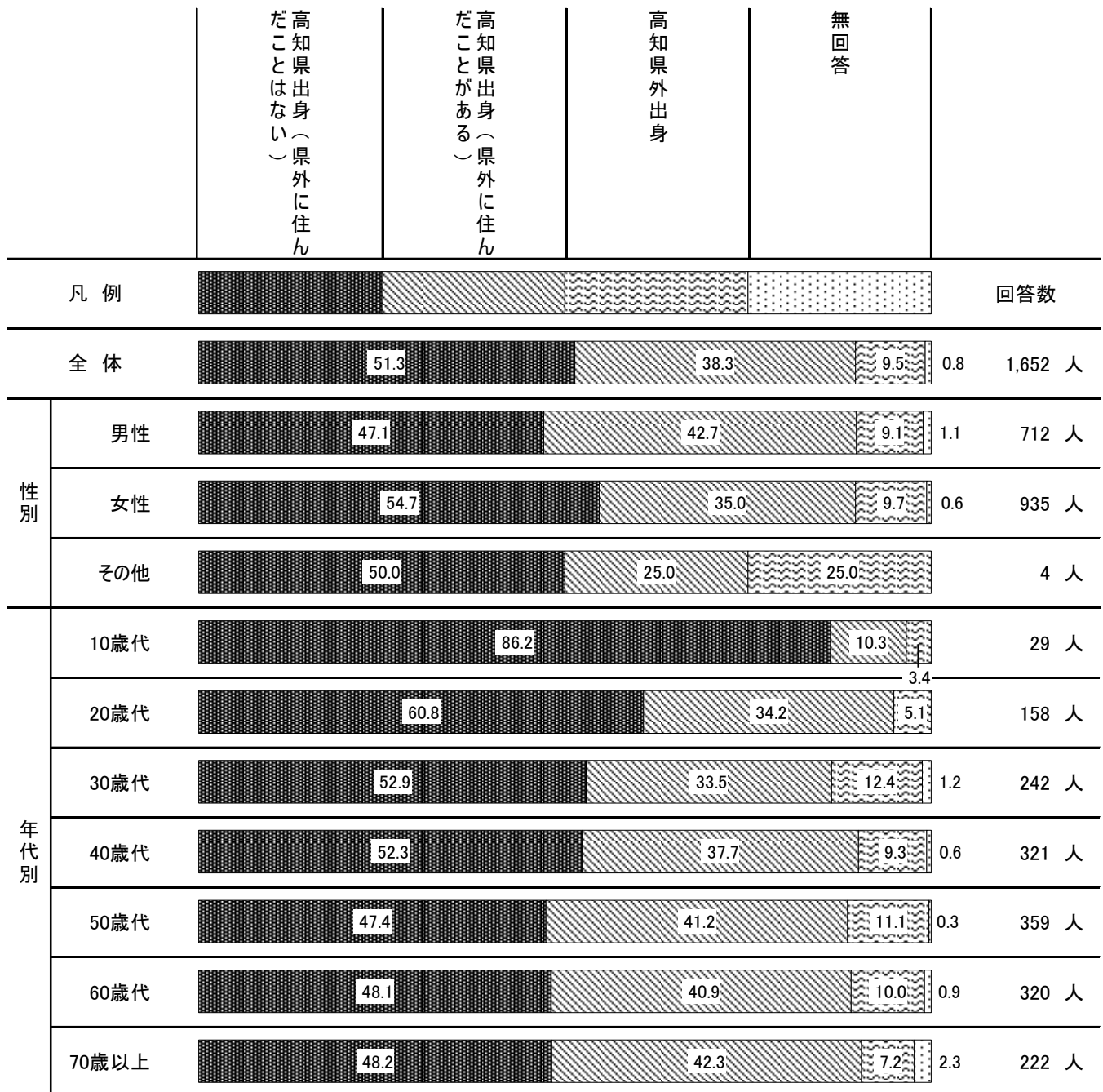
【性別】

男女ともに「高知県出身（県外に住んだことはない）」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「高知県出身（県外に住んだことはない）」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

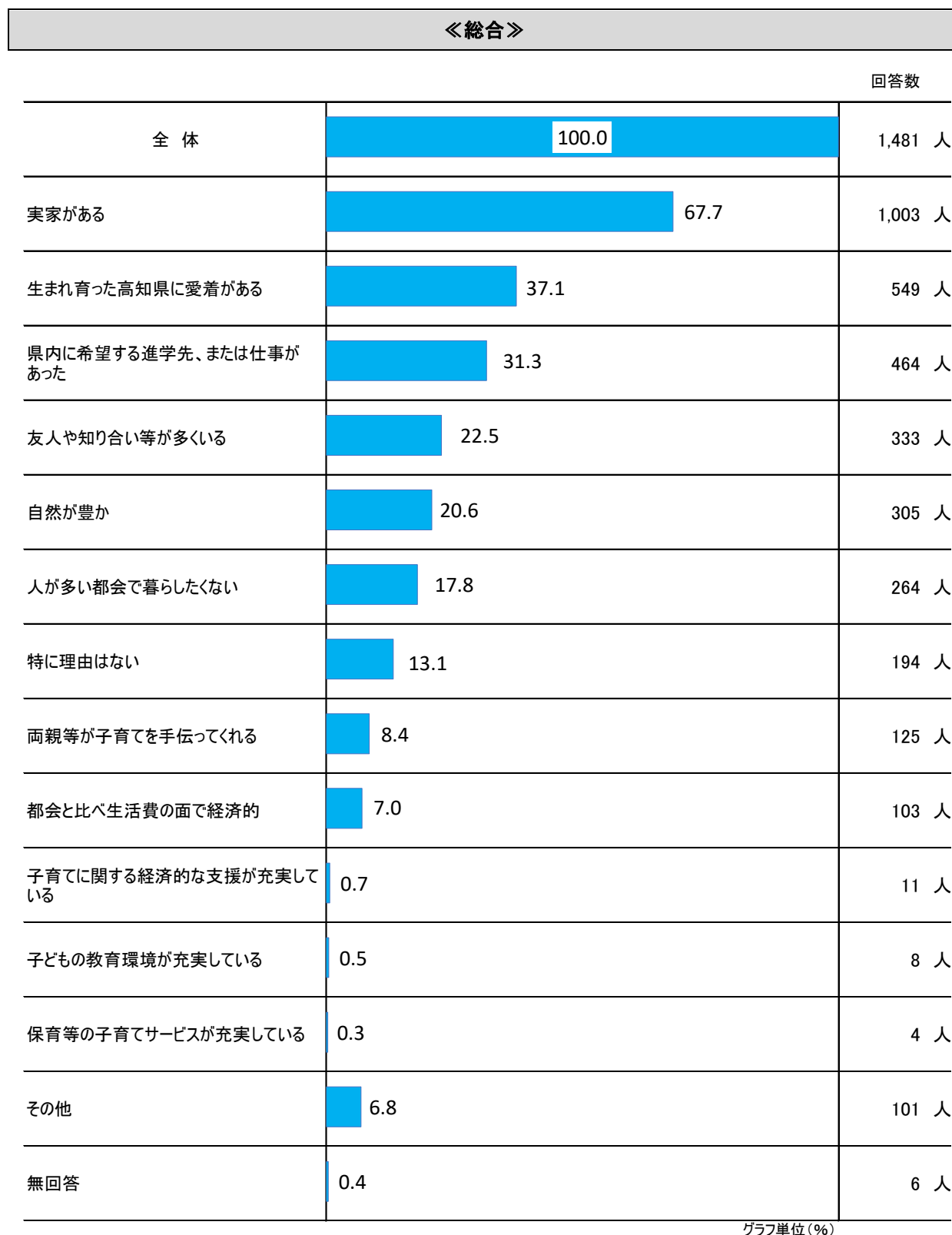
副問1 (問12で「1」、「2」を選んだ方のみお答えください。)

あなたが現在、高知に住み続けている、または高知に帰ってきた理由は何ですか。(3つまで○印)

【総合】

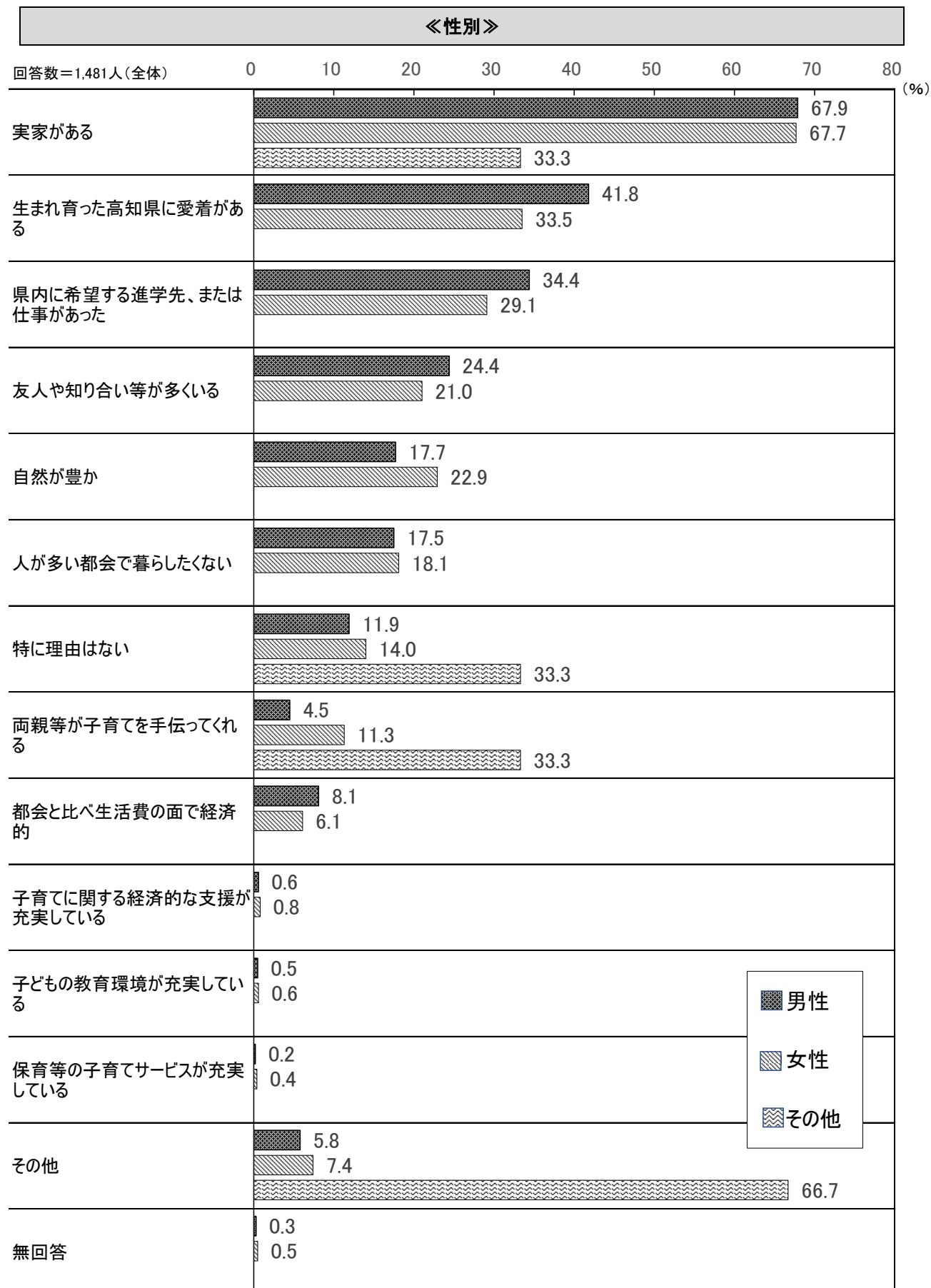
「実家がある」が67.7%と1位になっている。

次いで、「生まれ育った高知県に愛着がある」が37.1%、「県内に希望する進学先、または仕事があった」が31.3%と続いている。



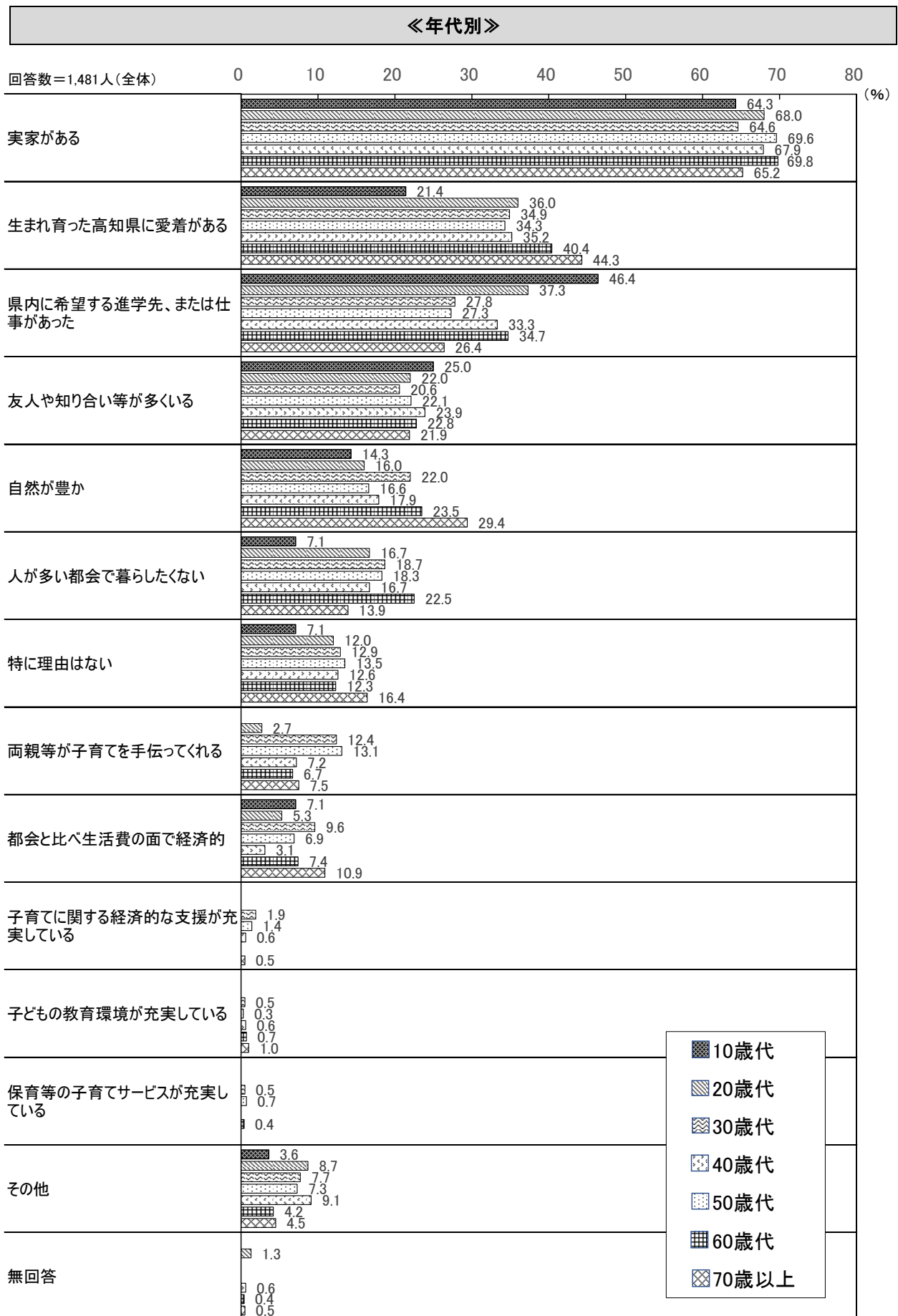
【性別】

男女ともに「実家がある」が最も高くなっている。2位の「生まれ育った高知県に愛着がある」では、男性が41.8%と女性の33.5%よりも8.3ポイント高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「実家がある」が最も高くなっている。



【問 12×問 12 副問 1 のクロス分析】

「あなたは、高知県出身ですか」という質問に対し、「あなたが現在、高知に住み続けている、または高知に帰ってきた理由は何ですか」の結果を見ると、どの出身でも「実家がある」が最も高く、2 番目に高い「生まれ育った高知県に愛着がある」より 30.6 ポイント高くなっている。

《問 12×問 12 副問 1 のクロス分析》

		全体	あなたが現在、高知に住み続けている、または高知に帰ってきた理由は何ですか													
			県内に希望する進学先、または仕事があった	生まれ育った高知県に愛着がある	友人や知り合い等が多くいる	実家がある	両親等が子育てを手伝ってくれる	子育てに関する経済的な支援が充実している	保育等の子育てサービスが充実している	子どもの教育環境が充実している	自然が豊か	都会と比べ生活費の面で経済的	人が多い都会で暮らしたくない	特に理由はない	その他	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)																
全体		1,481	464 31.3	549 37.1	333 22.5	1,003 67.7	125 8.4	11 0.7	4 0.3	8 0.5	305 20.6	103 7.0	264 17.8	194 13.1	101 6.8	6 0.4
あなたは、高知県出身ですか	高知県出身(県外に住んだことはない)	848	35.3	36.1	23.3	60.3	8.1	0.9	0.4	0.7	21.7	6.1	18.0	17.6	5.1	0.1
	高知県出身(県外に住んだことがある)	633	26.1	38.4	21.3	77.7	8.8	0.5	0.2	0.3	19.1	8.1	17.5	7.1	9.2	0.8
	高知県外出身	0	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

副問2 (問12で「3」を選んだ方のみお答えください。)

あなたが、高知に住んでみて良いと感じる点は何ですか。(3つまで○印)

【総合】

「自然が豊か」が 67.5%と 1 位になっている。

次いで、「食べ物が美味しい」が 62.4%、「高知の人があたたかい」が 32.5%と続いている。

《総合》

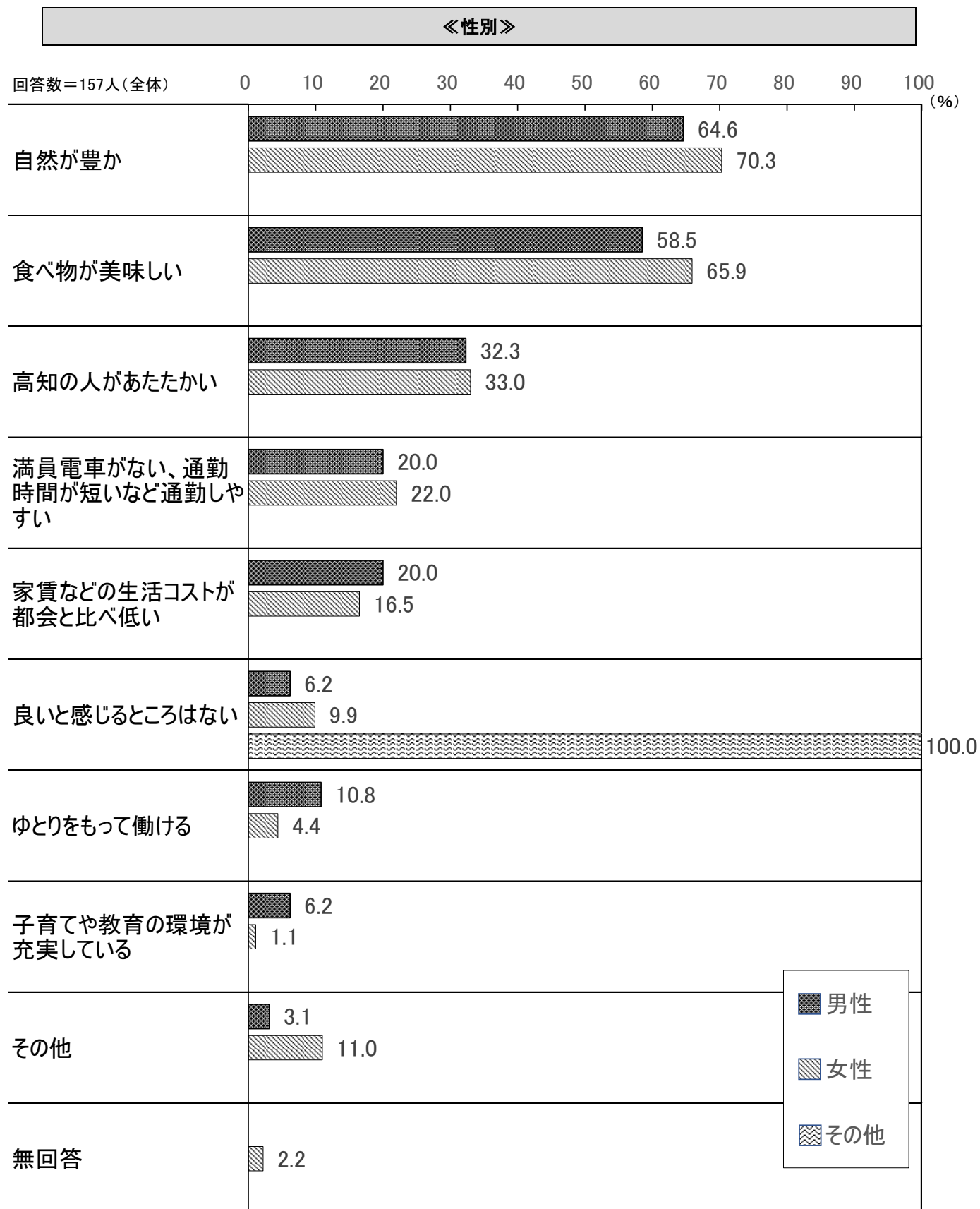
回答数

全 体	100.0	157 人
自然が豊か	67.5	106 人
食べ物が美味しい	62.4	98 人
高知の人があたたかい	32.5	51 人
満員電車がいない、通勤時間が短いなど通勤しやすい	21.0	33 人
家賃などの生活コストが都会と比べ低い	17.8	28 人
良いと感じるところはない	8.9	14 人
ゆとりをもって働ける	7.0	11 人
子育てや教育の環境が充実している	3.2	5 人
その他	7.6	12 人
無回答	1.3	2 人

グラフ単位(%)

【性別】

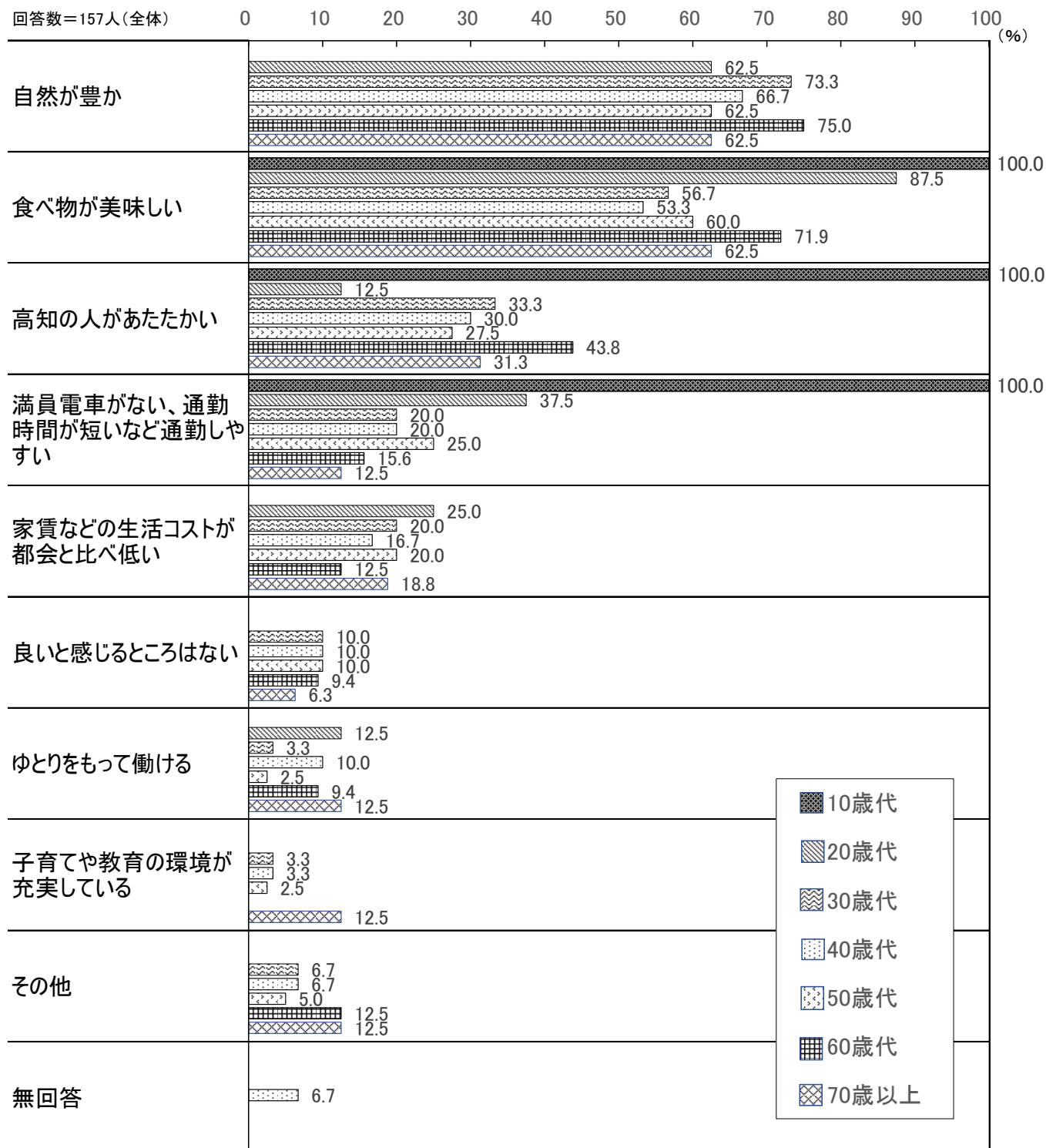
男女ともに「自然が豊か」が最も高くなっている。



【年代別】

20 歳代では「食べ物が美味しい」が最も高く、30 歳代から 60 歳代では「自然が豊か」が、70 歳以上では同率で「自然が豊か」、「食べ物が美味しい」が最も高くなっている。

《年代別》



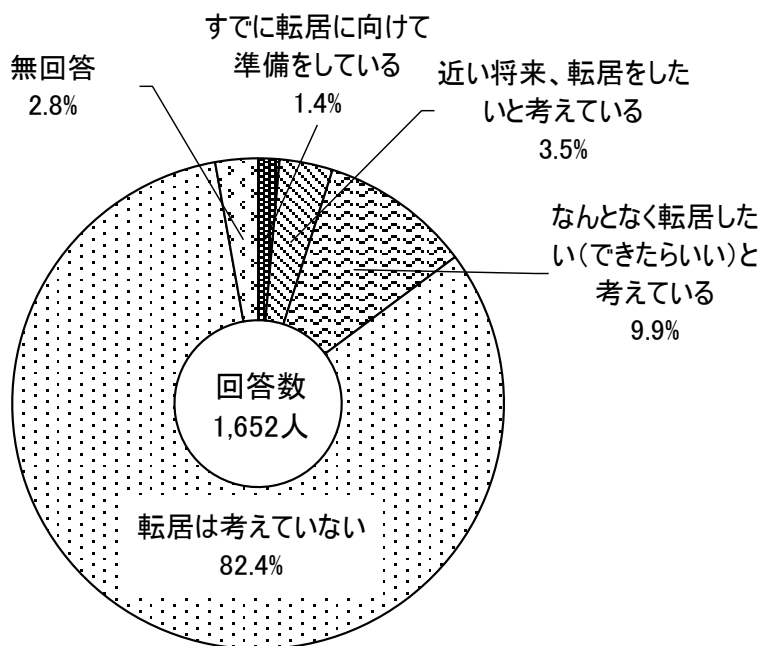
問13 将来、高知県から県外への転居を考えていますか。(最も当てはまるものに1つだけ○印)

【総合】

「転居は考えていない」が82.4%と1位になっている。

次いで、「なんとなく転居したい（できたらいい）と考えている」が9.9%、「近い将来、転居をしたいと考えている」が3.5%と続いている。

《総合》



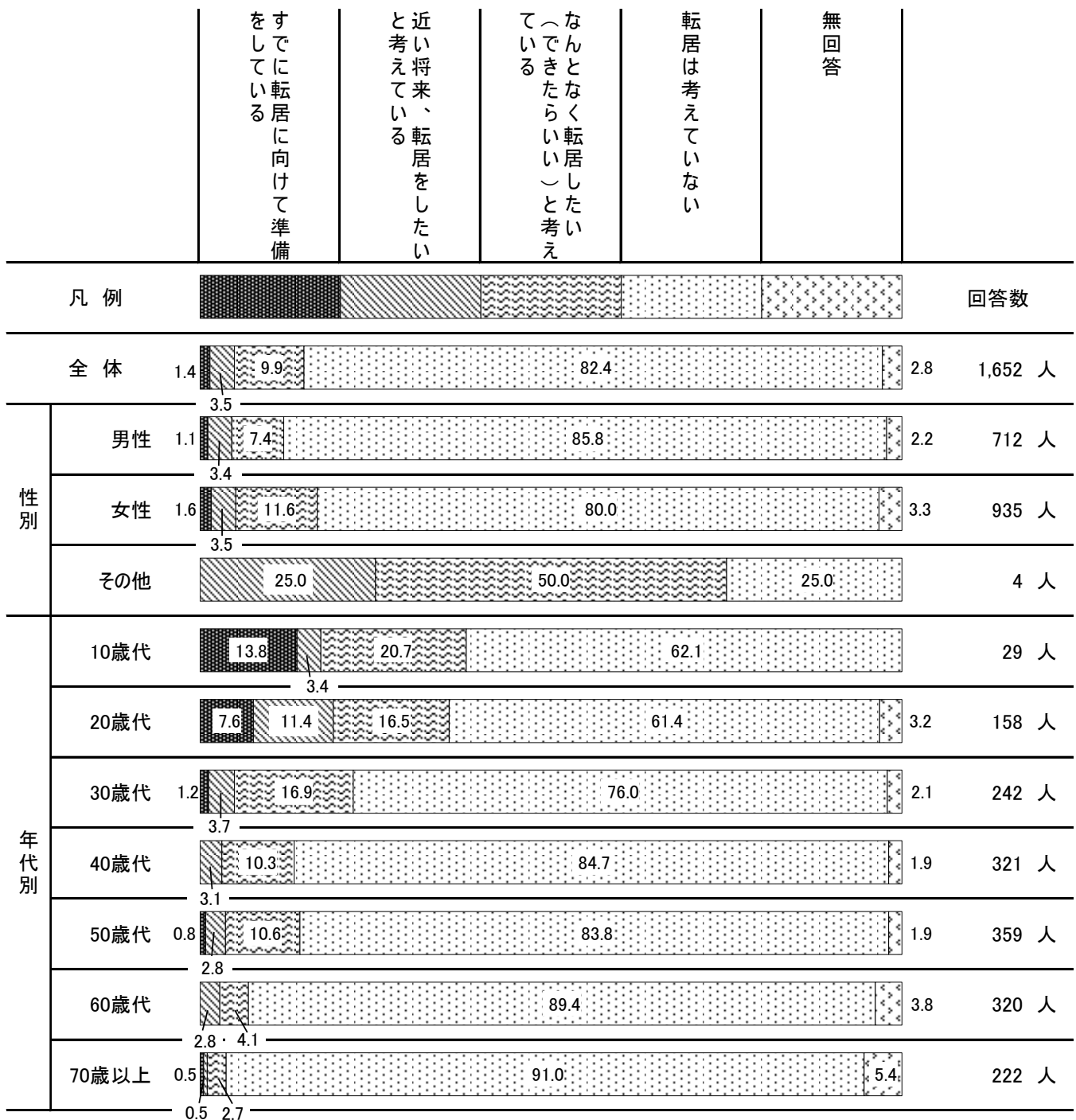
【性別】

男女とも「転居は考えていない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「転居は考えていない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

【問 12×問 13 のクロス分析】

「あなたは、高知県出身ですか」という質問に対し、「将来、高知県から県外への転居を考えていますか」の結果を見ると、どの出身でも「転居は考えていない」が最も高くなっている。

《問 12×問 13 のクロス分析》

		全体	将来、高知県から県外への転居を考えていますか				
			すでに転居に向けて準備をしている	近い将来、転居をしたいと考えている	なんとなく転居したい（できたらいい）と考えている	転居は考えていない	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体		1,652	23	58	163	1,361	47
		100.0	1.4	3.5	9.9	82.4	2.8
あなたは、高知県出身ですか	高知県出身(県外に住んだことはない)	848	1.4	2.4	9.0	84.0	3.3
	高知県出身(県外に住んだことがある)	633	0.8	3.2	10.1	83.9	2.1
	高知県外出身	157	3.8	11.5	14.0	70.7	—

副問1 (問13で「1～3」のいずれかを選んだ方のみお答えください。)

高知県から県外へ転居する理由は何ですか。(3つまで○印)

【総合】

「県外の企業の方が給料が高い」が32.8%と1位になっている。

次いで、「県内に希望する分野の仕事が無い」が15.6%、同率で「子どもの教育環境が十分でない」、「家族や親戚、近所の人からの過度な干渉が煩わしい」が13.1%と続いている。

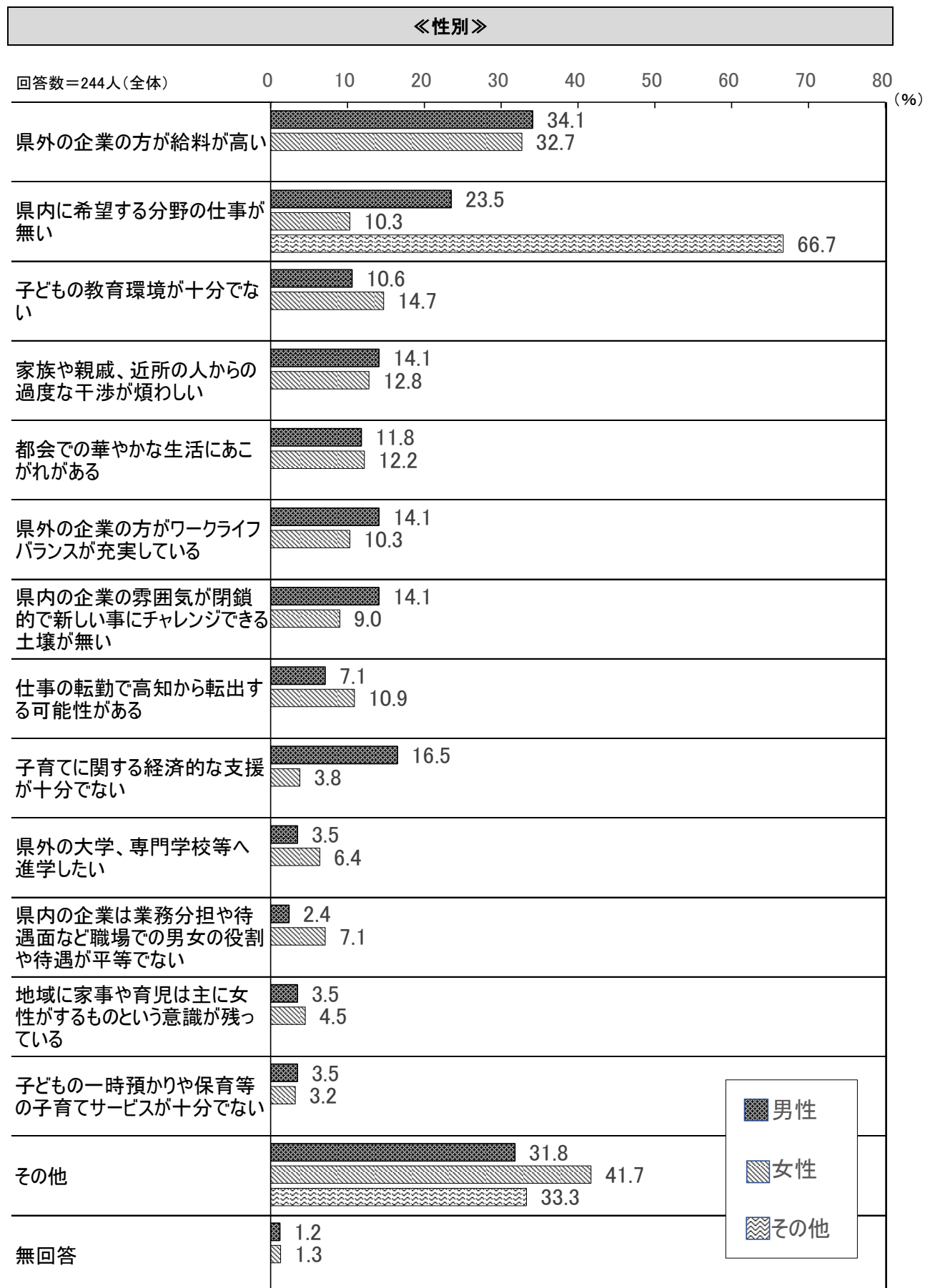
《総合》

		回答数
全 体	100.0	244 人
県外の企業の方が給料が高い	32.8	80 人
県内に希望する分野の仕事が無い	15.6	38 人
子どもの教育環境が十分でない	13.1	32 人
家族や親戚、近所の人からの過度な干渉が煩わしい	13.1	32 人
都会での華やかな生活にあこがれがある	11.9	29 人
県外の企業の方がワークライフバランスが充実している	11.5	28 人
県内の企業の雰囲気閉鎖的で新しい事にチャレンジできる土壌が無い	10.7	26 人
仕事の転勤で高知から転出する可能性がある	9.4	23 人
子育てに関する経済的な支援が十分でない	8.2	20 人
県外の大学、専門学校等へ進学したい	5.3	13 人
県内の企業は業務分担や待遇面など職場での男女の役割や待遇が平等でない	5.3	13 人
地域に家事や育児は主に女性がするものという意識が残っている	4.1	10 人
子どもの一時預かりや保育等の子育てサービスが十分でない	3.3	8 人
その他	38.1	93 人
無回答	1.2	3 人

グラフ単位(%)

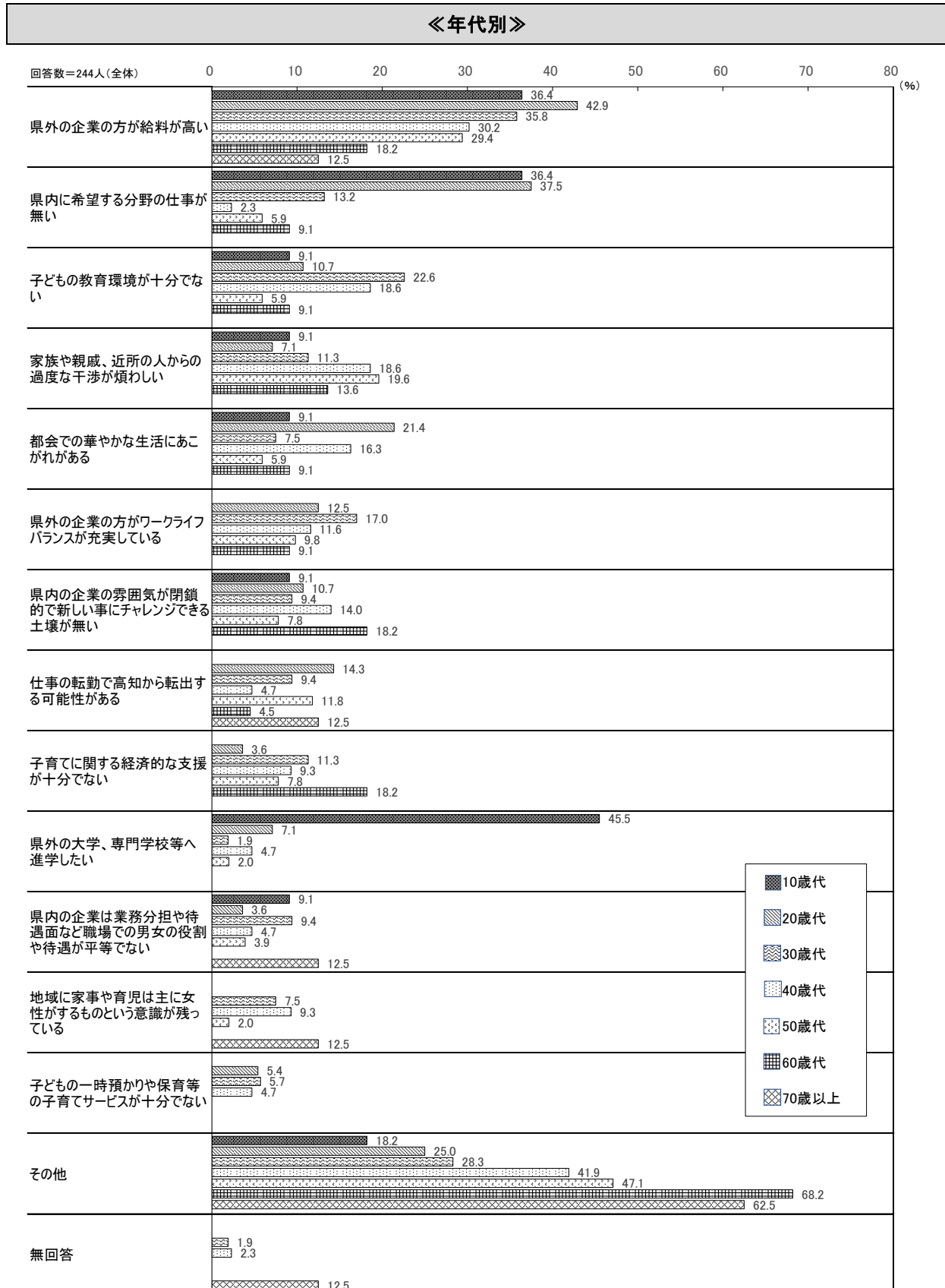
【性別】

男女ともに「県外の企業の方が給料が高い」が最も高くなっており、次いで、男性では「県内に希望する分野の仕事が無い」が、女性では「子どもの教育環境が十分でない」が続いている。



【年代別】

10 歳代では「県外の大学、専門学校等へ進学したい」が最も高く、20 歳代から 70 歳以上で「県外の企業の方が給料が高い」が、60 歳代では同率で「県内の企業の雰囲気が閉鎖的で新しい事にチャレンジできる土壌が無い」、「子育てに関する経済的な支援が十分でない」が、70 歳以上では「県内の企業は業務分担や待遇面など職場での男女の割合や待遇が平等でない」、「地域に家事や育児は主に女性がするものという意識が残っている」、「仕事の転勤で高知から転出する可能性がある」が同率で最も高くなっている。



【問 12×問 13 副問 1 のクロス分析】

「あなたは、高知県出身ですか」という質問に対し、「高知県から県外へ転居する理由は何ですか」の結果を見ると、どの出身でも「県外の企業の方が給料が高い」が最も高くなっており、「高知県外出身」では同率で「家族や親戚、近所の人からの過度な干渉が煩わしい」が最も高くなっている。

《問 12×問 13 副問 1 のクロス分析》

		全体	高知県から県外へ転居する理由は何ですか														
			県外の大学、専門学校等へ進学したい	県外の企業の方が給料が高い	県外の企業の方がワークライフバランスが充実している	県内に希望する分野の仕事が無い	県内の企業の雰囲気が閉鎖的で新しい事にチャレンジできる土壌が無い	県内の企業は業務分担や待遇面など職場での男女の役割や待遇が平等でない	子育てに関する経済的な支援が十分でない	子どもの一時預かりや保育等の子育てサービスが十分でない	子どもの教育環境が十分でない	地域に家事や育児は主に女性がするものという意識が残っている	都会での華やかな生活にそこがある	家族や親戚、近所の人からの過度な干渉が煩わしい	仕事の転勤で高知から転出する可能性がある	その他	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)																	
全体		244	13 5.3	80 32.8	28 11.5	38 15.6	26 10.7	13 5.3	20 8.2	8 3.3	32 13.1	10 4.1	29 11.9	32 13.1	23 9.4	93 38.1	3 1.2
あなたは、高知県出身ですか	高知県出身(県外に住んだことはない)	108	5.6	31.5	10.2	20.4	6.5	8.3	6.5	1.9	11.1	5.6	15.7	11.1	9.3	37.0	—
	高知県出身(県外に住んだことがある)	89	6.7	41.6	14.6	14.6	14.6	1.1	7.9	5.6	13.5	3.4	12.4	11.2	7.9	38.2	2.2
	高知県外出身	46	2.2	19.6	8.7	6.5	13.0	6.5	10.9	2.2	15.2	2.2	2.2	19.6	13.0	41.3	2.2

【問 13×問 13 副問 1 のクロス分析】

「将来、高知県から県外への転居を考えていますか」という質問に対し、「高知県から県外へ転居する理由は何ですか」の結果を見ると、どの考えでも「県外の企業の方が給料が高い」が最も高くなっている。

《問 13×問 13 副問1のクロス分析》

		全体	高知県から県外へ転居する理由は何ですか														
			県外の大学、専門学校等へ進学したい	県外の企業の方が給料が高い	県外の企業の方がワークライフバランスが充実している	県内に希望する分野の仕事が無い	県内の企業の雰囲気が閉鎖的で新しい事にチャレンジできる土壌が無い	県内の企業は業務分担や待遇面など職場での男女の役割や待遇が平等でない	子育てに関する経済的な支援が十分でない	子どもの一時預かりや保育等の子育てサービスが十分でない	子どもの教育環境が十分でない	地域に家事や育児は主に女性がするものという意識が残っている	都会での華やかな生活にあこがれがある	家族や親戚、近所の人からの過度な干渉が煩わしい	仕事の転勤で高知から転出する可能性がある	その他	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)																	
全体		244	13 5.3	80 32.8	28 11.5	38 15.6	26 10.7	13 5.3	20 8.2	8 3.3	32 13.1	10 4.1	29 11.9	32 13.1	23 9.4	93 38.1	3 1.2
か 将来、高知県から県外への転居を考えています	すでに転居に向けて準備をしている	23	13.0	47.8	8.7	30.4	8.7	-	-	-	8.7	-	8.7	-	26.1	26.1	-
	近い将来、転居をしたいと考えている	58	8.6	34.5	13.8	13.8	12.1	6.9	8.6	6.9	13.8	3.4	3.4	15.5	10.3	43.1	-
	なんとなく転居したい(できたらいい)と考えている	163	3.1	30.1	11.0	14.1	10.4	5.5	9.2	2.5	13.5	4.9	15.3	14.1	6.7	38.0	1.8
	転居は考えていない	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

問14 高知で生まれ育ったお子さんやお孫さんが、現在、県外で暮らしている方にお聞きます。
お子さんやお孫さんにUターンして高知で暮らして欲しいと思いますか。
(あなたのお考えに近いもの1つに○印)

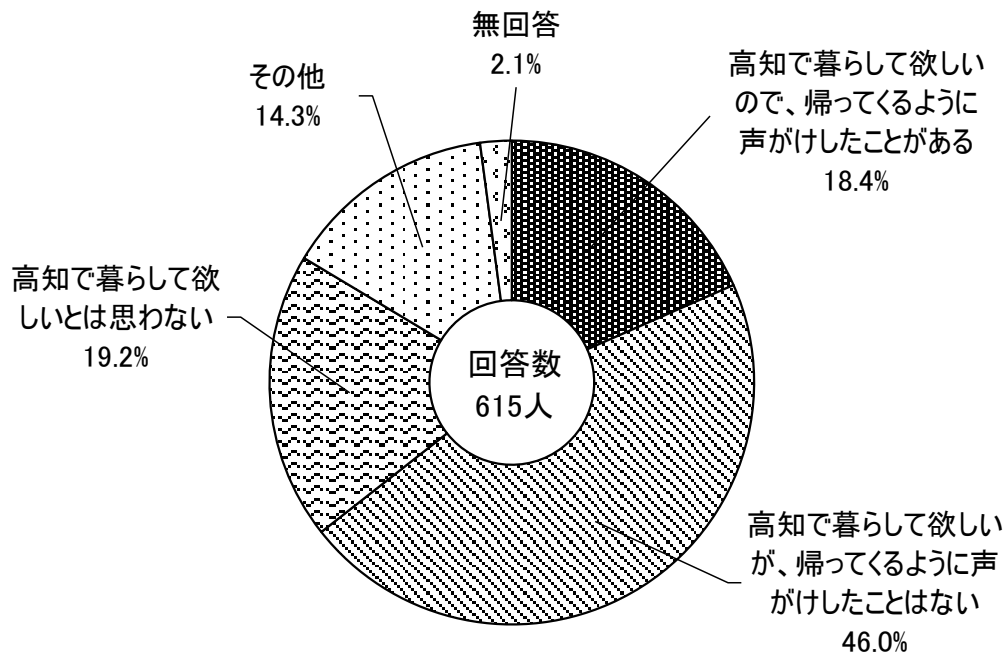
※お子さんやお孫さんが複数いる場合、1人でも声がけしたことがある場合は「1 声がけしたことがある」としてください。
※直近5年以内での声がけの有無での回答をお願いします。

【総合】

「高知で暮らして欲しいが、帰ってくるように声がけしたことはない」が46.0%と1位になっている。

次いで、「高知で暮らして欲しいとは思わない」が19.2%、「高知で暮らして欲しいので、帰ってくるように声がけしたことがある」が18.4%と続いている。

《総合》

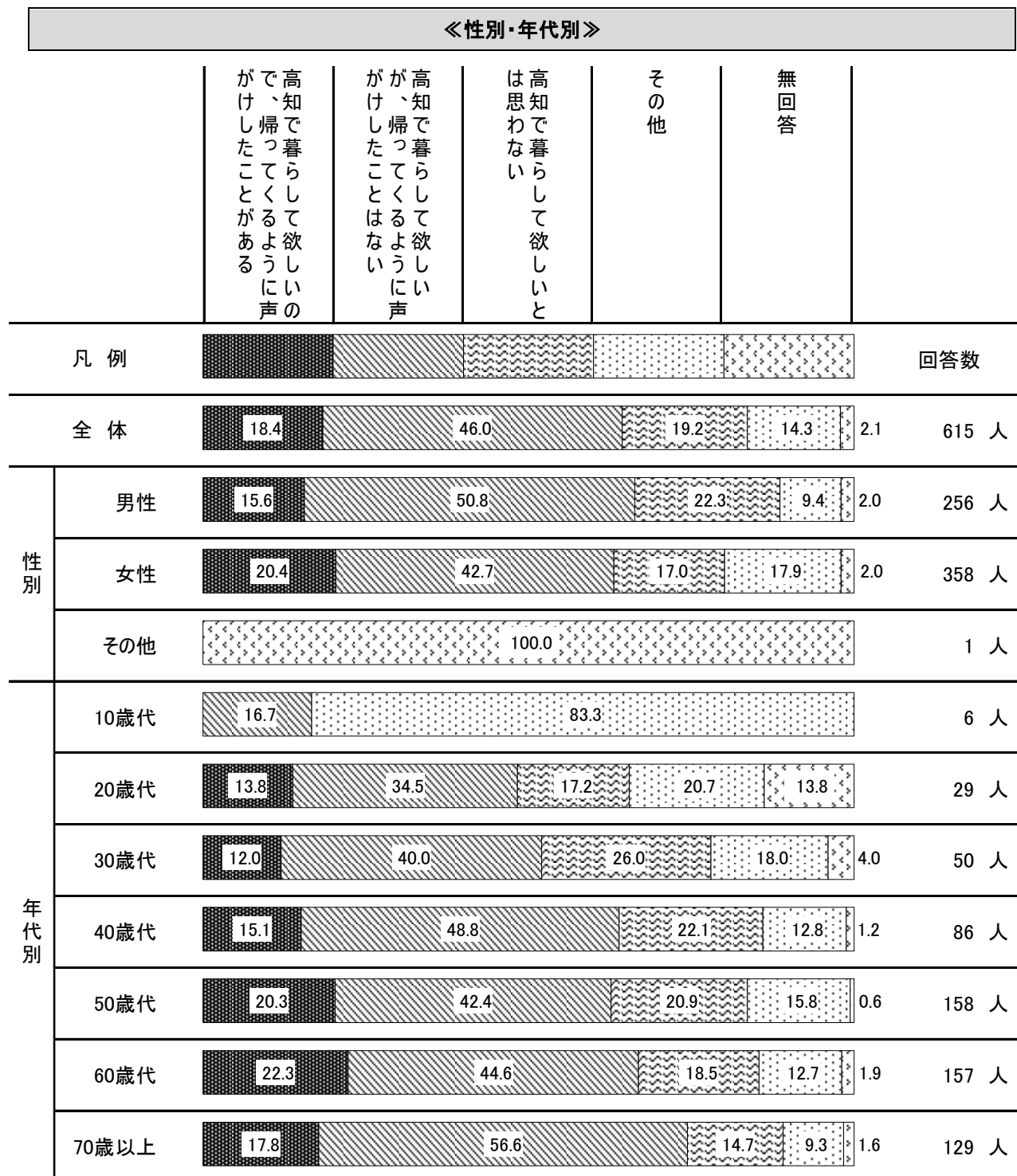


【性別】

男女ともに「高知で暮らして欲しいが、帰ってくるように声がけしたことはない」が最も高くなっており、次いで、男性では「高知で暮らして欲しいとは思わない」が、女性では「高知で暮らして欲しいので、帰ってくるように声がけしたことがある」が続いている。

【年代別】

すべての年代で、「高知で暮らして欲しいが、帰ってくるように声がけしたことはない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

副問1 (問14で「1」を選んだ方のみお答えください。)

声がけした理由をお答えください。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「近くで暮らした方がお互いが安心できる」が79.6%と1位になっている。

次いで、「子どもの子育てを手伝える」が38.1%、「高知で暮らす方が、住居費がかからない、家賃が安いなど生活コストが下がると思う」が24.8%と続いている。

《総合》

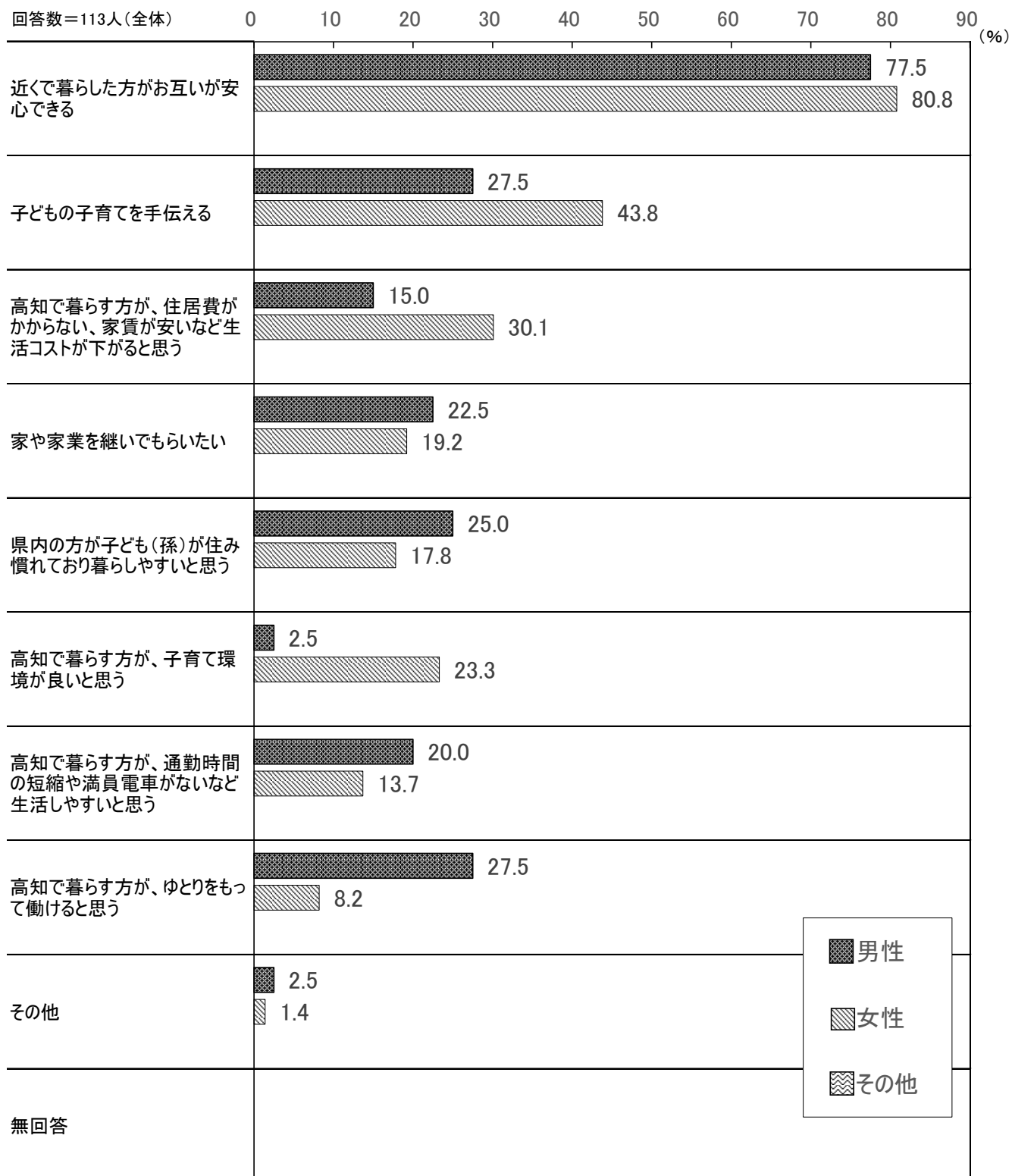
		回答数
全 体	100.0	113 人
近くで暮らした方がお互いが安心できる	79.6	90 人
子どもの子育てを手伝える	38.1	43 人
高知で暮らす方が、住居費がかからない、家賃が安いなど生活コストが下がると思う	24.8	28 人
家や家業を継いでもらいたい	20.4	23 人
県内の方が子ども(孫)が住み慣れており暮らしやすいと思う	20.4	23 人
高知で暮らす方が、子育て環境が良いと思う	15.9	18 人
高知で暮らす方が、通勤時間の短縮や満員電車がいないなど生活しやすいと思う	15.9	18 人
高知で暮らす方が、ゆとりをもって働けると思う	15.0	17 人
その他	1.8	2 人
無回答		0 人

グラフ単位(%)

【性別】

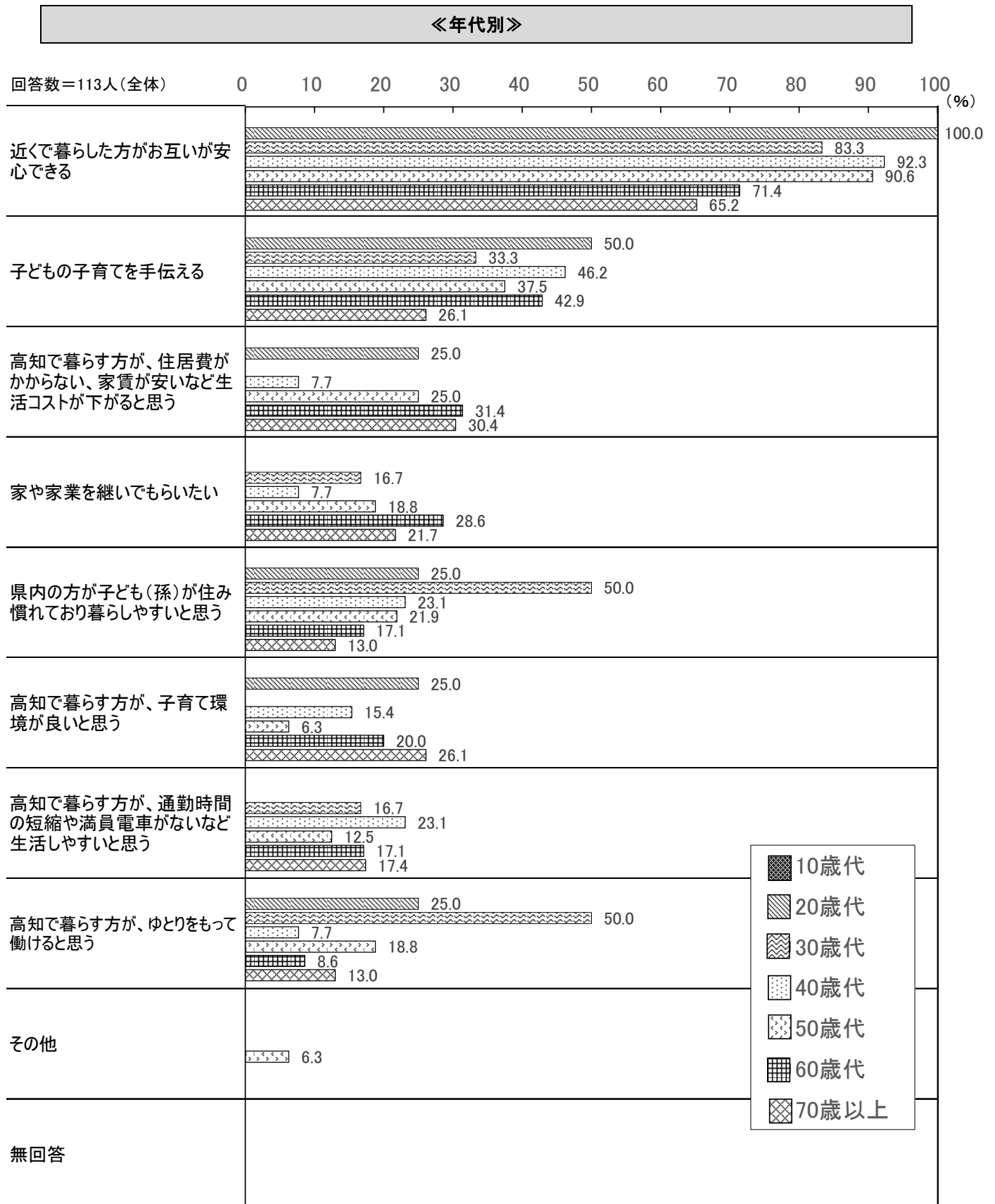
男女ともに「近くで暮らした方がお互いが安心できる」が最も高くなっており、次いで、男性では同率で「子どもの子育てを手伝える」、「高知で暮らす方が、ゆとりをもって働けると思う」が、女性では「子どもの子育てを手伝える」が続いている。

《性別》



【年代別】

すべての年代で「近くで暮らした方がお互いが安心できる」が最も高くなっている。



副問2 (問14で「2」を選んだ方のみお答えください。)

声がけしたことがない理由をお答えください。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「本人の希望、意思を尊重している」が85.2%と1位になっている。

次いで、「高知に帰ってきたら給与水準が下がる」が34.6%、「高知に帰ってきたら同じ分野の職種がない(少ない)」が26.1%と続いている。

《総合》

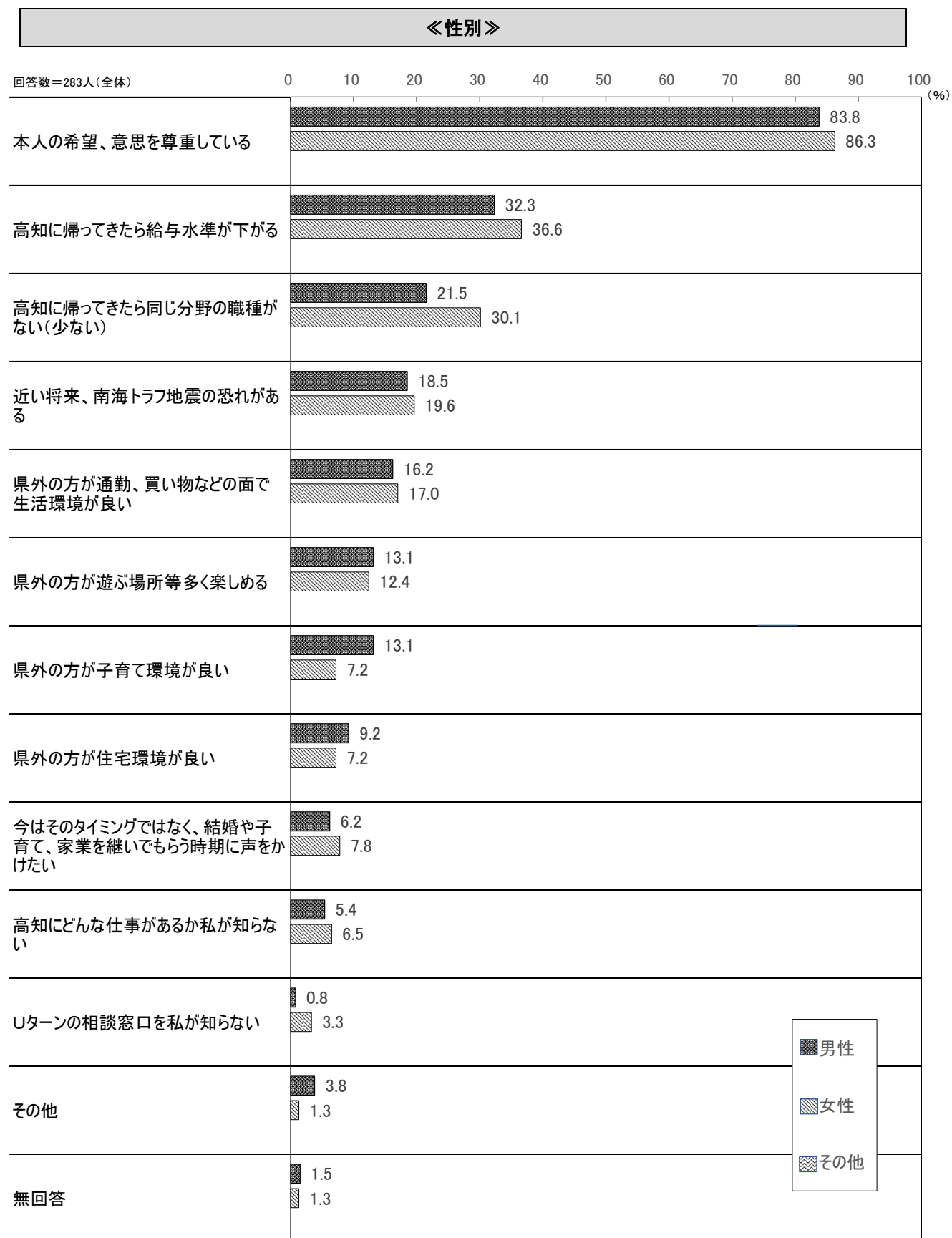
回答数

全 体	100.0	283 人
本人の希望、意思を尊重している	85.2	241 人
高知に帰ってきたら給与水準が下がる	34.6	98 人
高知に帰ってきたら同じ分野の職種がない(少ない)	26.1	74 人
近い将来、南海トラフ地震の恐れがある	19.1	54 人
県外の方が通勤、買い物などの面で生活環境が良い	16.6	47 人
県外の方が遊ぶ場所等多く楽しめる	12.7	36 人
県外の方が子育て環境が良い	9.9	28 人
県外の方が住宅環境が良い	8.1	23 人
今はそのタイミングではなく、結婚や子育て、家業を継いでもらう時期に声をかけたい	7.1	20 人
高知にどんな仕事があるか私が知らない	6.0	17 人
Uターンの相談窓口を私が知らない	2.1	6 人
その他	2.5	7 人
無回答	1.4	4 人

グラフ単位(%)

【性別】

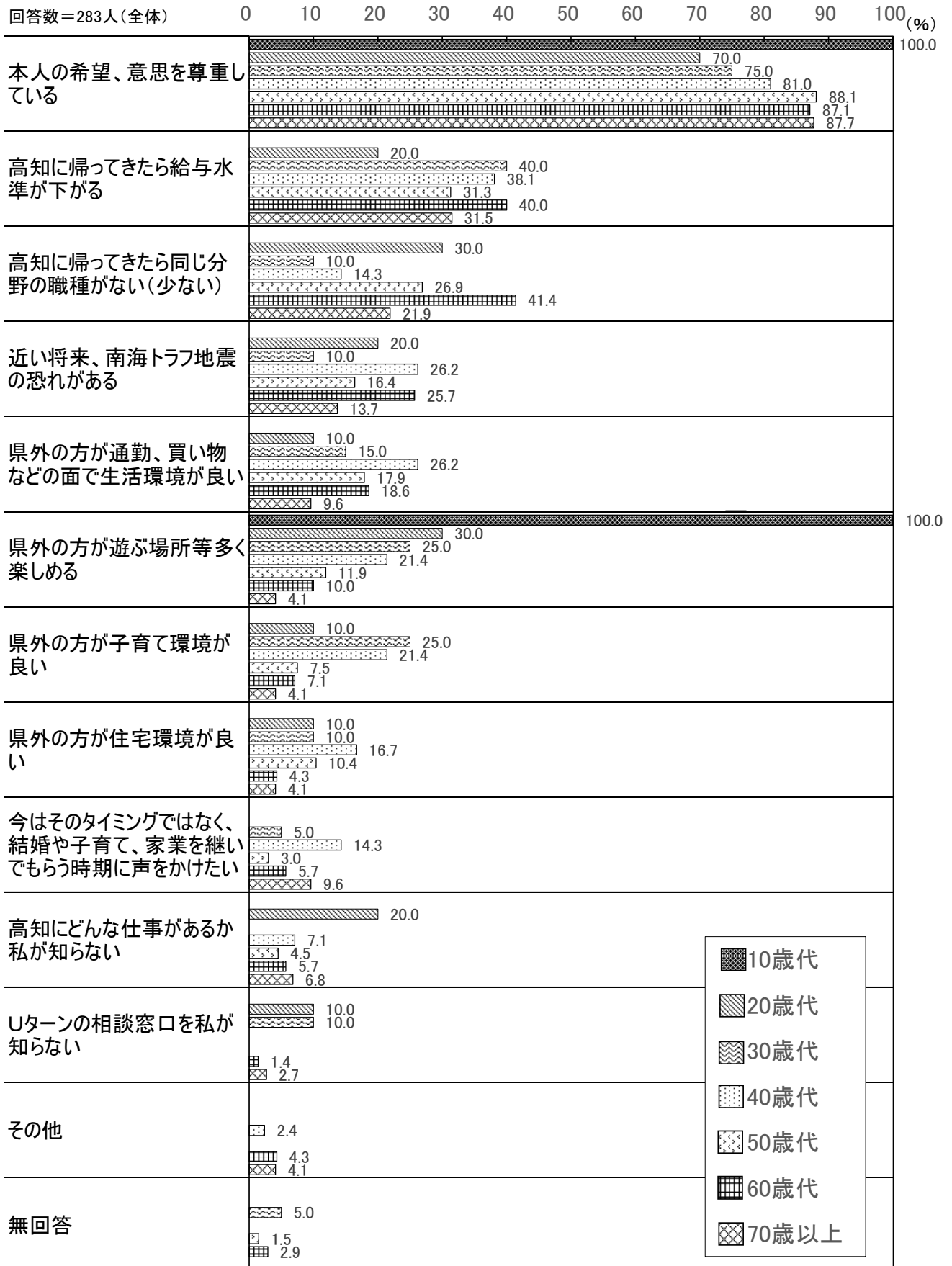
男女ともに「本人の希望、意思を尊重している」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「本人の希望、意思を尊重している」が最も高くなっている。

《年代別》



Uターンの促進について

問 15 県外に出たご家族や友人・知人に、高知に帰ってくるよう声がけする際に、優先的に勧めたい(伝えたい)取り組みや情報は何か。(3つまで○印)

【総合】

「同世代の暮らしぶりや日常生活の楽しみ方などの情報」が19.9%と1位になっている。

次いで、「暮らし・仕事の情報を発信する移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」」が19.1%、「県内の求人情報を発信するWEBサイト「高知求人ネット」」が18.9%と続いている。

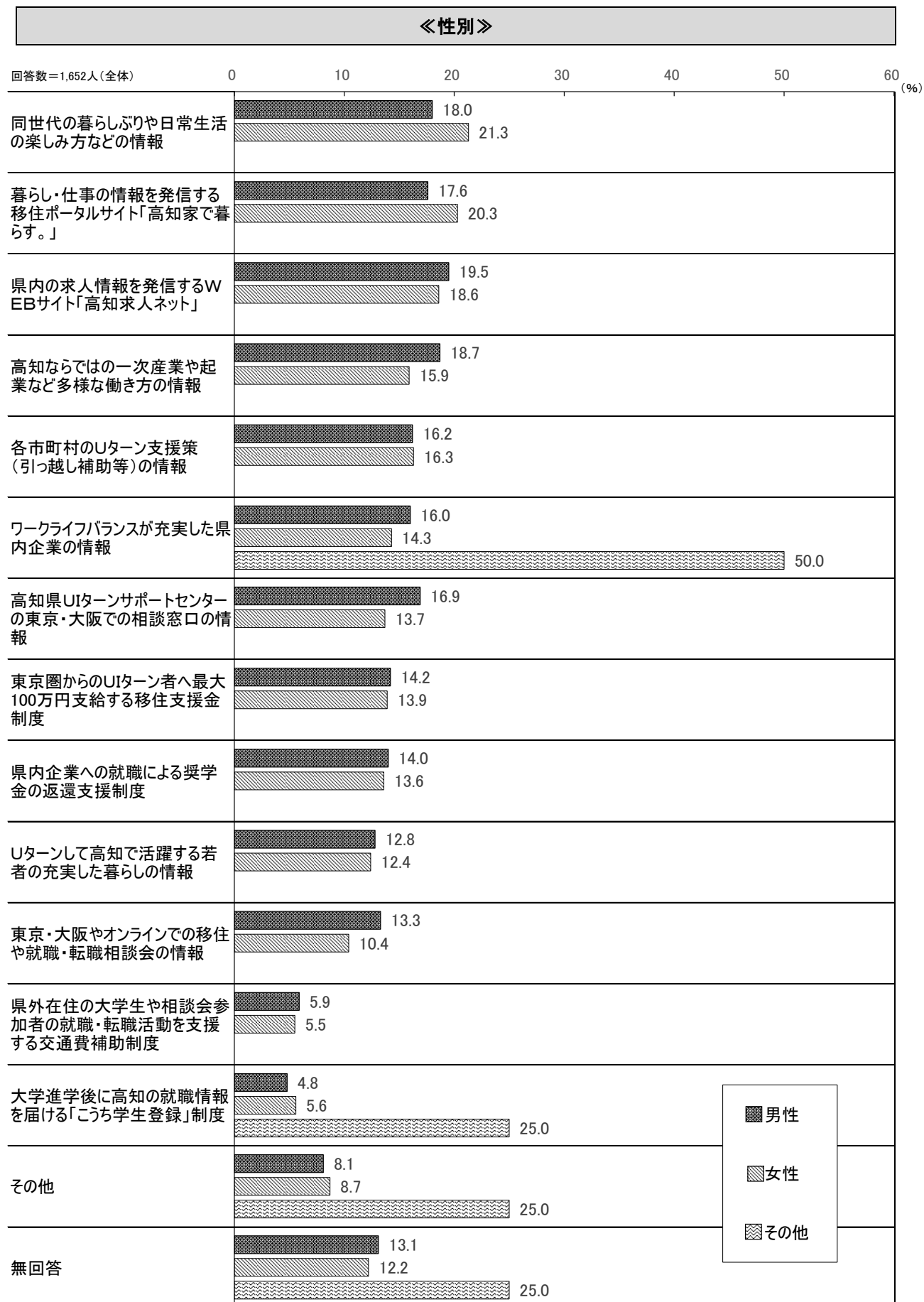
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,652 人
同世代の暮らしぶりや日常生活の楽しみ方などの情報	19.9	328 人
暮らし・仕事の情報を発信する移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」	19.1	315 人
県内の求人情報を発信するWEBサイト「高知求人ネット」	18.9	313 人
高知ならではの一次産業や起業など多様な働き方の情報	17.1	282 人
各市町村のUターン支援策(引っ越し補助等)の情報	16.2	267 人
ワークライフバランスが充実した県内企業の情報	15.1	250 人
高知県Uターンサポートセンターの東京・大阪での相談窓口の情報	15.0	248 人
東京圏からのUターン者へ最大100万円支給する移住支援金制度	14.0	231 人
県内企業への就職による奨学金の返還支援制度	13.8	228 人
Uターンして高知で活躍する若者の充実した暮らしの情報	12.5	207 人
東京・大阪やオンラインでの移住や就職・転職相談会の情報	11.6	192 人
県外在住の大学生や相談会参加者の就職・転職活動を支援する交通費補助制度	5.7	94 人
大学進学後に高知の就職情報を届ける「こうち学生登録」制度	5.3	87 人
その他	8.5	140 人
無回答	12.6	208 人

グラフ単位(%)

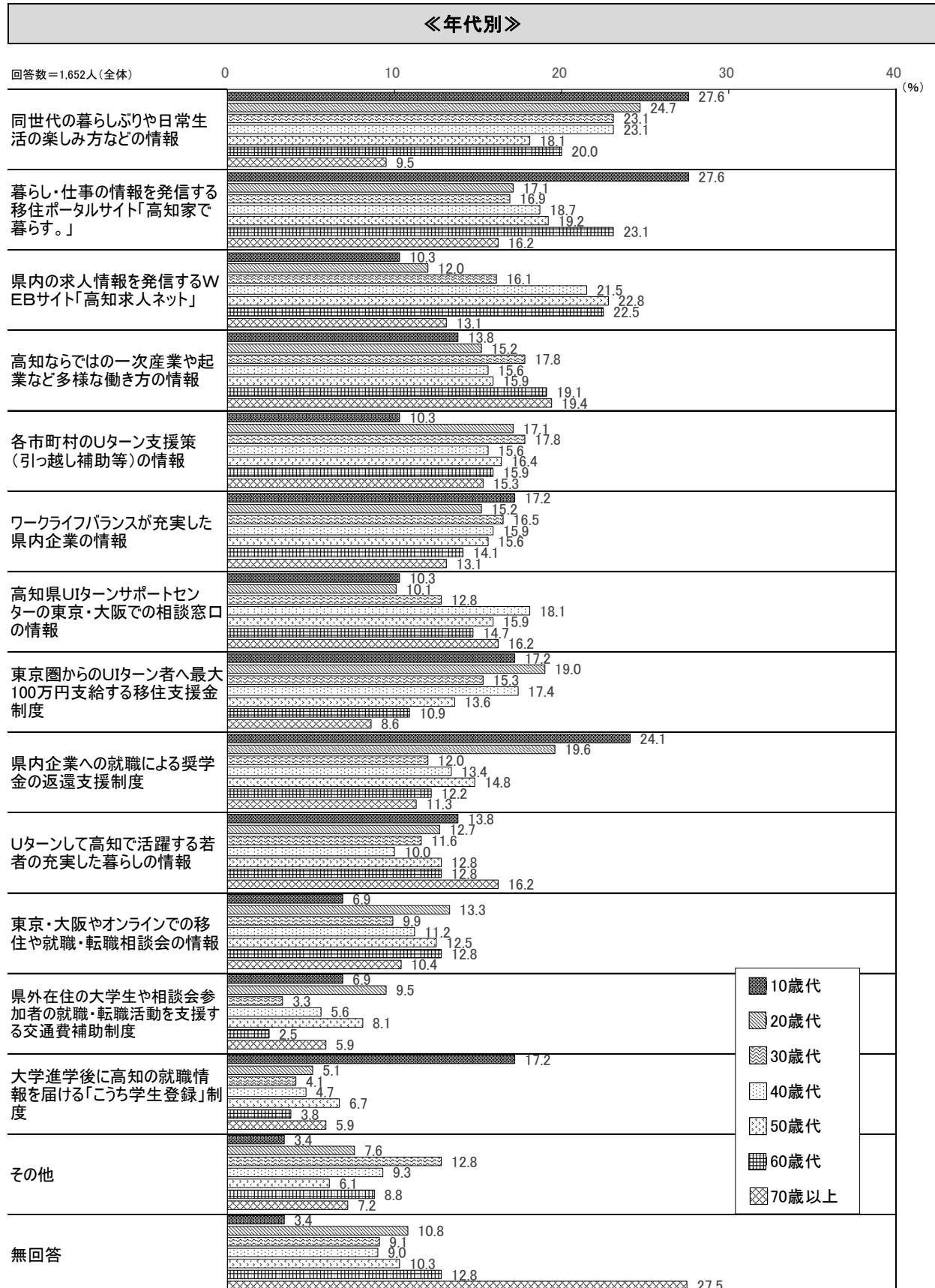
【性別】

男性では「県内の求人情報を発信するWEBサイト「高知求人ネット」」が、女性では「同世代の暮らしぶりや日常生活の楽しみ方などの情報」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代から 40 歳代では「同世代の暮らしぶりや日常生活の楽しみ方などの情報」が最も高く、10 歳代では同率で「暮らし・仕事の情報を発信する移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」」が最も高くなっている。50 歳代では「県内の求人情報を発信するWEBサイト「高知求人ネット」」が、60 歳代では「暮らし・仕事の情報を発信する移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」」が、70 歳以上では「高知ならではの一次産業や起業など多様な働き方の情報」が最も高くなっている。



【問 14×問 15 のクロス分析】

「子や孫にＵターンして欲しいと思うか」という質問に対し、「県外に出たご家族や友人・知人に、高知に帰ってくるよう声がけする際に、優先的に勧めたい(伝えたい) 取り組みや情報は何か」の結果を見ると、「高知で暮らして欲しいので、帰ってくるように声がけしたことがある」では、「県内の求人情報を発信するWEBサイト「高知求人ネット」」が最も高く、「高知で暮らして欲しいが、帰ってくるように声がけしたことはない」では、「暮らし・仕事の情報を発信する移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」」が、「高知で暮らして欲しいとは思わない」では、「高知ならではの一次産業や起業など多様な働き方の情報」が最も高くなっている。

《問 14×問 15 のクロス分析》

		全体	県外に出たご家族や友人・知人に、高知に帰ってくるよう声がけする際に、優先的に勧めたい(伝えたい)取り組みや情報は何ですか														
			高知県の相談窓口の情報	東京・大阪やオンラインでの移住や就職・転職相談の情報	暮らし・仕事の情報を発信する移住ポータルサイト「高知家で暮らす。」	県内の求人情報を発信するWEBサイト「高知求人ネット」	県内企業への就職による奨学金の返還支援制度	県外在住の大学生や相談会参加者の就職・転職活動を支援する交通費補助制度	東京圏からのUターン者へ最大100万円支給する移住支援金制度	大学進学後に高知の就職情報を届ける「こうち学生登録」制度	各市町村のUターン支援策(引越補助等)の情報	ワーカライフバランスが充実した県内企業の情報	高知ならではの一次産業や起業など多様な働き方の情報	同世代の暮らしぶりや日常生活の楽しみ方などの情報	Uターンして高知で活躍する若者の充実した暮らしの情報	その他	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)																	
全体		615	104 16.9	94 15.3	115 18.7	120 19.5	84 13.7	41 6.7	78 12.7	33 5.4	106 17.2	103 16.7	109 17.7	101 16.4	79 12.8	66 10.7	54 8.8
子や孫にUターンして欲しいと思うか	高知で暮らして欲しいので、帰ってくるように声がけしたことがある	113	19.5	16.8	14.2	29.2	15.0	7.1	15.9	8.0	20.4	20.4	22.1	14.2	15.9	4.4	9.7
	高知で暮らして欲しいが、帰ってくるように声がけしたことはない	283	19.8	17.3	22.3	20.8	14.8	6.7	13.8	6.4	15.2	17.0	16.6	15.9	13.1	6.0	8.1
	高知で暮らして欲しいとは思わない	118	13.6	15.3	12.7	11.0	13.6	5.9	11.9	2.5	13.6	12.7	20.3	16.9	10.2	18.6	10.2
	その他	88	10.2	9.1	20.5	13.6	6.8	6.8	6.8	2.3	23.9	17.0	12.5	21.6	11.4	25.0	5.7

Uターンの促進について

問16 高知県内の若者定着や、県外からの若者の転入増加のための施策として、何が重要だと思いますか。

(3つまで○印)

【総合】

「県内企業の給与水準の向上」が78.6%と1位になっている。

次いで、「子育てに対する経済的な支援の充実」が32.1%、「若者に人気のある業種（IT系）や職種（事務職）などの仕事の確保」が30.9%となっている。

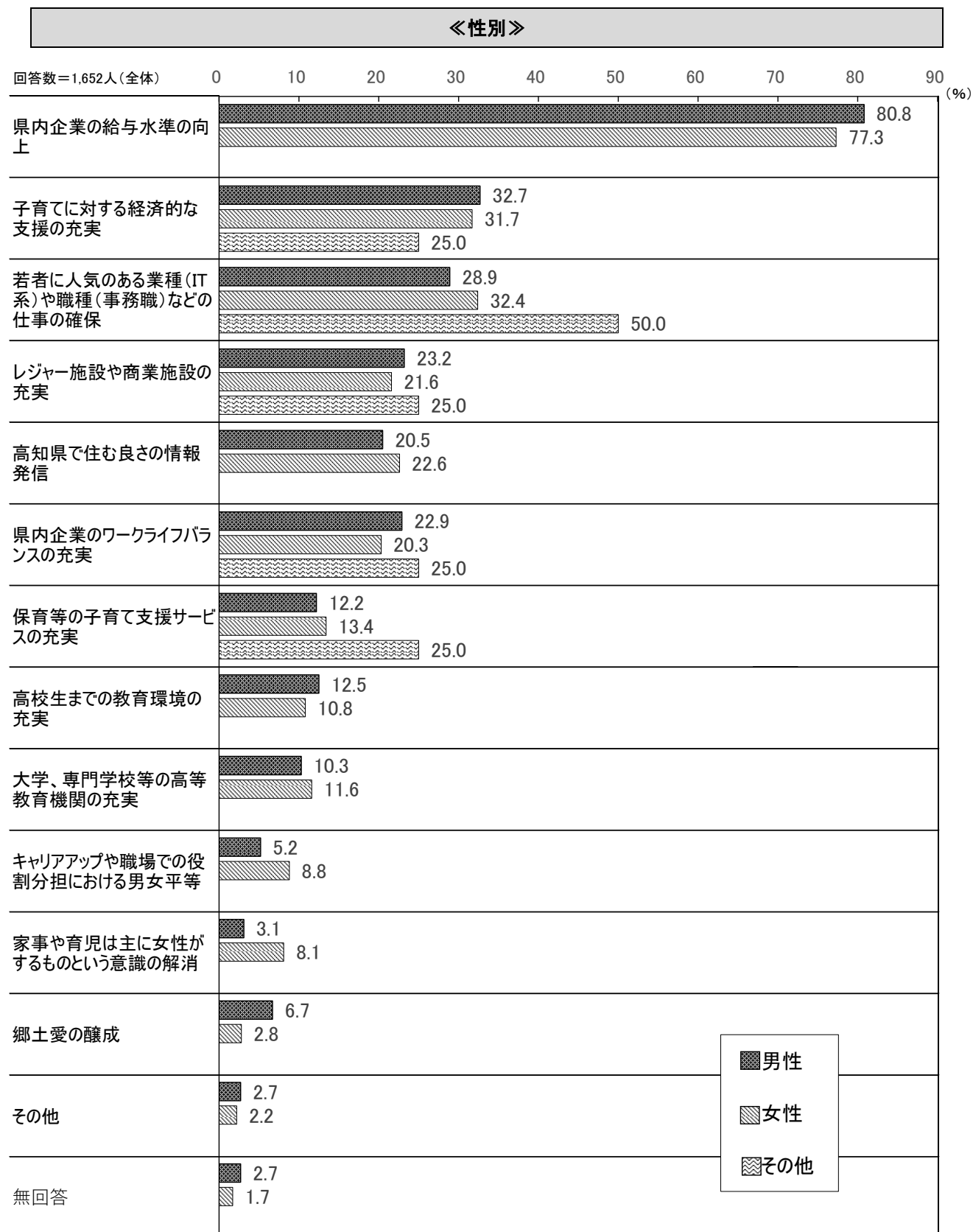
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,652 人
県内企業の給与水準の向上	78.6	1,299 人
子育てに対する経済的な支援の充実	32.1	531 人
若者に人気のある業種(IT系)や職種(事務職)などの仕事の確保	30.9	511 人
レジャー施設や商業施設の充実	22.3	368 人
高知県で住む良さの情報発信	21.6	357 人
県内企業のワークライフバランスの充実	21.4	354 人
保育等の子育て支援サービスの充実	13.0	214 人
高校生までの教育環境の充実	11.5	190 人
大学、専門学校等の高等教育機関の充実	11.0	181 人
キャリアアップや職場での役割分担における男女平等	7.2	119 人
家事や育児は主に女性がするものという意識の解消	5.9	98 人
郷土愛の醸成	4.5	74 人
その他	2.4	40 人
無回答	2.1	35 人

グラフ単位(%)

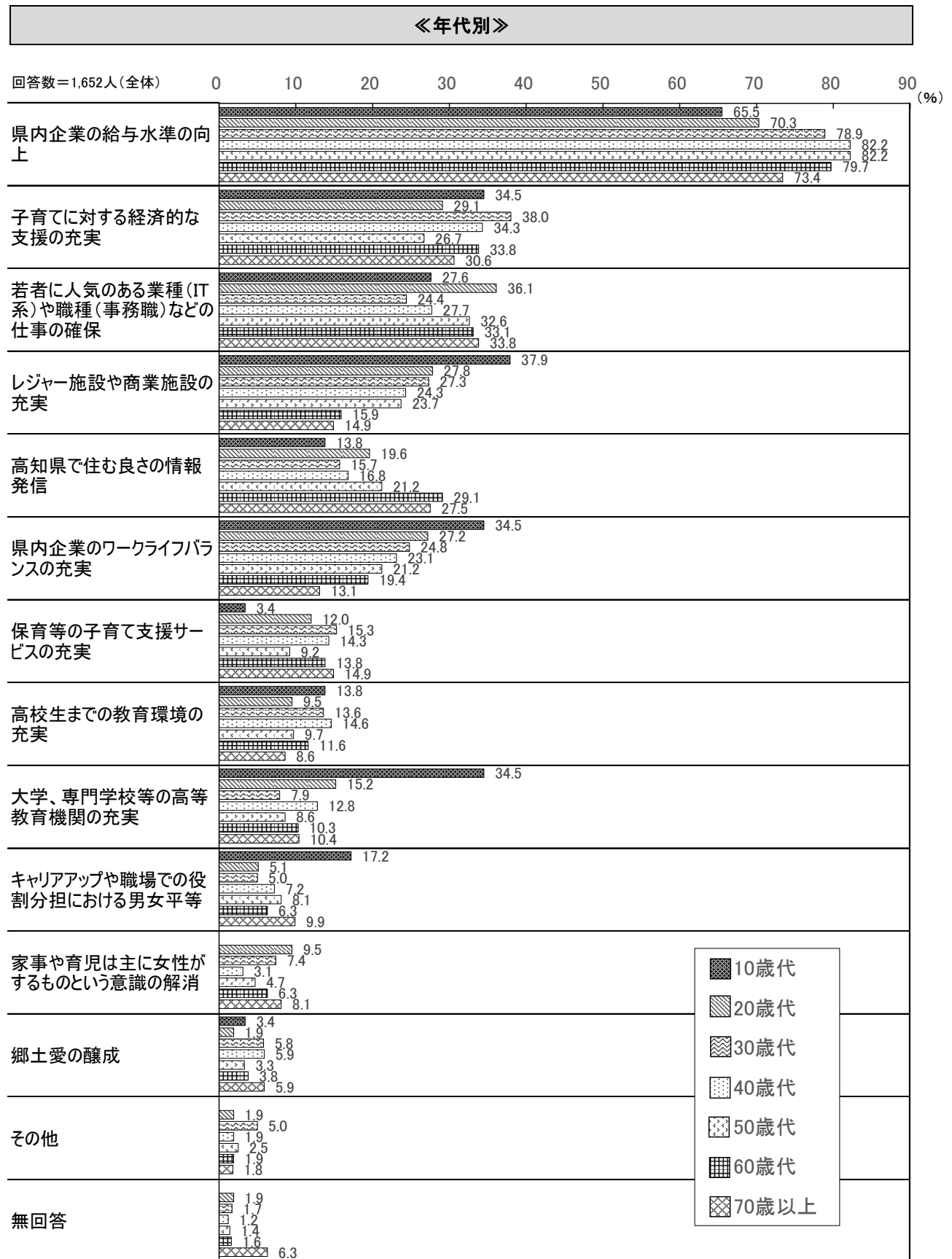
【性別】

男女ともに「県内企業の給与水準の向上」が最も高くなっており、次いで、男性では「子育てに対する経済的な支援の充実」が、女性では「若者に人気のある業種（IT系）や職種（事務職）などの仕事の確保」が続いている。



【年代別】

すべての年代で「県内企業の給与水準の向上」が最も高くなっている。



【問 12×問 16 のクロス分析】

「あなたは、高知県出身ですか」という質問に対し、「高知県内の若者定着や、県外からの若者の転入増加のための施策として、何が重要だと思いますか」の結果を見ると、どの出身地でも「県内企業の給与水準の向上」が最も高くなっている。

《問 12×問 16 のクロス分析》

		全体	高知県内の若者定着や、県外からの若者の転入増加のための施策として、何が重要だと思いますか													
			県内企業の給与水準の向上	県内企業のワークライフバランスの充実	若者に人気のある業種（ＩＴ系）や職種（事務職）などの仕事の確保	キャリアアップや職場での役割分担における男女平等	大学、専門学校等の高等教育機関の充実	郷土愛の醸成	子育てに対する経済的な支援の充実	保育等の子育て支援サービスの充実	高校生までの教育環境の充実	消費生活や育児は主に女性がするものという意識の解	レジャー施設や商業施設の充実	高知県で住む良さの情報発信	その他	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)																
全体		1,652	1,299 78.6	354 21.4	511 30.9	119 7.2	181 11.0	74 4.5	531 32.1	214 13.0	190 11.5	98 5.9	368 22.3	357 21.6	40 2.4	35 2.1
あなたは、高知県出身ですか	高知県出身（県外に住んだことはない）	848	79.4	21.9	30.8	7.4	10.8	4.2	30.9	13.2	11.3	6.6	22.3	21.5	2.0	2.0
	高知県出身（県外に住んだことがある）	633	77.6	21.3	32.9	7.4	11.2	4.9	34.1	13.3	11.5	5.2	21.2	21.8	2.8	2.1
	高知県外出身	157	80.3	20.4	26.1	5.1	11.5	4.5	30.6	11.5	12.7	5.7	28.7	21.7	3.2	—

【表の見方】
上段＝回答数(人)
下段＝比率(%)

【問 13×問 16 のクロス分析】

「将来、高知県から県外への転居を考えていますか」という質問に対し、「高知県内の若者定着や、県外からの若者の転入増加のための施策として、何が重要だと思いますか」の結果を見ると、どの考えでも「県内企業の給与水準の向上」が最も高くなっている。

《問 13×問 16 のクロス分析》

		全体	高知県内の若者定着や、県外からの若者の転入増加のための施策として、何が重要だと思いますか													
			県内企業の給与水準の向上	県内企業のワークライフバランスの充実	若者に人気のある業種（ＩＴ系）や職種（事務職）などの仕事の確保	平等	キャリアアップや職場での役割分担における男女	大学、専門学校等の高等教育機関の充実	郷土愛の醸成	子育てに対する経済的な支援の充実	保育等の子育て支援サービスの充実	高校生までの教育環境の充実	家事や育児は主に女性がするものという意識の解消	レジャー施設や商業施設の充実	高知県で住む良さの情報発信	その他
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)																
全体		1,652	1,299 78.6	354 21.4	511 30.9	119 7.2	181 11.0	74 4.5	531 32.1	214 13.0	190 11.5	98 5.9	368 22.3	357 21.6	40 2.4	35 2.1
か将来、高知県から県外への転居を考えています	すでに転居に向けて準備をしている	23	65.2	26.1	34.8	13.0	17.4	－	39.1	17.4	8.7	8.7	26.1	8.7	－	－
	近い将来、転居をしたいと考えている	58	69.0	22.4	29.3	6.9	10.3	3.4	29.3	19.0	13.8	5.2	32.8	10.3	5.2	－
	なんとなく転居したい(できたらいい)と考えている	163	73.6	23.3	32.5	8.0	11.7	3.7	27.0	8.0	13.5	6.1	26.4	17.8	7.4	－
	転居は考えていない	1,361	80.5	21.3	30.8	7.3	11.1	4.6	32.9	13.4	11.3	6.0	21.5	22.3	1.8	2.0

3. スマートフォンの利用状況について

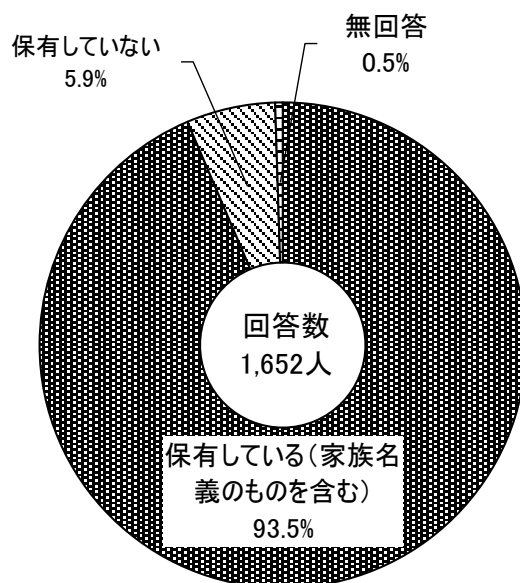
問17 あなたはスマートフォンを保有していますか。(1つだけ○印)

【総合】

「保有している（家族名義のものを含む）」が 93.5%と 1 位になっている。

次いで、「保有していない」が 5.9%と続いている。

《総合》

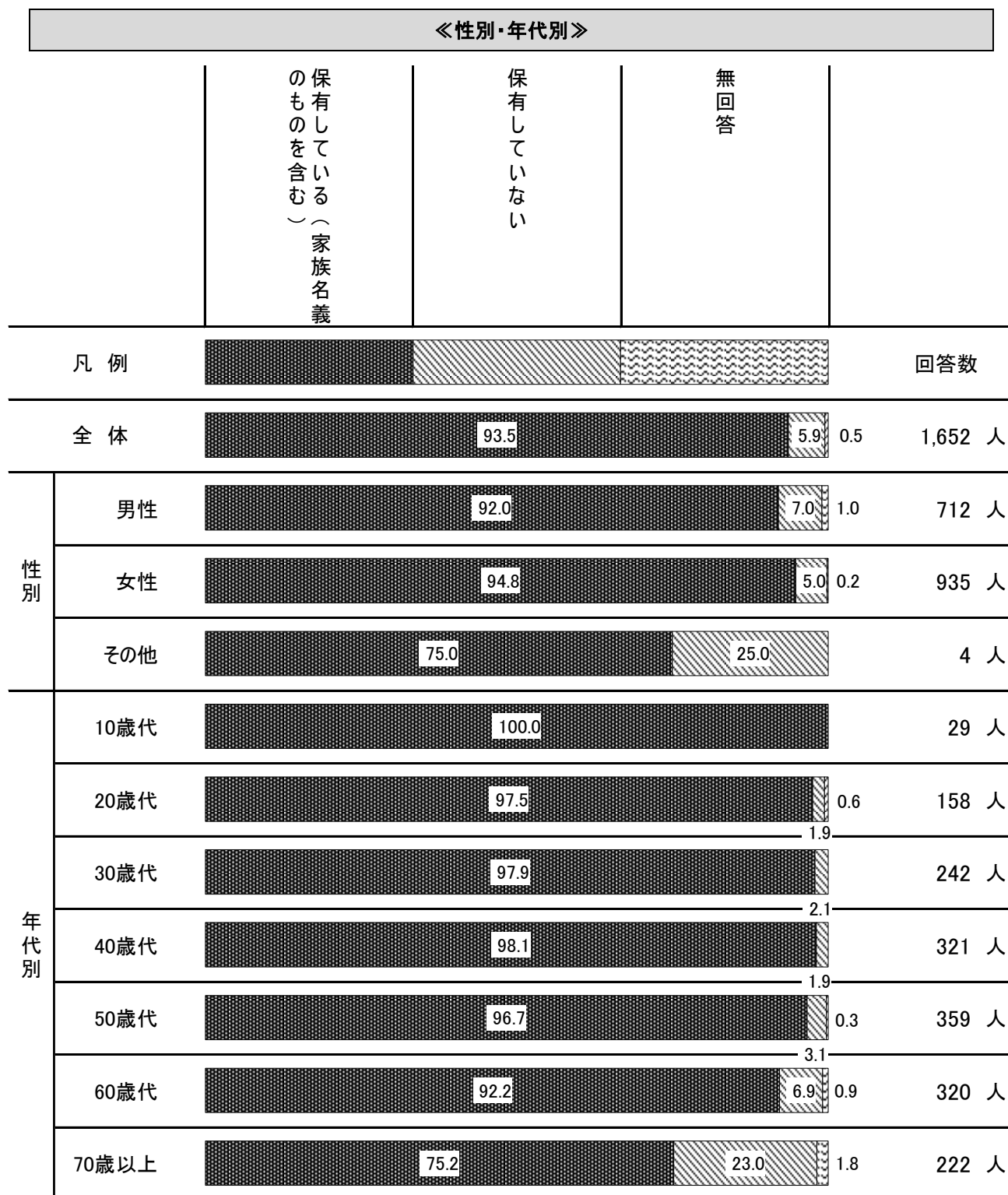


【性別】

男女ともに「保有している（家族名義のものを含む）」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「保有している（家族名義のものを含む）」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

副問1 (問 17 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたはスマートフォンを何のために利用していますか。

(直近1年間で利用したことがあるもののうち、当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「電話、電子メール（ショートメッセージを含む）の利用」が 94.1%と 1 位になっている。

次いで、「Webサービスの閲覧（ホームページ、天気やニュース、動画の視聴）」が 82.5%、「SNS の利用（Facebook、X(旧 Twitter)、LINE、Instagram、Skype など）」が 75.5%と続いている。

《総合》

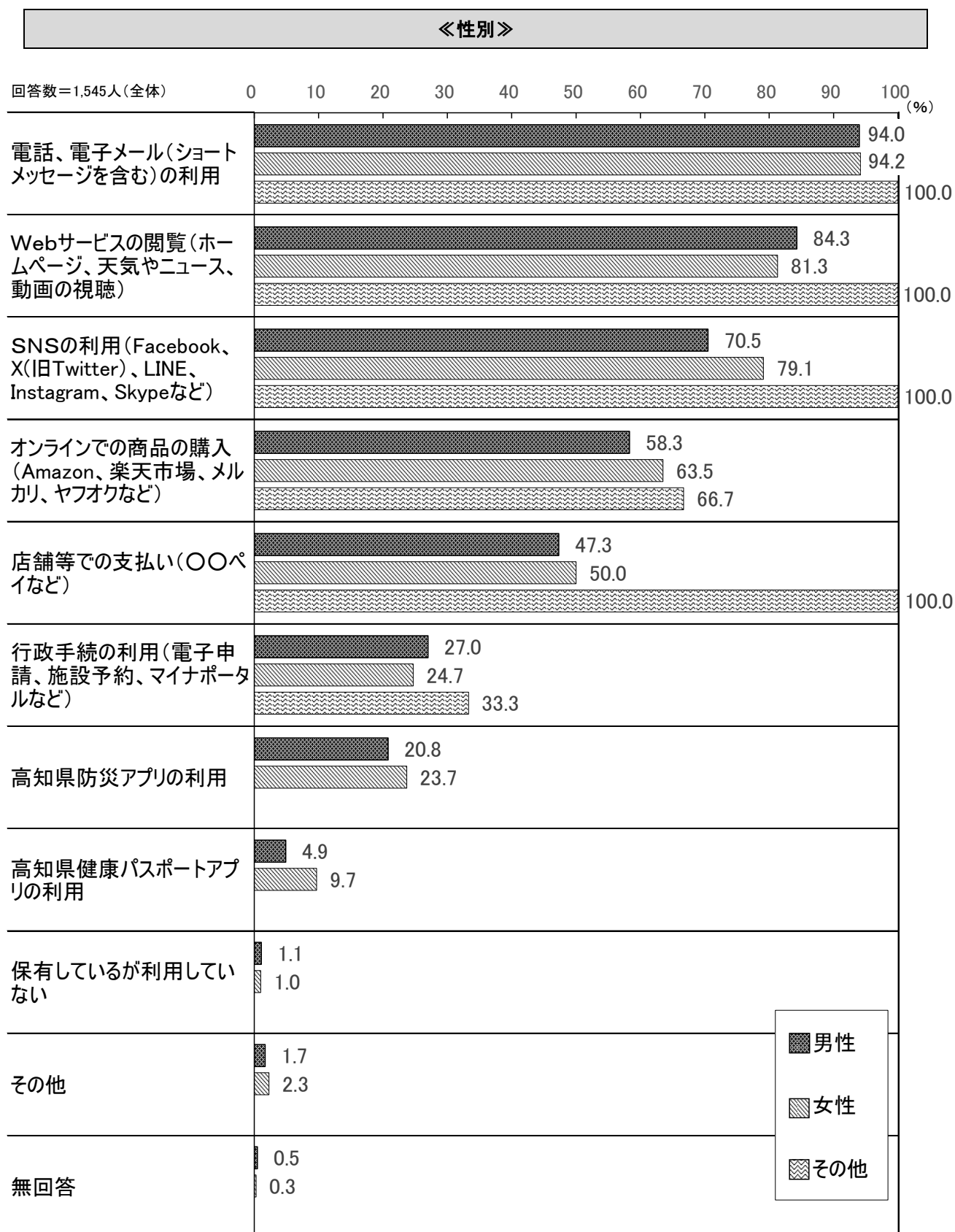
回答数

全 体	100.0	1,545 人
電話、電子メール(ショートメッセージを含む)の利用	94.1	1,454 人
Webサービスの閲覧(ホームページ、天気やニュース、動画の視聴)	82.5	1,275 人
SNSの利用(Facebook、X(旧 Twitter)、LINE、Instagram、Skypeなど)	75.5	1,166 人
オンラインでの商品の購入(Amazon、楽天市場、メルカリ、ヤフオクなど)	61.3	947 人
店舗等での支払い(〇〇ペイなど)	48.9	756 人
行政手続の利用(電子申請、施設予約、マイナポータルなど)	25.7	397 人
高知県防災アプリの利用	22.4	346 人
高知県健康パスポートアプリの利用	7.6	118 人
保有しているが利用していない	1.0	16 人
その他	2.0	31 人
無回答	0.5	7 人

グラフ単位(%)

【性別】

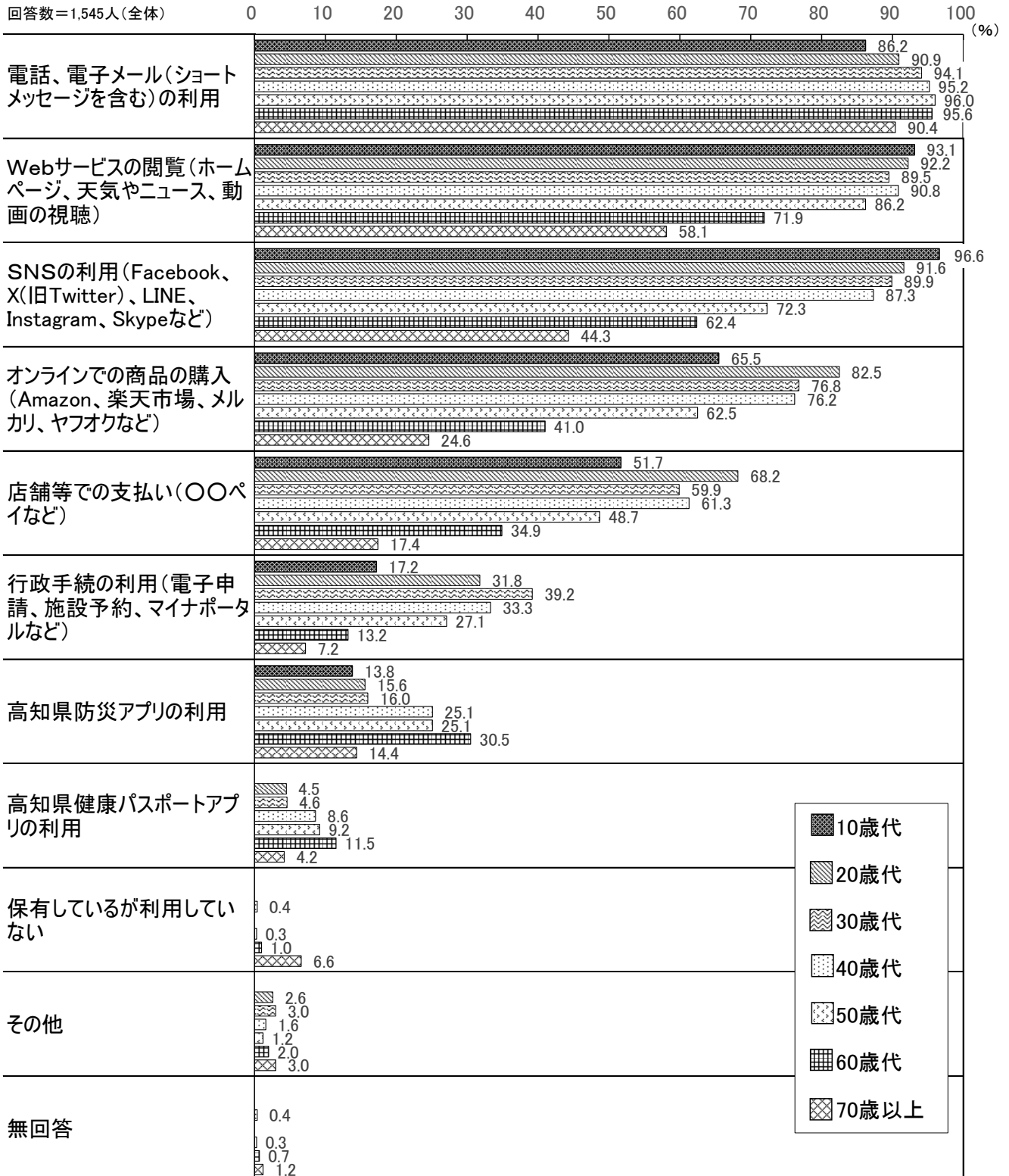
男女ともに「電話、電子メール（ショートメッセージを含む）の利用」が最も高くなっている。



【年代別】

10歳代では「SNSの利用（Facebook、X(旧Twitter)、LINE、Instagram、Skype など）」が最も高く、20歳代では「Webサービスの閲覧（ホームページ、天気やニュース、動画の視聴）」が、30歳代から70歳以上では「電話、電子メール（ショートメッセージを含む）の利用」が最も高くなっている。

《年代別》



副問2 (問 17 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

あなたは、スマートフォンの操作方法が分からない場合、主にどのようにしていますか。

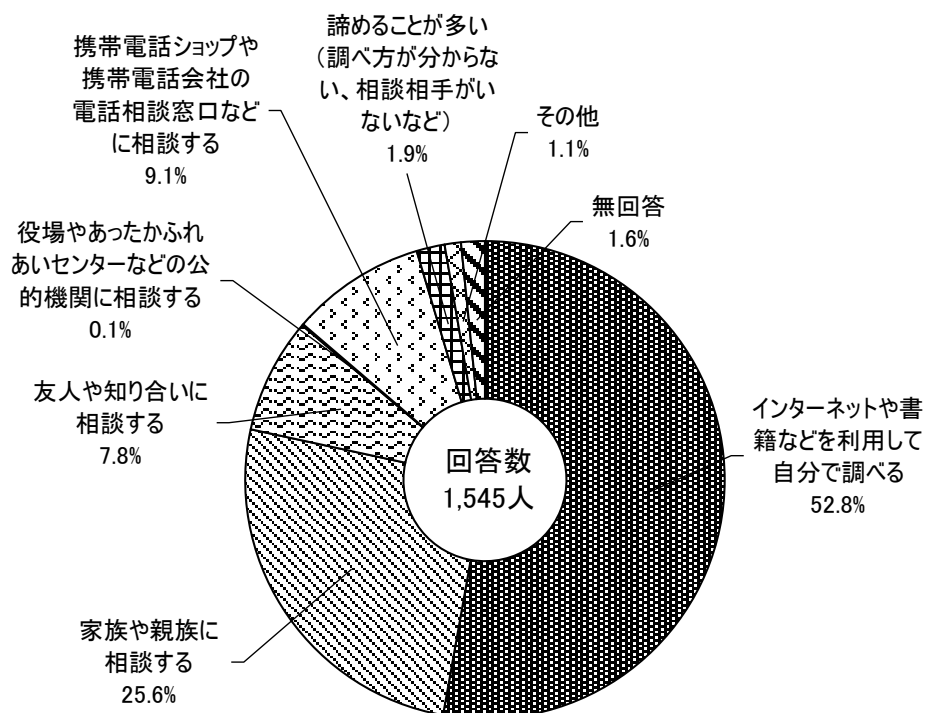
(最も当てはまるもの1つだけ○印)

【総合】

「インターネットや書籍などを利用して自分で調べる」が 52.8%と 1 位になっている。

次いで、「家族や親族に相談する」が 25.6%、「友人や知り合いに相談する」が 7.8%と続いている。

《総合》



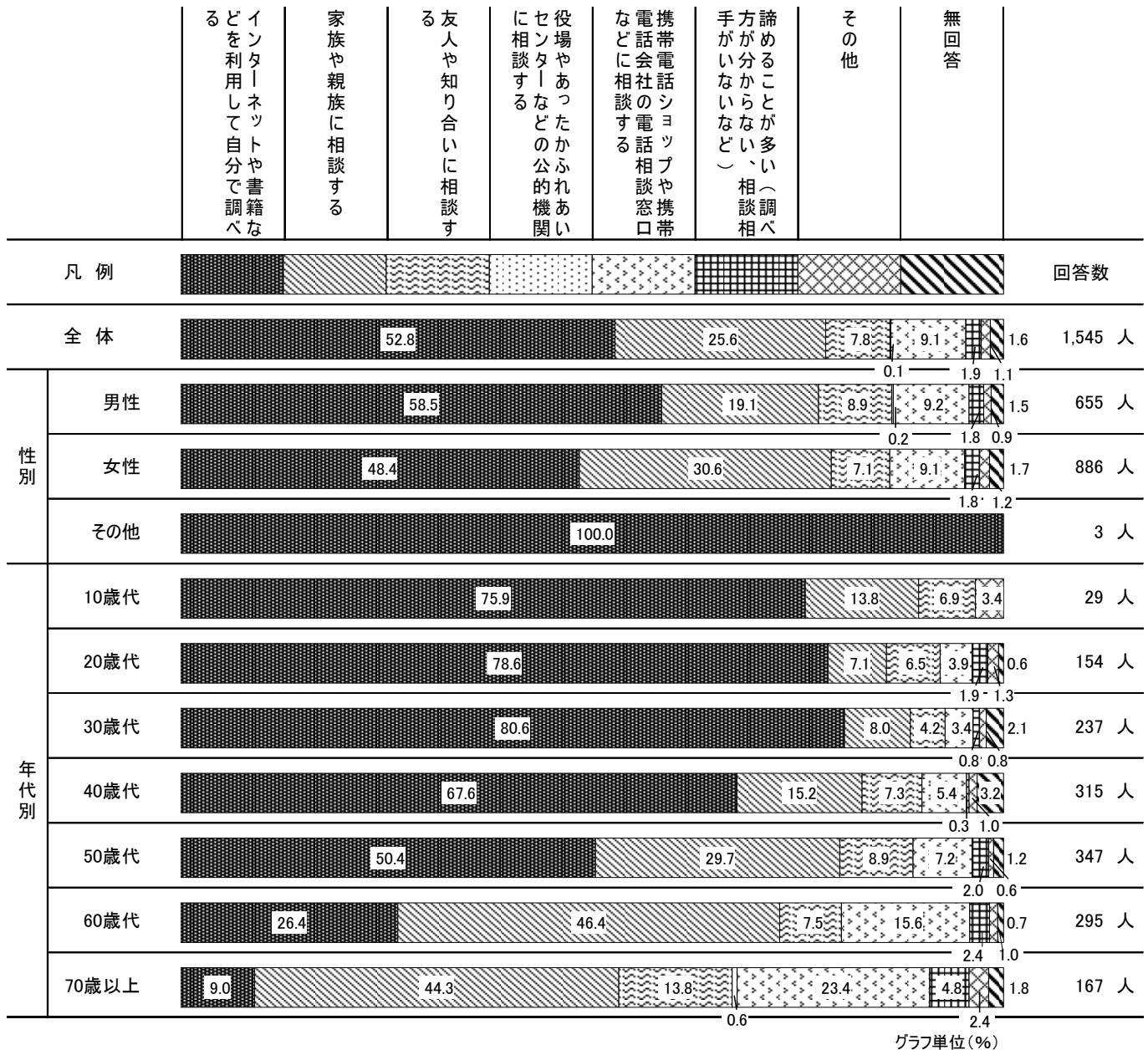
【性別】

男女ともに「インターネットや書籍などを利用して自分で調べる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代から50歳代では「インターネットや書籍などを利用して自分で調べる」が最も高く、60歳代、70歳以上では「家族や親族に相談する」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



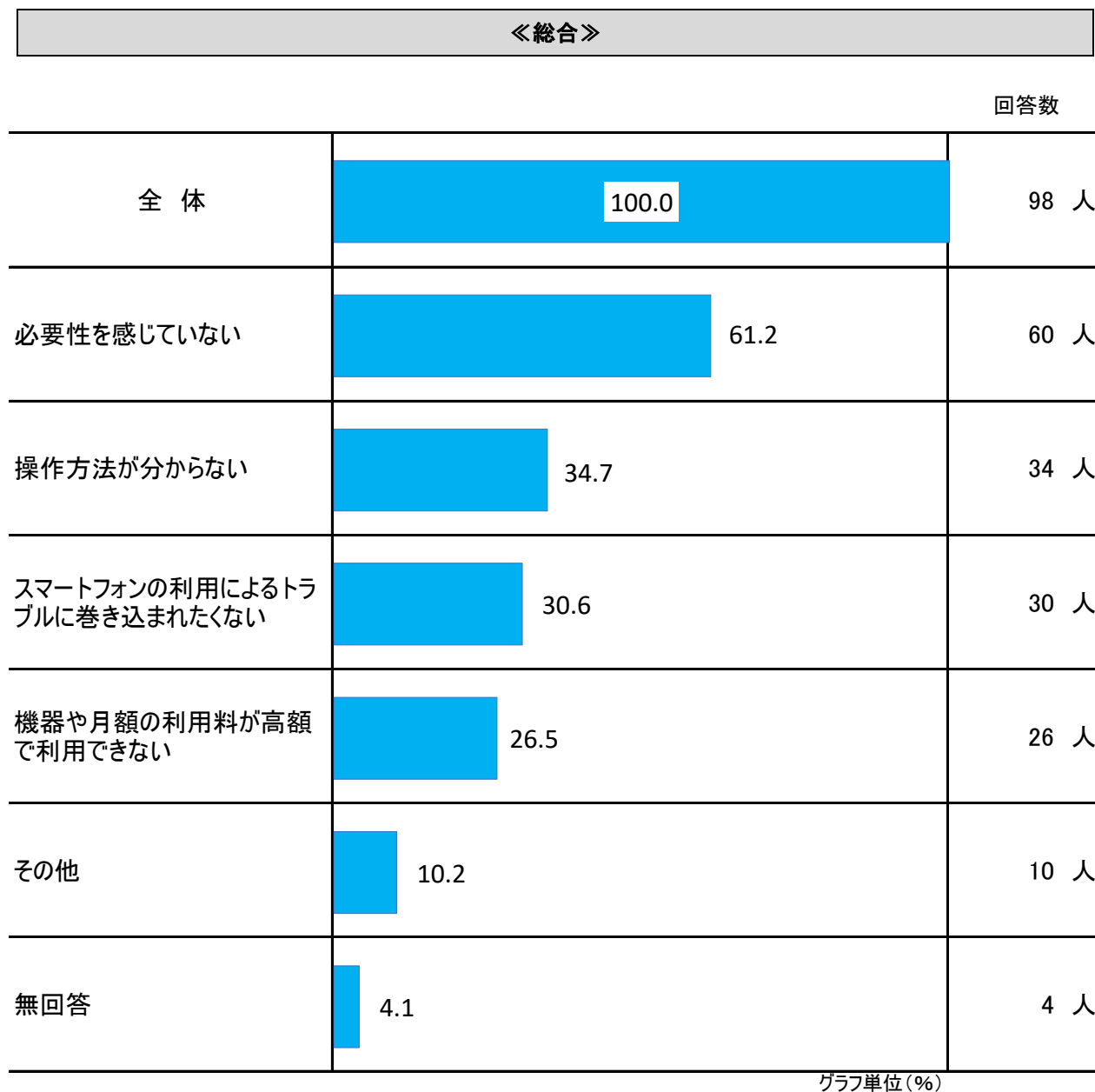
副問3 (問 17で「2」を選んだ方のみお答えください。)

スマートフォンを保有していないのはなぜですか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

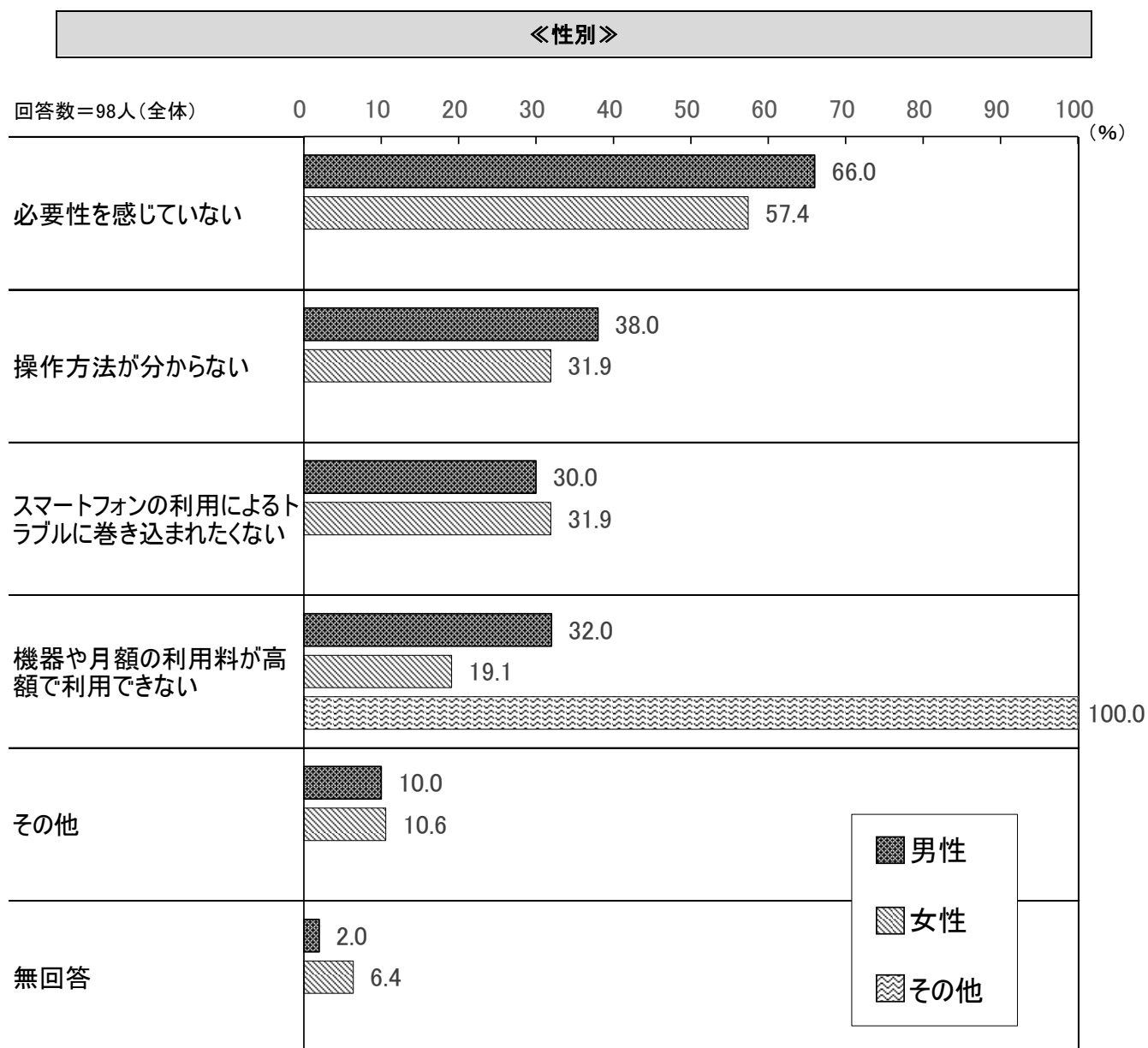
「必要性を感じていない」が61.2%と1位になっている。

次いで、「操作方法が分からない」が34.7%、「スマートフォンの利用によるトラブルに巻き込まれたくない」が30.6%と続いている。



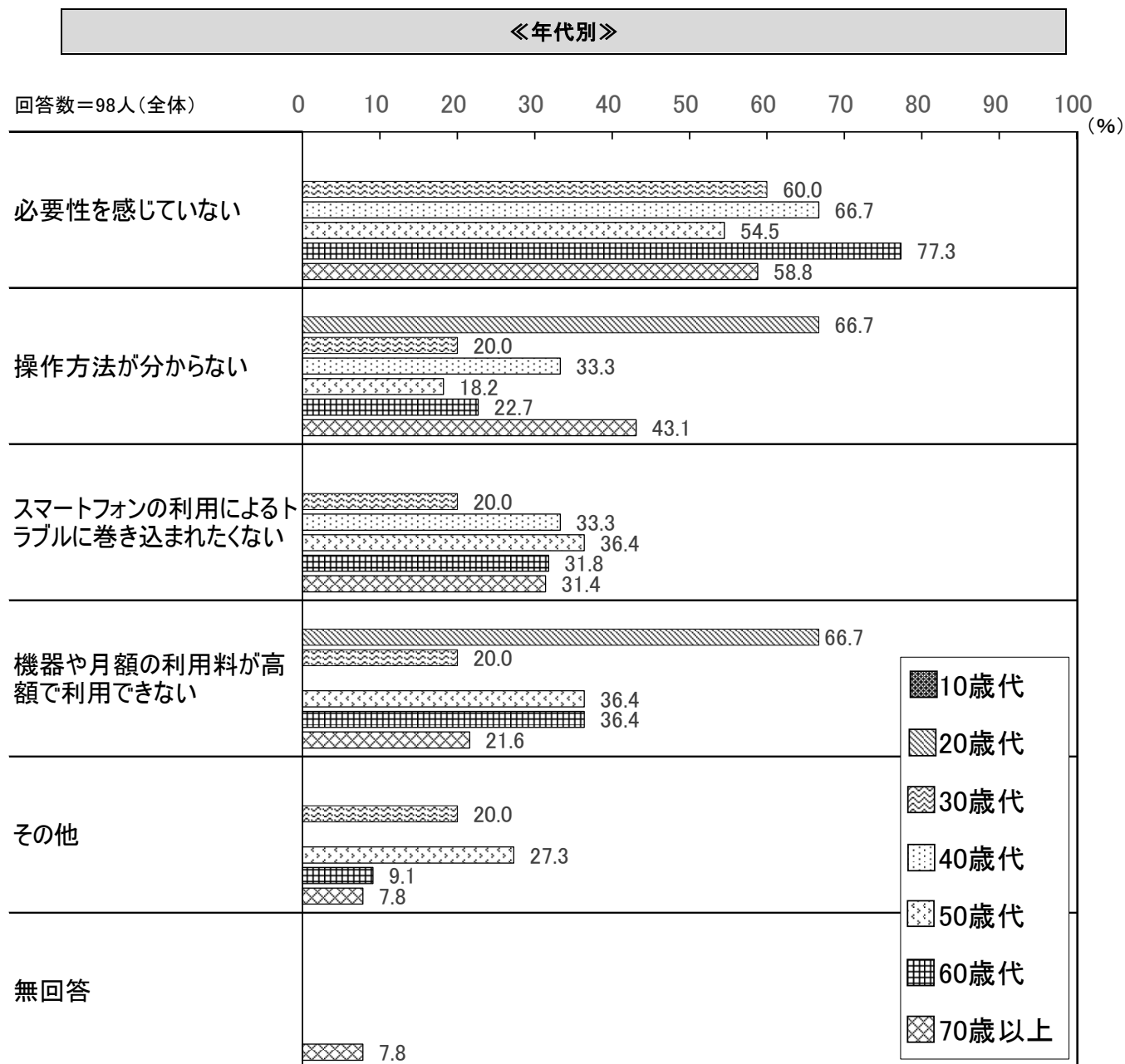
【性別】

男女ともに「必要性を感じていない」が最も高くなっている。



【年代別】

20 歳代では同率で「操作方法が分からない」、「機器や月額の利用料が高額で利用できない」が最も高く、30 歳代から 70 歳以上では「必要性を感じていない」が最も高くなっている。



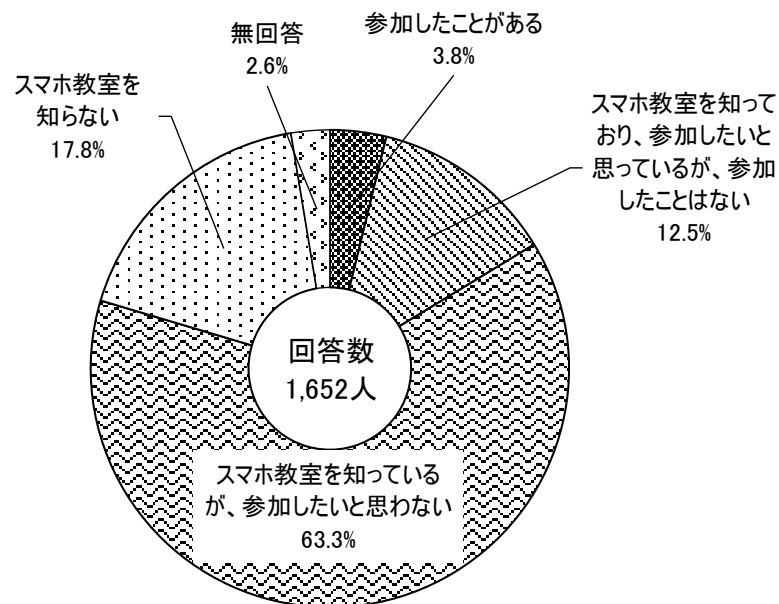
問 18 自治体や携帯電話ショップ(NTT ドコモ、ソフトバンク、KDDI、楽天など)が開催するスマホ教室に参加したことがありますか。(1つだけ○印)

【総合】

「スマホ教室を知っているが、参加したいと思わない」が 63.3%と 1 位になっている。

次いで、「スマホ教室を知らない」が 17.8%、「スマホ教室を知っており、参加したいと思っているが、参加したことはない」が 12.5%となっている。

《総合》



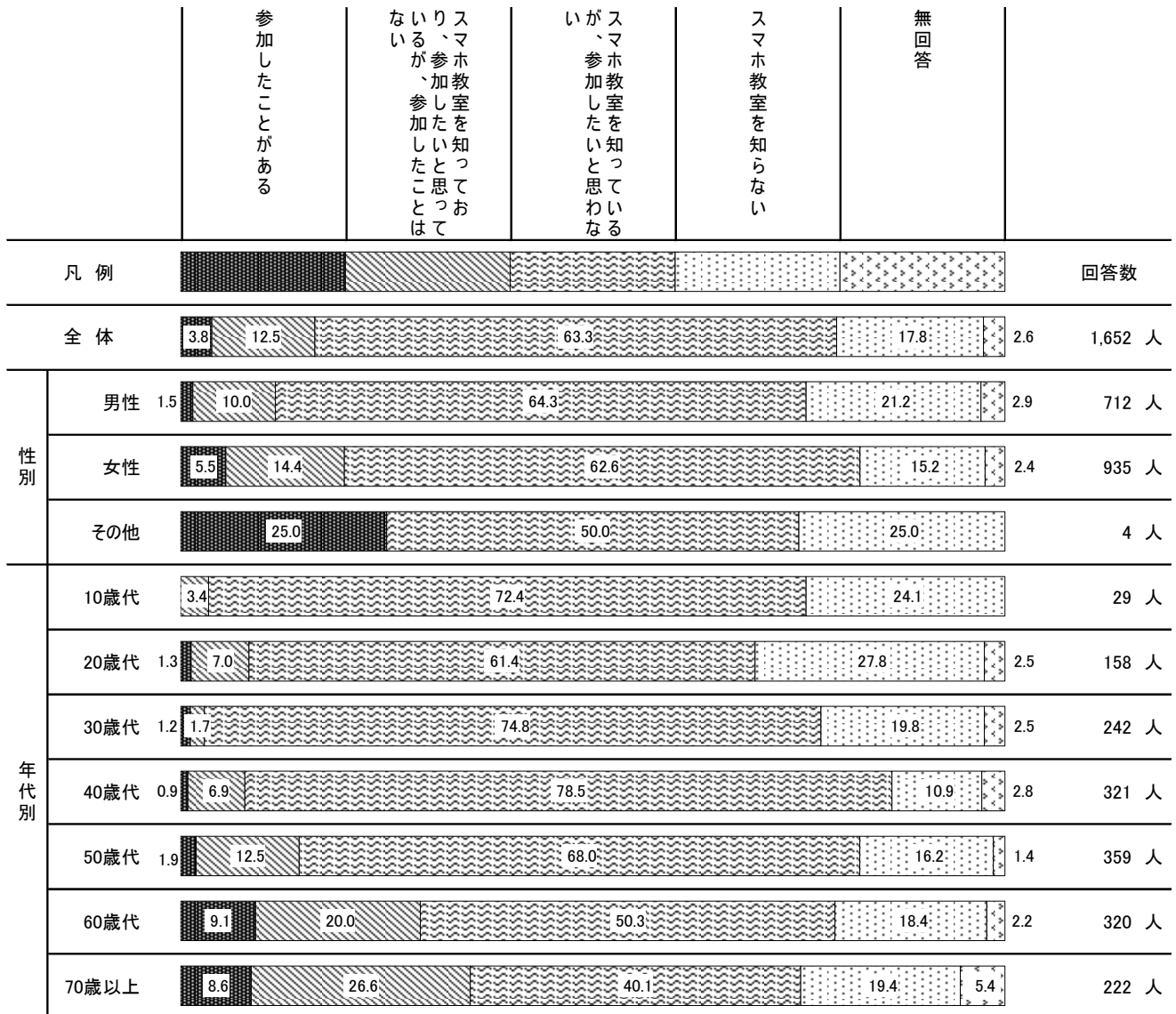
【性別】

男女ともに「スマホ教室を知っているが、参加したいと思わない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「スマホ教室を知っているが、参加したいと思わない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

【問 17×問 18 のクロス分析】

「スマートフォン保有の有無」という質問に対し、「スマホ教室に参加したことがあるか」の結果を見ると、保有の有無に関わらず「スマホ教室を知っているが、参加したいと思わない」が最も高くなっている。

《問 17×問 18 のクロス分析》

		全体	スマホ教室に参加したことがあるか				
			参加したことがある	スマホ教室を知っており、参加したいと思わない	スマホ教室を知っているが、参加したいと思わない	スマホ教室を知らない	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体		1,652	63	207	1045	294	43
		100.0	3.8	12.5	63.3	17.8	2.6
有 無 ス マ ー ト フ ォ ン 保 有 の	保有している(家族名義のものを含む)	1,545	4.0	12.6	65.0	16.6	1.8
	保有していない	98	1.0	12.2	40.8	36.7	9.2

【問 17 副問 1×問 18 のクロス分析】

「スマートフォンを何のために利用するのか」という質問に対し、「スマホ教室に参加したことがあるか」の結果を見ると、どのスマートフォン利用の理由に関わらず「スマホ教室を知っているが、参加したいと思わない」が最も高くなっている。

《問 17 副問 1×問 18 のクロス分析》

		全体	スマホ教室に参加したことがあるか				
			参加したことがある	スマホ教室を知っており、参加したことはない	スマホ教室を知っているが、参加したいと思わない	スマホ教室を知らない	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)							
全体		1,545	62 4.0	194 12.6	1,004 65.0	257 16.6	28 1.8
スマートフォンを何のために利用するのか	電話、電子メール(ショートメッセージを含む)の利用	1,454	4.1	12.7	65.2	16.2	1.8
	SNSの利用(Facebook、X(旧Twitter)、LINE、Instagram、Skypeなど)	1,166	3.3	9.8	69.8	15.4	1.6
	Webサービスの閲覧(ホームページ、天気やニュース、動画の視聴)	1,275	3.5	10.0	69.3	15.9	1.4
	店舗等での支払い(〇〇ペイなど)	756	3.0	7.4	74.1	13.9	1.6
	オンラインでの商品の購入(Amazon、楽天市場、メルカリ、ヤフオクなど)	947	1.7	7.9	74.4	14.1	1.8
	高知県防災アプリの利用	346	5.2	12.1	69.1	12.4	1.2
	高知県健康パスポートアプリの利用	118	7.6	13.6	69.5	8.5	0.8
	行政手続の利用(電子申請、施設予約、マイナポータルなど)	397	1.5	7.1	77.6	12.8	1.0
	保有しているが利用していない	16	－	18.8	56.3	25.0	－
	その他	31	－	6.5	74.2	16.1	3.2

副問1 (問 18 で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。)

スマホ教室に「参加したことはない」、「参加したいと思わない」のはなぜですか。

(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「必要性を感じないから（スマホ教室に参加しなくても困らない）」が 77.7%と 1 位になっている。

次いで、「参加する時間がないから」が 16.2%、「参加申込みがめんどくさいから」が 11.5%と続いている。

《総合》

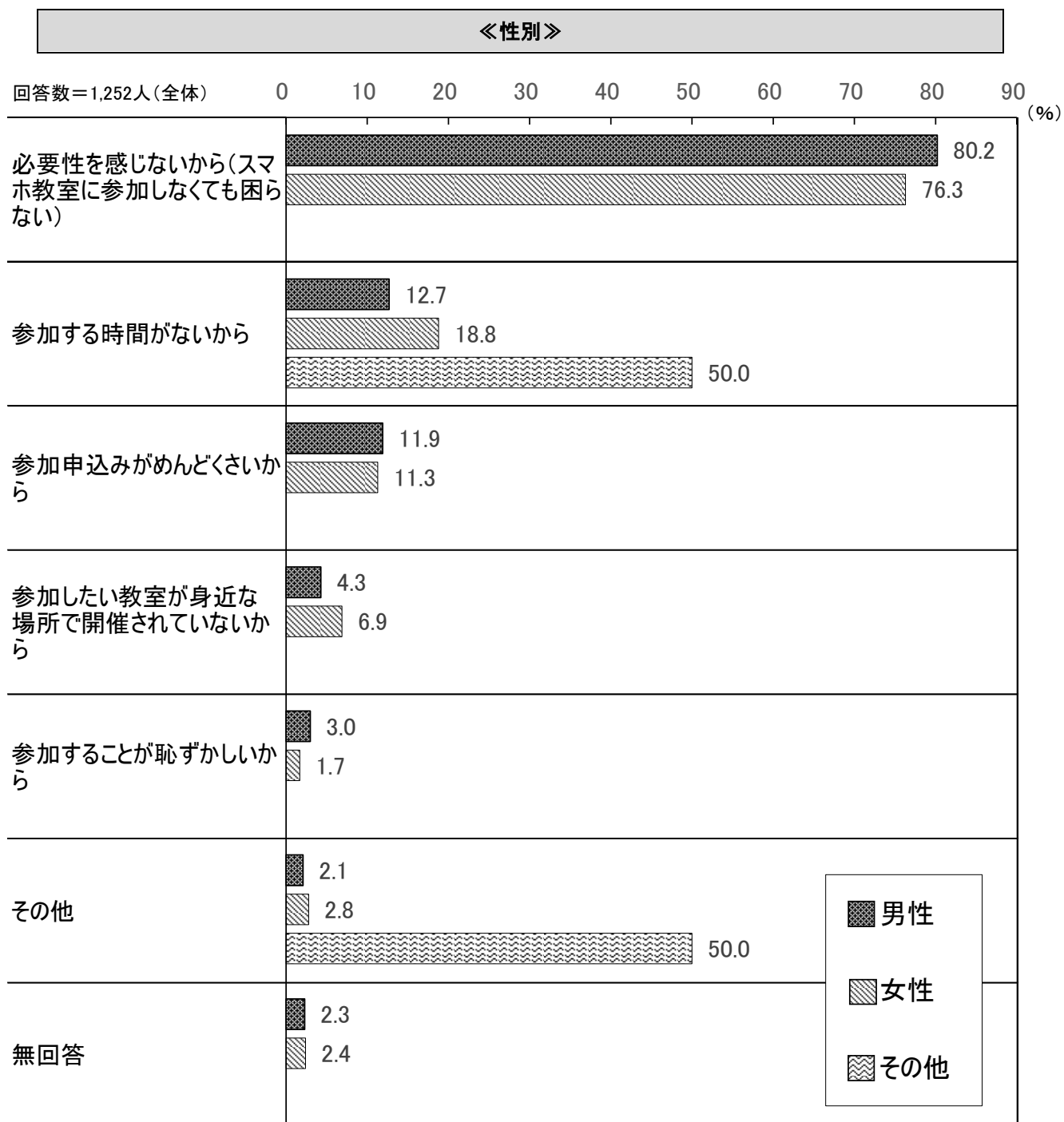
回答数

全 体	100.0	1,252 人
必要性を感じないから(スマホ教室に参加しなくても困らない)	77.7	973 人
参加する時間がないから	16.2	203 人
参加申込みがめんどくさいから	11.5	144 人
参加したい教室が身近な場所で開催されていないから	5.8	73 人
参加することが恥ずかしいから	2.2	28 人
その他	2.6	33 人
無回答	2.3	29 人

グラフ単位(%)

【性別】

男女ともに「必要性を感じないから（スマホ教室に参加しなくても困らない）」が最も高くなっている。

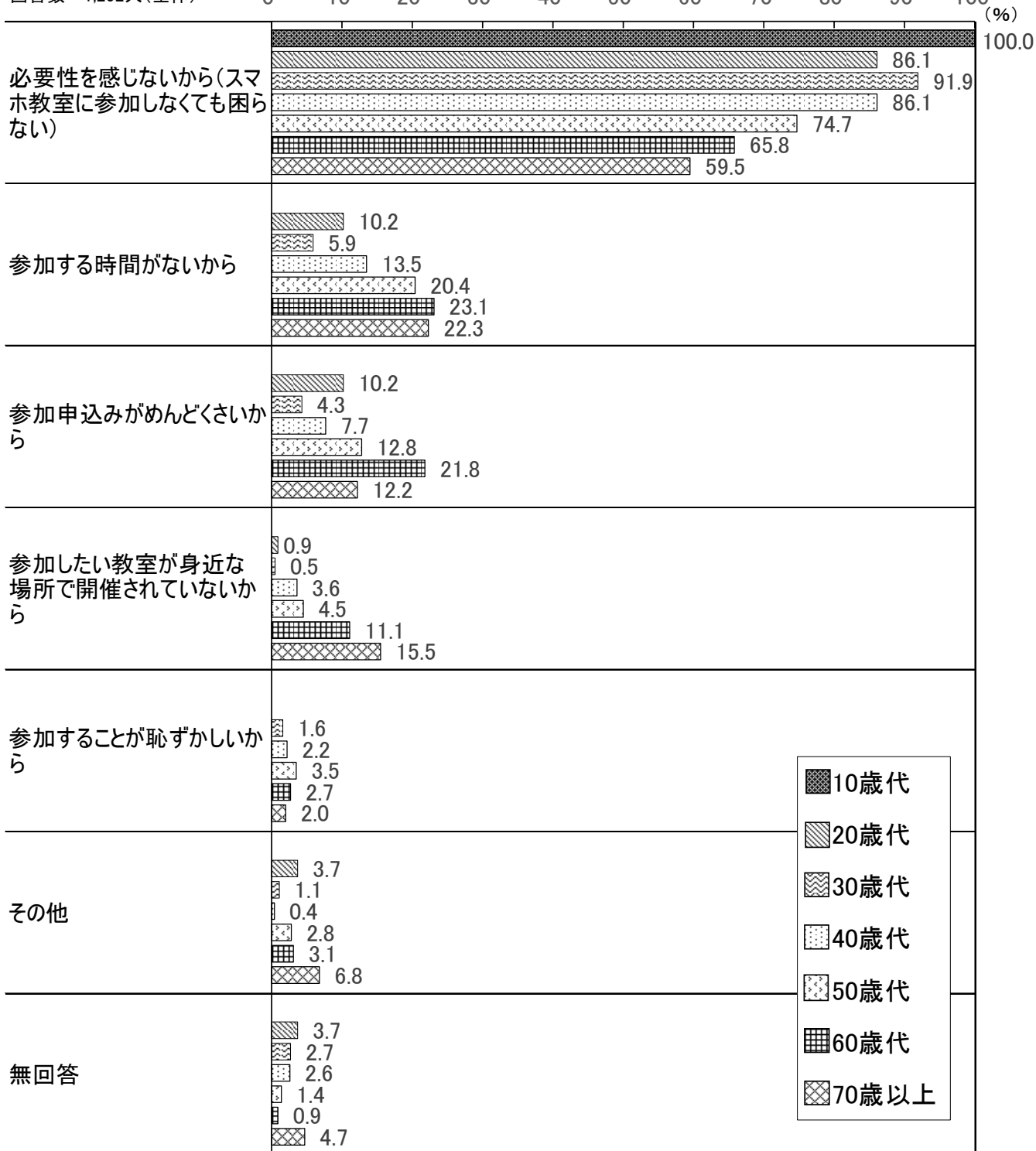


【年代別】

すべての年代で「必要性を感じないから（スマホ教室に参加しなくても困らない）」が最も高くなっている。中でも10歳代は100%となっている。

《年代別》

回答数=1,252人(全体)

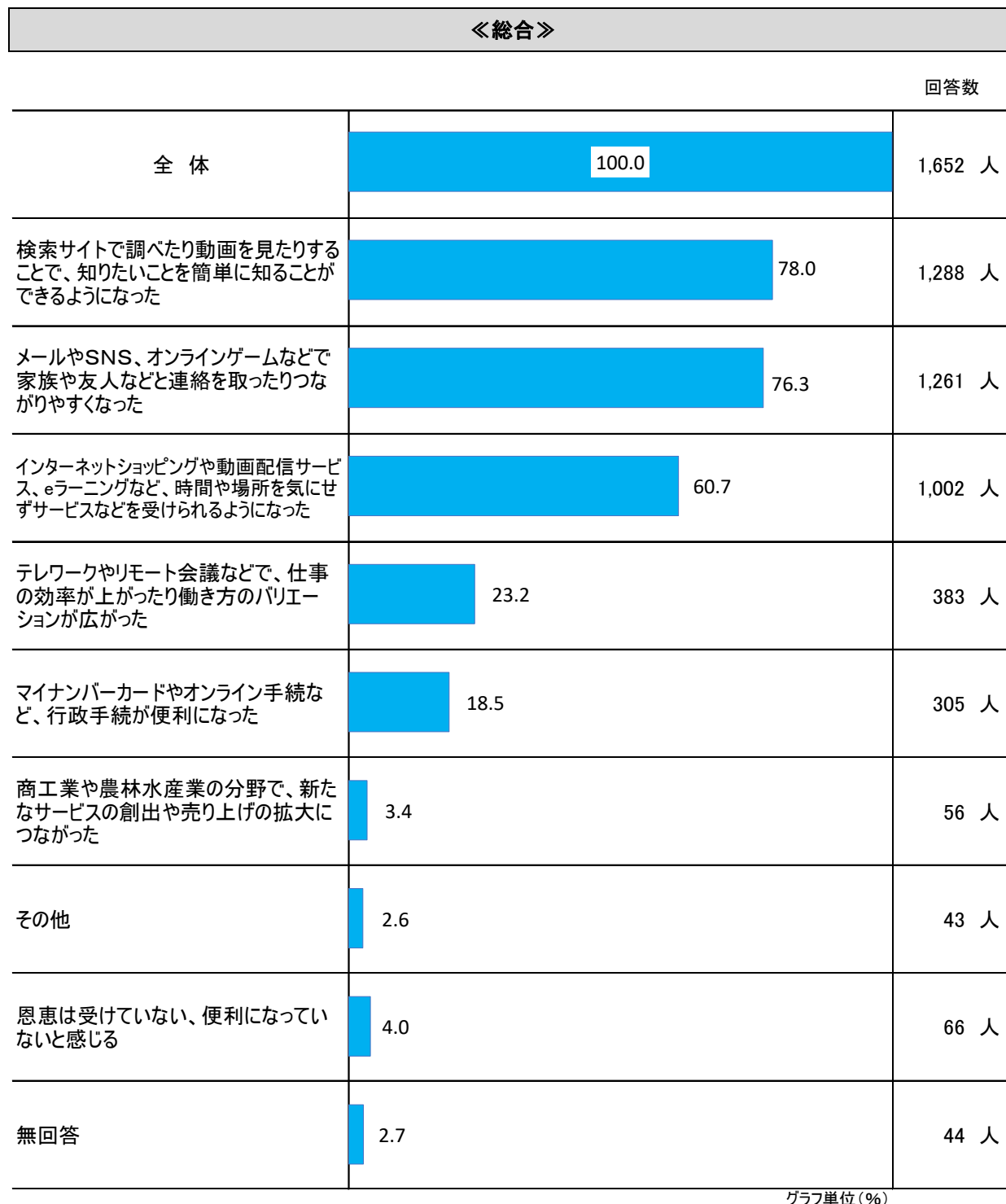


問 19 近年、生活や仕事などさまざまな場面においてはデジタル化が進んできていますが、あなたはどのような
場面で、以前(概ね 10 年前ごろ)と比べてデジタル化の恩恵を受けている、あるいは便利になったと感じます
か。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

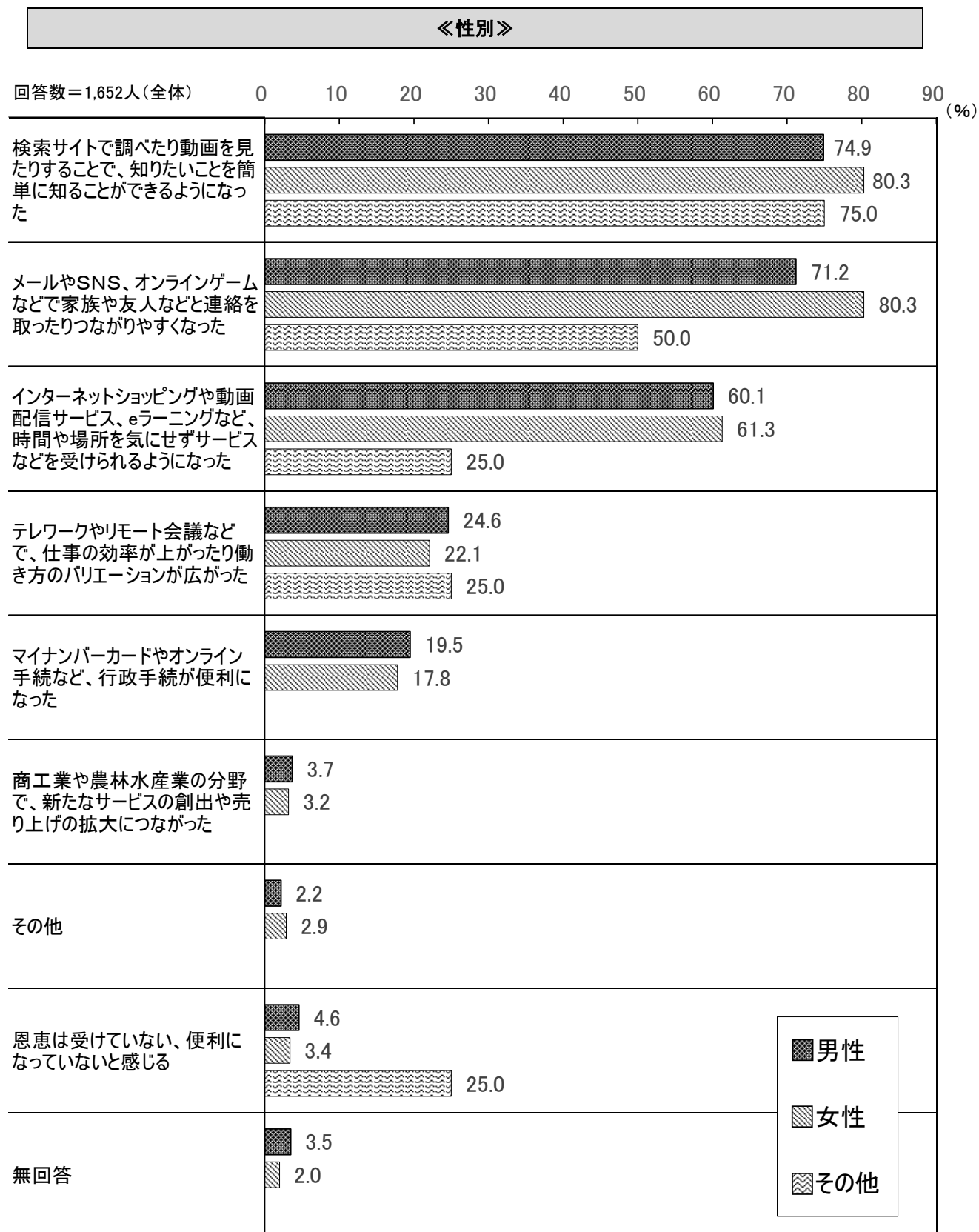
「検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるようになった」が 78.0%と 1 位になっている。

次いで、「メールや SNS、オンラインゲームなどで家族や友人などと連絡を取ったりつながりやすくなった」が 76.3%、「インターネットショッピングや動画配信サービス、e ラーニングなど、時間や場所を気にせずサービスなどを受けられるようになった」が 60.7%と続いている。



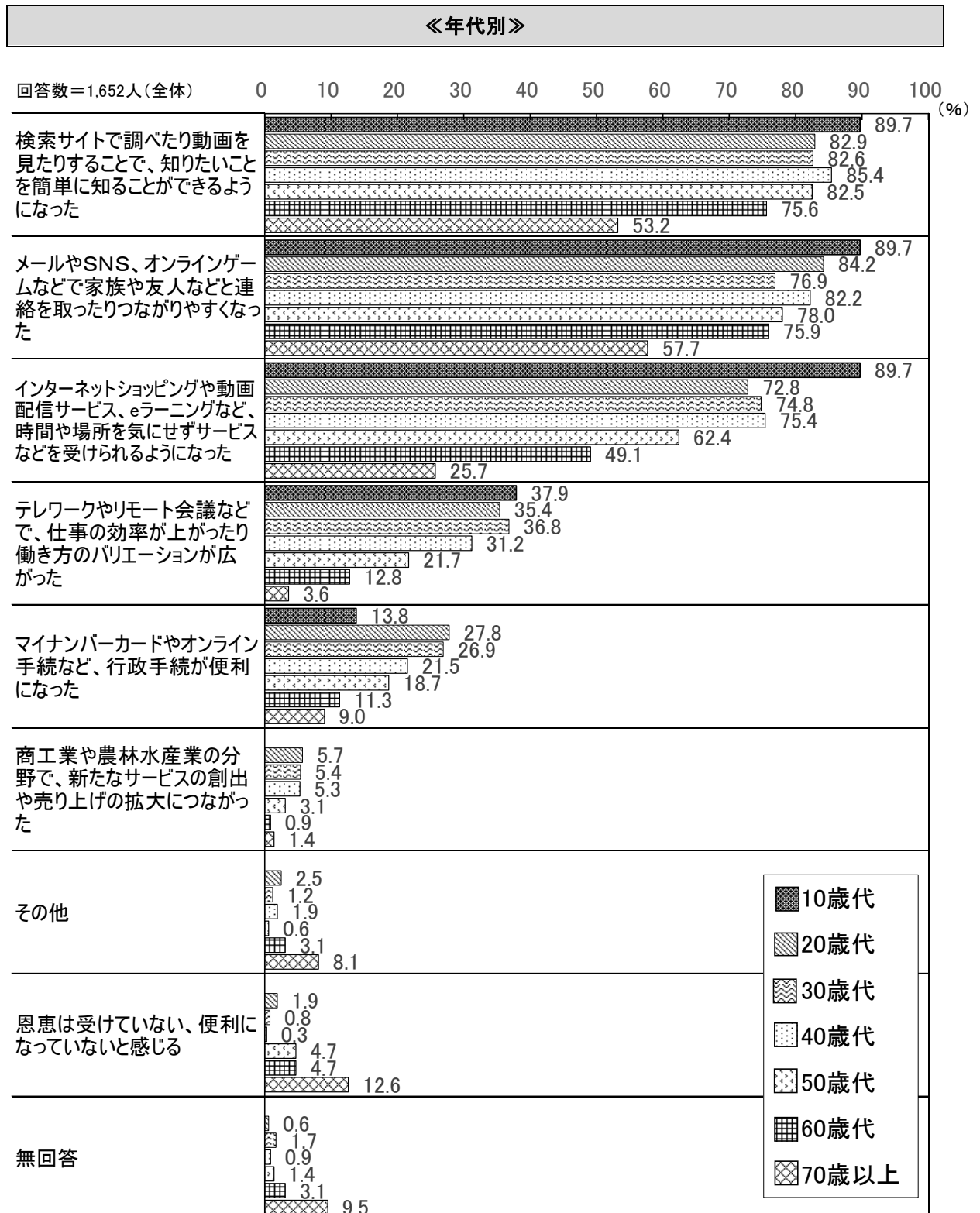
【性別】

男性では「検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるようになった」が最も高く、女性では同率で「検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるようになった」、「メールやSNS、オンラインゲームなどで家族や友人などと連絡を取ったりつながりやすくなった」が最も高くなっている。



【年代別】

10 歳代、20 歳代、60 歳代、70 歳以上では「メールや SNS、オンラインゲームなどで家族や友人などと連絡を取ったりつながりやすくなった」が最も高く、10 歳代では同率で「検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるようになった」、「インターネットショッピングや動画配信サービス、e ラーニングなど、時間や場所を気にせずサービスなどを受けられるようになった」が最も高くなっている。30 歳代、40 歳代、50 歳代では「検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるようになった」が最も高くなっている。



【問 17×問 19 のクロス分析】

「スマートフォン保有の有無」という質問に対し、「以前と比べてデジタル化の恩恵を受けている、便利になったと感じるか」の結果を見ると、「保有している（家族名義のものを含む）」では、「検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるようになった」が最も高く、「保有していない」では、「恩恵は受けていない、便利になっていないと感じる」が最も高くなっている。

《問 17×問 19 のクロス分析》

		全体	以前と比べてデジタル化の恩恵を受けている、便利になったと感じるか								無回答			
			友人メールやSNS、オンラインゲームなどで家族や	サービスなどを受けられるようになった	インターネットショッピングや動画配信サービス、eラーニングなど、時間や場所を気にせず	検索サイトで調べたり動画を見たりするように、知りたいことを簡単に知ることができるように	テレワークやリモート会議などで、仕事の効率が上がったり働き方のバリエーションが広がった	創出や売り上げの拡大につながった	商工業や農林水産業の分野で、新たなサービスの	手続が便利になった		マイナンバーカードやオンライン手続など、行政	その他	恩恵は受けていない、便利になっていないと感じる
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)														
全体		1,652	1,261	1,002	1,288	383	56	305	43	66	44			
			76.3	60.7	78.0	23.2	3.4	18.5	2.6	4.0	2.7			
スマートフォン保有の有無	保有している(家族名義のものを含む)	1,545	80.2	63.9	81.9	24.5	3.4	19.4	1.9	2.2	1.4			
	保有していない	98	18.4	13.3	20.4	5.1	3.1	6.1	14.3	32.7	17.3			

【問 17 副問 1×問 19 のクロス分析】

「スマートフォンを何のために利用するのか」という質問に対し、「以前と比べてデジタル化の恩恵を受けている、便利になったと感じるか」の結果を見ると、「高知県健康パスポートアプリの利用」を除くすべての理由で、「検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるようになった」が最も高くなっており、同率で「高知県防災アプリの利用」では、「メールやSNS、オンラインゲームなどで家族や友人などと連絡を取ったりつながりやすくなった」が、「保有しているが利用していない」では、「メールやSNS、オンラインゲームなどで家族や友人などと連絡を取ったりつながりやすくなった」、「インターネットショッピングや動画配信サービス、eラーニングなど、時間や場所を気にせずサービスなどを受けられるようになった」、「恩恵は受けていない、便利になっていないと感じる」が最も高く、「高知県健康パスポートアプリの利用」では、「メールやSNS、オンラインゲームなどで家族や友人などと連絡を取ったりつながりやすくなった」が最も高くなっている。

《問 17 副問 1×問 19 のクロス分析》

		全体	以前と比べてデジタル化の恩恵を受けている、便利になったと感じるか									
			友人などSNS、オンラインゲームなどで家族や	インターネットショッピングや動画配信サービスなどを受けられるようになった	検索サイトで調べたり動画を見たりすることで、知りたいことを簡単に知ることができるように	テレワークやリモート会議などで、仕事の効率が上がった	上り下りや移動の利便性が上がった	商工業や農林水産業の分野で、新たなサービスの創出や売り上げの拡大につながった	マイナポータルカードやオンライン手続など、行政手続が便利になった	その他	恩恵は受けていない、便利になっていないと感じる	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)												
全体		1,545	1,239 80.2	988 63.9	1,266 81.9	378 24.5	53 3.4	299 19.4	29 1.9	34 2.2	22 1.4	
スマートフォンを何のために利用するのか	電話、電子メール(ショートメッセージを含む)の利用	1,454	81.2	64.8	83.1	24.5	3.5	19.9	1.8	2.1	1.3	
	SNSの利用(Facebook、X(旧Twitter)、LINE、Instagram、Skypeなど)	1,166	87.2	74.1	87.8	29.3	3.8	22.6	1.5	0.6	0.6	
	Webサービスの閲覧(ホームページ、天気やニュース、動画の視聴)	1,275	83.7	72.3	88.5	28.2	3.9	22.0	1.4	1.2	0.9	
	店舗等での支払い(〇〇ペイなど)	756	86.2	80.3	89.3	33.6	4.9	29.2	1.7	0.4	0.3	
	オンラインでの商品の購入(Amazon、楽天市場、メルカリ、ヤフオクなど)	947	84.9	82.5	90.4	33.2	5.1	26.7	1.3	0.5	0.8	
	高知県防災アプリの利用	346	87.0	75.1	87.0	32.1	5.8	31.2	1.2	1.4	0.3	
	高知県健康パスポートアプリの利用	118	93.2	74.6	89.8	33.9	6.8	33.1	0.8	—	—	
	行政手続の利用(電子申請、施設予約、マイナポータルなど)	397	85.9	84.4	89.9	39.0	5.5	52.6	1.3	0.8	0.5	
	保有しているが利用していない	16	31.3	31.3	31.3	—	—	6.3	12.5	31.3	6.3	
	その他	31	67.7	51.6	80.6	25.8	3.2	16.1	9.7	9.7	—	

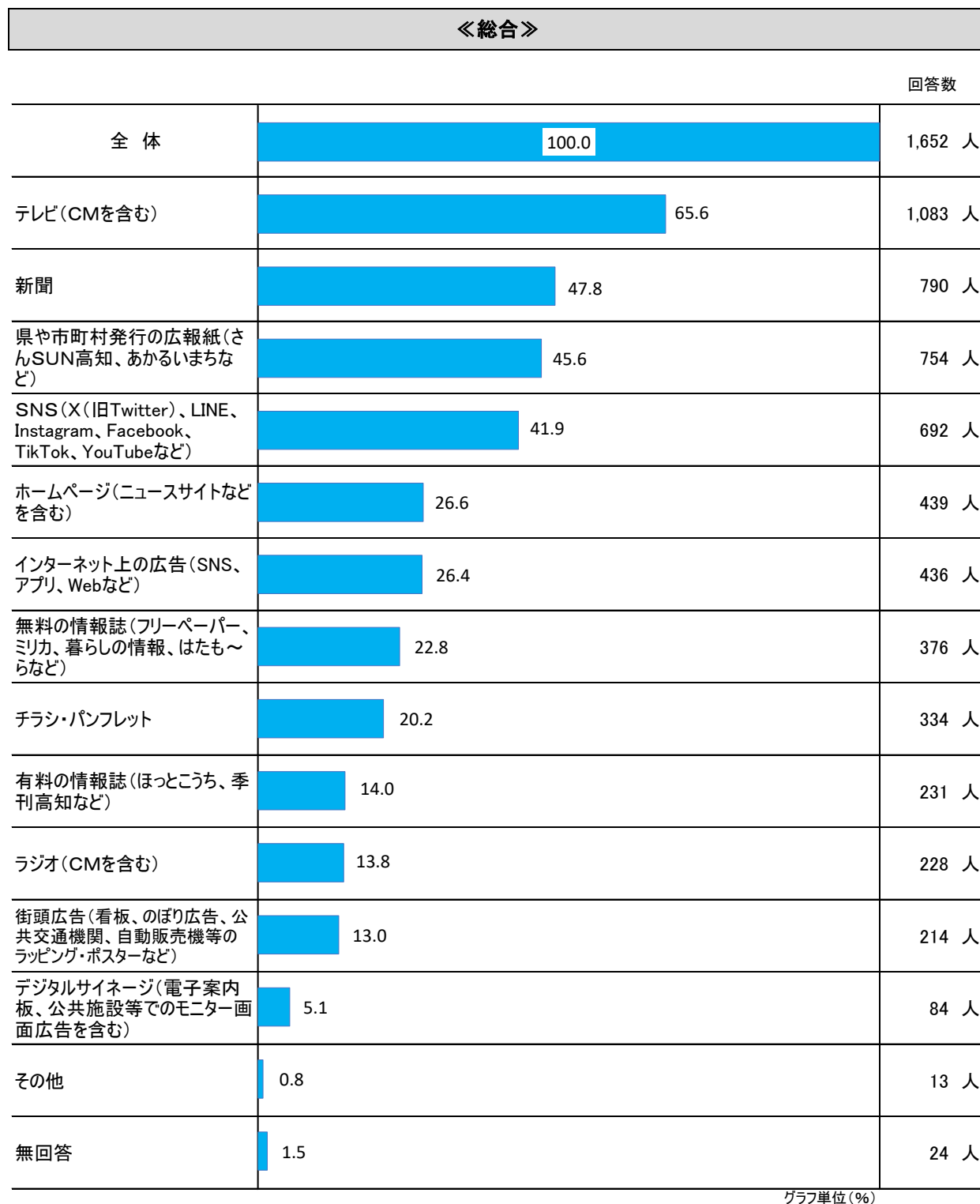
4. 県の広報について

問 20 普段、興味を持った情報（県政情報に限らない）を知るきっかけになる方法（媒体）は何ですか。
（当てはまるものすべてに○印）

【総合】

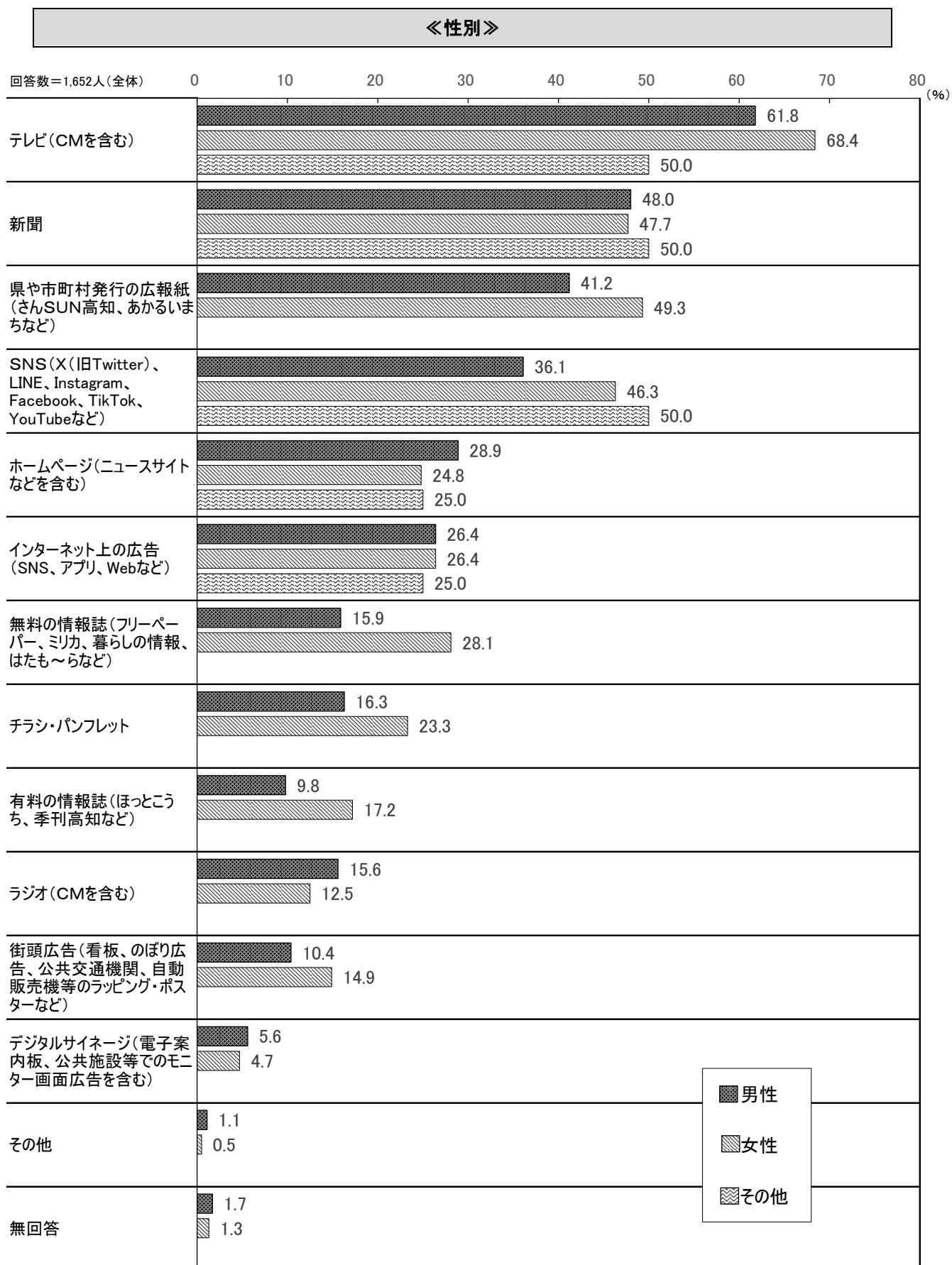
「テレビ（CMを含む）」が 65.6%と 1 位になっている。

次いで、「新聞」が 47.8%、「県や市町村発行の広報紙（さんSUN高知、あかるいまちなど）」が 45.6%と続いている。



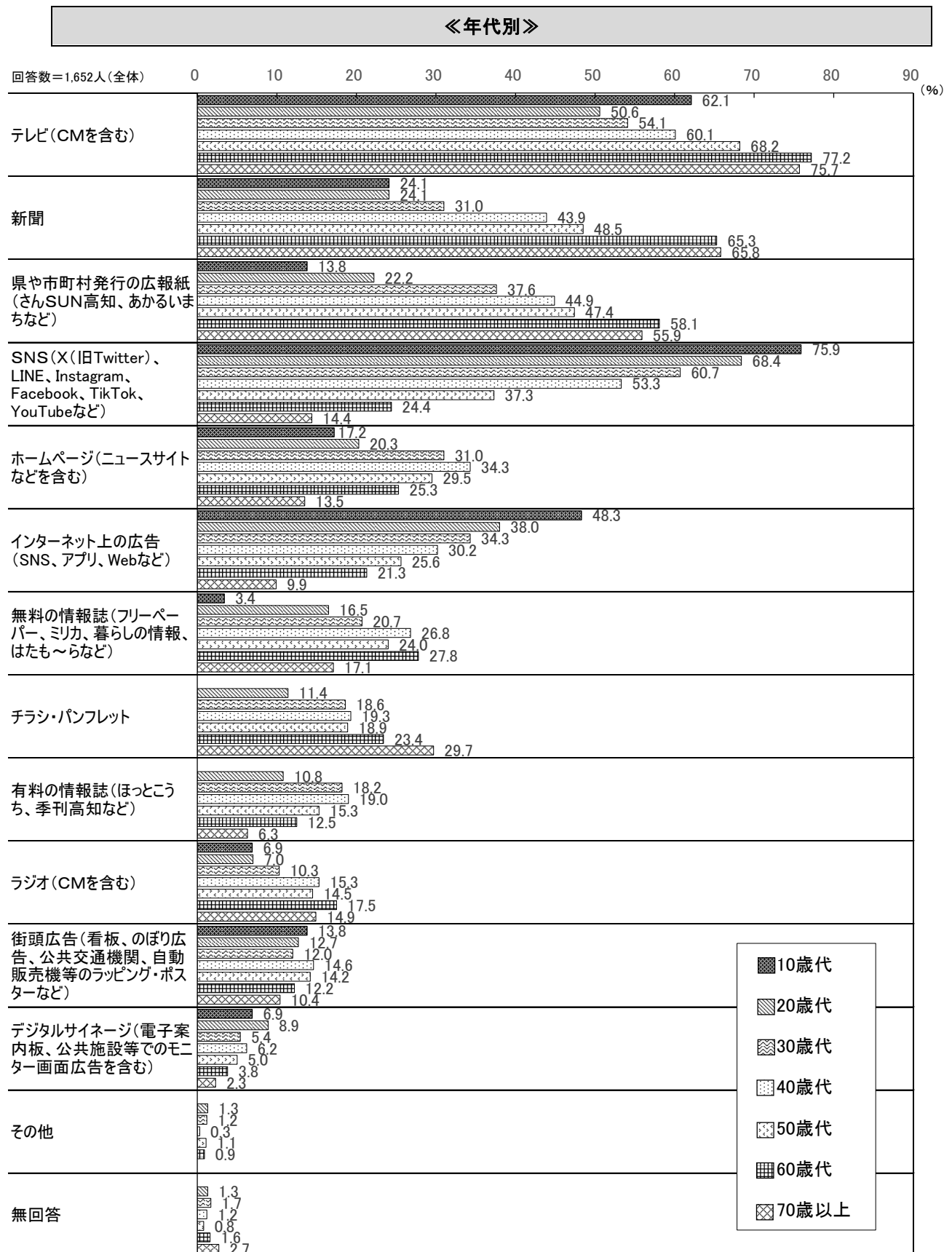
【性別】

男女ともに「テレビ（CMを含む）」が最も高くなっており、次いで、男性では「新聞」が、女性では「県や市町村発行の広報紙（さんSUN高知、あかるいまちなど）」が続いている。



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「SNS（X（旧Twitter）、LINE、Instagram、Facebook、TikTok、YouTubeなど）」が最も高く、40歳代から70歳以上では「テレビ（CMを含む）」が最も高くなっている。

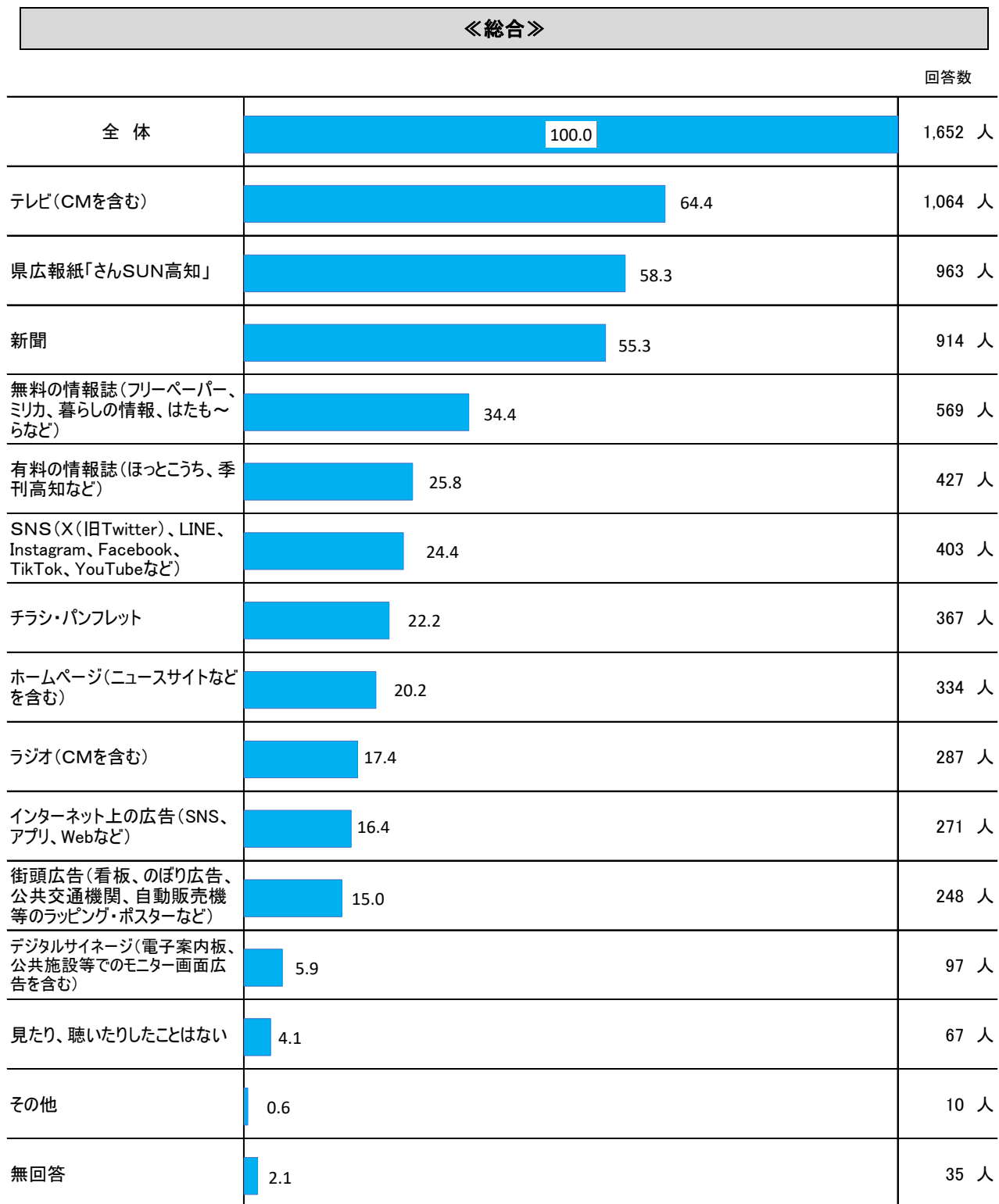


問 21 県が行っている次の広報活動で、ご覧になったり、お聴きになったりしたことがあるものはどれですか。
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「テレビ（CMを含む）」が 64.4%と 1 位になっている。

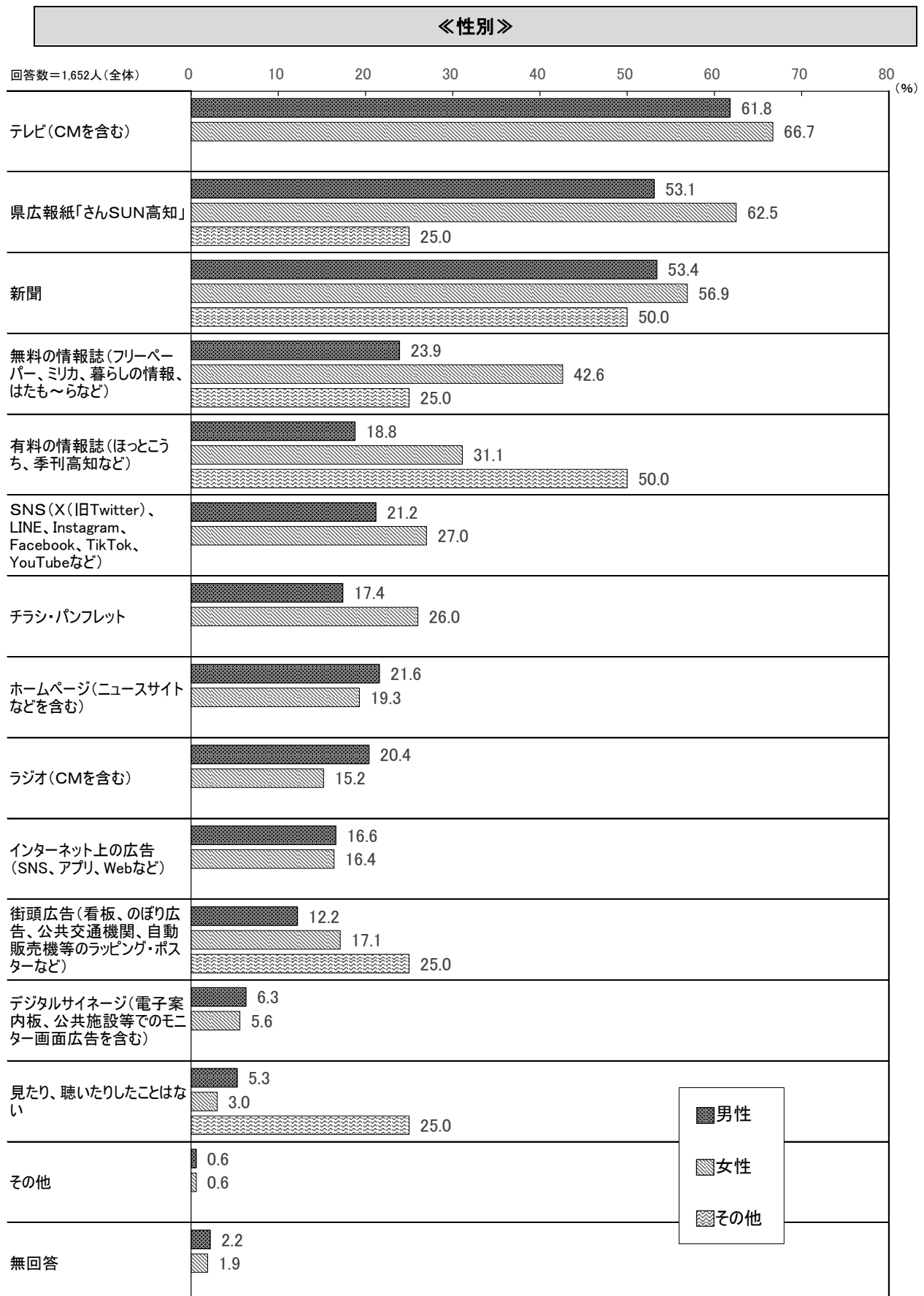
次いで、「県広報紙「さんSUN高知」」が 58.3%、「新聞」が 55.3%と続いている。



グラフ単位(%)

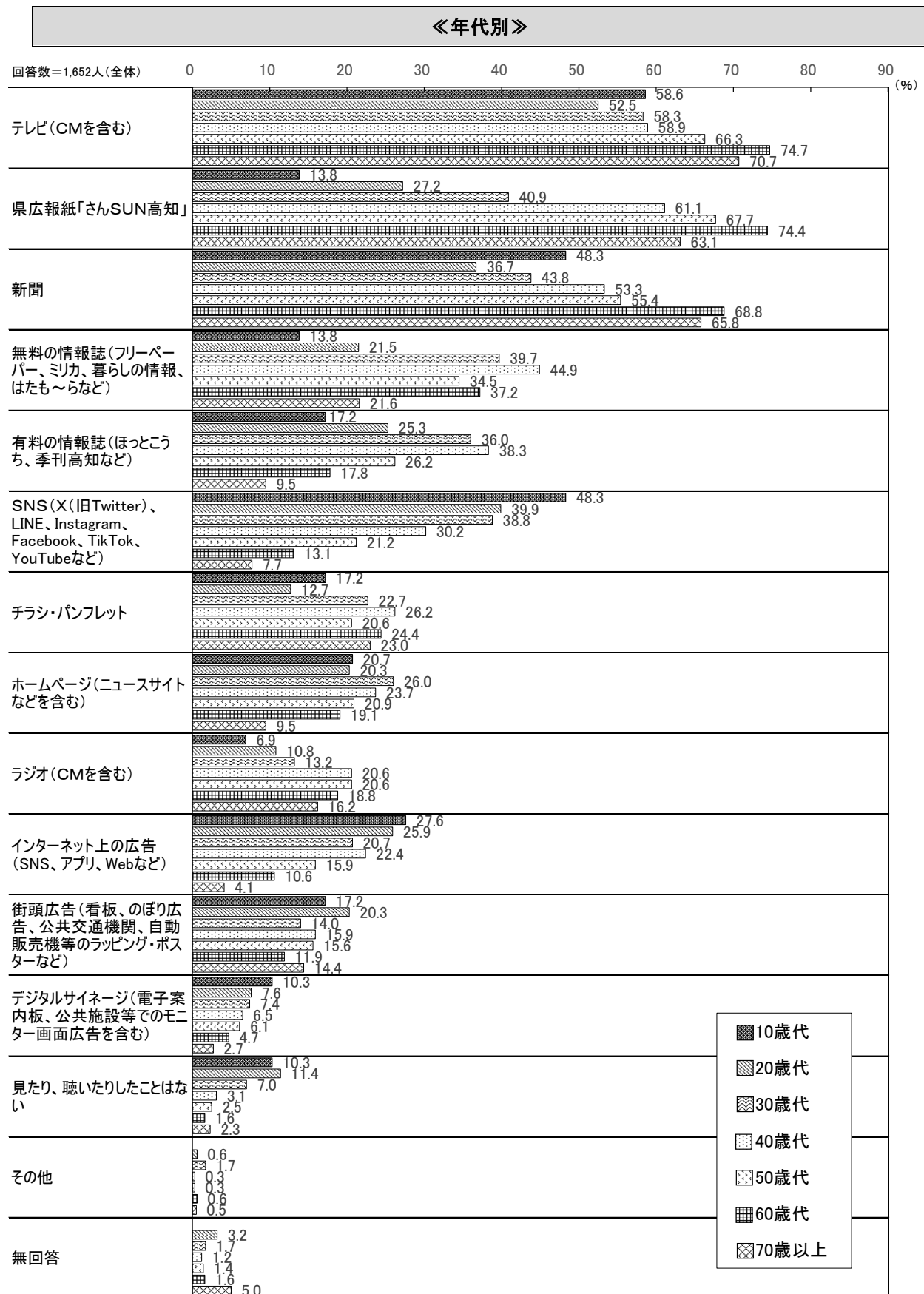
【性別】

男女ともに「テレビ（CMを含む）」が最も高くなっており、次いで、男性では「新聞」が、女性では「県広報紙「さんSUN高知」」が続いている。



【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代、60歳代、70歳以上では「テレビ（CMを含む）」が最も高く、40歳代、50歳代では「県広報紙「さんSUN高知」」が最も高くなっている。



5. 県民の健康づくりについて

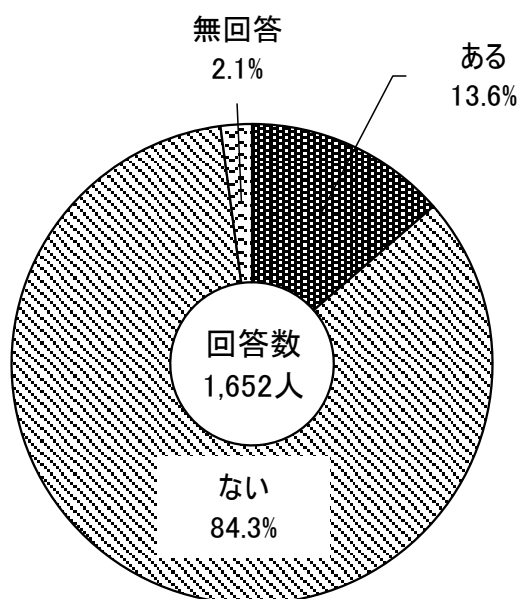
問 22 あなたは現在、健康上の問題で日常生活に何か影響がありますか。

【総合】

「ない」が84.3%と1位になっている。

次いで、「ある」が13.6%と続いている。

《総合》

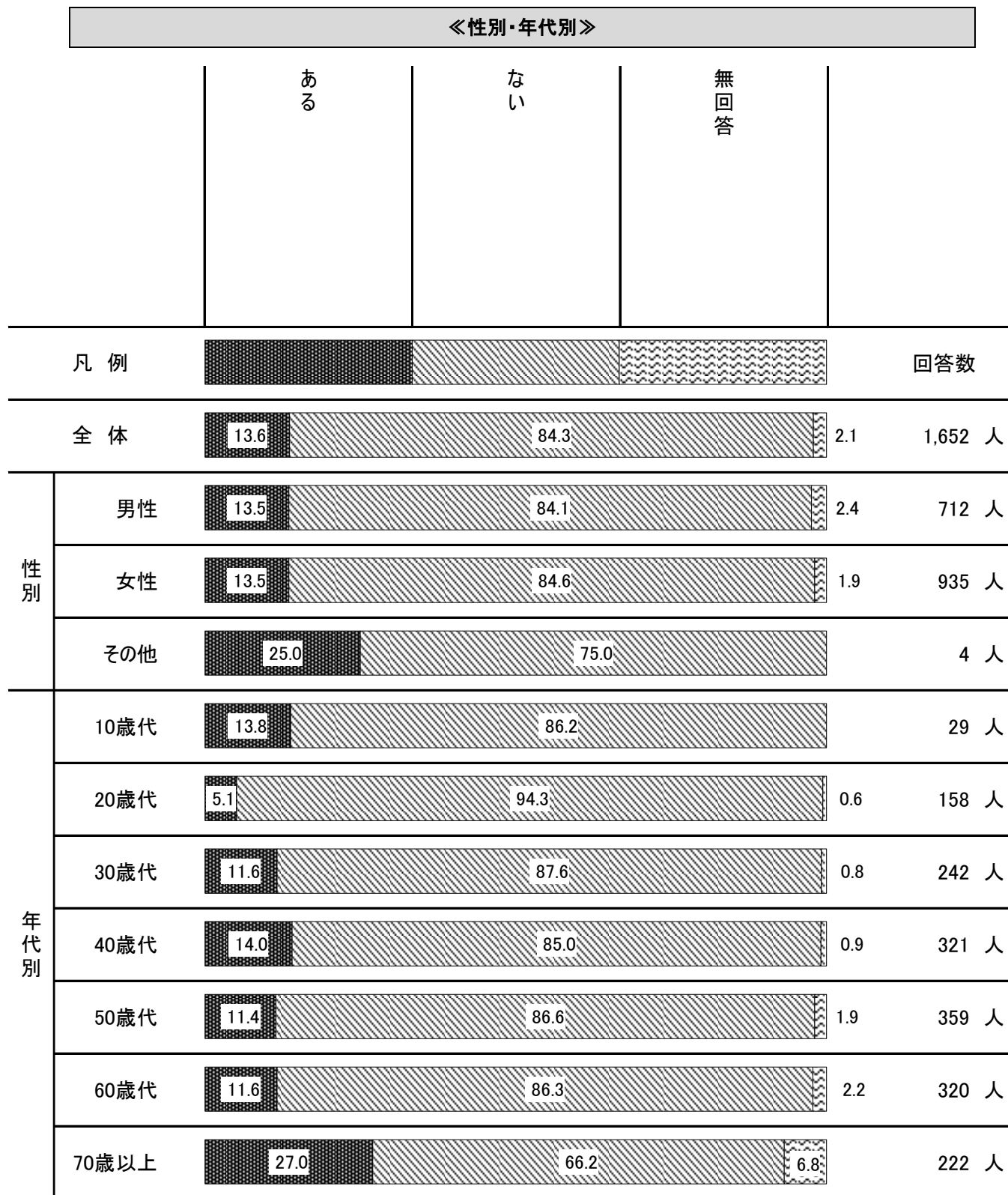


【性別】

男女とも「ない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「ない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

副問1 (問 22 で「1」を選んだ方のみお答えください。)

それはどのようなことに影響がありますか。(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が 51.8%と 1 位になっている。

次いで、「運動（スポーツを含む）」が 36.6%、「日常生活動作（起床、衣服脱着、食事、入浴など）」が 31.7%と続いている。

《総合》

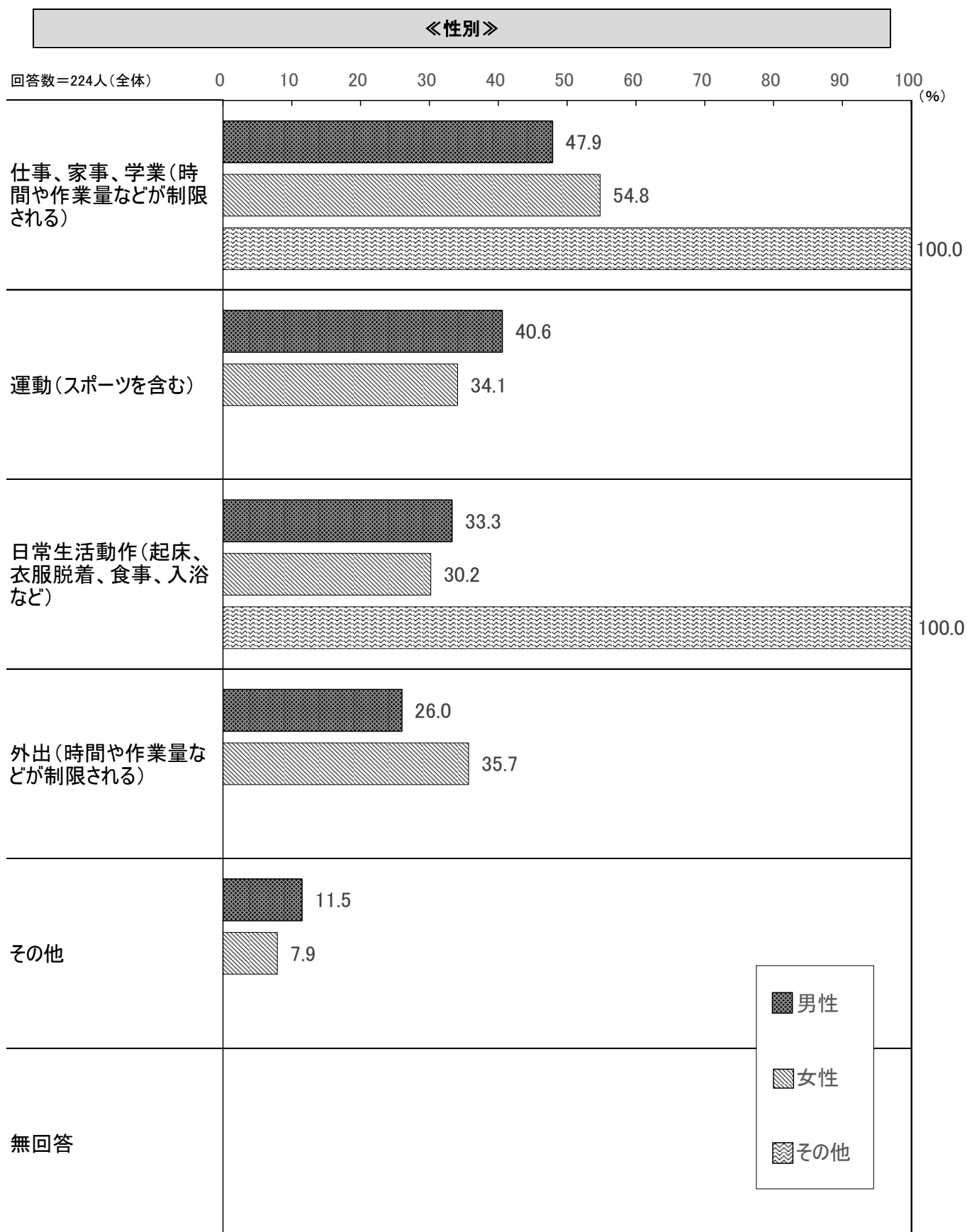
回答数

		回答数
全 体	100.0	224 人
仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）	51.8	116 人
運動（スポーツを含む）	36.6	82 人
日常生活動作（起床、衣服脱着、食事、入浴など）	31.7	71 人
外出（時間や作業量などが制限される）	31.7	71 人
その他	9.4	21 人
無回答		0 人

グラフ単位 (%)

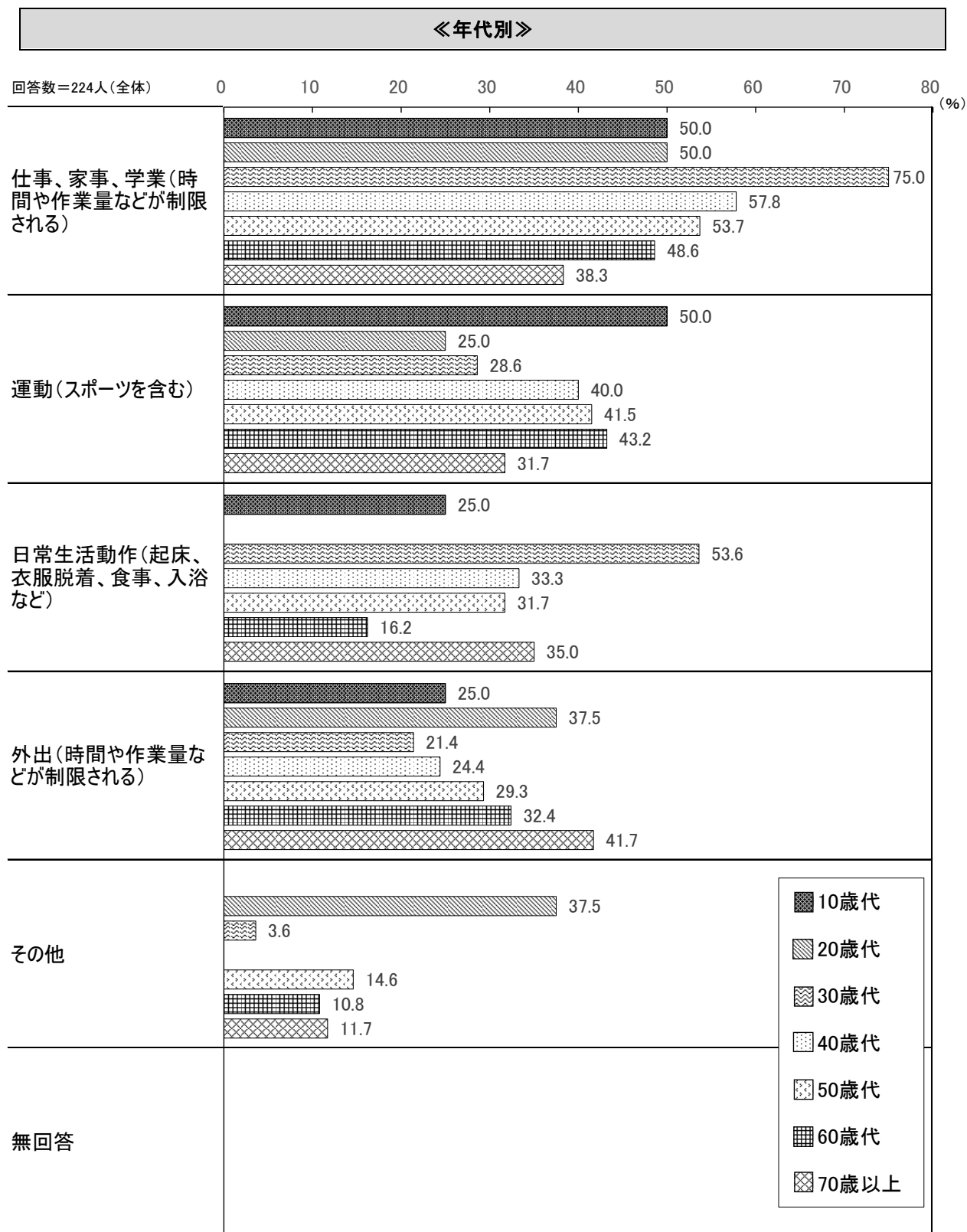
【性別】

男女ともに「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が最も高くなっており、次いで、男性では「運動（スポーツを含む）」が、女性では「外出（時間や作業量などが制限される）」が続いている。



【年代別】

10歳代から60歳代では「仕事、家事、学業（時間や作業量などが制限される）」が最も高く、10歳代では同率で「運動（スポーツを含む）」が最も高くなっている。70歳以上では「外出（時間や作業量などが制限される）」が最も高くなっている。



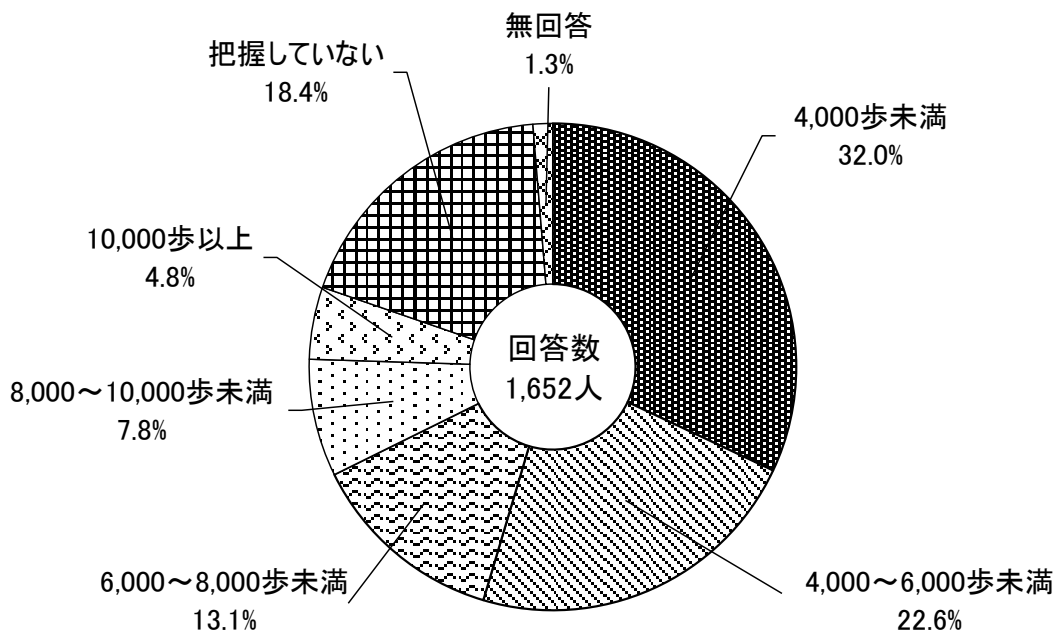
問 23 高知県の1日の平均歩数は、男女ともに全国平均を下回っております。健康づくりのためには、成人で1日約 8,000 歩以上、高齢者で1日約 6,000 歩以上の歩行に相当する身体活動が推奨※¹されています。あなたは1日にどのくらい歩いていますか。(1つだけ○印) 歩数の目安：1,000 歩＝約 10 分

【総合】

「4,000 歩未満」が 32.0%と 1 位になっている。

次いで、「4,000～6,000 歩未満」が 22.6%、「把握していない」が 18.4%と続いている。

《総合》



1日平均歩数

年齢区分	性別	国目標値※ ²	全国平均※ ³	高知県※ ⁴
24～64 歳	男性	8,000	7,864	6,210
	女性	8,000	6,685	5,960
65 歳以上	男性	6,000	5,396	4,894
	女性	6,000	4,656	4,229

* 1 「健康づくりのための身体活動・運動ガイド 2023」推奨シート(厚生労働省)

* 2 健康日本 21(第三次) * 3 令和元年国民健康・栄養調査

* 4 令和4年高知県県民健康・栄養調査

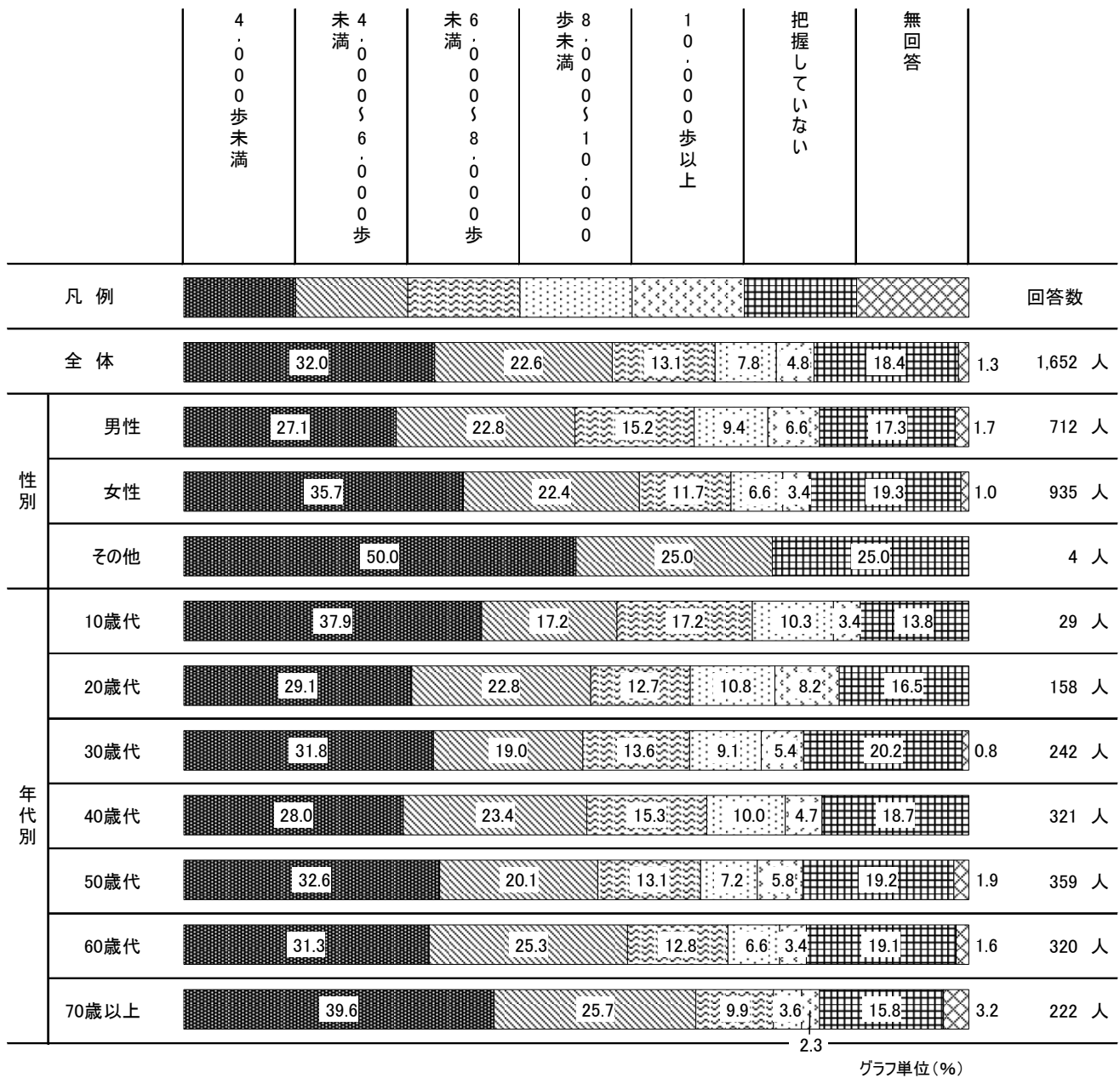
【性別】

男女ともに「4,000歩未満」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「4,000歩未満」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



6. 高知型地域共生社会の実現に向けた支え合いの地域づくりについて

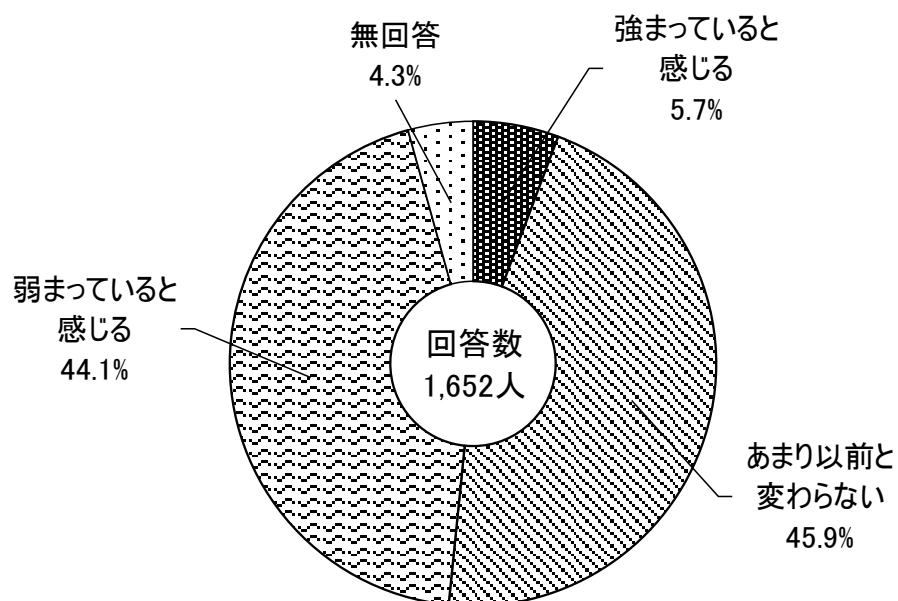
問 24 地域での支え合いの力は、以前(概ね5～10 年前)と比べてどうなっていると感じますか。(1つだけ○印)

【総合】

「あまり以前と変わらない」が45.9%と1位になっている。

次いで、「弱まっていると感じる」が44.1%、「強まっていると感じる」が5.7%となっている。

《総合》

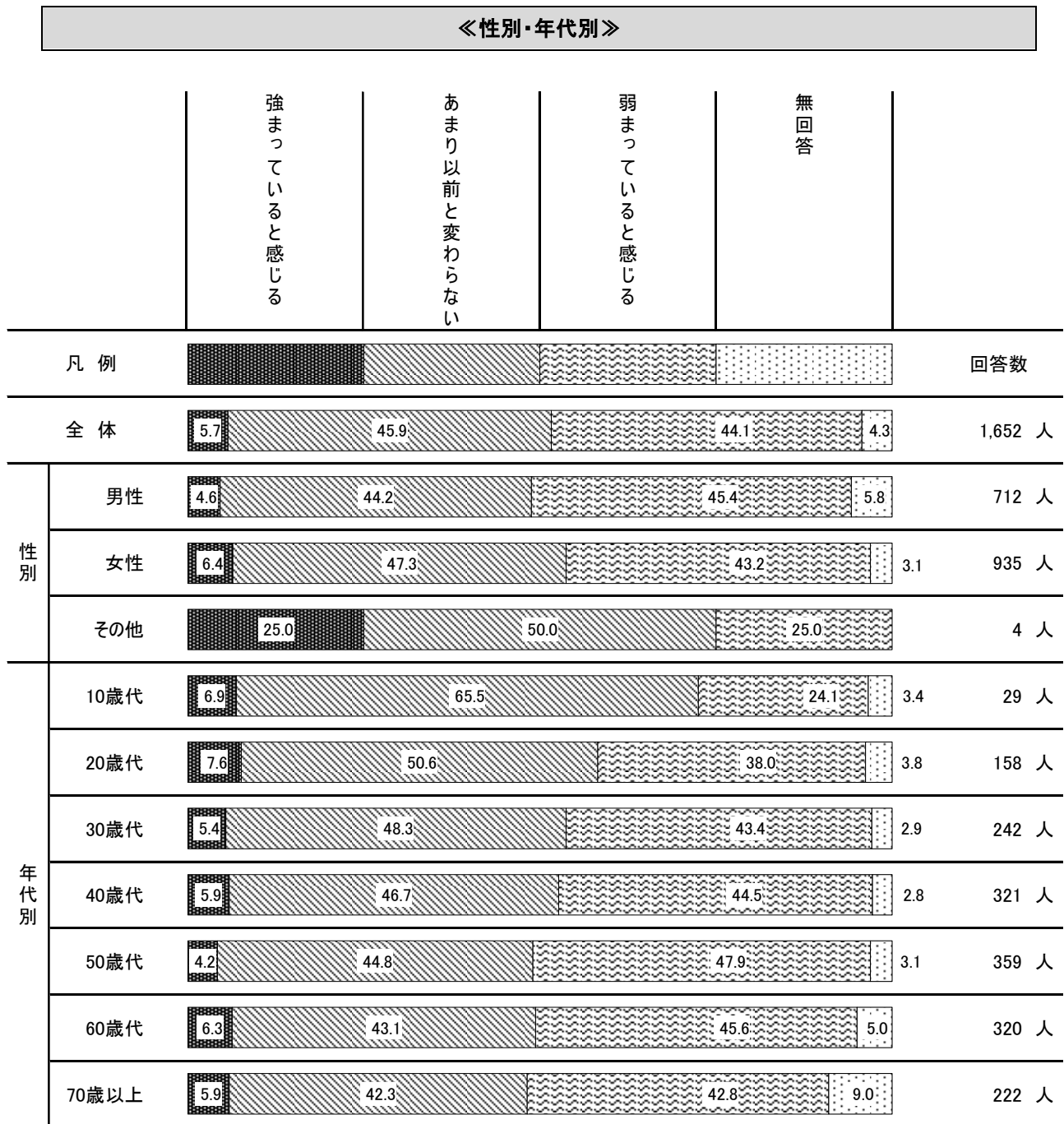


【性別】

男性では「弱まっていると感じる」が最も高く、女性では「あまり以前と変わらない」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代から40歳代では「あまり以前と変わらない」が最も高く、50歳代から70歳以上では「弱まっていると感じる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

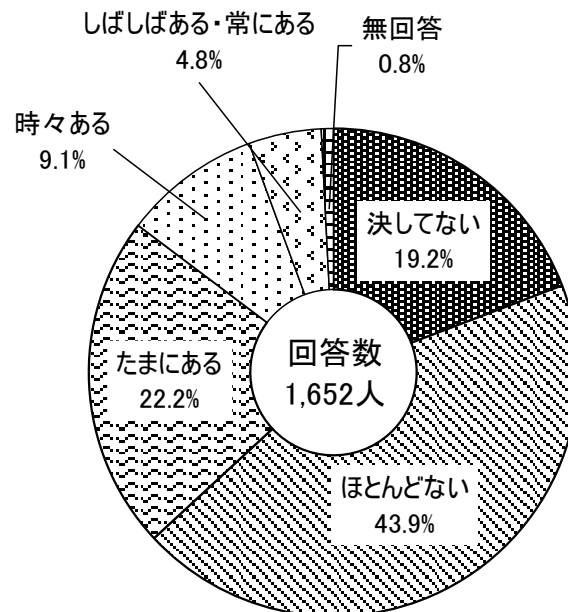
問 25 あなたはどの程度、孤独であると感じることがありますか。(1つだけ○印)

【総合】

「ほとんどない」が43.9%と1位になっている。

次いで、「たまにある」が22.2%、「決してない」が19.2%と続いている。

《総合》



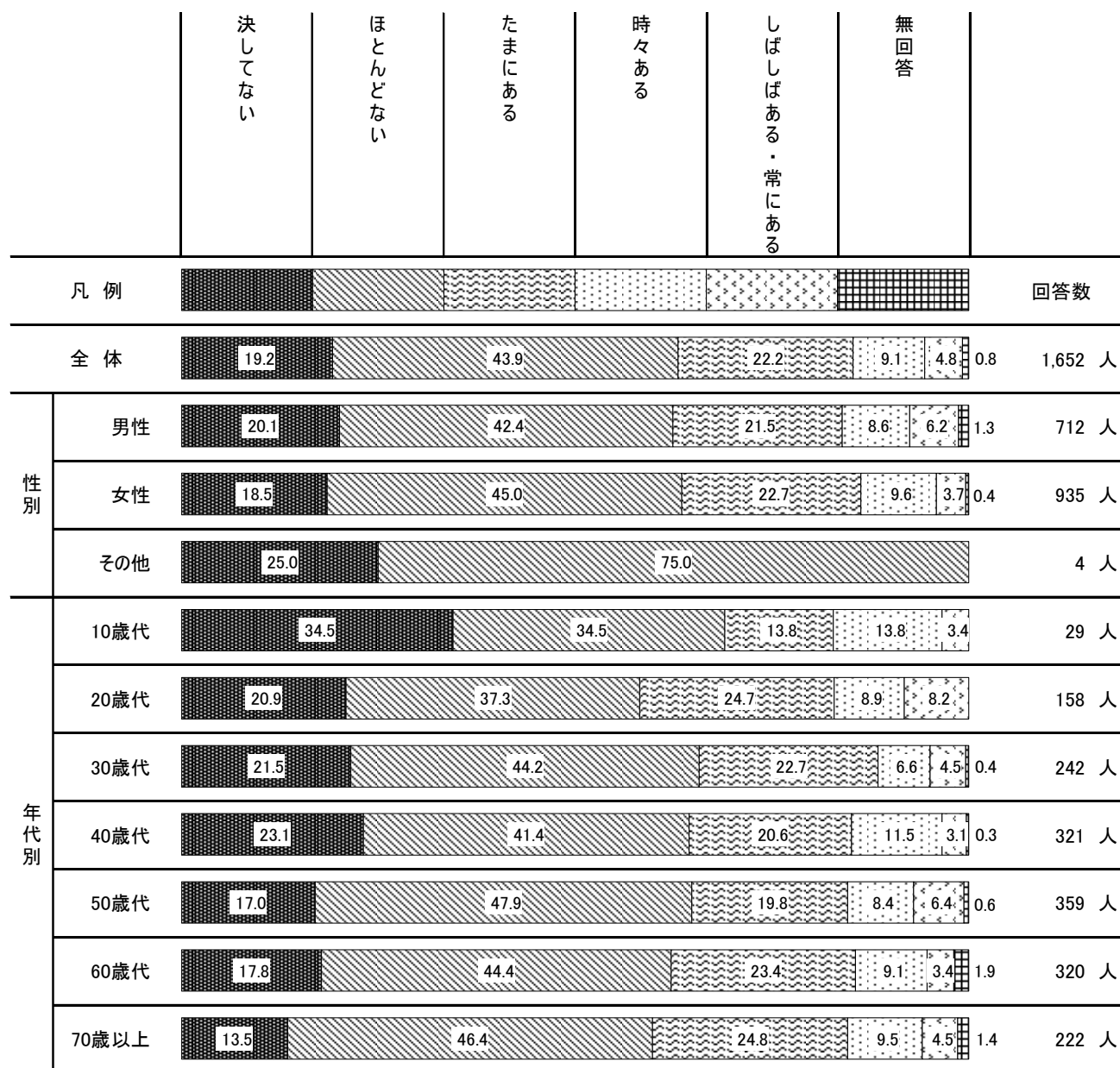
【性別】

男女ともに「ほとんどない」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「ほとんどない」が最も高く、10歳代では同率で「決してない」、「ほとんどない」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

問 26 あなた自身に悩みや困りごとがある場合、家族や親戚以外の誰に相談しますか。
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「友人・知人」が 77.7%と 1 位になっている。

次いで、「相談する人がいない」が 14.2%、「近所の人」が 9.0%と続いている。

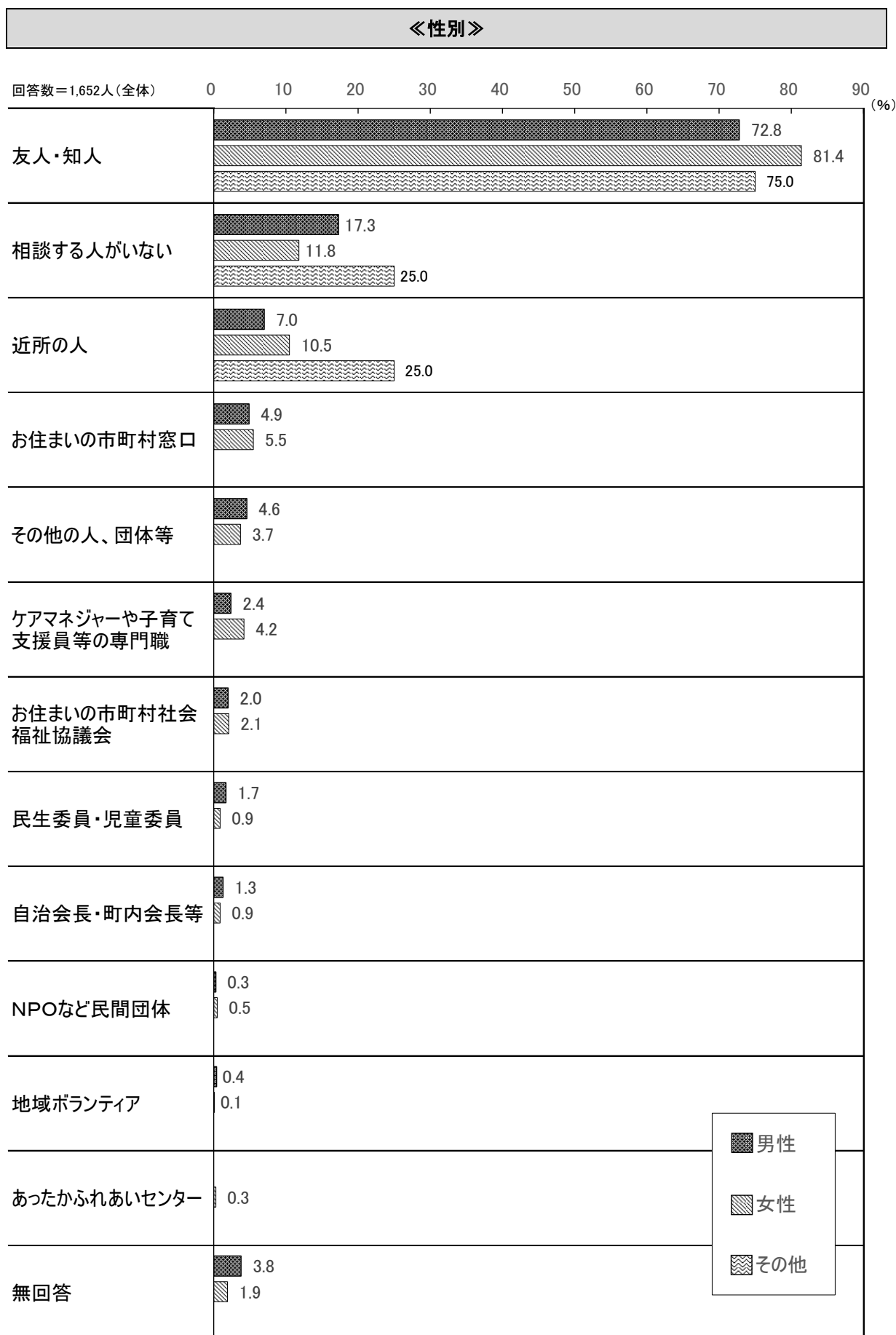
《総合》

		回答数
全 体	100.0	1,652 人
友人・知人	77.7	1,283 人
相談する人がいない	14.2	234 人
近所の人	9.0	149 人
お住まいの市町村窓口	5.2	86 人
その他の人、団体等	4.1	68 人
ケアマネジャーや子育て支援員等の専門職	3.4	56 人
お住まいの市町村社会福祉協議会	2.1	34 人
民生委員・児童委員	1.2	20 人
自治会長・町内会長等	1.0	17 人
NPOなど民間団体	0.4	7 人
地域ボランティア	0.2	4 人
あったかふれあいセンター	0.2	3 人
無回答	2.7	45 人

グラフ単位(%)

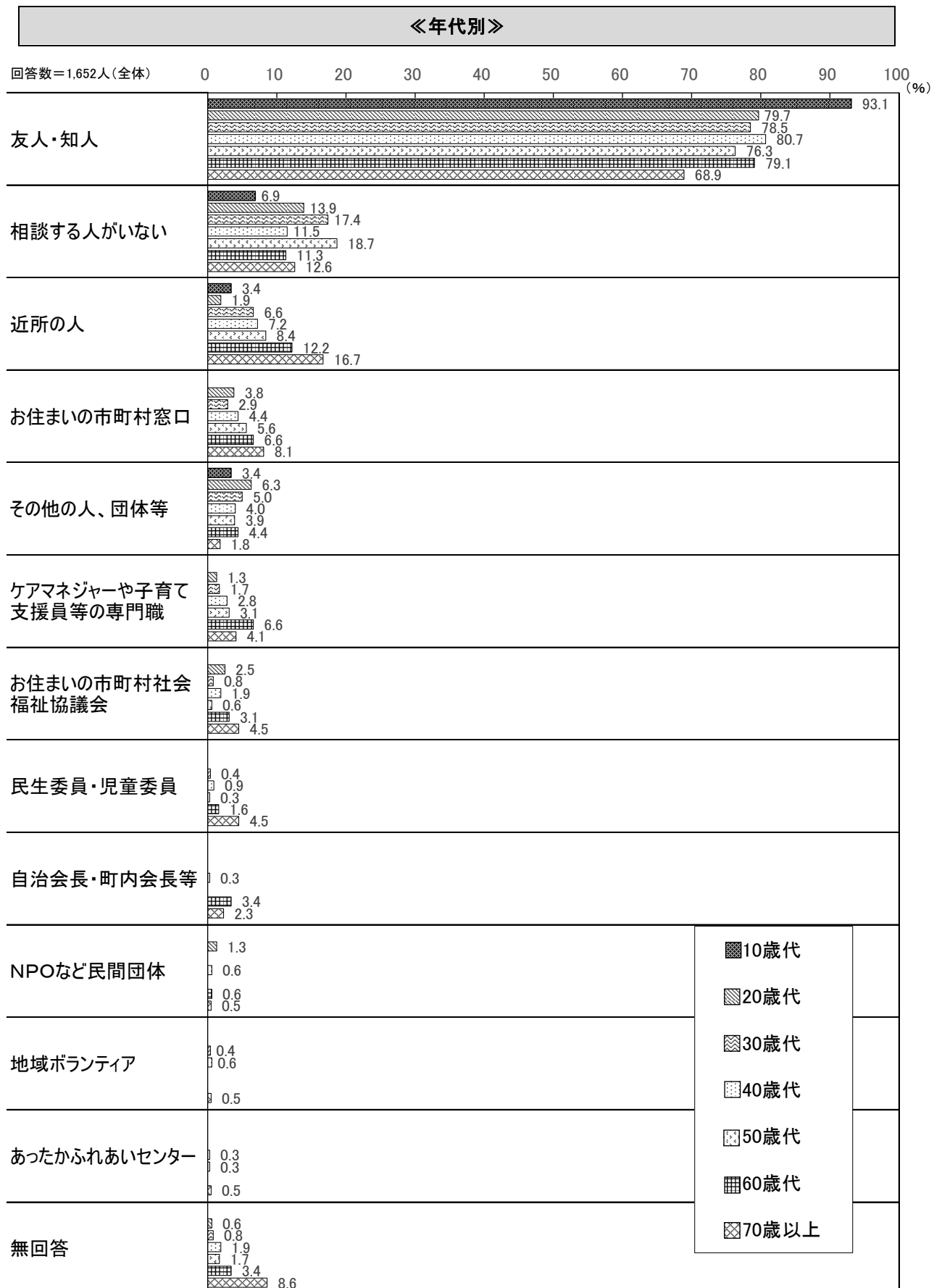
【性別】

男女ともに「友人・知人」が最も高くなっている。



【年代別】

すべての年代で「友人・知人」が最も高くなっている。



【問 25×問 26 のクロス分析】

「孤独を感じる人の割合」という質問に対し、「悩みや困りごとがある場合、家族や親戚以外の誰に相談するか」の結果を見ると、「しばしばある・常にある」を除くすべての割合で、「友人・知人」が最も高く、「しばしばある・常にある」では、「相談する人がいない」が最も高くなっている。

《問 25 × 問 26 のクロス分析》

		全体	悩みや困りごとがある場合、家族や親戚以外の誰に相談するか												
			友人・知人	近所の人	民生委員・児童委員	自治会長・町内会長等	お住まいの市町村窓口	お住まいの市町村社会福祉協議会	ケアマネジャーや子育て支援員等の専門職	あつたかふれあいセンター	NPOなど民間団体	地域ボランティア	その他の人、団体等	相談する人がいない	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)															
全体		1,652	1,283 77.7	149 9.0	20 1.2	17 1.0	86 5.2	34 2.1	56 3.4	3 0.2	7 0.4	4 0.2	68 4.1	234 14.2	45 2.7
孤独を感じる人の割合	決してない	317	83.9	10.1	1.3	2.2	6.3	1.9	3.2	0.3	0.6	0.9	3.8	8.5	3.8
	ほとんどない	726	84.8	10.5	1.4	1.1	5.8	2.5	3.6	0.3	0.3	－	4.0	7.4	2.1
	たまにある	366	74.0	6.6	1.1	－	3.8	1.4	2.5	－	0.5	－	3.0	19.7	1.9
	時々ある	151	62.9	5.3	0.7	0.7	2.0	1.3	6.0	－	0.7	0.7	7.9	26.5	1.3
	しばしばある・常にある	79	41.8	8.9	1.3	1.3	8.9	3.8	1.3	－	－	－	5.1	50.6	－

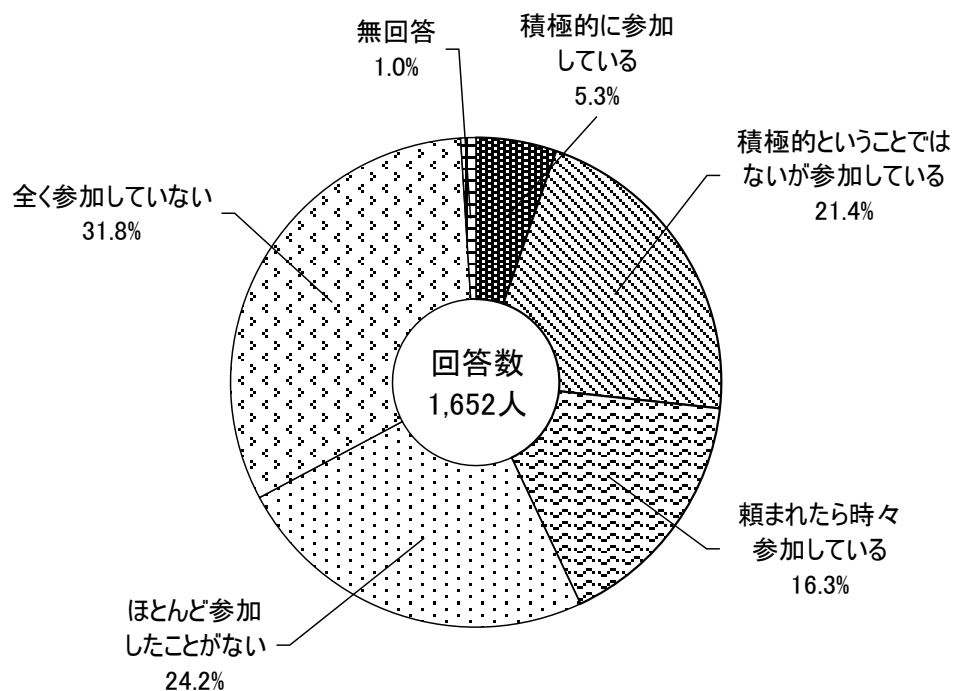
問 27 あなたは現在、地域の活動に参加していますか。(1つだけ○印)

【総合】

「全く参加していない」が31.8%と1位になっている。

次いで、「ほとんど参加したことがない」が24.2%、「積極的ということではないが参加している」が21.4%と続いている。

《総合》



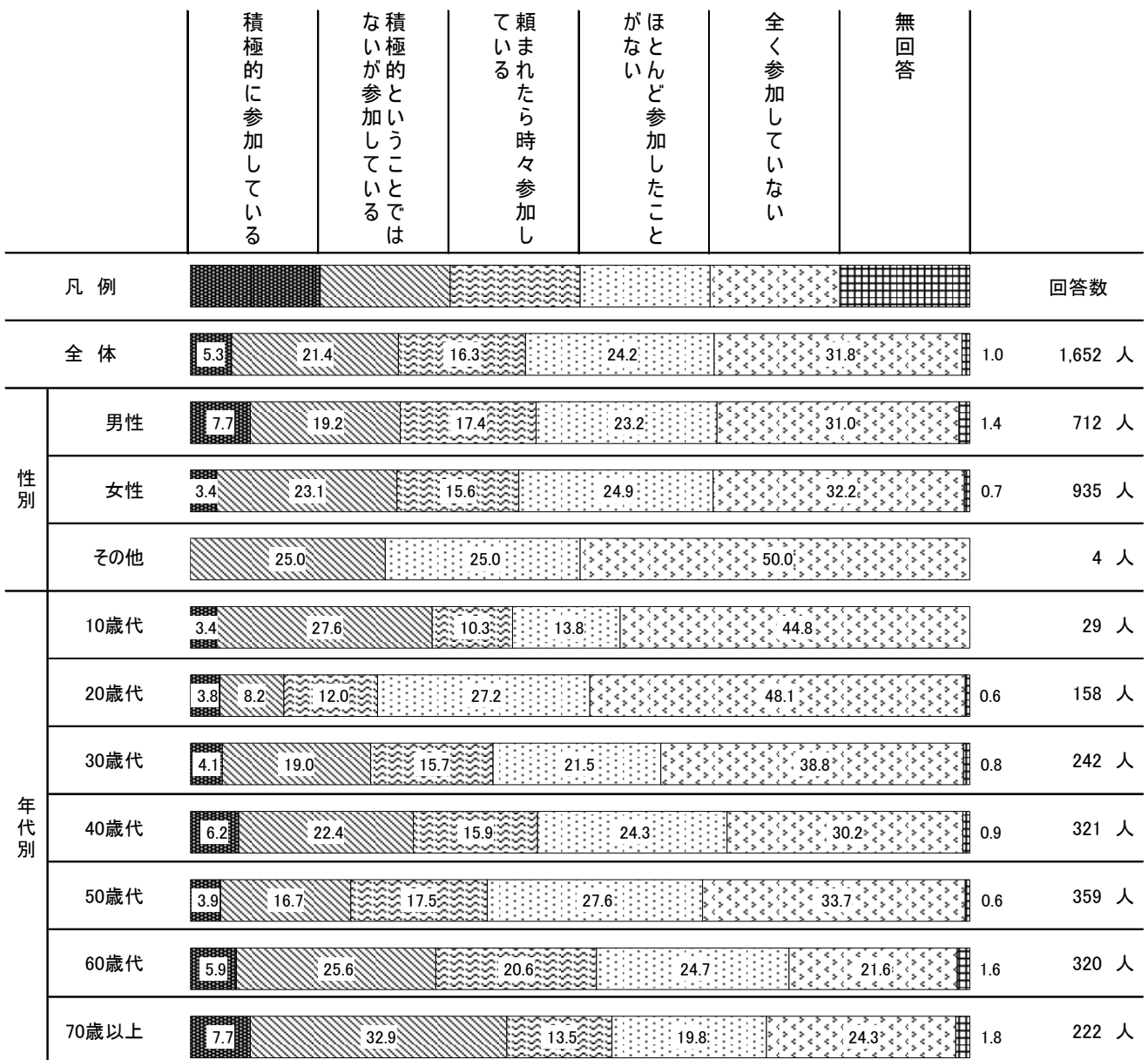
【性別】

男女ともに「全く参加していない」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代から50歳代では「全く参加していない」が最も高く、60歳代、70歳以上では「積極的というこ
とではないが参加している」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位 (%)

【問 25×問 27 のクロス分析】

「孤独を感じる人の割合」という質問に対し、「地域活動に参加しているか」の結果を見ると、すべての割合で、「全く参加していない」が最も高くなっている。

《問 25×問 27 のクロス分析》

		全体	地域活動に参加しているか					
			積極的に参加している	積極的ということではないが参加している	頼まれたら時々参加している	ほとんど参加したことがない	全く参加していない	無回答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)								
全体		1,652	87 5.3	354 21.4	270 16.3	399 24.2	525 31.8	17 1.0
孤独を感じる人の割合	決してない	317	9.5	21.1	15.5	22.1	31.5	0.3
	ほとんどない	726	5.1	25.6	17.6	25.2	26.2	0.3
	たまにある	366	3.8	19.4	15.8	26.2	34.2	0.5
	時々ある	151	4.0	11.9	17.9	21.2	43.7	1.3
	しばしばある・常にある	79	－	12.7	10.1	20.3	54.4	2.5

【問 26×問 27 のクロス分析】

「悩みや困りごとがある場合、家族や親戚以外の誰に相談するか」という質問に対し、「地域活動に参加しているか」の結果を見ると、「友人・知人」、「あったかふれあいセンター」、「その他の人、団体等」、「相談する人がいない」と回答した方は、「全く参加していない」が最も高く、同率で「あったかふれあいセンター」と回答した方は、「積極的に参加している」、「頼まれたら時々参加している」が最も高く、「近所の人」、「民生委員・児童委員」、「お住まいの市町村窓口」、「お住まいの市町村社会福祉協議会」、「ケアマネジャーや子育て支援員等の専門職」と回答した方は、「積極的ということではないが参加している」が、「自治会長・町内会長等」、「地域ボランティア」と回答した方は、「積極的に参加している」が、「NPOなど民間団体」と回答した方は、「頼まれたら時々参加している」が最も高くなっている。

<<問 26×問 27 のクロス分析>>

		全 体	地域活動に参加しているか					
			積 極 的 に 参 加 し て い る	て 積 極 的 と い う こ と で は な い が 参 加 し て い る	頼 ま れ た ら 時 々 参 加 し て い る	ほ と ん ど 参 加 し た こ と が な い	全 く 参 加 し て い な い	無 回 答
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)								
全体		1,652	87 5.3	354 21.4	270 16.3	399 24.2	525 31.8	17 1.0
悩みや困りごとがある場合、家族や親戚以外の誰に相談するか	友人・知人	1,283	6.0	23.1	17.8	25.6	27.2	0.2
	近所の人	149	10.7	32.2	20.8	22.1	13.4	0.7
	民生委員・児童委員	20	15.0	30.0	25.0	15.0	15.0	－
	自治会長・町内会長等	17	47.1	17.6	23.5	5.9	5.9	－
	お住まいの市町村窓口	86	7.0	29.1	16.3	24.4	20.9	2.3
	お住まいの市町村社会福祉協議会	34	14.7	38.2	20.6	14.7	11.8	－
	ケアマネジャーや子育て支援員等の専門職	56	8.9	39.3	14.3	19.6	16.1	1.8
	あったかふれあいセンター	3	33.3	－	33.3	－	33.3	－
	NPOなど民間団体	7	28.6	－	42.9	28.6	－	－
	地域ボランティア	4	75.0	－	－	－	25.0	－
	その他の人、団体等	68	7.4	25.0	16.2	22.1	27.9	1.5
	相談する人がいない	234	1.7	12.0	11.1	17.1	56.8	1.3

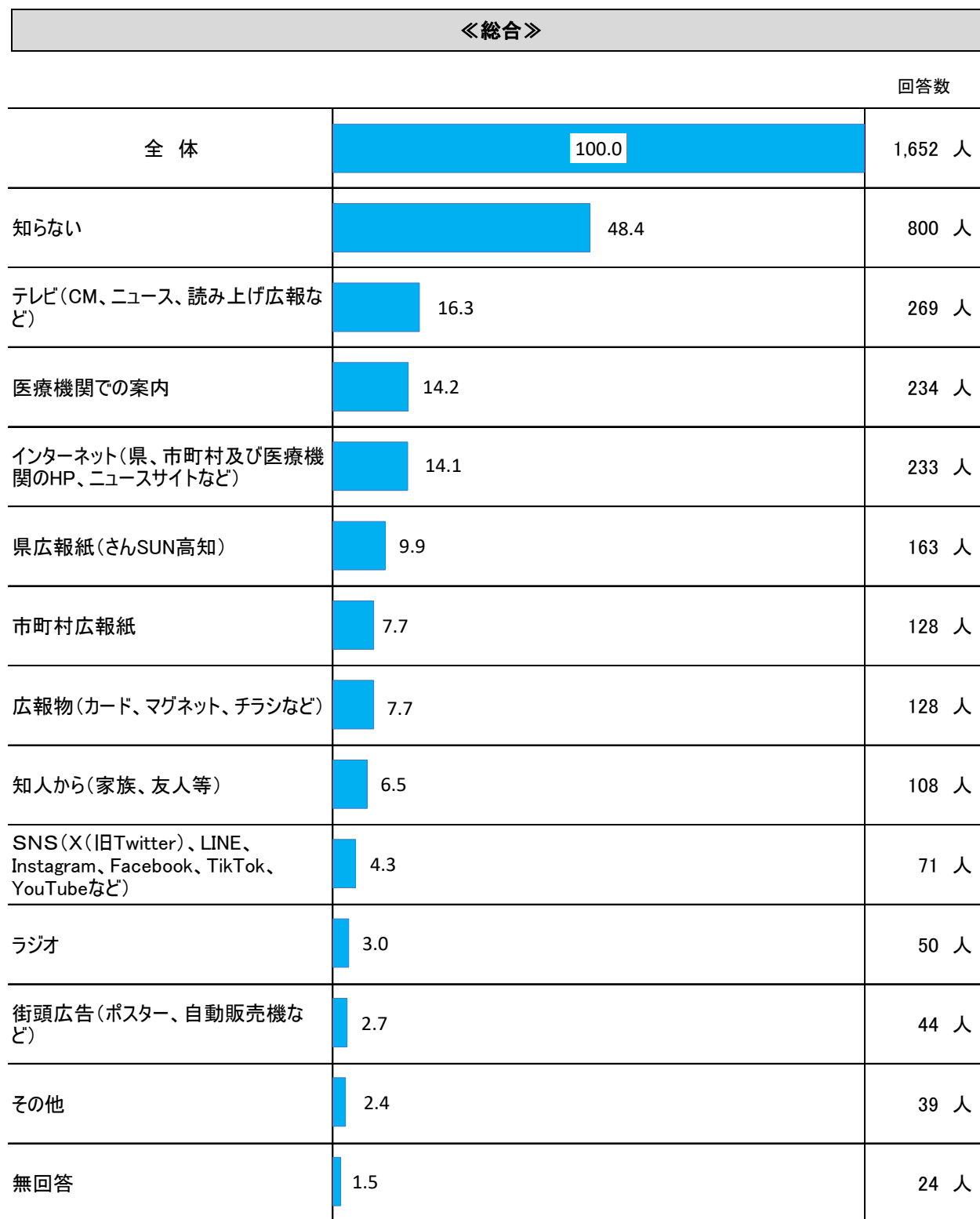
7. 高知家の救急医療電話(#7119)について

問28 高知家の救急医療電話(#7119)について知っていますか。知っている場合、どのように知りましたか。
(当てはまるものすべてに○印)

【総合】

「知らない」が48.4%と1位になっている。

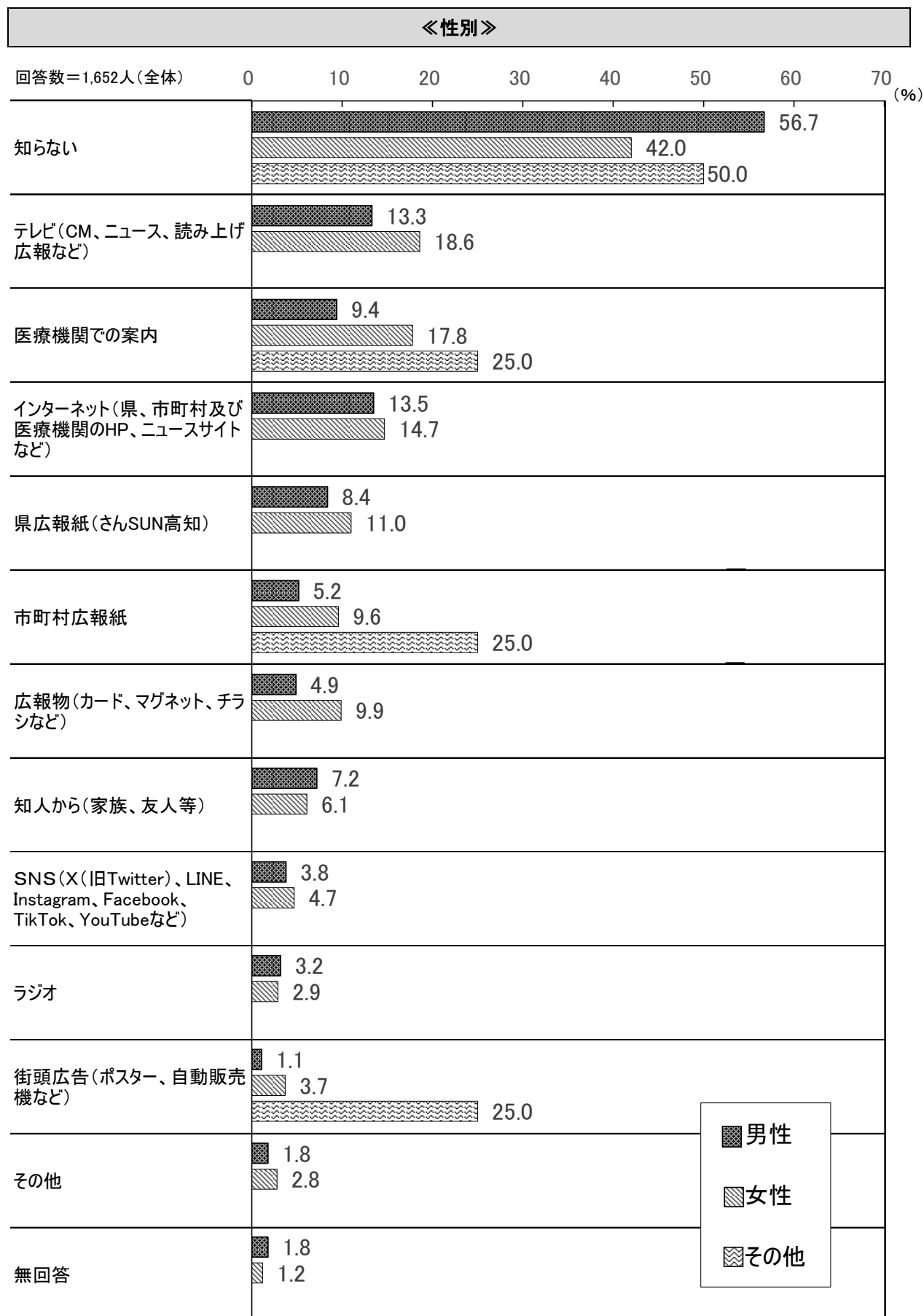
次いで、「テレビ (CM、ニュース、読み上げ広報など)」が16.3%、「医療機関での案内」が14.2%と続いている。



グラフ単位 (%)

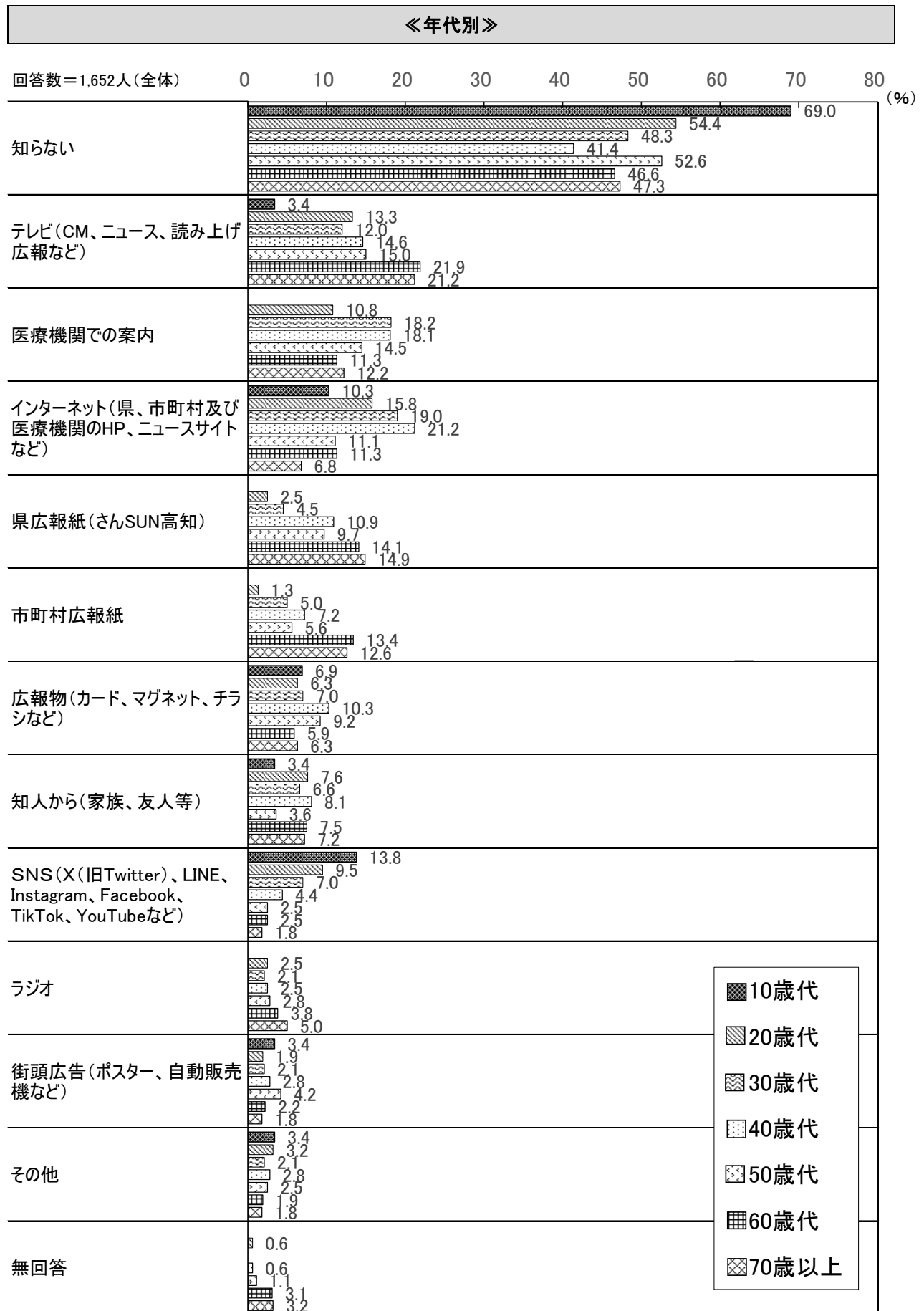
【性別】

男女ともに「知らない」が最も高くなっており、次いで、男性では「インターネット（県、市町村及び医療機関のHP、ニュースサイトなど）」が、女性では「テレビ（CM、ニュース、読み上げ広報など）」が続いている。



【年代別】

すべての年代で「知らない」が最も高くなっている。



8. グリーン化(地球温暖化対策)について

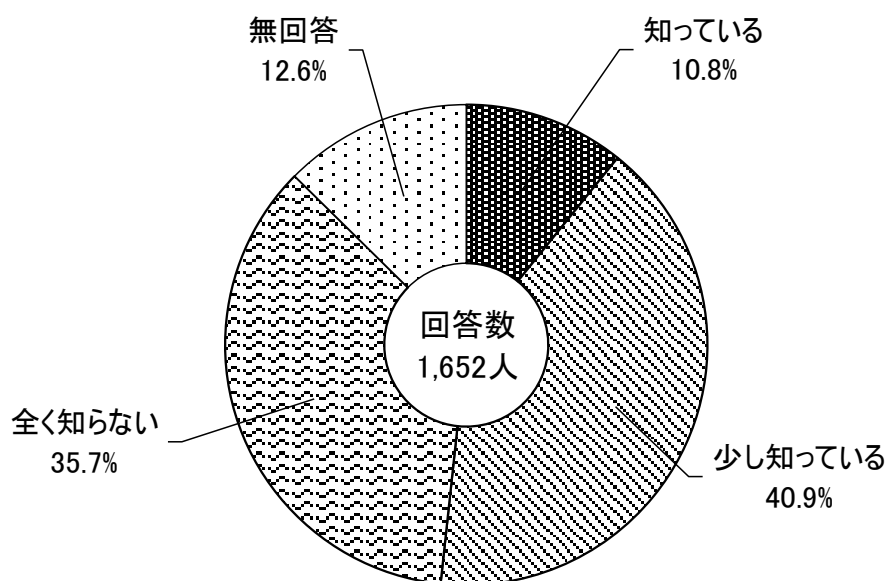
問 29 高知県が地球温暖化防止対策として様々な取組を進めていることを知っていますか。(1つだけ○印)

【総合】

「少し知っている」が40.9%と1位になっている。

次いで、「全く知らない」は35.7%、「知っている」が10.8%が続いている。

《総合》

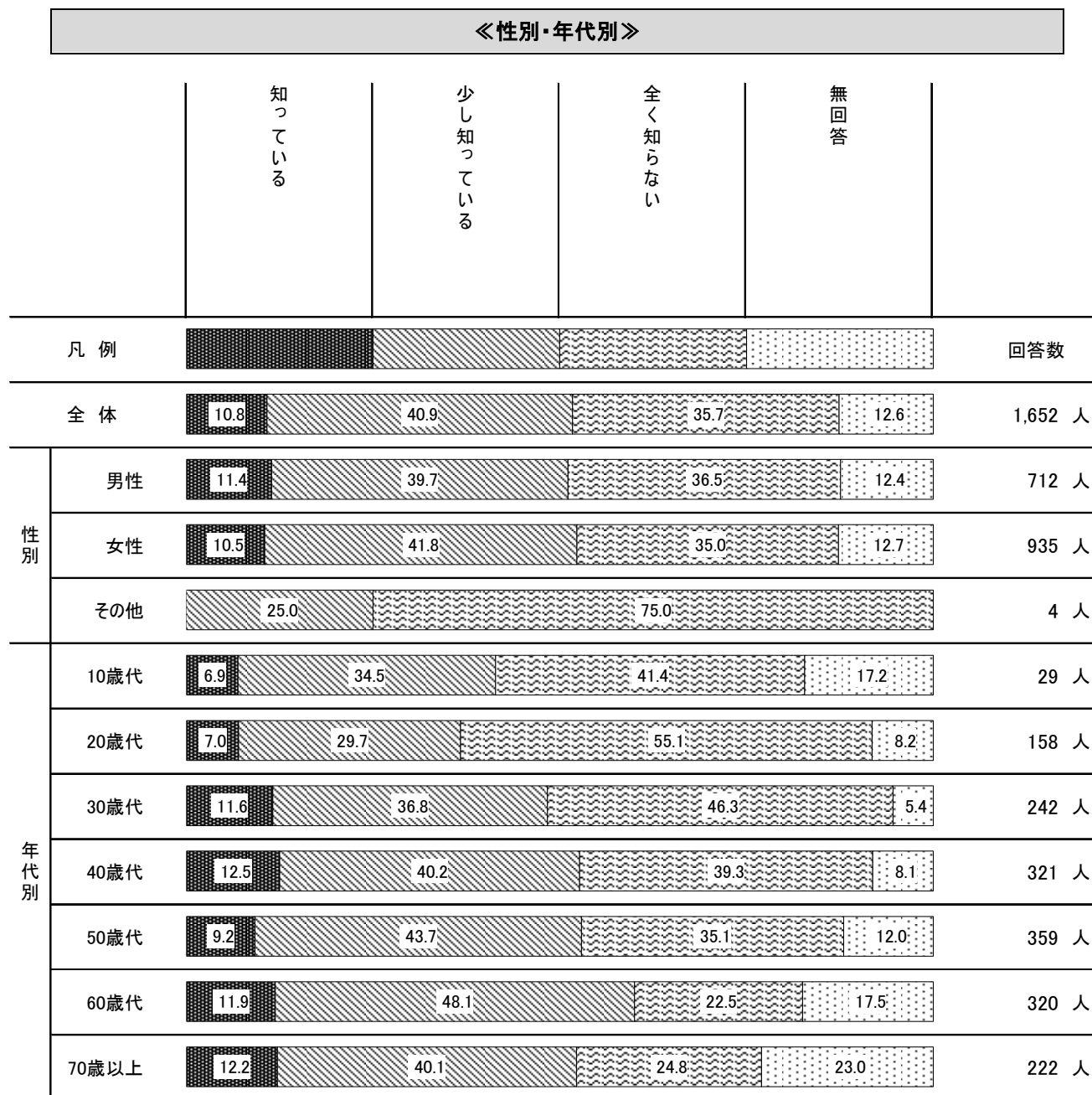


【性別】

男女ともに「少し知っている」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代、30歳代では「全く知らない」が最も高く、40歳代から70歳以上では「少し知っている」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

【問 29×問 30-①のクロス分析】

「県の取組の認知状況」という質問に対し、「問 30 の 1～11 の取組について回答者の取組状況「①既に取り組んでいる」」の結果を見ると、すべての取組状況で、「エコバッグでの買い物を心がける」が最も高くなっている。

＜問 29×問 30-①のクロス分析＞

		全体	1～11の取組について回答者の取組状況「①既に取り組んでいる」										
			エコバッグでの買い物を心がける	歩・自転車の使用	普通段の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車の使用	家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	日頃からマイボトルを活用する	（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	太陽光発電システムを設置する	低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）	より環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する	
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)			エコバッグでの買い物を心がける	歩・自転車の使用	普通段の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車の使用	家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	日頃からマイボトルを活用する	（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	太陽光発電システムを設置する	低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）	より環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する	
全体		1,652	698	953	1,161	364	1,023	885	622	238	376	129	406
		100.0	42.3	57.6	70.0	22.0	61.8	53.5	37.5	14.3	22.7	7.7	24.5
県の取組の認知状況	知っている	179	58.7	77.7	89.9	34.6	86.6	72.1	50.8	19.6	31.8	14.0	42.5
	少し知っている	675	53.0	72.3	84.0	23.9	72.3	64.7	44.0	15.9	26.2	9.5	31.4
	全く知らない	590	39.8	55.3	73.4	23.9	64.4	54.1	39.7	16.3	24.1	6.8	20.0

【問 29×問 30-②のクロス分析】

「県の取組の認知状況」という質問に対し、「問 30 の 1～11 の取組について回答者の取組状況「②現在取り組めていないが、今後取り組む」の結果を見ると、すべての取組状況で、「より環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する」が最も高くなっている。

＜問 29×問 30-②のクロス分析＞

		全体	1～11の取組について回答者の取組状況「②現在取り組めていないが、今後取り組む」										
			エコバッグでの買い物を心がける	歩・自転車の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車の使用	家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	日頃からマイボトルを活用する	（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	太陽光発電システムを設置する	低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）	より環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する		
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)			電気の使用量を減らす（こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にものを詰め込みすぎないなど）	エコバッグでの買い物を心がける	歩・自転車の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車の使用	家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	日頃からマイボトルを活用する	（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	太陽光発電システムを設置する	低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）	より環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する	
全体		1,652	340	289	100	313	286	229	255	129	313	181	685
		100.0	20.6	17.5	6.1	18.9	17.3	13.9	15.4	7.8	18.9	11.0	41.5
県の取組の認知状況	知っている	179	19.6	14.0	4.5	24.6	12.3	14.0	19.0	12.3	30.2	15.1	44.7
	少し知っている	675	22.2	17.0	6.1	24.9	19.4	16.3	18.7	8.9	22.7	13.5	49.8
	全く知らない	590	26.3	25.3	8.6	17.1	22.5	15.9	16.1	8.0	18.0	10.7	45.6

【問 29×問 30-③のクロス分析】

「県の取組の認知状況」という質問に対し、「問 30 の 1～11 の取組について回答者の取組状況「③取り組む予定がない」の結果を見ると、すべての取組状況で、「自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）」が最も高くなっている。

＜問 29×問 30-③のクロス分析＞

		全体	1～11の取組について回答者の取組状況「③取り組む予定がない」										
			エアコンの温度設定を夏は28℃、冬は20℃間程にしているほか、体調や気温に応じて利用時間短くする	電気の使用量を減らす（こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にものを詰め込みすぎないなど）	エコバッグでの買い物を心がける	歩・自転車の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する	家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える	日頃からマイボトルを活用する	（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する	太陽光発電システムを設置する	低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している	自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）
【表の見方】 上段＝回答数(人) 下段＝比率(%)													
全体		1,652	372	166	155	718	100	288	521	1,025	707	1,082	303
		100.0	22.5	10.0	9.4	43.5	6.1	17.4	31.5	62.0	42.8	65.5	18.3
県の取組の認知状況	知っている	179	20.1	6.7	4.5	39.1	1.1	12.8	29.1	66.5	36.3	69.3	12.3
	少し知っている	675	22.8	8.7	8.3	47.9	6.1	16.1	34.4	71.9	48.1	73.9	15.4
	全く知らない	590	30.8	16.1	15.4	55.1	9.7	26.4	40.2	71.4	53.7	77.8	30.0

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

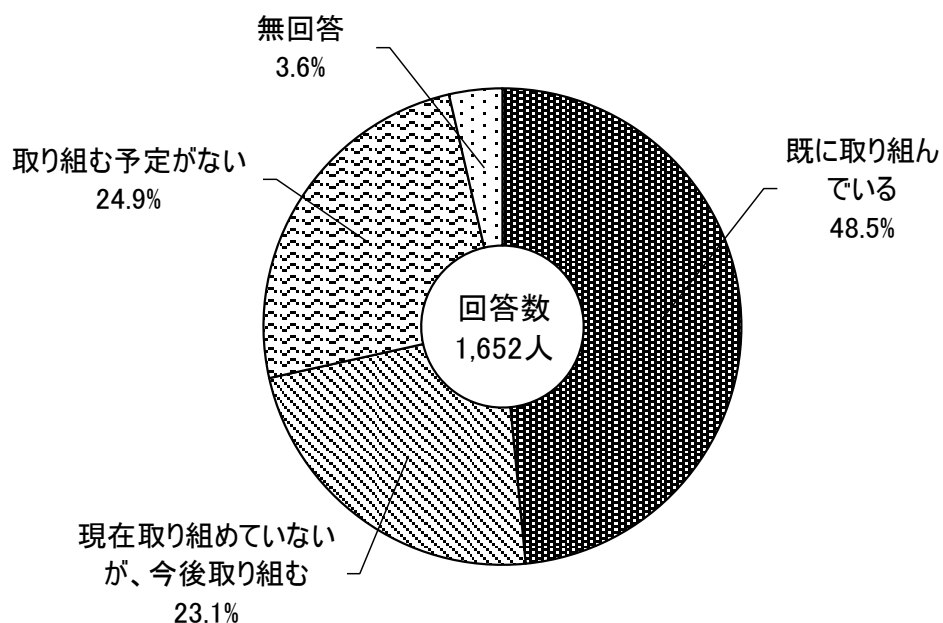
1. エアコンの温度設定を夏は 28℃、冬は 20℃程度にしているほか、体調や気温に応じて利用時間をできるだけ短くする

【総合】

「既に取り組んでいる」が 48.5%と 1 位になっている。

次いで、「取り組む予定がない」が 24.9%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 23.1%と続いている。

《総合》

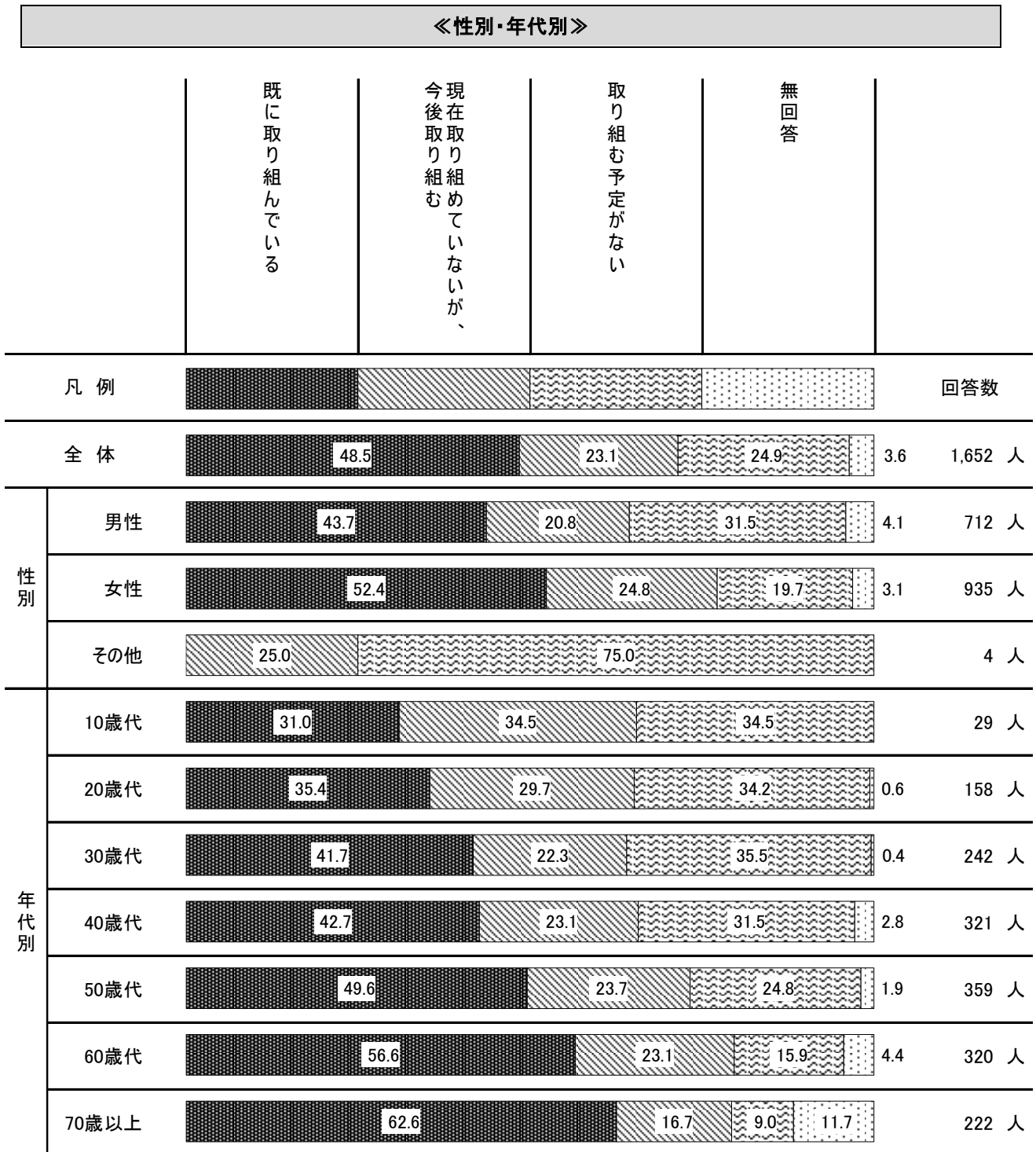


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「既に取り組んでいる」が最も高く、10歳代では同率で「現在取り組めていないが、今後取り組む」、「取り組む予定がない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

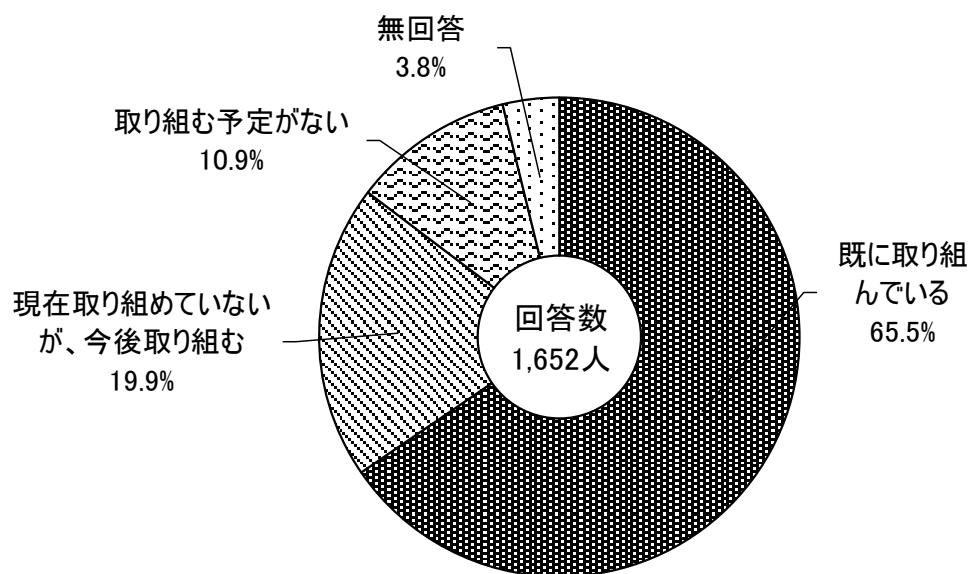
2. 電気の使用量を減らす（こまめに消灯する、テレビの視聴時間を少なくする、冷蔵庫にものを詰め込みすぎないなど）

【総合】

「既に取り組んでいる」が 65.5%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 19.9%、「取り組む予定がない」10.9%と続いている。

《総合》

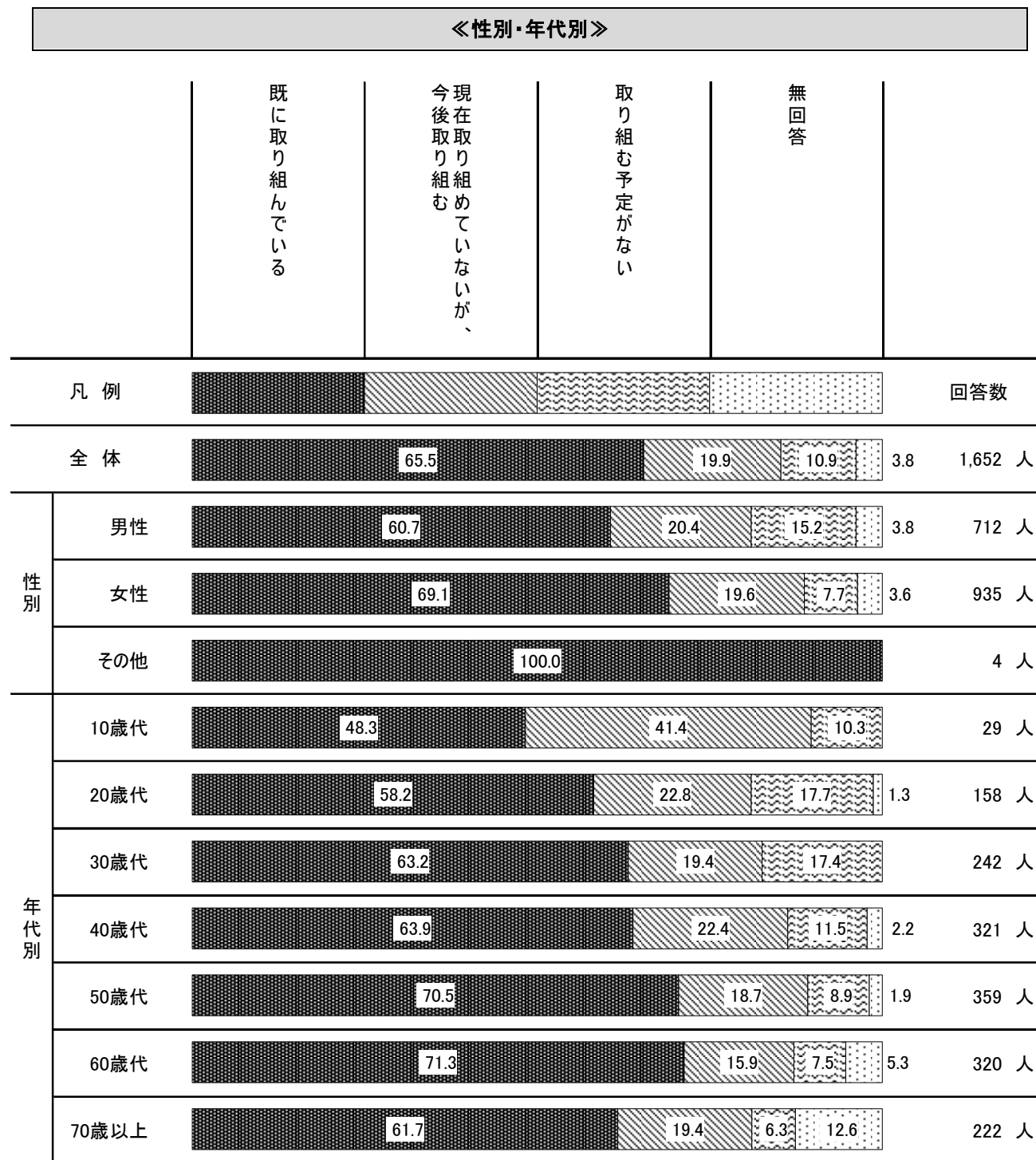


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

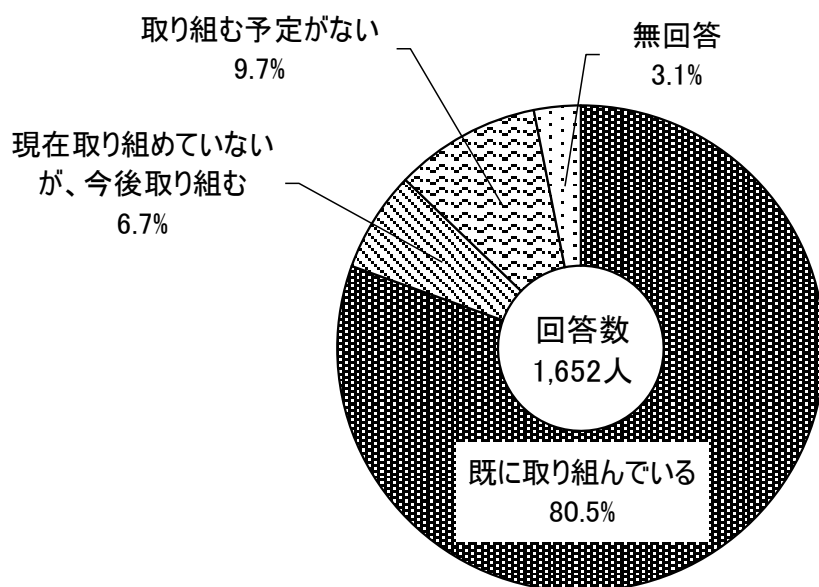
3. エコバッグでの買い物を心がける

【総合】

「既に取り組んでいる」が 80.5%と 1 位になっている。

次いで、「取り組む予定がない」が 9.7%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 6.7%と続いている。

《総合》

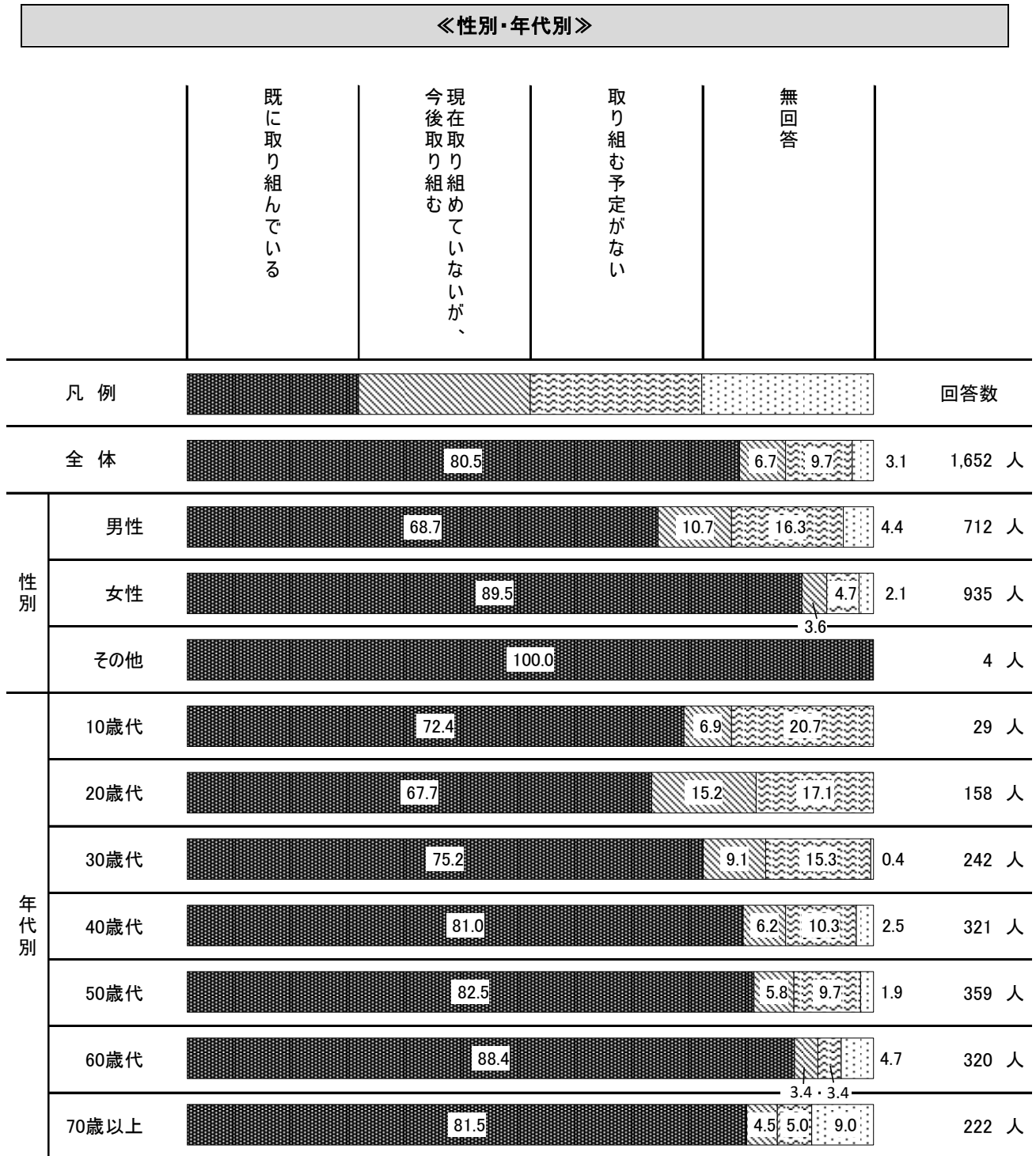


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

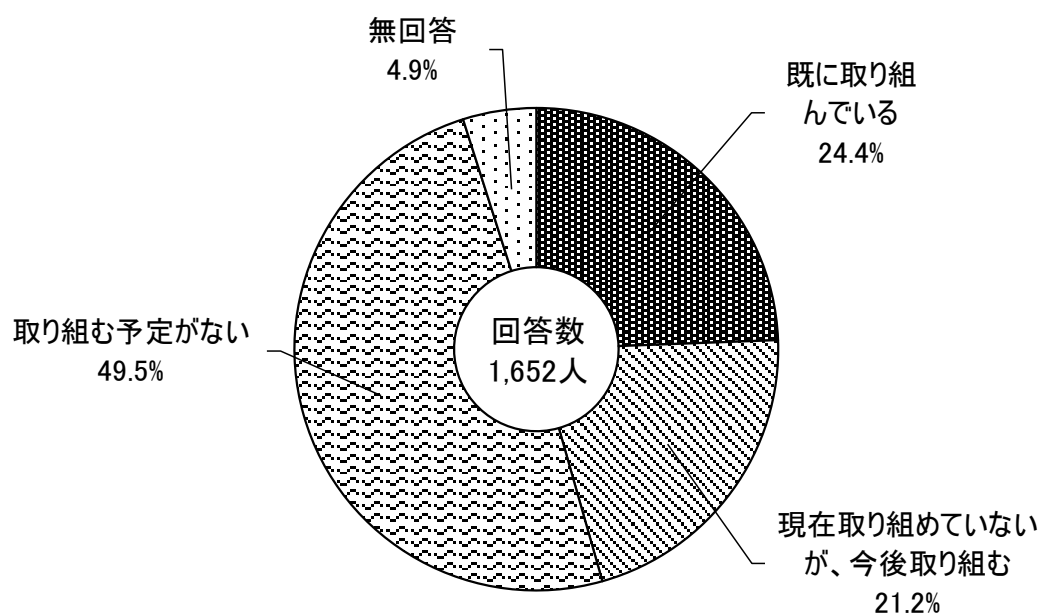
4. 普段の生活では、なるべく公共交通機関または徒歩・自転車を使用する

【総合】

「取り組む予定がない」が 49.5%と 1 位になっている。

次いで、「既に取り組んでいる」が 24.4%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 21.2%と続いている。

《総合》

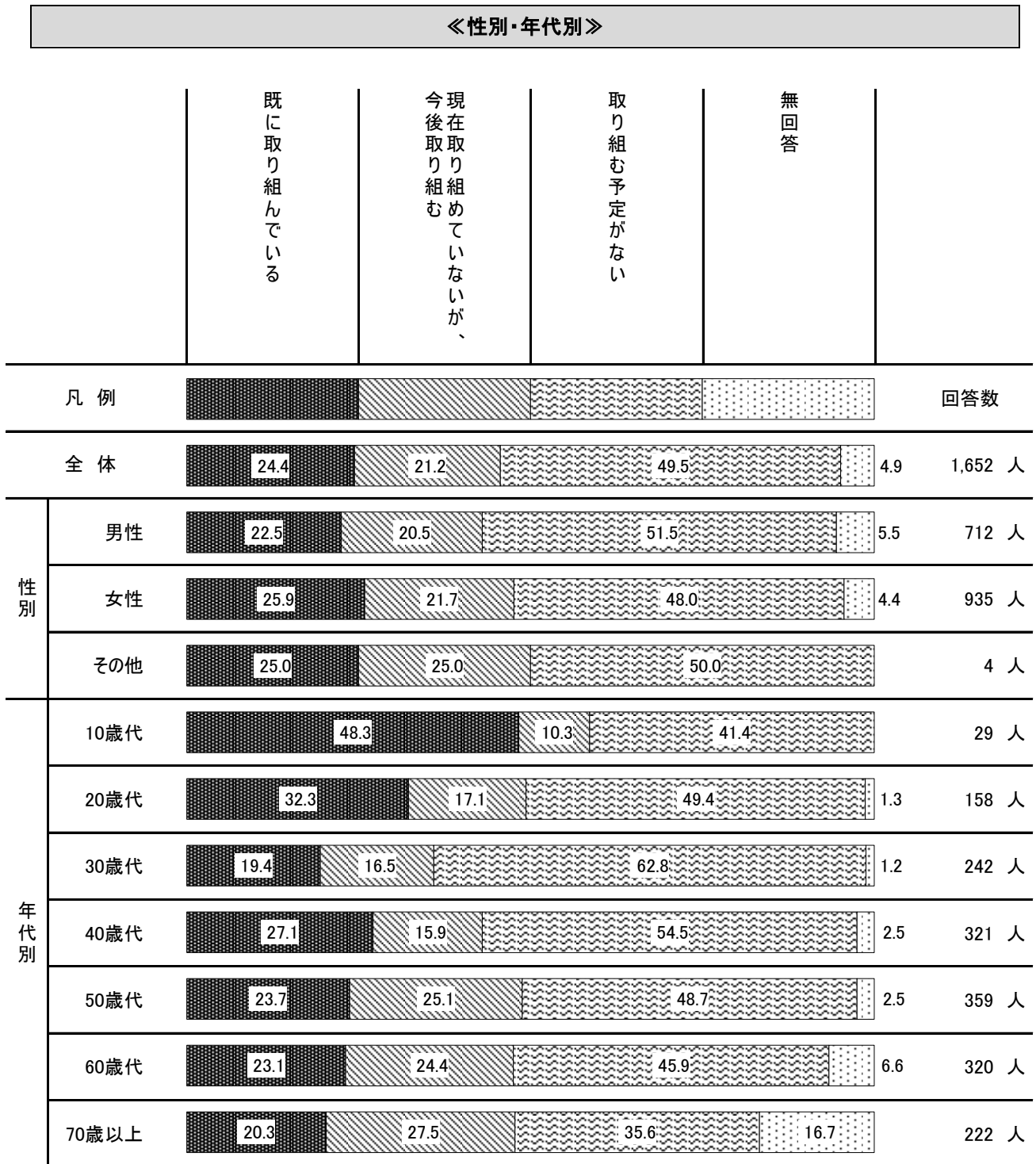


【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代を除くすべての年代で「取り組む予定がない」が最も高くなっており、10歳代では「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

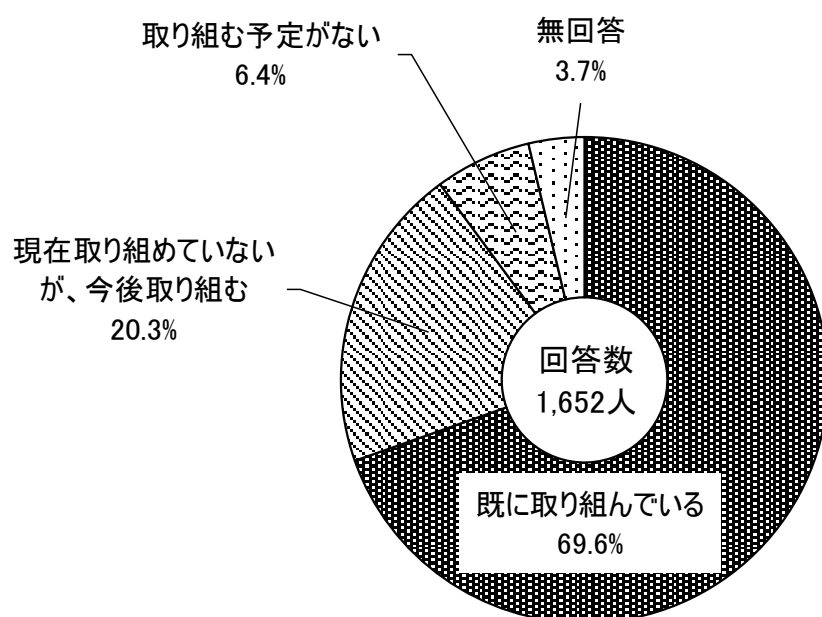
5. 家電製品の買い替え時には、照明器具をLEDに替えるなど、省エネ性能が高いものに買い替える

【総合】

「既に取り組んでいる」が 69.6%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 20.3%、「取り組む予定がない」が 6.4%と続いている。

《総合》

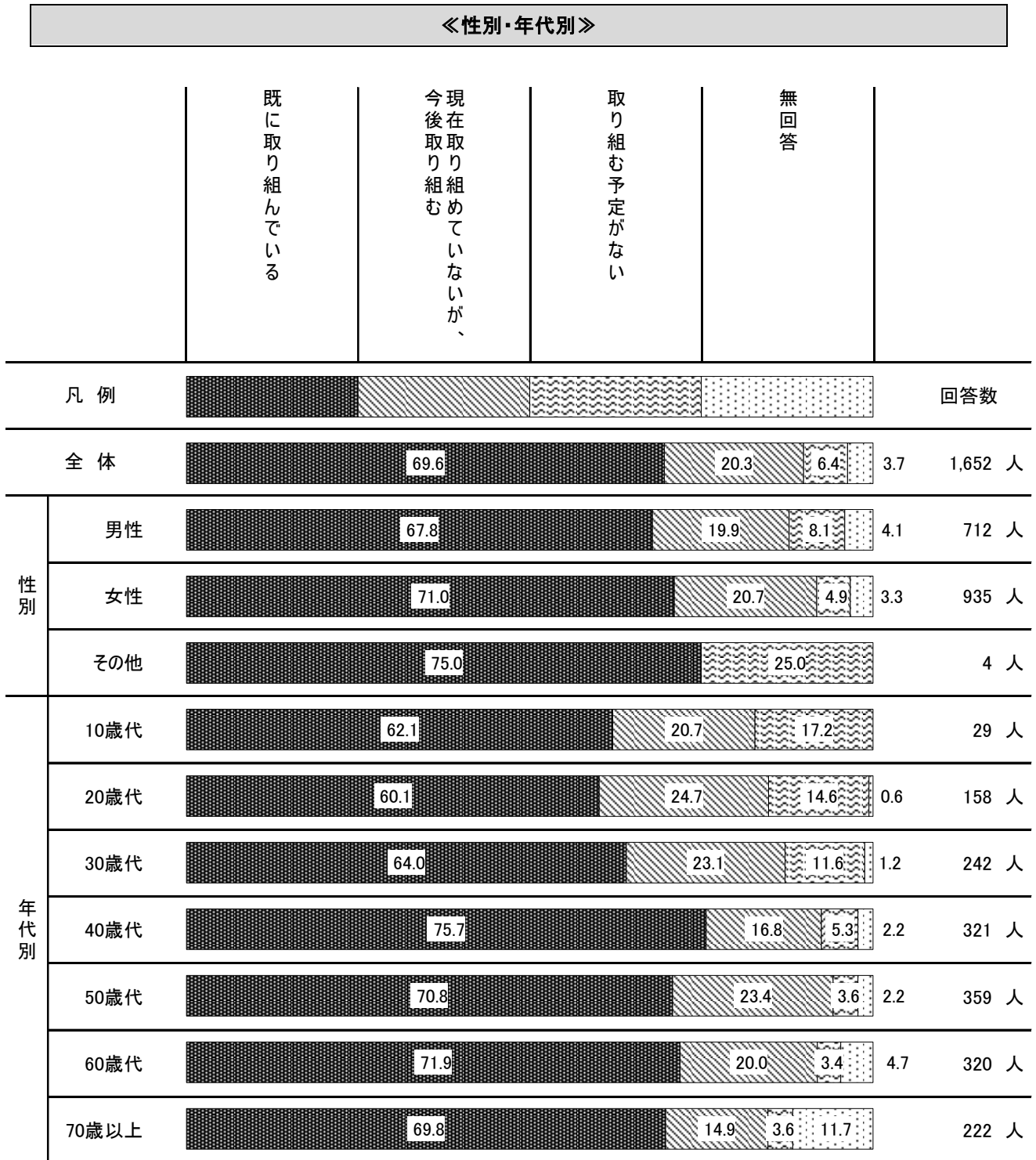


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

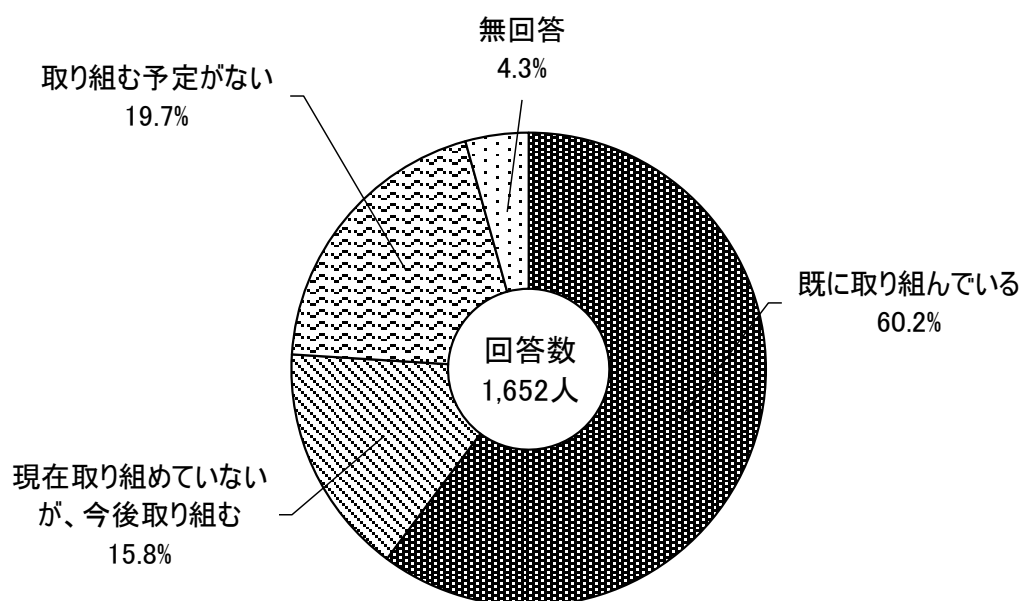
6. 日頃からマイボトルを活用する

【総合】

「既に取り組んでいる」が 60.2%と 1 位になっている。

次いで、「取り組む予定がない」が 19.7%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 15.8%と続いている。

《総合》

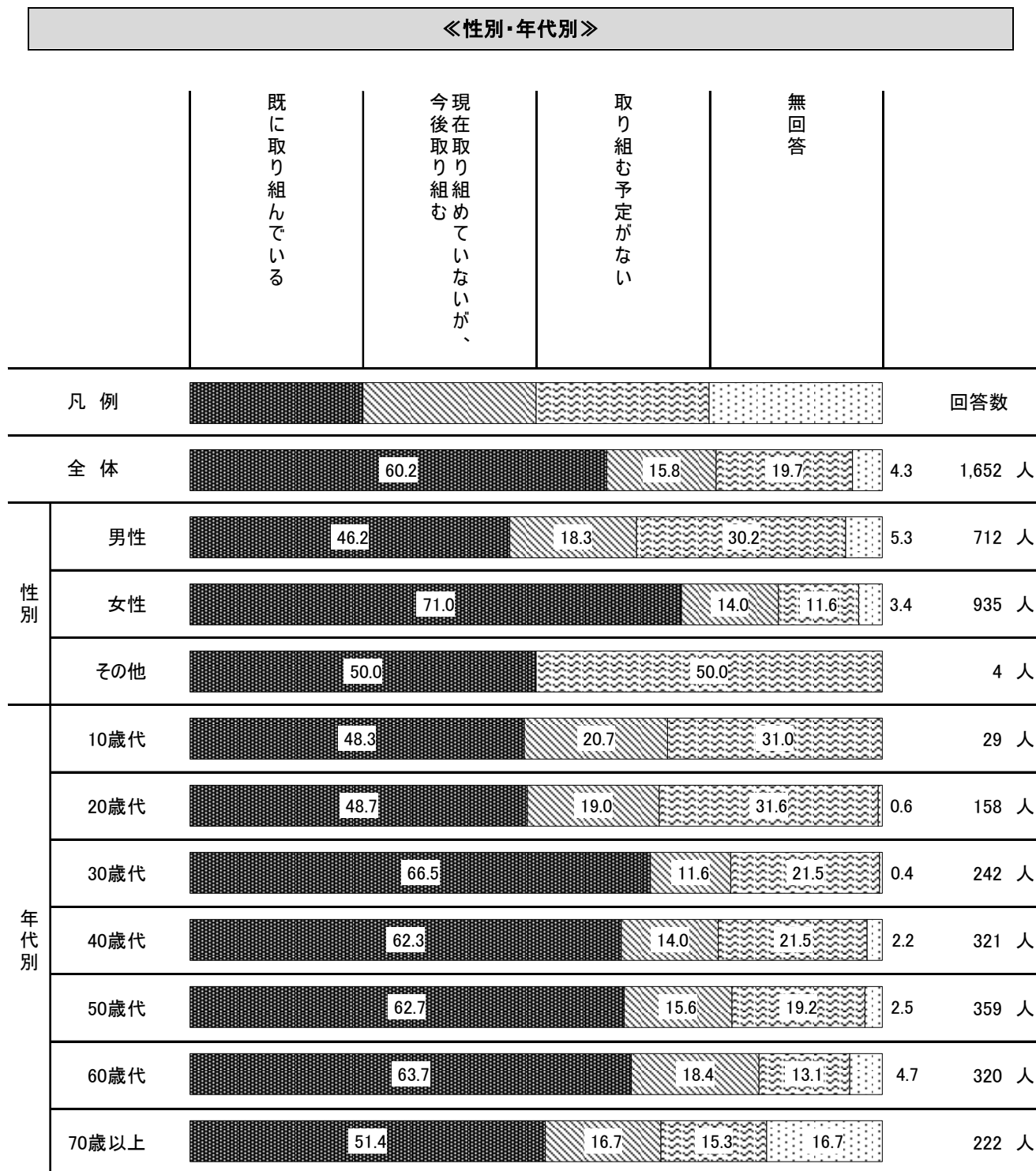


【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

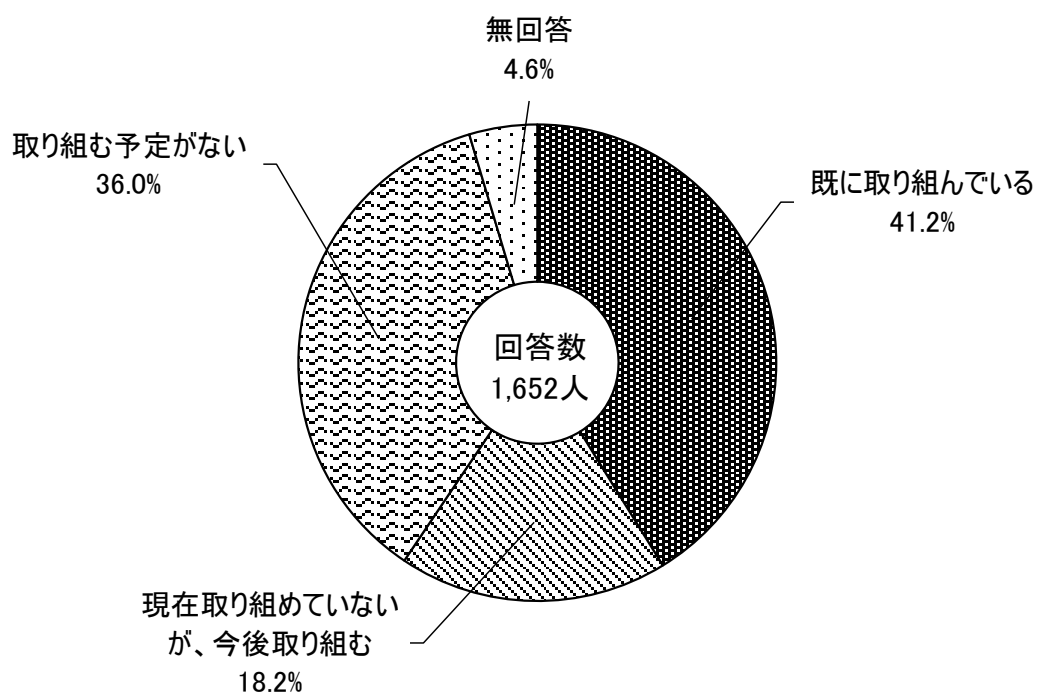
7. 従来よりも少ないガスや電力で給湯できる設備（エコジョーズ、エコキュート、エネファームなど）を設置する

【総合】

「既に取り組んでいる」が 41.2%と 1 位になっている。

次いで、「取り組む予定がない」が 36.0%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 18.2%と続いている。

《総合》



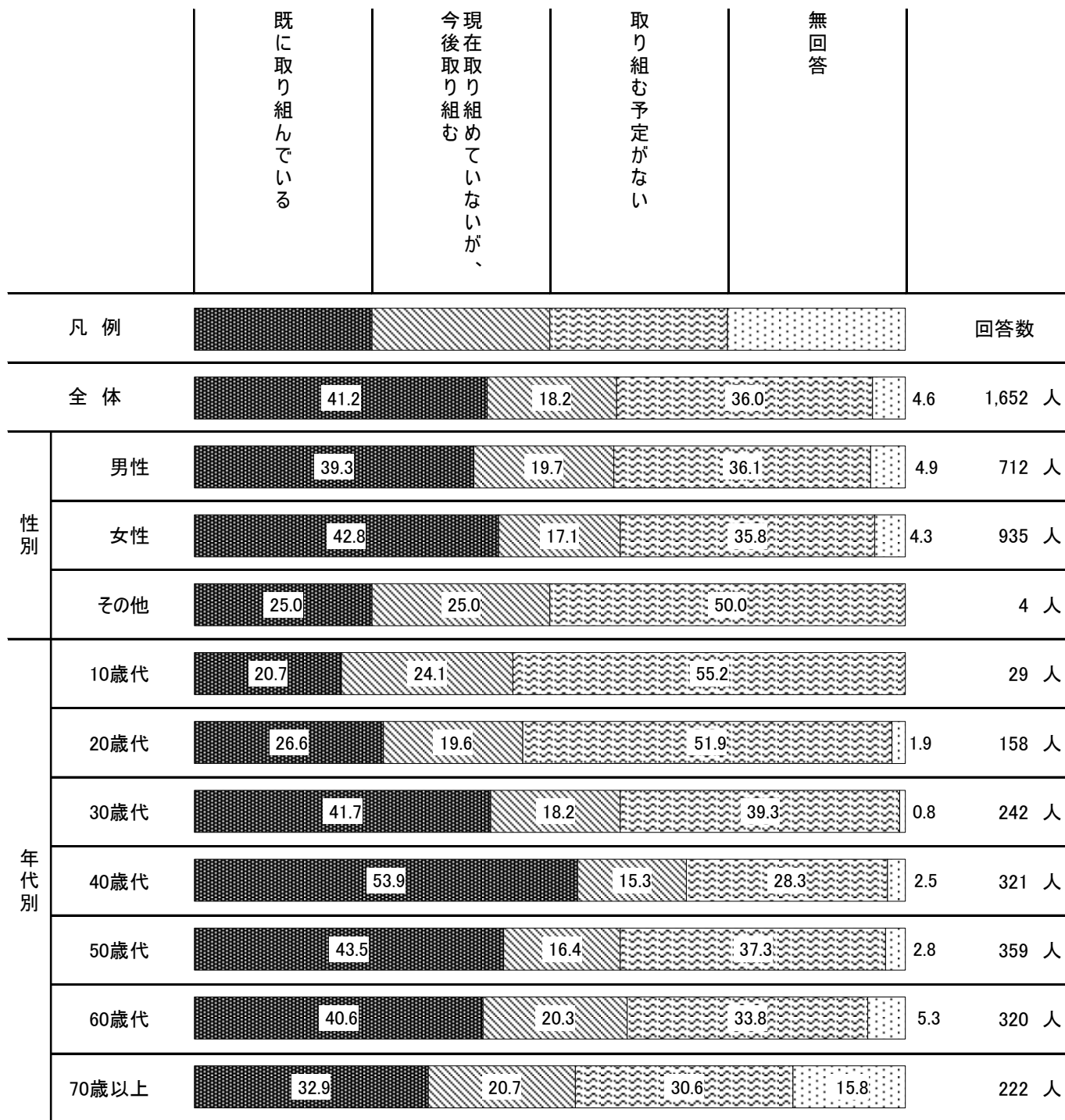
【性別】

男女ともに「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

【年代別】

10歳代、20歳代では「取り組む予定がない」が最も高く、30歳代から70歳以上では「既に取り組んでいる」が最も高くなっている。

《性別・年代別》



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

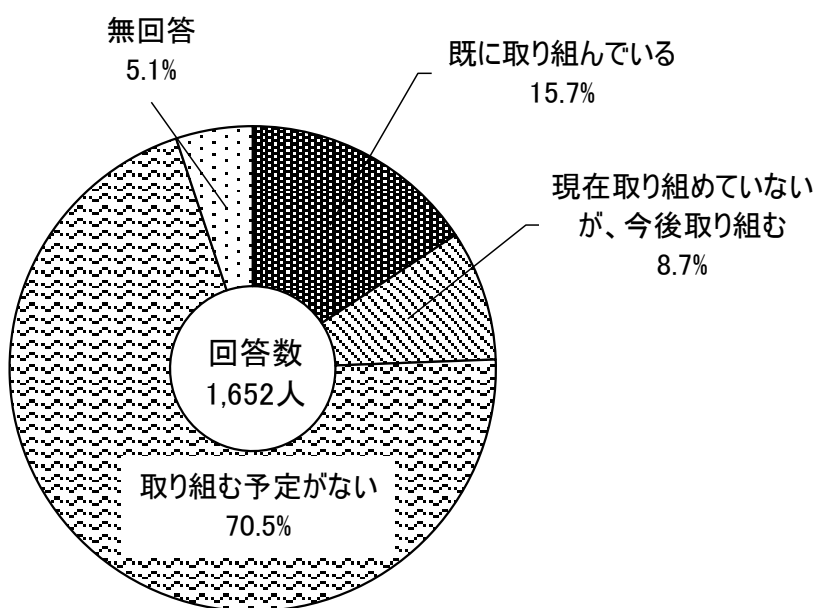
8. 太陽光発電システムを設置する

【総合】

「取り組む予定がない」が 70.5%と 1 位になっている。

次いで、「既に取り組んでいる」が 15.7%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 8.7%と続いている。

《総合》

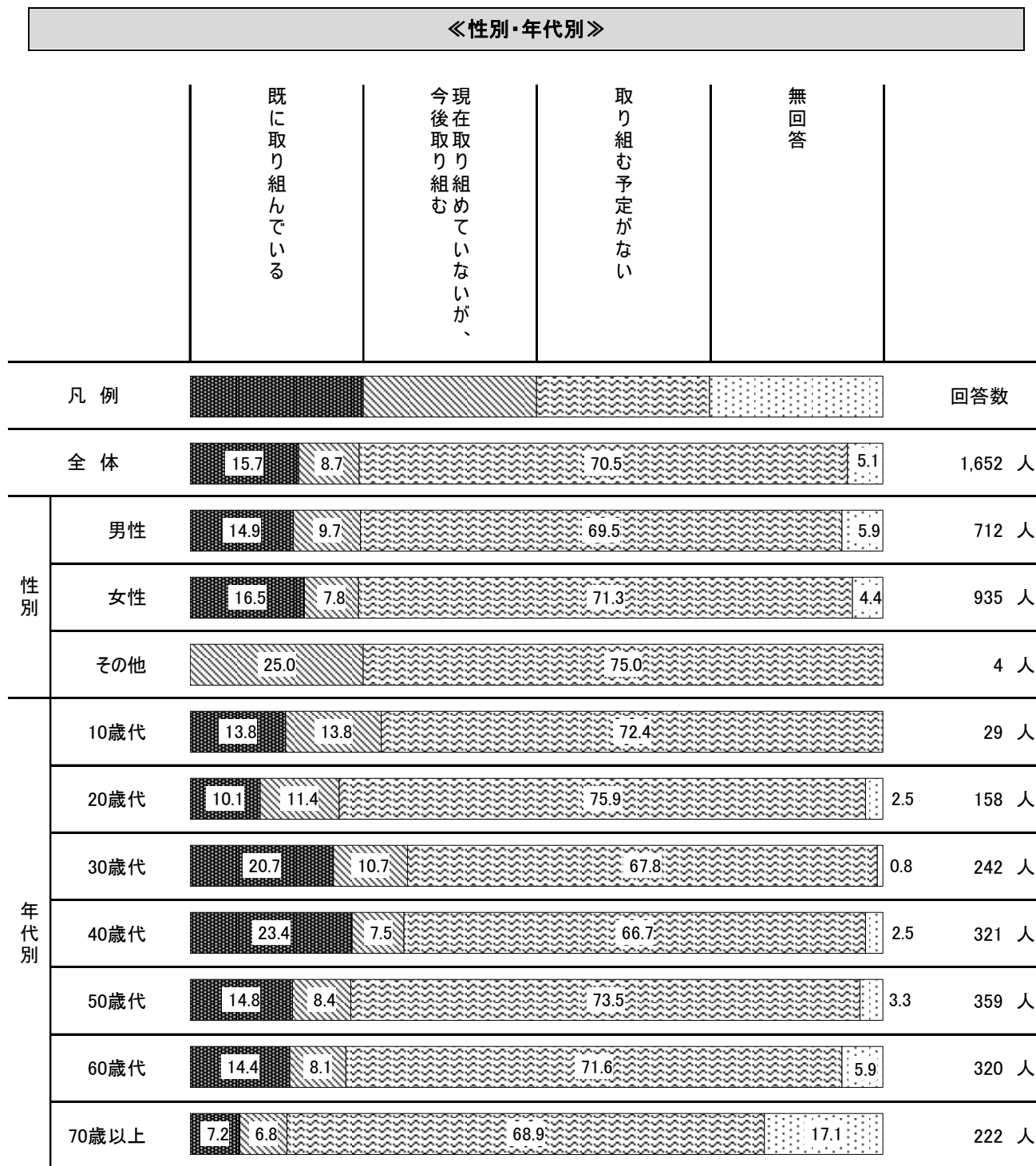


【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「取り組む予定がない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

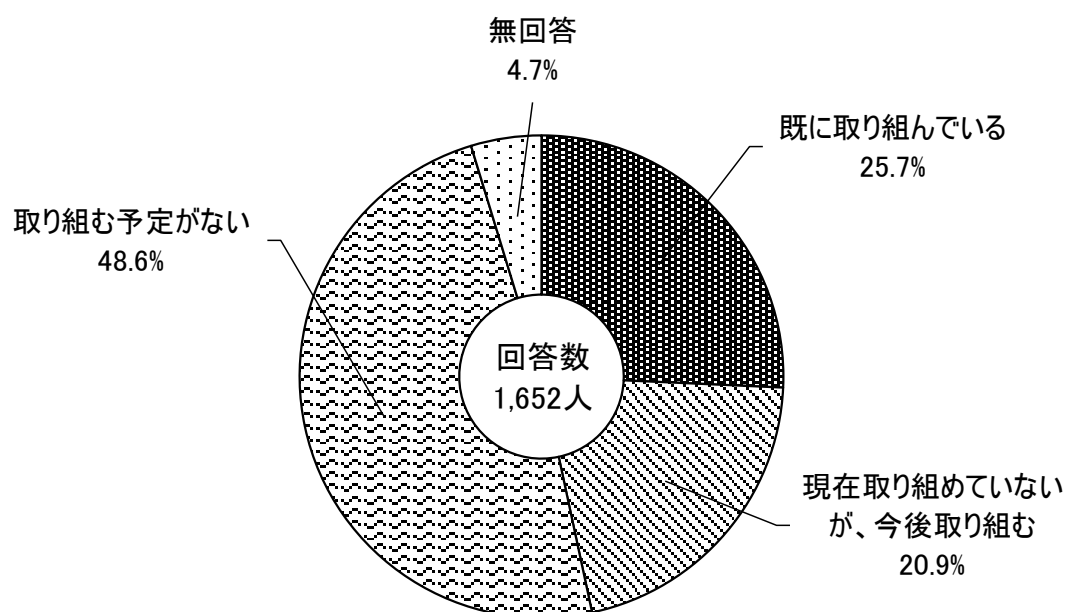
9. 低燃費車（ハイブリッド、プラグインハイブリッド、電気自動車、燃料電池自動車）を使用している

【総合】

「取り組む予定がない」が 48.6%と 1 位になっている。

次いで、「既に取り組んでいる」が 25.7%、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 20.9%と続いている。

《総合》

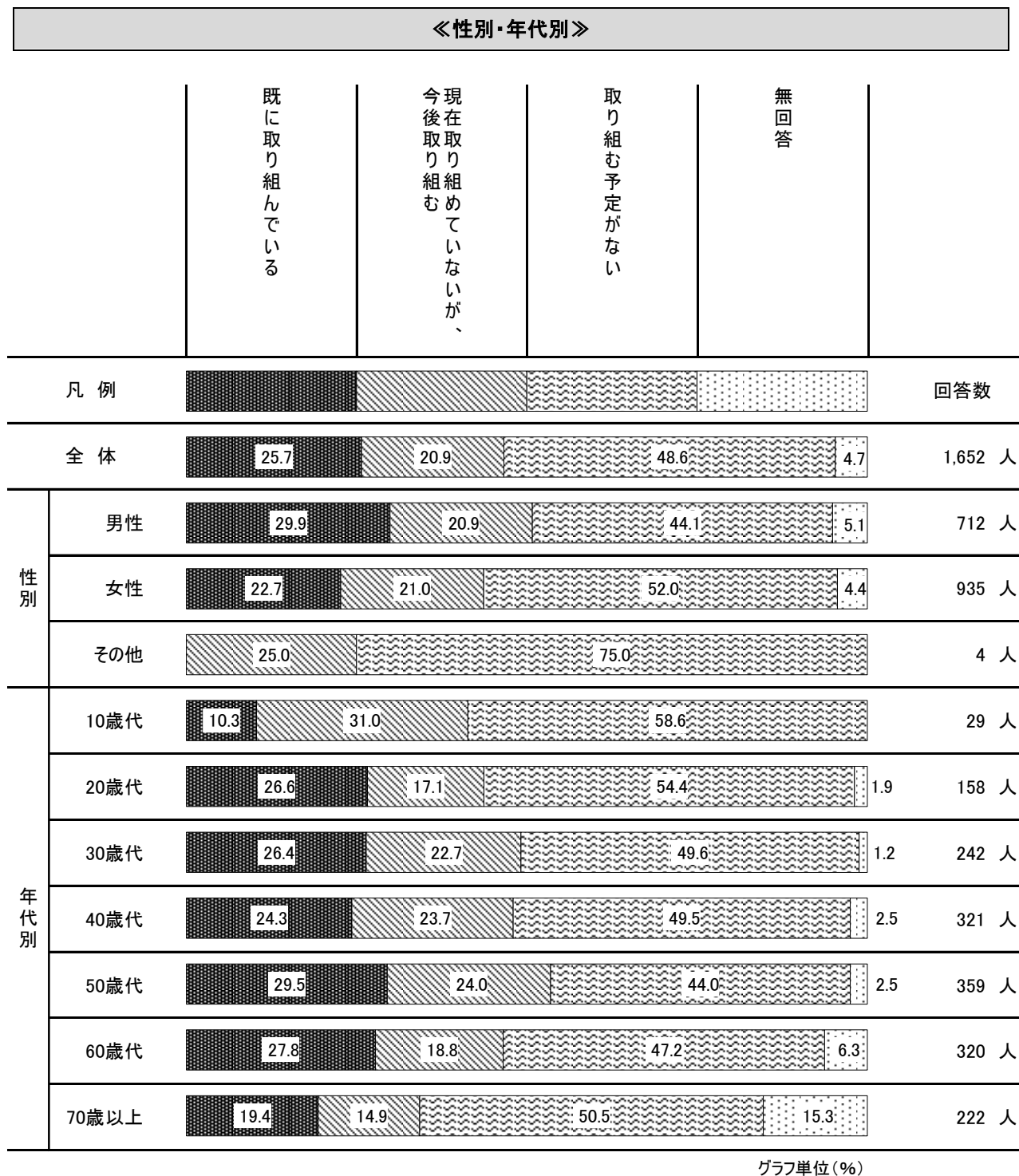


【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「取り組む予定がない」が最も高くなっている。



問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

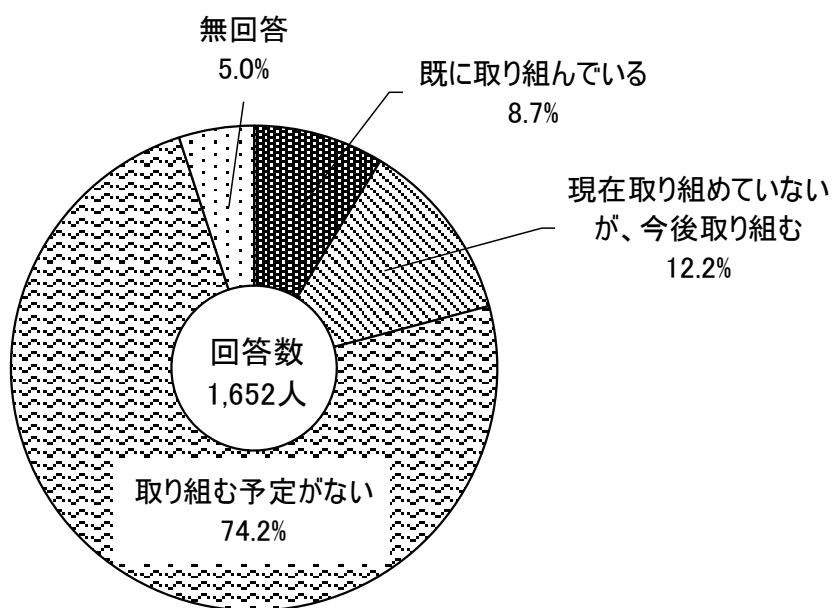
10. 自宅を省エネ住宅（ZEHなど）にする（リフォームを含む）

【総合】

「取り組む予定がない」が 74.2%と 1 位になっている。

次いで、「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 12.2%、「既に取り組んでいる」が 8.7%と続いている。

《総合》

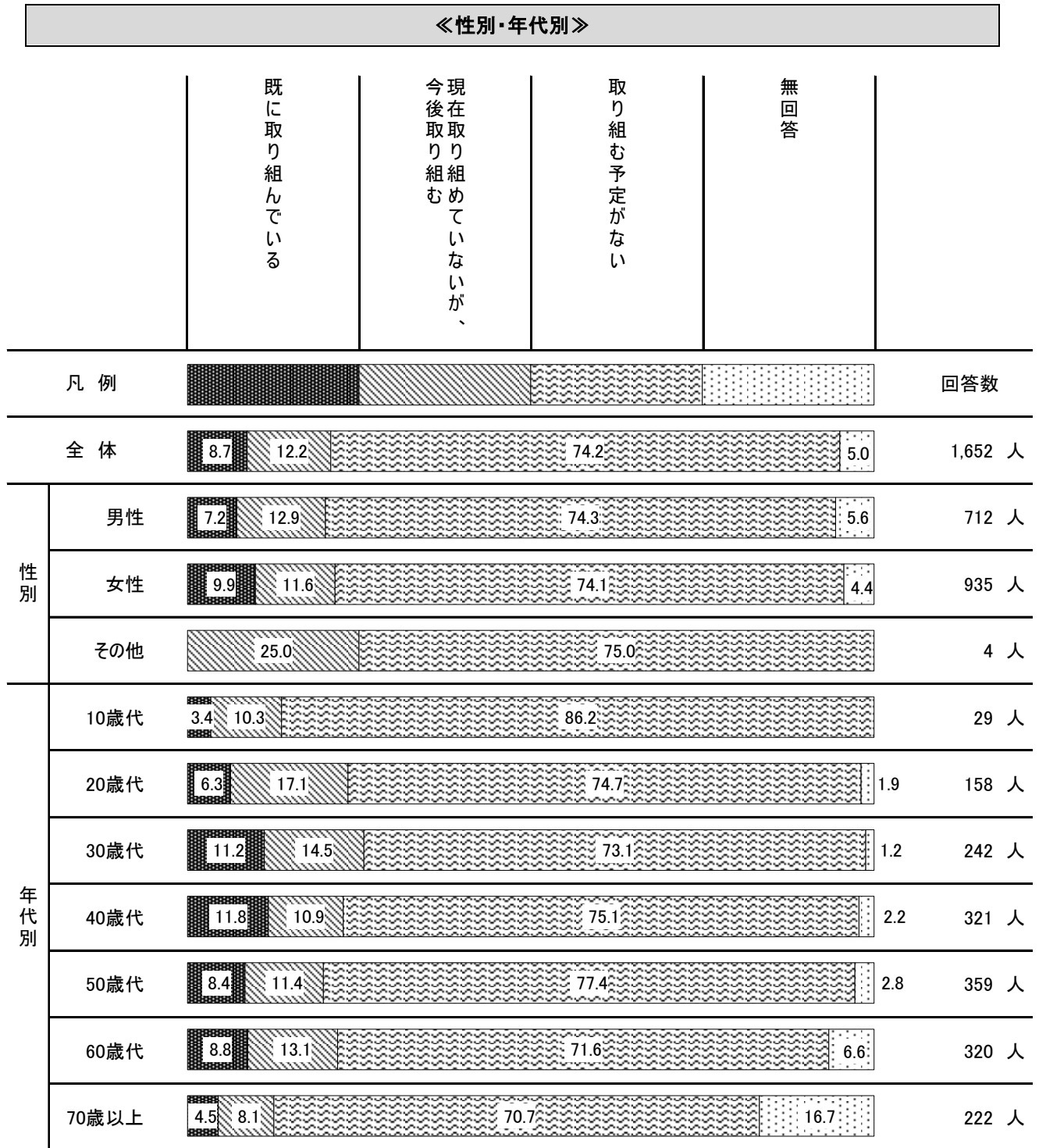


【性別】

男女ともに「取り組む予定がない」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「取り組む予定がない」が最も高くなっている。



グラフ単位(%)

問 30 地球温暖化対策について、次の中であなたの取組状況を教えてください。（当てはまる 1 つに○印）

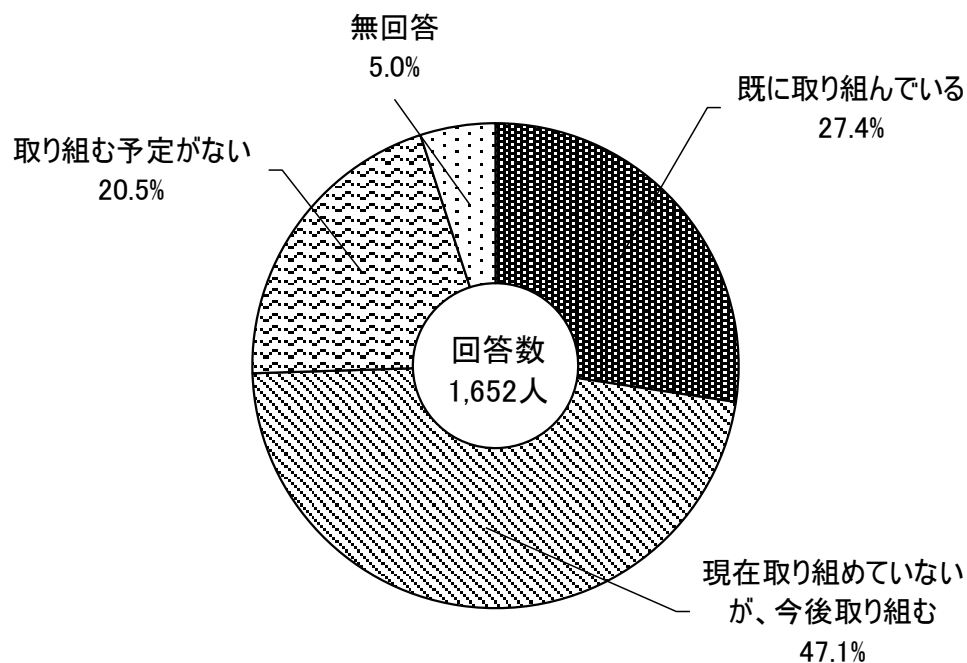
11. より環境に優しい製品やサービス等を積極的に選択する

【総合】

「現在取り組めていないが、今後取り組む」が 47.1%と 1 位になっている。

次いで、「既に取り組んでいる」が 27.4%、「取り組む予定がない」が 20.5%と続いている。

《総合》

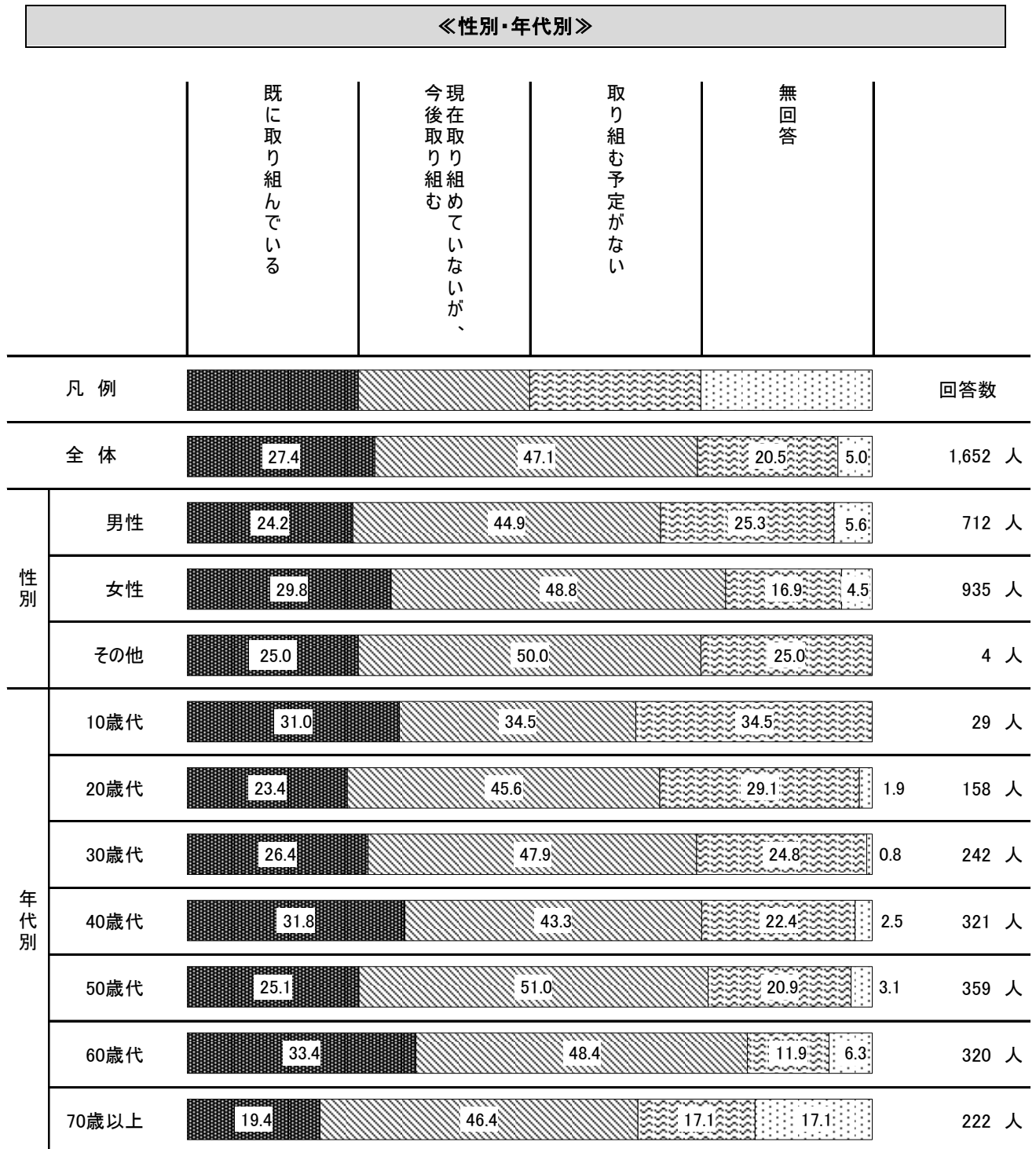


【性別】

男女ともに「現在取り組めていないが、今後取り組む」が最も高くなっている。

【年代別】

すべての年代で「現在取り組めていないが、今後取り組む」が最も高く、10歳代では同率で「取り組む予定がない」が最も高くなっている。



グラフ単位 (%)

